

RICOH



RICOH SP C251_{SF}/SP C250_{SFL}

使用説明書
〈コピー/プリンター/スキャナー機能編〉

目次

この本の読み方.....	10
はじめに.....	10
複製、印刷が禁止されているもの.....	10
おことわり.....	11
管理者の方へ.....	11
IP アドレスについて.....	12
おもなオプションと略称.....	12
エネルギースタープログラム.....	13
お客様登録.....	15

1. 各部の名称とはたらき

本体外部.....	17
前面.....	17
背面.....	19
本体内部.....	21
操作部.....	23
左側.....	23
右側.....	25

2. 本機を使うための準備

本体の設置.....	27
電源を入れる.....	27
初期設定をする.....	30
ユーザーが使用できる機能を制限する.....	31
使用できる機能が制限されているとき.....	34
テスト印刷をする.....	35
機能を切り替える.....	36
マルチアクセス.....	37
ダイレクト機能呼出しを設定する.....	40
本機を接続する.....	42
ネットワークケーブルで接続する.....	42
USB ケーブルで接続する.....	44
ネットワークを設定する.....	47
IP アドレスの設定をする.....	47
ネットワークプリンターを使う.....	52

無線 LAN を設定する.....	54
無線 LAN を有効にする.....	54
押しボタンを使って設定する.....	55
PIN コードを使って設定する.....	57
無線 LAN を手動設定する.....	58
無線 LAN で機器に直接接続する.....	61
ドライバーやソフトウェアをインストールする.....	64
接続方法を確認する.....	64
USB おすすめインストール.....	65
ネットワークおすすめインストール.....	66
単独インストール.....	67
プリンタードライバーをインストールする.....	68
Mac OS X にドライバーをインストールする.....	74
プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき.....	77
USB 接続がうまくいかないとき.....	78
ネットワーク接続がうまくいかないとき.....	78

3. 用紙の仕様とセット方法

用紙について.....	81
使用できる用紙の種類とサイズ.....	81
用紙種類.....	83
使用できない用紙.....	92
用紙を保管するとき.....	93
印刷範囲.....	93
用紙をセットする.....	97
トレイ 1 と 2 に用紙をセットする.....	97
手差しトレイに用紙をセットする.....	102
封筒をセットする.....	104
はがきをセットする.....	106
用紙種類・用紙サイズを設定する.....	107
原稿をセットする.....	111
原稿について.....	111
原稿をセットする.....	113
文字を入力する.....	115

4. プリンター機能を使う

オプション構成や用紙の設定.....	117
Windows のとき.....	117
Mac OS X のとき.....	118
プリンターの印刷設定にアクセスする.....	119
OS からプリンターの印刷設定にアクセスする.....	119
アプリケーションからプリンターの印刷設定にアクセスする.....	119
プリンターの基本的な使いかた.....	121
用紙エラーが発生したとき.....	121
印刷を中止する.....	122
機密文書を印刷する.....	124
機密文書を本機に蓄積する.....	124
機密文書を印刷する.....	125
機密文書を削除する.....	126
キャンセルされた機密文書を確認する.....	127
デジタルカメラから直接印刷する (PictBridge)	129
PictBridge とは?	129
PictBridge で印刷する.....	129
本機でできること.....	130
PictBridge を終了するには.....	131
こんなときには.....	131
こんな印刷がしたい.....	133
画質機能.....	133
印刷出力機能.....	134

5. コピー機能を使う

コピーモード画面.....	137
コピーの基本的な使いかた.....	138
コピーを中止する.....	139
拡大・縮小してコピーする.....	141
拡大・縮小を設定する.....	141
片面原稿を両面/集約コピーする.....	143
両面/集約コピーを設定する.....	146
両面原稿を両面/集約コピーする (手動両面機能)	147

ADF から手動両面コピーをする.....	148
原稿ガラスから手動両面コピーをする.....	149
用紙の片面に ID カードの両面をコピーする.....	151
ID カードをコピーする.....	151
読み取り方法を設定する.....	153
濃度を調整する.....	153
原稿に合わせて文書種類を選択する.....	153

6. スキャナー機能を使う

スキャナーモード画面.....	155
スキャナーのあて先を登録する.....	157
あて先を修正する.....	162
あて先を削除する.....	163
操作部を使ってスキャンする.....	164
基本的なメール送信/FTP 送信/ フォルダー送信のしかた.....	164
あて先を指定する.....	166
基本的な USB メモリー送信のしかた.....	167
読み取り方法を設定する.....	171
原稿のサイズに合わせて読み取りサイズを設定する.....	171
濃度を調整する.....	172
解像度を設定する.....	173
パソコンからスキャンする.....	174
TWAIN の基本的な使いかた.....	174
WIA スキャナーの基本的な使いかた.....	177
フォルダー送信を使用するまでの流れ.....	178
チェックシートへ設定内容を記入する.....	178
フォルダー送信するための準備.....	180
Windows の環境に共有フォルダーを作成/コンピューターの情報を確認する.....	180
Mac OS X の環境に共有フォルダーを作成/コンピューターの情報を確認する.....	184
送信テストをする.....	185

7. 操作部で設定する

基本操作.....	187
操作部で設定できる機能.....	189
コピー初期設定.....	191

読み取り設定.....	196
システム初期設定.....	198
用紙設定.....	203
管理者用設定.....	206
リスト/レポート印刷.....	211
リスト/レポートの種類.....	211
リスト/レポートを印刷する.....	212
ネットワーク設定.....	213

8. パソコンを使って設定する

Web Image Monitor を使う.....	217
トップページを表示する.....	219
システム情報を確認する.....	221
機器の状態を確認する.....	221
カウンター情報を確認する.....	222
機器情報を確認する.....	224
システム初期設定を変更する.....	226
スピーカー音量を設定する.....	226
用紙の設定を変更する.....	226
コピーの用紙を指定する.....	228
優先トレイを指定する.....	229
トナーセーブを設定する.....	230
インターフェース切り替え時間を指定する.....	230
白黒印刷優先設定を指定する.....	231
ダイレクト機能呼出しを設定する.....	231
あて先を登録する.....	232
ユーザーが使用できる機能を制限する.....	233
ネットワークの設定をする.....	234
ネットワーク情報の設定をする.....	234
IPv6 の設定をする.....	235
ネットワーク設定をする.....	235
DNS の設定をする.....	236
自動メール通知の設定をする.....	237
SNMP の設定をする.....	238

SMTP の設定をする.....	239
POP3 の設定をする.....	240
無線 LAN を設定する.....	240
IPsec の設定をする.....	242
IPsec グローバル設定をする.....	242
IPsec ポリシーを設定する.....	242
リスト/レポートを印刷する.....	246
管理者用設定をする.....	247
管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する.....	247
本機の設定を初期化する.....	247
本機の設定をバックアップする.....	248
本機の設定を復元する.....	249
日付と時刻を設定する.....	250
省エネモードの設定をする.....	250

9. 困ったときには

紙が詰まったとき.....	253
紙づまりを取り除く.....	253
ADF から紙づまりを取り除く.....	260
よくある質問.....	262
テスト印刷ができない.....	264
給紙・排紙が正常に行われない.....	265
きれいに印刷できないとき.....	268
本機の状態を確認する.....	268
プリンタードライバーの設定を確認する.....	269
思い通りにプリンター機能が使えないとき.....	270
正しく印刷できないとき.....	270
きれいに印刷できないとき.....	273
給紙がうまくいかないとき.....	275
その他のトラブルシューティング.....	276
思い通りにコピー機能が使えないとき.....	277
コピーがきれいにとれないとき.....	277
思いどおりにコピーできないとき.....	278
思い通りにスキャナー機能が使えないとき.....	279

送信するファイルをネットワークで表示できないとき	279
思いどおりにスキャンできないとき	279
操作部にメッセージが表示されたとき	280

10. 保守・運用

保守・運用について (RICOH SP C251SF)	289
使用上のお願い	289
保守契約	290
保守・運用について (RICOH SP C250SFL)	292
使用上のお願い	292
保守契約	293
トナーカートリッジを交換する	294
廃トナーボトルを交換する	301
本機を清掃する	308
清掃するときの注意	308
トナー濃度センサーを清掃する	309
フリクションパッドと給紙コ口を清掃する	310
レジストローラー周辺と給紙トレイを清掃する	313
原稿ガラスを清掃する	316
自動原稿送り装置 (ADF) を清掃する	317
移動するとき	318
近くへ移動する	319
長距離を移動する	319
本機を長期間使用しないとき	321
本機の使用を長期間休止する前に	321
長期間使用を休止した後に本機の使用を再開するとき	322
機器のご利用終了にともなう、機器に保存されたお客様の情報資産のお取り扱い	324
使用済み製品の回収とリサイクルについて	326
消耗品一覧 (RICOH SP C251SF)	327
トナーカートリッジ	327
廃トナーボトル	328
用紙	328
関連商品一覧	328
消耗品一覧 (RICOH SP C250SFL)	329

トナーカートリッジ.....	329
廃トナーボトル.....	330
用紙.....	330
関連商品一覧.....	330
お問い合わせ先.....	331

11. 付録

IPv6 環境で使用できる機能およびネットワーク設定.....	333
使用できる機能.....	333
IPsec を使って通信する.....	335
通信データの暗号化と認証.....	335
Security Association について.....	336
鍵設定のながれ.....	336
鍵設定の設定手順.....	337
PC で IPsec の条件を設定する.....	338
操作部で IPsec を有効/無効にする.....	340
本体仕様 (RICOH SP C251SF)	342
機能全般.....	342
プリンター機能仕様.....	343
コピー機能仕様.....	344
スキャナー機能仕様.....	344
本体仕様 (RICOH SP C250SFL)	346
機能全般.....	346
プリンター機能仕様.....	347
コピー機能仕様.....	348
スキャナー機能仕様.....	349
オプション仕様.....	350
500 枚増設トレイ C221.....	350
CD-ROM 収録ソフトウェアについて.....	351
CD-ROM の内容を確認する.....	351
収録されているドライバー.....	351
ネットワークで運用するときの注意事項.....	352
DHCP を使用する.....	352
AutoNet 機能を使用する.....	352

電波障害について.....	353
物質エミッションに関する基準について (RICOH SP C251SF)	354
物質エミッション.....	354
物質エミッションに関する基準について (RICOH SP C250SFL)	355
物質エミッション.....	355
搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報.....	356
expat.....	356
lperf.....	356
WPA Supplicant.....	357
商標.....	359
索引	361

この本の読み方

はじめに

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1. 複製、印刷することが禁止されているもの

(見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。)

- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など

- 日本や外国の郵便切手、印紙

- (関係法律)

- 紙幣類似証券取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法

- (刑法 第 148 条 第 162 条)

2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- 外国の紙幣、貨幣、銀行券

- 株券、手形、小切手などの有価証券

- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画

- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

- (関係法律)

- 刑法 第 149 条 第 155 条 第 159 条 第 162 条

- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3. 著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

* 本機には紙幣偽造防止機能が搭載されています。このため、紙幣に酷似した画像は誤って認識され、正常なコピーがとれないことがありますので、あらかじめご了承ください。

おことわり

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明していません。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用または使用不能により生じた損害について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスした場合、あるいは本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

お客様が本機を使用して作成した文書やデータを運用した結果について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

当社は、当社の機器に当社の純正品以外を使用したことにより損害や損失が発生しても責任を負いません。

管理者の方へ

パスワードについて

本機にログインするときは、パスワードが必要です。第三者による不正操作や情報漏えいを防止するために、お客様ご自身のパスワードをただちに設定することを、強くお勧めします。

パスワードによって制限できる操作：

- 操作部から [アドレス帳]、[ネットワーク設定]、および [管理者用設定] メニューにアクセスする

工場出荷時の設定では、これらのメニューはパスワードによって保護されていません。

[管理者用設定] でパスワードを設定してください。

-
- Web Image Monitor から [システム初期設定]、[ワンタッチキー宛先]、[スキャナー宛先]、[ファクス短縮番号宛先]、[特定相手先]、[機能の制限]、[ネットワーク設定]、[IPsec 設定]、および [管理者用設定] メニューにアクセスする工場出荷時の設定では、Web Image Monitor を使った本機の設定は、パスワードによって保護されていません。
[管理者設定] でパスワードを設定してください。

↓ 補足

- パスワードの設定について詳しくは、P.206 「管理者用設定」または P.247 「管理者用設定をする」を参照してください。

ユーザー制限

許可されたユーザーだけが本機の機能を使えるように制限できます。

Web Image Monitor を使って、制限したい機能を選択し、その機能を使えるユーザーを登録できます。

↓ 補足

- パスワードやユーザー制限の設定について詳しくは、P.233 「ユーザーが使用できる機能を制限する」を参照してください。

IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されているときは、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。お使いの環境に合わせてお読みください。

おもなオプションと略称

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
500 枚増設トレイ C221	増設トレイ
IPSIO ハンドセット C240	ハンドセット

↓ 補足

- 増設トレイが装着されているときは、本機では「トレイ 2」と表示されます。

エネルギースタートプログラム

エネルギースタートプログラム対応について説明します。

国際エネルギースタートプログラム



国際エネルギースタートプログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリ、複写機、スキャナー、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国の間で統一されています。

本機には、予熱モードと省エネモードの2つの低電力モードが搭載されています。予熱モードや省エネモードは、プリンターのジョブを受信したときや受信したファクスを印刷するとき、または [コピー]、[カラースタート]、[白黒スタート] キーが押されたときに解除されます。

予熱モード

待機状態のままおよそ 30 秒が経過すると、予熱モードに移行します。予熱モードは、電源オフ状態や省エネモードより復帰時間は短いですが、消費電力は高くなります。

省エネモード

待機状態のまま指定された時間が経過すると、省エネモードに移行します。省エネモードは、消費電力は予熱モードより低いですが、復帰時間は長くなります。

機能の仕様

予熱モード	消費電力	80 W
	デフォルト移行時間	30 秒
	復帰時間	10 秒
省エネモード	消費電力	4.3 W 以下
	デフォルト移行時間	10 分
	復帰時間	30 秒

-
- 予熱モードと省エネモードの設定を変更するには、P.206 「管理者用設定」を参照してください。

↓ 補足

- 本機は、省エネモードのまま 24 時間が経過すると自動的に通常モードに復帰して、印刷品質を最適に保つために機械内部の調整を行います。

お客様登録

インターネットに接続してお客様登録できます。

お客様登録をすると、正式に保証書が発行され、無償保証期間の保守サービス対象機として登録されます。すでにお客様登録はがきを返送されているときは、インターネットからの登録は不要です。

1. [お客様登録の受付] をクリックします。



2. ページ内の指示に従って登録します。

3. 登録終了後、Web ブラウザーを終了します。

4. 最初の画面で [終了] をクリックします。

これでお客様登録は終了です。

↓ 補足

- インターネットに接続しているときに利用できます。
- お客様登録はがきを返送したときも、同様の保証内容になります。

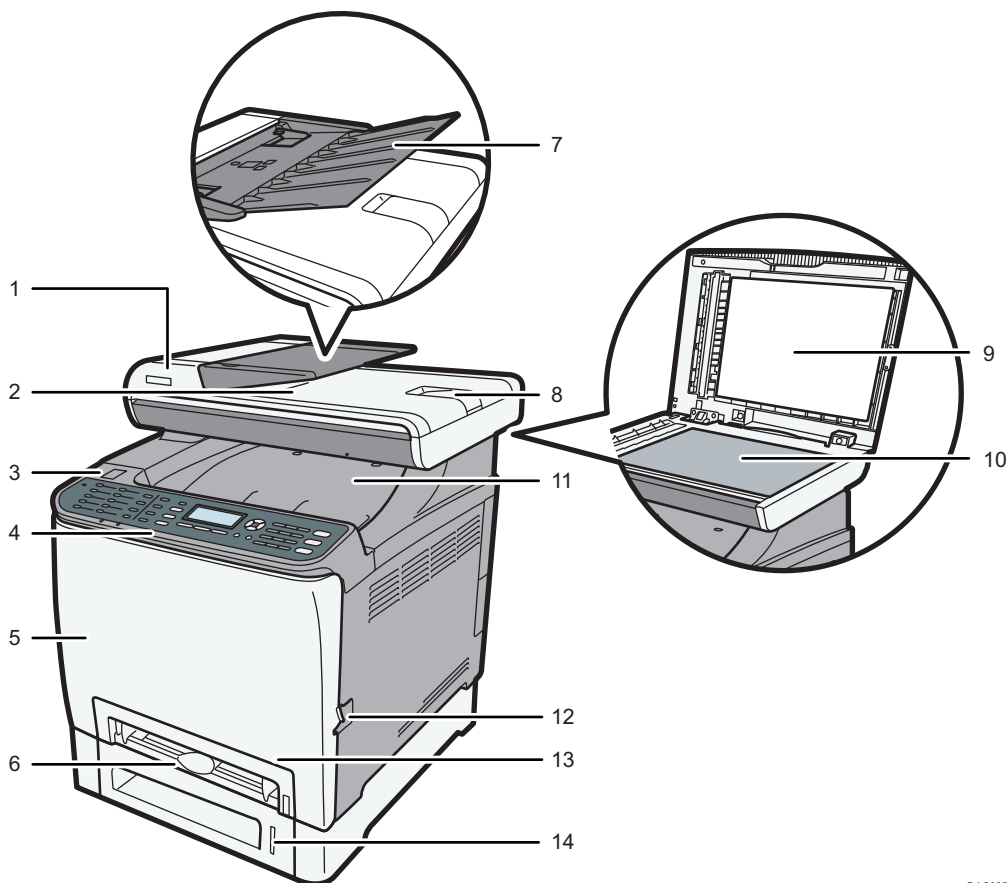


1. 各部の名称とはたらき

本体、操作部、オプションの各部の名称とはたらきを説明します。

本体外部

前面



DAC025

1. 自動原稿送り装置（ADF）カバー

ADF に原稿が詰まったときに、ADF カバーを開けて原稿を取り除きます。

2. ADF 排紙トレイ

ADF にセットした原稿が排紙されます。

3. USB メモリー/PictBridge 用の USB ポート

スキャナーの USB メモリー送信機能を使うときは USB メモリーを差し込みます。PictBridge 機能で印刷するときは USB ケーブルでデジタルカメラを接続します。

4. 操作部

キーを押して本機を操作したり、画面で動作状態を確認します。

5. 前カバー

廃トナーボトルを交換したり、紙づまりを取り除くときに、このカバーを開けます。

6. 手差しトレイ

トレイ 1 の前面にあります。用紙を 1 枚ずつセットします。

7. ADF 給紙トレイ

原稿をセットします。原稿は自動的に給紙されます。最大 35 枚の用紙をセットできます。

8. ADF 延長ガイド

ADF 給紙トレイに A4 より長い用紙をセットするときに、このガイドを延ばします。

9. 原稿ガラスカバー

このカバーを開けて、原稿ガラスに原稿をセットします。

10. 原稿ガラス

原稿を 1 枚ずつセットします。

11. 上カバー/排紙トレイ

トナーカートリッジを交換するときに、このカバーを開けます。

印刷済みの用紙が排紙されます。最大 150 枚の用紙を排紙できます。

12. 前カバー開閉レバー

本機の右側にあるレバーを手前に引くと、前カバーが開きます。

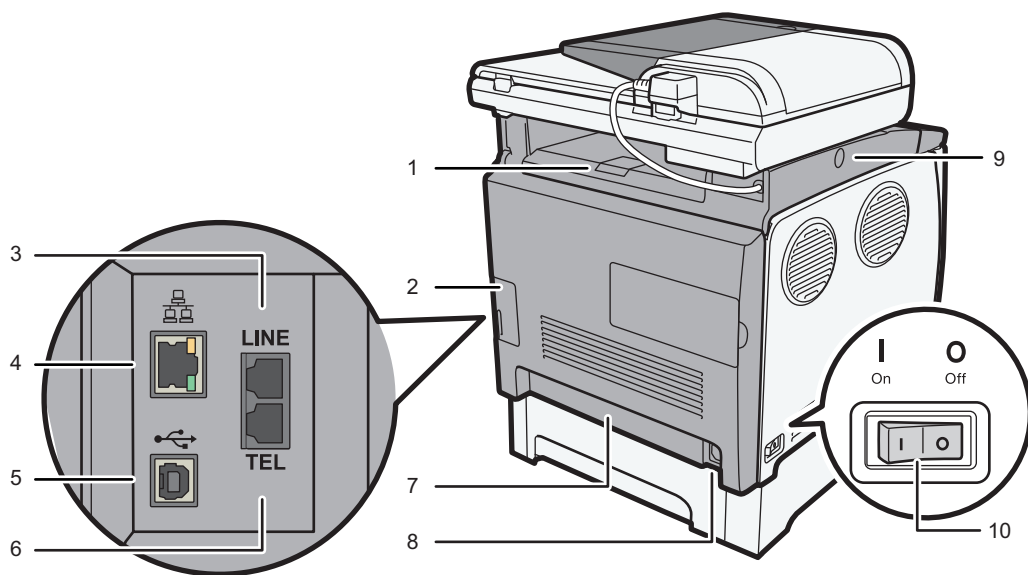
13. 給紙トレイ (トレイ 1)

最大 270 枚の用紙をセットできます。

14. 増設トレイ (トレイ 2) : オプション

最大 540 枚の用紙をセットできます。

背面



DAC370

1. 用紙ストッパー

大量の用紙を一度に印刷するとき、このストッパーを上げて用紙が落ちるのを防ぎます。ストッパーは、A4、Letter、Legal サイズに調節できます。

2. ケーブルカバー

本機にケーブルを接続するときに、このカバーを外します。

3. 電話回線接続端子

本機に電話線を接続します。

4. イーサネットポート

ネットワークケーブルで本機をネットワークに接続します。

5. USB ポート

USB ケーブルで本機をパソコンに接続します。

6. 外付け電話機接続端子

本機に外付け電話機を接続します。

7. 背面カバー

トレイ 1 に A4 より長い用紙をセットするときに、このカバーを開けます。

8. 電源ソケット

電源コードを本体に接続します。

9. ADF スライドボタン

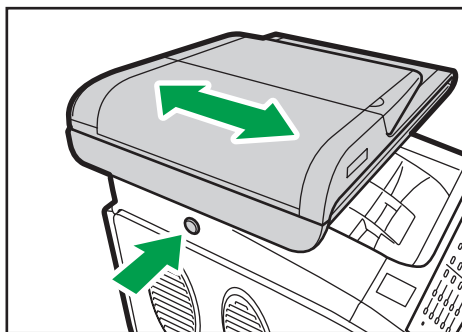
排紙トレイの用紙が取り出しにくいときは、ADF を後ろにスライドさせてロックします。

10. 電源スイッチ

電源を入れたり切ったりします。

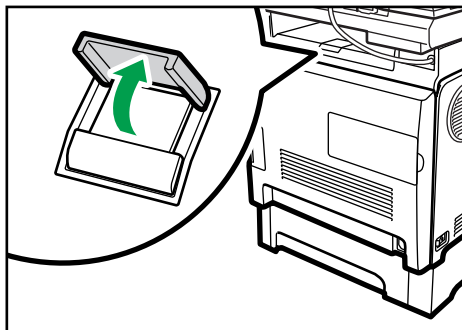
↓ 補足

- 以下の図のように、ADF スライドボタンを押しながら、ADF をスライドさせます。ADF が閉じていることを確認してからスライドさせてください。指をはさまないように気をつけてください。



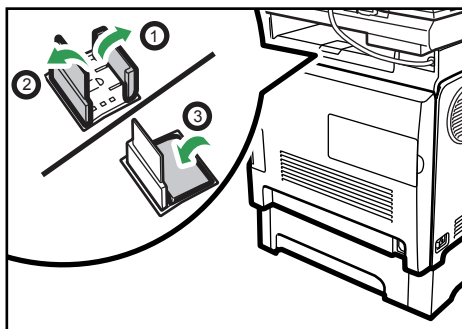
DAC009

- 以下の図のようにストッパーを上げ、A4/Letter サイズの用紙が落ちないようにします。



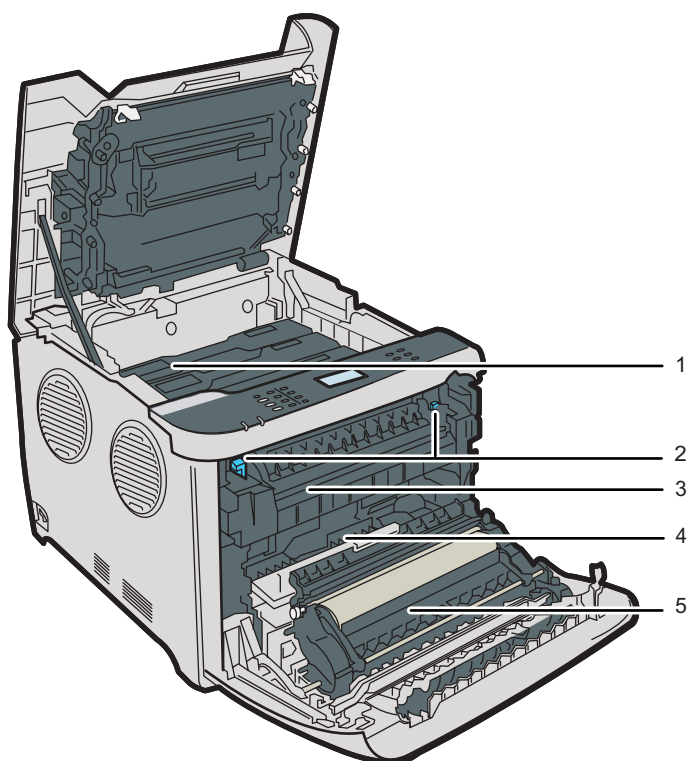
DAC034

- 以下の図のようにストッパーを上げ、Legal サイズの用紙が落ちないようにします。



DAC035

本体内部



DAC027

1. トナーカートリッジ

奥から、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y)、ブラック (K) の順にトナーカートリッジをセットします。トナーカートリッジの交換や新しいトナーカートリッジの準備が必要なときには、画面にメッセージが表示されます。

2. 封筒レバー

封筒に印刷するときに、左右両方のレバーを下げます。

3. 定着ユニット

用紙にトナーを定着させます。

用紙が詰まった場合、確認したり、取り除いたりするときに、このユニットを扱うことがあります。

4. 廃トナーボトル

印刷中に出る余分なトナーを回収します。廃トナーボトルの交換や新しい廃トナーボトルの準備が必要なときには、画面にメッセージが表示されます。

5. 搬送ユニット

廃トナーボトルを交換するときには、搬送ユニットを取り外してください。

↓ 補足

- 消耗品の交換に際して、画面に表示されるメッセージについて詳しくは、P.280「操作部にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

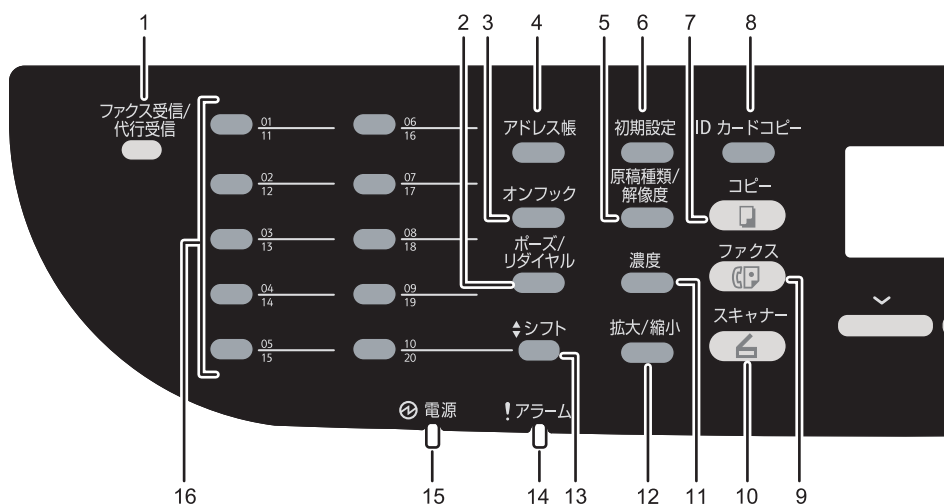
操作部

本体操作部の名称とはたらきについて説明します。

↓ 補足

- 本機が予熱モードや省エネモードのときは、画面のバックライトが消灯します。
- ジョブの処理中は、本機の設定メニューを表示できません。本機の状態は、画面に表示されるメッセージで確認できます。「印刷中」、「白黒コピー中」、「カラーコピー中」、または「処理中」などのメッセージが表示されているときは、ジョブが終了するまでお待ちください。
- 使用している機器により、操作部の色が異なります。

左側



DAC461

1. ファクス受信/代行受信ランプ

受信したファクスがメモリーに保存されているときに点灯します。用紙切れや紙づまりなどでファクスを印刷できないときは点滅します。

2. [ポーズ/リダイヤル] キー

- ポーズ
ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入力した個所は、「P」と表示されます。
- リダイヤル
最後に使用したスキャナーかファクスのあて先を表示します。

3. [オンフック] キー

ファクスを送信するときに、オンフックダイヤル機能を使ってあて先の通信状態を確認します。

4. [アドレス帳] キー

ファクスやスキャンしたファイルを送信するときに、アドレス帳からあて先を指定します。

5. [原稿種類/解像度] キー

原稿の読み取り方法を一時的に変更します。

- コピーモード：文字、写真、混合を選択します。
- スキャナーモード：解像度を選択します。
- ファクスモード：ふつう字、小さな字、写真を選択します。

6. [初期設定] キー

本機の初期設定を変更するメニューを表示します。

7. [コピー] キー

コピーモードに切り替えます。本機がコピーモードのとき、このキーが点灯します。

8. [ID カードコピー] キー

本機がコピーモードのとき、コピーの方法を一時的に ID カードコピーに切り替えます。

ID カードコピーをあまり使用しないときは、[管理者用設定] の [ダイレクト機能呼出し設定] を設定するとファクス直接送信やスキャナー宛先選択などワンタッチキーで表示できます。[ダイレクト機能呼出し設定] について詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。

9. [ファクス] キー

ファクスモードに切り替えます。本機がファクスモードのとき、このキーが点灯します。

10. [スキャナー] キー

スキャナーモードに切り替えます。本機がスキャナーモードのとき、このキーが点灯します。

11. [濃度] キー

原稿の濃度を一時的に変更します。

- コピーモード：5 段階の調整ができます。
- スキャナーモード：5 段階の調整ができます。
- ファクスモード：3 段階の調整ができます。

12. [拡大/縮小] キー

- コピーモード：拡大・縮小率を一時的に変更します。
- スキャナーモード：原稿の読み取りサイズを一時的に変更します。

13. [シフト] キー

スキャナーかファクスのあて先を指定するときに、ワンタッチキーを 11～20 に切り替えます。

14. アラームランプ

消耗品の交換など、本機の保守が必要なときに、黄色で点滅します。本機にエラーが発生したときは赤色で点灯します。

エラーが発生したときは、画面に表示されたメッセージを確認します。メッセージについて詳しくは、P.280 「操作部にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

15. 電源ランプ

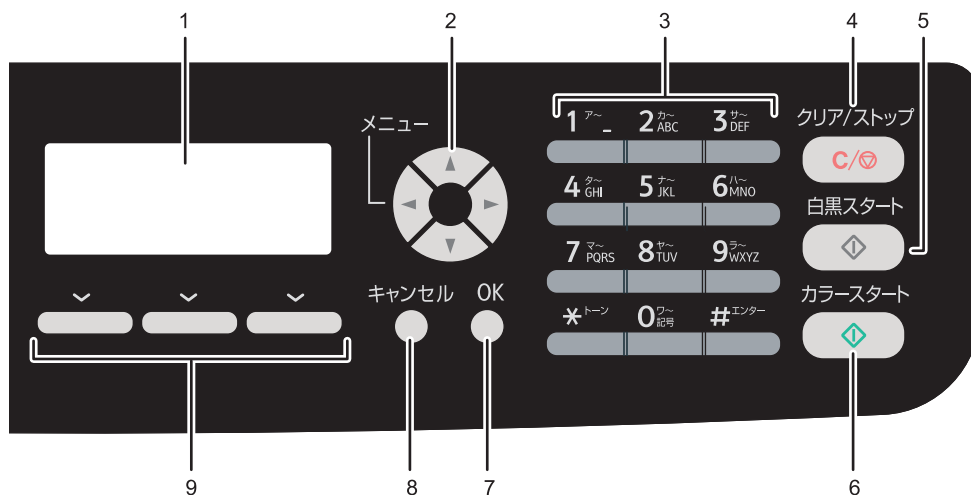
本機の電源が入っているときに点灯します。電源が入っていないときは消灯します。

16. ワンタッチキー

アドレス帳に登録されたワンタッチダイヤルのあて先を選択します。

右側

1



DAC443

1. 画面

本機の状態やメッセージが表示されます。

2. スクロールキー

カーソルを上下左右に移動させたり、設定値を増減させるときに使います。

本機が待機状態のときに [◀] [▶] キーを押すと、選択中の機能（コピー、スキャナー、ファクス）に関する設定を変更するメニューを表示します。

3. テンキー

ファクス番号や印刷部数などを指定するときに数字を入力したり、名前を指定するときに文字を入力したりします。

4. [クリア/ストップ] キー

- ジョブの処理中：ジョブをキャンセルします。
- 設定中：設定をキャンセルして待機状態に戻ります。
- 待機中：原稿の濃度や解像度など、一時的に変更した設定をキャンセルします。

5. [白黒スタート] キー

白黒のコピーやスキャン、またはファクスの送信を開始します。

6. [カラースタート] キー

カラーのコピーやスキャンを開始します。

7. [OK] キー

設定や設定値を確定させるとき、または下位の階層に移動するときに押します。

8. [キャンセル] キー

設定を有効にせずに上位の階層に戻るとき、メニューから通常が表示に戻るときに押します。

9. 選択キー

画面下部に表示された項目を選択するときに押します。

2. 本機を使うための準備

本機の設置と設定について説明します。

本体の設置

本機の設置に必要な手順とお使いになる前の準備について説明します。

2

電源を入れる

電源の入れ方について説明します。

⚠ 警告



- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。



- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。



- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。



- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - 電源プラグに焦げ跡がある
 - 電源プラグの刃が変形している
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



- 電源コードは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
 - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
 - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
 - 電源コードの一部が熱くなる
 - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠ 注意



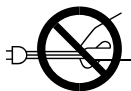
- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

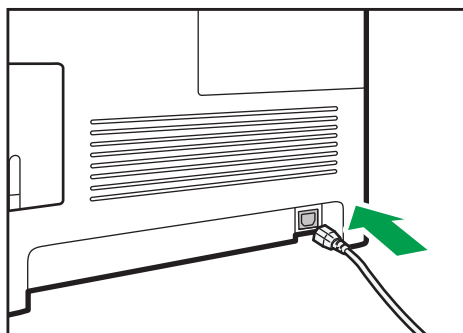


- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

★重要

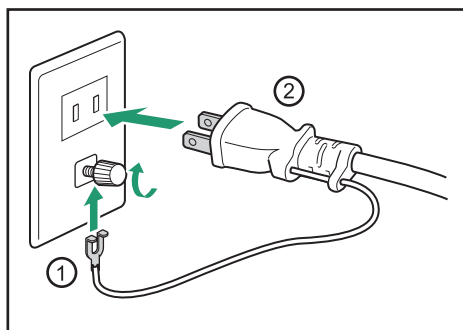
- 電源を入れるとき、電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
- 電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、電源スイッチを「Off」にしてください。
- 初期設定が終わるまで電源スイッチを切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。故障の原因になります。

1. 背面の電源コネクタに、電源コードを接続します。



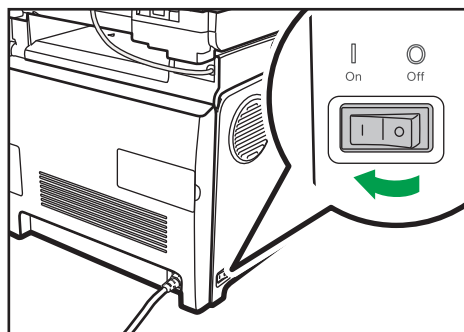
DAC128

2. アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。



CHP550

3. 電源スイッチを「On」にします。



DAC129

電源ランプが点灯し、操作部の [コピー] キーが点灯します。

初期設定が完了するまでしばらくお待ちください。本機を購入後最初に電源を入れたときは、2～3分かかります。

↓ 補足

- 本機を購入後最初に電源を入れたときは、初期設定のメニューが画面に表示されます。
- [管理者用設定] の [優先機能] の設定によっては、[コピー] の代わりに [ファクス] または [スキャナー] キーが点灯します。[優先機能] について詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。
- 初期化中に動作音が聞こえることがあります。これは故障ではありません。

初期設定をする

本機を購入後最初に電源を入れたときは、初期設定のメニューが画面に表示されます。

以下の項目を設定します。

- 画面とレポートの表示言語
- 本機のファクス番号 (0～9、「+」、スペース)
- 本機の名称 (文字、数字、記号、漢字・ひらがなは入力できません。)
- 本機が使用される国

1. [▲] [▼] キーを押して [日本語] を選択し、[OK] キーを押します。

2. [▲] [▼] キーを押して [番号:] を選択し、テンキーで本機のファクス番号 (最大 20 桁) を入力します。

「+」を入力するには [✳] を、スペースを入力するには [▶] キーを押します。

あとでファクス番号を設定するときは、[クリア/ストップ] キーを押し、次の設定項目へスキップします。

3. [▲] [▼] キーを押して [名称:] を選択し、テンキーで本機の名称（最大 20 桁）を入力します。

あとで名称を設定するときは、[クリア/ストップ] キーを押し、次の設定項目へスキップします。

4. [▲] [▼] キーを押して [日本] を選択し、[OK] キーを押します。

必ず [日本] を選択してください。誤って設定すると、ファクスの通信が正常に行われなくなることがあります。

↓ 補足

- 本機のファクス番号と名称は任意で設定してください。
- 初期設定で設定した内容は、[管理者用設定] で変更できます。また、[管理者用設定] では、本機の日時を設定することもできます。[管理者用設定] について詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。
- ファクス送信設定の [発信元情報印字] を設定すると、登録したファクス番号、ユーザー名、送信日時が受信先ファクスのヘッダーに印字されます。

ユーザーが使用できる機能を制限する

対象機種：RICOH SP C251SF

本機の機能の一部は、ユーザーコードによる認証を要求するように設定できます。

この機能を使用するときは、Web Image Monitor で設定してください。

↓ 補足

- Web Image Monitor について詳しくは、P.217 「Web Image Monitor を使う」を参照してください。

ユーザーが使用できる機能を設定する

許可されたユーザーだけが本機の機能を使えるように制限する方法について説明します。

Web Image Monitor を使って以下の機能の中から制限したい機能を選択し、その機能を使えるユーザーを登録します。使える機能は、ユーザーごとに設定できます。

- コピー（カラーと白黒）
- コピー（カラーのみ）
- ファクスの送信
- スキャナーのメール/FTP/フォルダー送信
- スキャナーの USB メモリー送信
- PictBridge での印刷

- プリントジョブの印刷（カラーと白黒）
- プリントジョブの印刷（カラーのみ）
- PC ファクスの送信

最大 30 件のユーザーを登録できます。

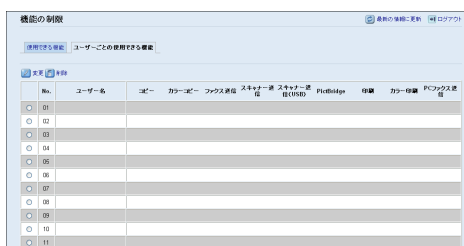
1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http://（本機の IP アドレス）/"と入力して本機にアクセスします。
2. [機能の制限] をクリックします。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [適用] をクリックします。



4. [使用できる機能] で制限したい機能に対して [制限する] を選択し、[適用] をクリックします。

5. [ユーザーごとの使用できる機能] をクリックします。

登録されているユーザーのリストが表示されます。



6. ユーザーを選択し、[変更] をクリックします。

使用できる機能を選択する画面が表示されます。

7. [ユーザー名] にユーザー名（半角英数字で最大 16 文字）を入力します。

8. [ユーザーコード] にユーザーコード（最大 8 桁の数字）を入力します。

ユーザーコードは、制限された機能の使用を認証するために使用します。

9. 認証によって使用を許可する機能を選択します。

ここで選択しなかった機能は、このユーザーのユーザーコードで認証しても、使用できません。

10. [適用] をクリックします。

11. Web ブラウザーを終了します。

↓ 補足

- ユーザーを登録するには、ユーザー名とユーザーコードを両方とも入力してください。
- 同じユーザー名やユーザーコードを重複して登録することはできません。

ユーザーの登録内容を変更する

登録されているユーザーの登録内容を変更する方法について説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス)/"と入力して本機にアクセスします。

2. [機能の制限] をクリックします。

3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [適用] をクリックします。

4. [ユーザーごとの使用できる機能] をクリックします。

登録されているユーザーのリストが表示されます。

5. 変更するユーザーを選択し、[変更] をクリックします。

6. 登録内容を変更します。

7. [適用] をクリックします。

8. Web ブラウザーを終了します。

登録されているユーザーを削除する

登録されているユーザーを削除する方法について説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス)/"と入力して本機にアクセスします。
2. [機能の制限] をクリックします。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [適用] をクリックします。
4. [ユーザーごとの使用できる機能] をクリックします。
登録されているユーザーのリストが表示されます。
5. 削除するユーザーを選択し、[削除] をクリックします。
6. 選択したユーザーが、削除するユーザーであることを確認します。
7. [適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

使用できる機能が制限されているとき

対象機種： RICOH SP C251SF

使用できる機能が制限されているときは、許可されたユーザーだけがその機能を使用できます。

機能を使用するための認証は、制限されている機能によって、操作部かプリンター/PCファクスドライバーでユーザーコードを入力します。

制限できる機能の種類と制限されたときの認証の方法は次のとおりです。

制限できる機能	認証の方法
<ul style="list-style-type: none"> • コピー（カラーと白黒） • コピー（カラーのみ） • ファクスの送信 • スキャナーのメール/FTP/フォルダー送信 • スキャナーの USB メモリー送信 	<p>[白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押すと、ユーザーコードの入力を要求されます。 操作部で、正しいユーザーコードを入力してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • PictBridge での印刷 	<p>デジタルカメラを接続すると、ユーザーコードの入力を要求されます。 操作部で、正しいユーザーコードを入力してください。</p>

制限できる機能	認証の方法
<ul style="list-style-type: none"> • プリントジョブの印刷（カラーと白黒） • プリントジョブの印刷（カラーのみ） • PC ファクスの送信 	<p>ジョブを実行する前に、プリンター/PC ファクスドライバーで正しいユーザーコードを入力してください。</p>

操作部で認証する

1. ユーザーコードの入力を要求されたら、テンキーでユーザーコードを入力します。

ユーザーコードを3回間違えると、本機からピープ音が鳴り、認証が拒否されません。

2. [OK] キーを押します。

プリンター/PC ファクスドライバーで認証する

実際の操作は、お使いのアプリケーションによって多少異なることがあります。

1. 印刷または送信するファイルをパソコンで開きます。
2. ドライバーのプロパティを開きます。
3. プリンタードライバーでは [アクセスの制限] タブを、PC ファクスドライバーでは [ユーザーコード] をクリックします。
4. ユーザーコードを入力し（最大8桁の数字）、[OK] をクリックします。
5. 印刷または送信コマンドを実行します。

ユーザーコードが正しくなかったときは、自動的にジョブがキャンセルされます。（エラーメッセージは表示されません。）

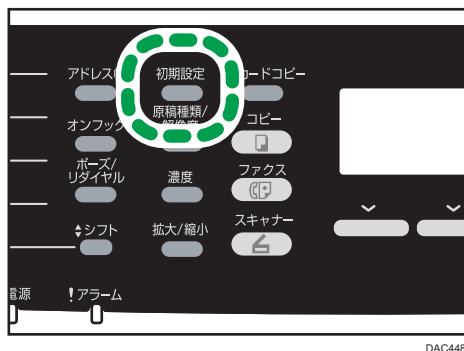
テスト印刷をする

本機が正常に印刷できることを確認するために、システム設定リストを印刷します。システム設定リストの印刷は、本体の動作確認です。パソコンとの接続テストではありません。

★重要

- システム設定リストは、A4 またはレターサイズ用紙に印刷されます。印刷の前に、トレイに A4 またはレターサイズ用紙をセットしてください。

1. [初期設定] キーを押します。

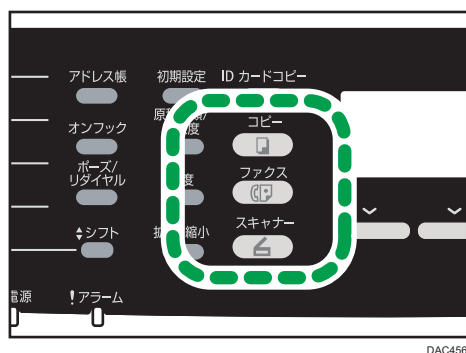


2. [▲] [▼] キーを押して [リスト/レポート印刷] を選択し、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して [システム設定リスト] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [する] を押します。
システム設定リストが印刷されます。

機能を切り替える

操作部の対応するキーを押して、コピー、スキャナー、ファクスモードを切り替えできます。

[コピー]、[ファクス]、または [スキャナー] キーを押すと、それぞれの対応するモードになり、キーが点灯します。



優先機能

本機は、電源を入れたとき、または待機状態のまま [システムオートリセット時間設定] で設定した時間が経過したとき、コピーモードが起動するように初期設定されています。電源を入れたときに起動するモードの設定は、[管理者用設定] の [優先機能] で変更できます。

↓ 補足

- [システムオートリセット時間設定] または [優先機能] については、P.206 「管理者用設定」を参照してください。

マルチアクセス

本機は、コピーやファクスなど異なる機能を同時に処理できます。複数の機能を同時に処理することを、“マルチアクセス”といいます。

同時に使用できる動作については、次のとおりです。

使用中の機能	同時に処理できる機能
コピー	<ul style="list-style-type: none"> • ファクスをメモリーから送信 • ファクスをメモリーに受信 • インターネットファクスを受信（受信したファクスの印刷は除く） • PC ファクスジョブをパソコンから受信 • PC ファクスジョブを送信
スキャン	<ul style="list-style-type: none"> • ファクスをメモリーから送信 • 受信ファクスの即時印刷 • ファクスをメモリーに受信 • メモリーに受信したファクスの印刷 • インターネットファクスを受信 • プリントジョブの印刷*1 • PC ファクスジョブをパソコンから受信（TWAIN スキャン以外 のとき） • PC ファクスジョブを送信（TWAIN スキャン以外 のとき）
送信ファクスをメモリーに蓄積（ファクス送信される文書をメモリーに蓄積）	<ul style="list-style-type: none"> • ファクスをメモリーから送信 • 受信ファクスの即時印刷 • ファクスをメモリーに受信 • メモリーに受信したファクスの印刷 • インターネットファクスを受信 • プリントジョブの印刷 • PC ファクスジョブをパソコンから受信 • PC ファクスジョブを送信
ファクスの直接送信（原稿を読み取りながら送信）	<ul style="list-style-type: none"> • メモリーに受信したファクスの印刷 • プリントジョブの印刷*5 • インターネットファクスを受信 • PC ファクスジョブをパソコンから受信

使用中の機能	同時に処理できる機能
ファクスをメモリーから送信（すでにメモリーに蓄積されている文書の送信）	<ul style="list-style-type: none"> • コピー • スキャン • 送信ファクスをメモリーに蓄積 • インターネットファクスを送信 • メモリーに受信したファクスの印刷 • インターネットファクスを受信 • プリントジョブの印刷*5
ファクスをメモリーに受信（受信ファクスをメモリーに蓄積）	<ul style="list-style-type: none"> • コピー • スキャン • 送信ファクスをメモリーに蓄積 • インターネットファクスを送信 • インターネットファクスを受信（受信したファクスの印刷は除く） • PC ファクスジョブをパソコンから受信
受信ファクスの即時印刷（ファクスを受信しながら印刷）	<ul style="list-style-type: none"> • スキャン*6 • インターネットファクスを送信 • インターネットファクスを受信（受信したファクスの印刷は除く） • PC ファクスジョブをパソコンから受信
メモリーに受信したファクスの印刷（メモリーに蓄積されている受信ファクスの印刷）	<ul style="list-style-type: none"> • スキャン*6 • 送信ファクスをメモリーに蓄積 • 受信ファクスの即時印刷 • ファクスをメモリーから送信 • インターネットファクスを送信 • インターネットファクスを受信（受信したファクスの印刷は除く） • PC ファクスジョブをパソコンから受信 • PC ファクスジョブを送信
インターネットファクスを送信	<ul style="list-style-type: none"> • ファクスをメモリーから送信 • 受信ファクスの即時印刷 • ファクスをメモリーに受信 • メモリーに受信したファクスの印刷 • プリントジョブの印刷*5 • PC ファクスジョブをパソコンから受信 • PC ファクスジョブを送信
インターネットファクスを受信	<ul style="list-style-type: none"> • スキャン • 送信ファクスをメモリーに蓄積 • ファクスの直接送信 • ファクスをメモリーから送信 • PC ファクスジョブをパソコンから受信 • PC ファクスジョブを送信

使用中の機能	同時に処理できる機能
インターネットファクスを受信（受信したファクスの印刷は除く）	<ul style="list-style-type: none"> • コピー • スキャン • 送信ファクスをメモリーに蓄積 • ファクスをメモリーから送信 • ファクスをメモリーから送信 • メモリーに受信したファクスの印刷 • プリントジョブの印刷 • PC ファクスジョブをパソコンから受信 • PC ファクスジョブを送信
プリントジョブの印刷	<ul style="list-style-type: none"> • スキャン*² • 送信ファクスをメモリーに蓄積 • ファクスの直接送信*³ • ファクスをメモリーから送信*³ • インターネットファクスを受信（受信したファクスの印刷は除く） • PC ファクスジョブを送信
PictBridge の印刷	<ul style="list-style-type: none"> • スキャン（USB メモリー送信以外）*⁴ • ファクスの直接送信 • ファクスをメモリーから送信 • 送信ファクスをメモリーに蓄積 • インターネットファクスを送信 • インターネットファクスを受信（受信したファクスの印刷は除く） • PC ファクスジョブをパソコンから受信 • PC ファクスジョブを送信
PC ファクスジョブをパソコンから受信	<ul style="list-style-type: none"> • コピー • スキャン • ファクスをメモリーに受信 • 受信ファクスの即時印刷 • メモリーに受信したファクスの印刷 • インターネットファクスを受信 • PictBridge の印刷 • PC ファクスジョブを送信
PC ファクスジョブを送信	<ul style="list-style-type: none"> • コピー • スキャン • インターネットファクスを送信 • インターネットファクスを受信 • プリントジョブの印刷 • PC ファクスジョブをパソコンから受信

*1 [グラデーション:] が [標準] または [画質優先] に設定されているとき、印刷は読み取りが終了すると開始されます。

*2 [グラデーション:] が [標準] または [画質優先] に設定されているとき、読み取りはできません。

- *3 [グラデーション:] が [画質優先] に設定されているとき、ファクスの送信はできません。
- *4 メモリーの空き容量が少ないとき、PictBridge 印刷が行えないことがあります。
- *5 [グラデーション:] が [標準] または [画質優先] に設定されているとき、印刷がキャンセルされることがあります。
- *6 ファクスの印刷中に操作部でスキャンをすると、特に原稿ガラスで複数の原稿をスキャンしたときは、印刷に時間がかかることがあります。

↓ 補足

- 同時に処理できない機能を使おうとすると、本機からビープ音が鳴るか、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。このとき、処理中のジョブが終了してから、もう一度お試しください。

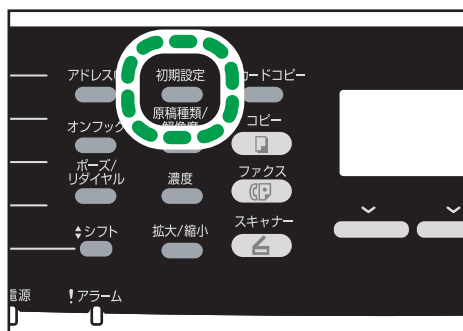
ダイレクト機能呼出しを設定する

よく使用する機能を操作部の [ID カードコピー] キーに事前に設定しておくことで、キー操作ひとつで設定が呼び出せます。

- ID カードコピーモード
- ファクス自動印刷設定
- ファクス直接送信
- ファクスアドレス帳
- スキャナー宛先選択

操作部を使用して機能を設定する

1. [初期設定] キーを押します。



DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。

4. [▲] [▼] キーを押して [ダイレクト機能呼出し設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して設定する機能を選択し、[OK] キーを押します。
6. [初期設定] キーを押して、画面を戻します。

↓ 補足

- [管理者用設定をロック] で、[管理者用設定] にアクセスするためのパスワードを設定できます。

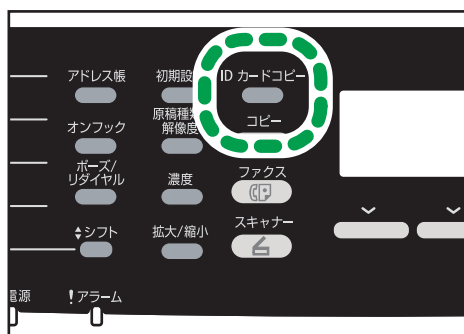
Web Image Monitor を使用して機能を設定する

★ 重要

- この設定は、[管理者] ページで管理者パスワードが設定されているときに表示されます。
1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。
 2. [システム初期設定] をクリックします。
 3. [ダイレクト機能呼出し] タブをクリックします。
 4. 設定する機能を選択します。
 5. 管理者のパスワードを入力します。
 6. [OK] をクリックします。
 7. Web ブラウザーを閉じます。

設定呼び出し機能を使用する

1. [ID カードコピー] キーを押します。



DAC444

設定された機能が呼び出されます。

本機を接続する

パソコンと本機を接続する方法について説明します。

ネットワークケーブルで接続する

⚠ 注意



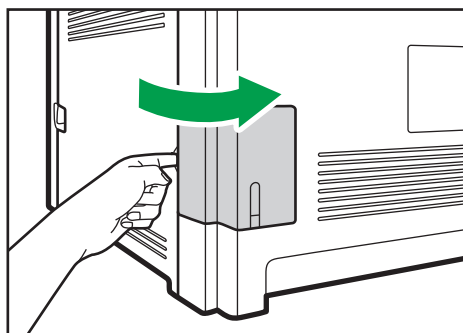
- 電話回線などの過電圧が加わる恐れのあるネットワークをイーサネットポートに接続しないでください。間違って接続すると、火災および感電の危険があります。

ネットワークケーブルやハブ（HUB）などネットワーク機器を準備してから、本機のイーサネットポートに、10BASE-T または 100BASE-TX のケーブルを接続してください。

★重要

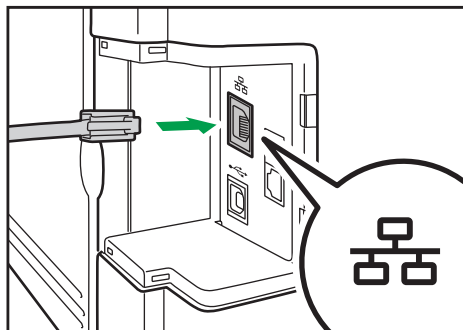
- シールドイーサネットケーブルを使用してください。シールドケーブル以外では、電磁波の妨害により不具合が生じることがあります。
- ネットワークケーブルは同梱されていません。使用するネットワーク環境に合わせて準備してください。

1. ケーブルカバーを外します。



DAC098

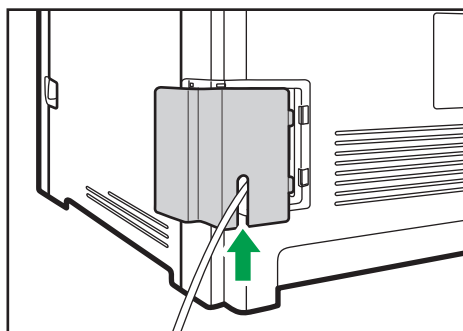
2. 本体背面のイーサネットポートにケーブルを接続します。



DAC316

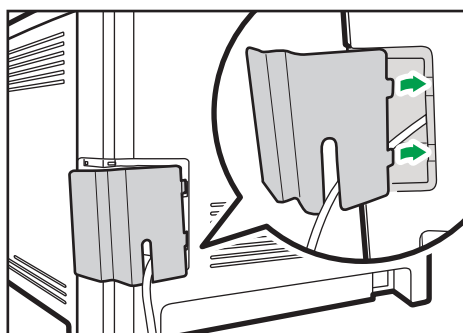
3. ケーブルの片方のコネクタをハブ（HUB）などのネットワーク機器に接続します。

4. ケーブルカバーの切りかき部にケーブルを通します。



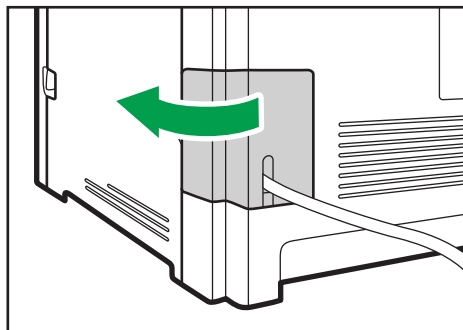
DAC100

5. ケーブルカバーの突起部 2 個所を本機の穴 2 個所に合わせます。



DAC097

6. ケーブルカバーを取り付けます。

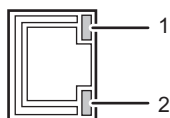


DAC099

↓ 補足

- ネットワーク環境の設定について詳しくは、P.47「IP アドレスの設定をする」を参照してください。
- ネットワーク接続のプリンタードライバーをインストールする方法について詳しくは、P.64「ドライバーやソフトウェアをインストールする」を参照してください。

LED の見かた



DAC130

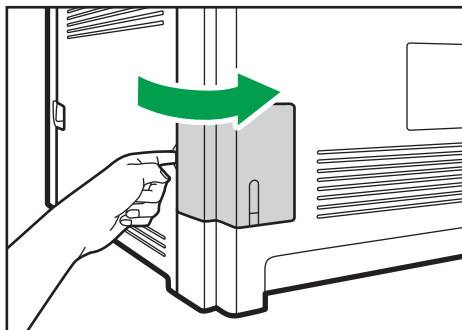
1. 黄色：100BASE-TX、または 10BASE-T の動作時に点滅します。
2. 緑色：ネットワークが正常に接続しているときに点灯します。

USB ケーブルで接続する

★ 重要

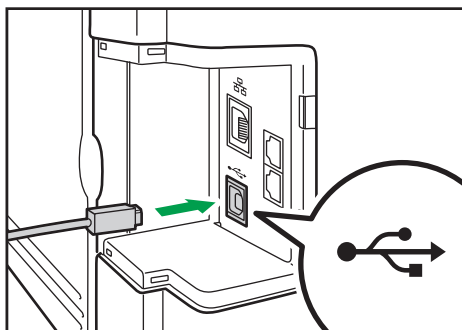
- USB 2.0 インターフェースケーブルは、同梱されていません。USB 2.0 インターフェースケーブル B-TYPE を準備してください。
- Macintosh ではパソコン本体標準の USB ポートのみ対応しています。

1. ケーブルカバーを外します。



DAC098

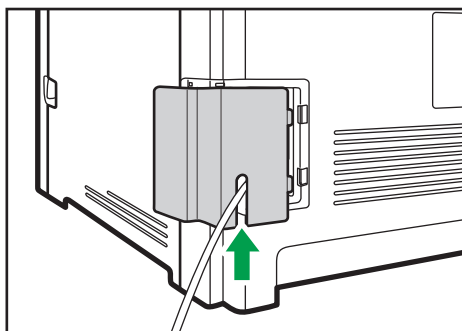
2. USB ポートに、USB 2.0 ケーブルの四角い方のコネクタを接続します。



DAC317

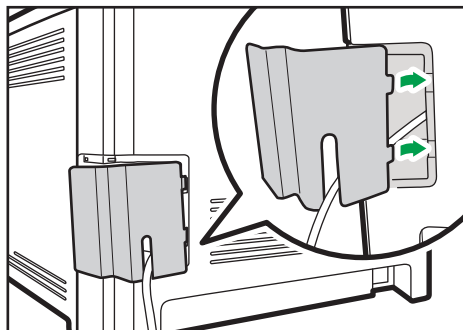
3. ケーブルの片方のコネクタをパソコンの USB ポート、またはハブに接続します。

4. ケーブルカバーの切りかき部にケーブルを通します。



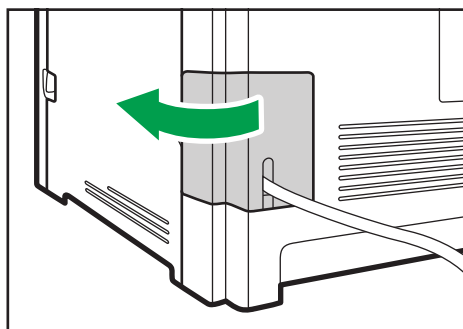
DAC100

5. ケーブルカバーの突起部 2 個所を本機の穴 2 個所に合わせます。



DAC097

6. ケーブルカバーを取り付けます。



DAC099

↓ 補足

- USB 接続のプリンタードライバーをインストールする方法については、P.64 「ドライバーやソフトウェアをインストールする」を参照してください。

ネットワークを設定する

本機をネットワーク環境に接続するための設定について説明します。

IP アドレスの設定をする

2

IP アドレス (IPv4 または IPv6) を自動的に取得するように設定するとき (DHCP) と、手動で指定するときとで、ネットワークの設定手順が異なります。

↓ 補足

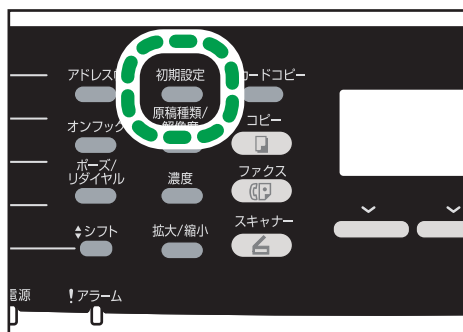
- [管理者用設定をロック] で、[ネットワーク設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。
- 使用しているネットワーク環境で、特定のイーサネット通信速度が要求されるときは、[ネットワーク設定] の [イーサネット速度設定] で通信速度を設定してください。詳しくは、P.213 「ネットワーク設定」を参照してください。

IPv4 アドレスを手動で指定する

★ 重要

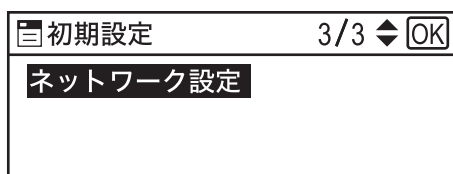
- 本機に割り当てられた IPv4 アドレスは、同じネットワーク上のほかのどの機器とも共用できません。

1. [初期設定] キーを押します。

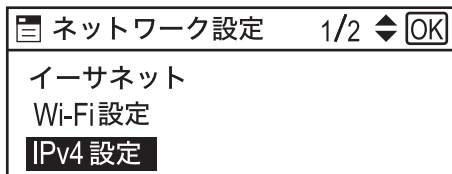


DAC448

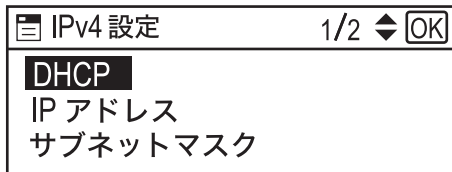
2. [▲] [▼] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。



3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [IPv4 設定] を選択し、[OK] キーを押します。



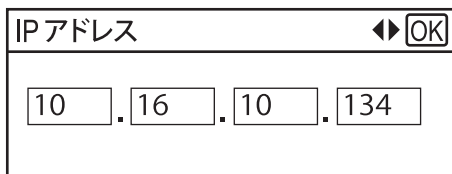
5. [▲] [▼] キーを押して [DHCP] を選択し、[OK] キーを押します。



6. [▲] [▼] キーを押して [無効] を選択し、[OK] キーを押します。
7. [▲] [▼] キーを押して [IP アドレス] を選択し、[OK] キーを押します。



8. テンキーで本機の IPv4 アドレスを入力し、[OK] キーを押します。



[◀] [▶] キーでフィールドを移動できます。

9. [▲] [▼] キーを押して [サブネットマスク] を選択し、[OK] キーを押します。
10. テンキーでサブネットマスクを入力し、[OK] キーを押します。
[◀] [▶] キーでフィールドを移動できます。
11. [▲] [▼] キーを押して [ゲートウェイアドレス] を選択し、[OK] キーを押します。
12. テンキーでゲートウェイアドレスを入力し、[OK] キーを押します。
[◀] [▶] キーでフィールドを移動できます。

13. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。
14. 再起動を要求されたときは、本機の電源を一度切ってから、もう一度入れ直してください。
15. システム設定リストを印刷して、設定を確認してください。

↓ 補足

- [DHCP] が有効になっているときは、手動で指定した IPv4 アドレスは使用されません。

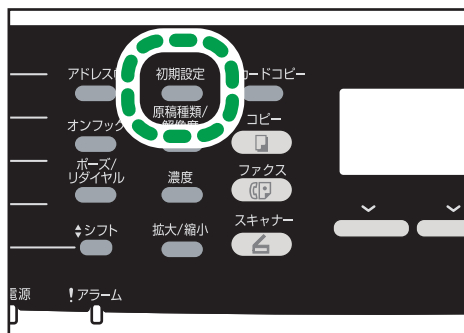
2

IPv4 アドレスを自動的に取得する

★ 重要

- IPv4 アドレスを自動的に取得するには、DHCP サーバーが必要です。

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [IPv4 設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [DHCP] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] [▼] キーを押して [有効] を選択し、[OK] キーを押します。
7. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。
8. 再起動を要求されたときは、本機の電源を一度切ってから、もう一度入れ直してください。
9. システム設定リストを印刷して、設定を確認してください。

↓ 補足

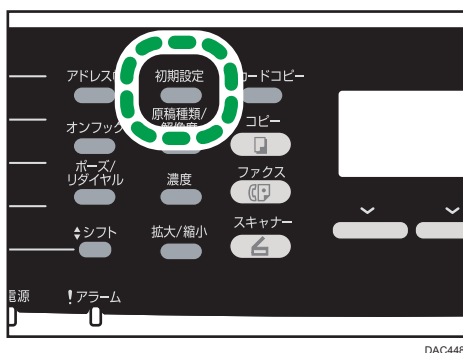
- [DHCP] が有効になっているときは、手動で指定した IP アドレスは使用されません。

IPv6 アドレスを手動で指定する

★重要

- 本機に割り当てられた IPv6 アドレスは、同じネットワーク上の他のどの機器とも共用できません。

1. [初期設定] キーを押します。



DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [IPv6 設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [DHCP] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] [▼] キーを押して [無効] を選択し、[OK] キーを押します。
7. [▲] [▼] キーを押して [手動設定アドレス] を選択し、[OK] キーを押します。
8. [▲] [▼] キーを押して [手動設定アドレス] を選択し、[OK] キーを押します。
9. テンキーで本機の IPv6 アドレスを入力し、[OK] キーを押します。
10. [▲] [▼] キーを押して [プレフィックス長] を選択し、[OK] キーを押します。
11. テンキーでプレフィックス長を入力し、[OK] キーを押します。
12. [▲] [▼] キーを押して [ゲートウェイアドレス] を選択し、[OK] キーを押します。
13. テンキーでゲートウェイアドレスを入力し、[OK] キーを押します。
14. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

15. 再起動を要求されたときは、本機の電源を一度切ってから、もう一度入れ直してください。

16. システム設定リストを印刷して、設定を確認してください。

↓ 補足

- [DHCP] が有効になっているときは、手動で指定した IPv6 アドレスは使用されません。

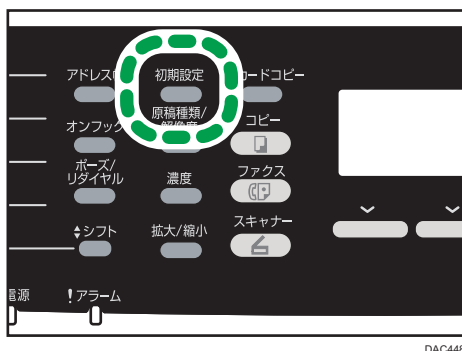
2

IPv6 アドレスを自動的に取得する

★ 重要

- IPv6 アドレスを自動的に取得するには、DHCP サーバーが必要です。

1. [初期設定] キーを押します。



DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [IPv6 設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [DHCP] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] [▼] キーを押して [有効] を選択し、[OK] キーを押します。
7. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。
8. 再起動を要求されたときは、本機の電源を一度切ってから、もう一度入れ直してください。
9. システム設定リストを印刷して、設定を確認してください。

ネットワークプリンターを使う

本機をネットワークプリンターとして使うための設定について説明します。
共有プリンターは、ネットワーク上のパソコンから使用できます。

★重要

- この操作を行うには、Windows のログオン時に管理者権限が必要です。
Administrators グループのメンバーでログオンしてください。

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 :
[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。
- Windows Vista、Windows Server 2008 :
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。
[ハードウェアとサウンド] のカテゴリの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows 8、Windows Server 2012 :
チャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. プリンターのプロパティを表示します。

- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 :
本機のアイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。
- Windows Vista、Windows Server 2008 :
本機のアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :
本機のアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] をクリックします。
- Windows 8、Windows Server 2012 :
本機のアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [共有] タブの [このプリンタを共有する:] をクリックします。

4. ほかのバージョンの Windows を実行しているユーザーとプリンターを共有するときは、[追加ドライバ...] をクリックします。

プリンタードライバーのインストール時に、[このプリンタを共有する:] を選択し、代替ドライバーをすでにインストール済みのときは、この手順を省略してください。

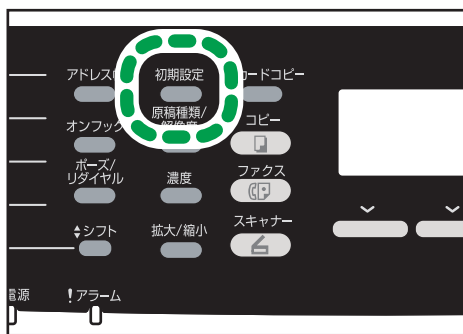
5. [詳細設定] タブの [標準の設定...] をクリックします。
6. ネットワーク上のパソコンで使用するプリンターの初期設定を設定し、[OK] をクリックします。
7. [OK] をクリックします。

無線 LAN を設定する

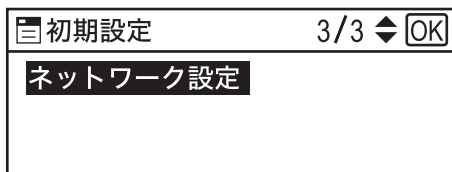
無線 LAN を有効にする

2

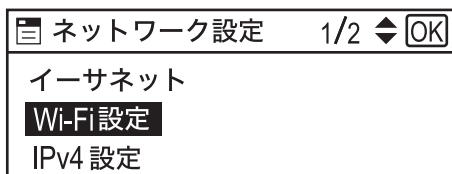
1. [初期設定] キーを押します。



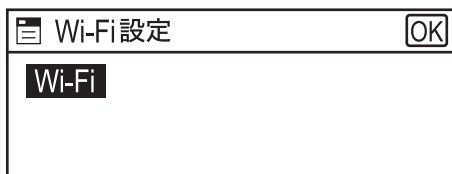
2. [▲] [▼] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。



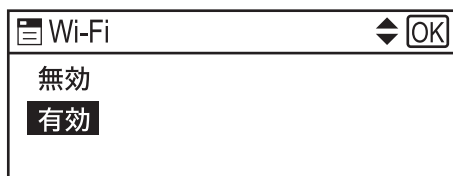
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [Wi-Fi 設定] を選択し、[OK] キーを押します。



5. [▲] [▼] キーを押して [Wi-Fi] を選択し、[OK] キーを押します。



6. [▲] [▼] キーを押して [有効] を選択し、[OK] キーを押します。



7. [初期設定] キーを押して、初期画面に戻ります。
8. 再起動を要求されたときは、本機の電源を一度切ってから、もう一度入れ直してください。

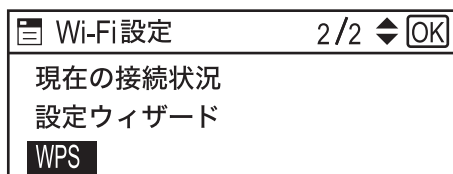
↓ 補足

- [管理者用設定をロック] で、[ネットワーク設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。[管理者用設定をロック] について詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。

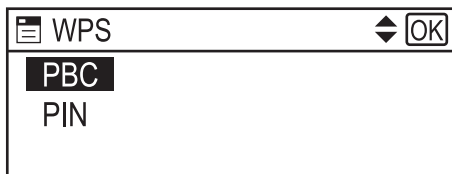
プッシュボタンを使って設定する

★ 重要

- 本機からネットワークケーブルが外れていることを確認してください。
1. アクセスポイント（ルーター）が起動していることを確認します。
 2. [初期設定] キーを押します。
 3. [▲] [▼] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。
 4. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
 5. [▲] [▼] キーを押して [Wi-Fi 設定] を選択し、[OK] キーを押します。
 6. [▲] [▼] キーを押して [WPS] を選択し、[OK] キーを押します。

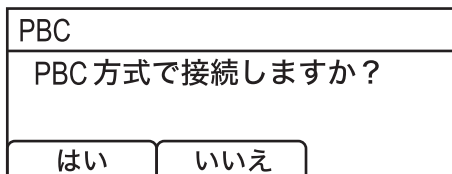


7. [▲] [▼] キーを押して [PBC] を選択し、[OK] キーを押します。



2

8. [はい] を押します。



「[AP] を押してください2分以内」と表示されたら、PBC方式で接続を開始してください。

9. 2分以内にアクセスポイント（ルーター）のWPSボタンを押します。

WPSボタンの使用方法は、アクセスポイント（ルーター）や無線LANルーターの取扱説明書を参照してください。

10. 結果を確認します。

正常に接続：「APへの接続 成功しました」と表示されます。

接続に失敗：「APへの接続 失敗しました」と表示されます。

11. [確認] を押します。

手順7に戻ります。

12. [初期設定] キーを押して、初期画面に戻ります。

接続に失敗したときは、アクセスポイント（ルーター）の設定などを確認後、再度、接続の操作を行ってください。

↓ 補足

- 無線LANの設定が終わったあとにドライバーをインストールします。ドライバーのインストールについて詳しくは、P.64「ドライバーやソフトウェアをインストールする」を参照してください。
- [管理者用設定をロック] で、[ネットワーク設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。[管理者用設定をロック] について詳しくは、P.206「管理者用設定」を参照してください。

PIN コードを使って設定する

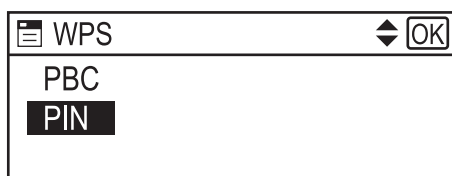
PIN コードを使用して接続するには、アクセスポイント（ルーター）に接続されたコンピュータを使用します。

★重要

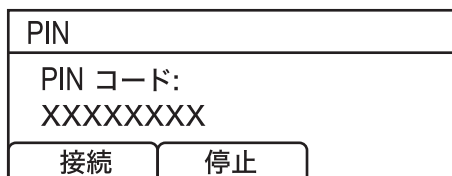
- 本機からネットワークケーブルが外れていることを確認してください。
1. アクセスポイント（ルーター）が起動していることを確認します。
 2. パソコンでアクセスポイント（ルーター）の PIN コード設定画面を開きます。



3. [初期設定] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
6. [▲] [▼] キーを押して [Wi-Fi 設定] を選択し、[OK] キーを押します。
7. [▲] [▼] キーを押して [WPS] を選択し、[OK] キーを押します。
8. [▲] [▼] キーを押して [PIN] を選択し、[OK] キーを押します。



9. 表示された PIN コードを確認します。



PIN コードを書き留めてください。

10. パソコンの PIN コード設定画面で、PIN コードを入力します。



11. 操作部の [接続] を押します。

「お待ちください 2分」と表示されます。

12. 結果を確認します。

正常に接続：「AP への接続 成功しました」と表示されます。

接続に失敗：「AP への接続 失敗しました」と表示されます。

13. [確認] を押します。

手順 8 に戻ります。

14. [初期設定] キーを押して、初期画面に戻ります。

接続に失敗したときは、アクセスポイント（ルーター）の設定などを確認後、再度、接続の操作を行ってください。

↓ 補足

- 無線 LAN の設定が終わったあとにドライバーをインストールします。ドライバーのインストールについて詳しくは、P.64 「ドライバーやソフトウェアをインストールする」を参照してください。
- [管理者用設定をロック] で、[ネットワーク設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。[管理者用設定をロック] について詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。

無線 LAN を手動設定する

アクセスポイント（ルーター）の SSID と暗号化キーは、アクセスポイント（ルーター）に貼付されたラベルに印字されている可能性があります。

SSID と暗号化キーの詳細については、アクセスポイント（ルーター）の取扱説明書を参照してください。

★ 重要

- アクセスポイント（ルーター）を使用するときは同じ認証方式および暗号化方式を選択する必要があります。アクセスポイント（ルーター）の設定画面で確認してください。
- 本機からネットワークケーブルが外れていることを確認してください。

1. アクセスポイント（ルーター）が起動していることを確認します。
2. [初期設定] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。
4. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [Wi-Fi 設定] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] [▼] キーを押して [設定ウィザード] を選択し、[OK] キーを押します。

Wi-Fi設定	2/2	OK
現在の接続状況		
設定ウィザード		
WPS		

7. [▲] [▼] キーを押して [インフラストラクチャー] を選択し、[次へ] を押します。

設定ウィザード	◆
インフラストラクチャー	
アドホック	
次へ	

8. [▲] [▼] キーを押して使用する SSID を選択し、[次へ] を押します。

検索一覧	1/3	◆
SSID を入力		
LAN router-001		
前へ	次へ	

使用する SSID が見つからないときは、テンキーを使って SSID を入力し、[次へ] を押します。

SSID	
<input type="text"/>	
[最大32文字]	
前へ	次へ

使用できる文字は ASCII の 0x20-0x7e（32 バイト）です。

9. 認証方式を選択して、[次へ] を押します。

認証	2/2	◆
WPA-2PSK		
WPA2/WPA 混在モード		
前へ	次へ	

次の手順は、選択した認証方法によって異なります。

「WPA2-PSK」、または「WPA2/WPA 混在モード」を選択したとき

1. テンキーを使って暗号化キーを入力し [接続] を押します。

WPA2 パスフレーズ	
キー:	<input type="text"/>
8-63 字/64Hx	
前へ	接続

パスフレーズで入力できる文字列は 8～63 文字の ASCII 文字 (0x20-0x7e) か 64 文字の 16 進数 (0-9, A-F, a-f) です。

「オープンシステム」、または「共有キー」を選択したとき

1. 暗号化方法を入力し、[次へ] を押します。

暗号化	1/2	◆
WEP 64 ビット Hex		
WEP 64 ビット ASCII		
前へ	次へ	

暗号化の方法については、以下を参照してください：

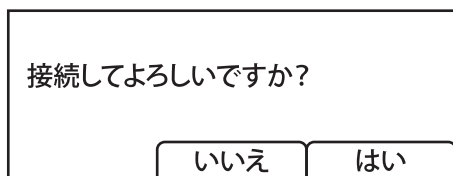
暗号化方法	入力できる文字の最大数
WEP 64 ビット ASCII	5 文字 (0x20-0x7e)
WEP 64 ビット Hex	10 文字 (0-9, A-F, a-f)
WEP 128 ビット ASCII	13 文字 (0x20-0x7e)
WEP 128 ビット Hex	26 文字 (0-9, A-F, a-f)

2. テンキーを使って暗号化キーと ID を入力し、[接続] を押します。

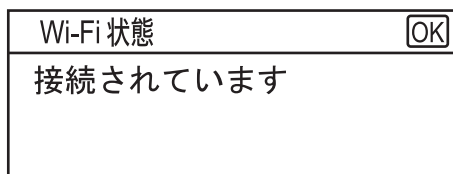
WEPキー	
キー:	<input type="text"/> (10文字)
ID:	<input type="text"/> (1-4を入力)
前へ	接続

ID は、暗号化キーを識別するために使用されます。1-4 を登録できます。

10. [はい] を押します。



11. [▲] [▼] キーを押して [Wi-Fi 状態] を選択し、[OK] キーを押します。



「接続されています」と表示されたときは、接続に成功しています。

「接続されていません」と表示されたときは、接続に失敗しています。最初からやり直してください。

↓ 補足

- 無線 LAN の設定が終わったあとにドライバーをインストールします。ドライバーのインストールについて詳しくは、P.64 「ドライバーやソフトウェアをインストールする」を参照してください。
- [管理者用設定をロック] で、[ネットワーク設定] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。

無線 LAN で機器に直接接続する

無線 LAN を搭載した機器（ノートパソコンなど）に直接接続するための手順を説明します（アドホックモード）。

★ 重要

- アドホックモードは、「オープンシステム」と「共有キー」が対応しています。
- アドホックモードは、「WPA2-PSK」と「WPA2/WPA 混在モード」は対応していません。

1. [初期設定] キーを押します。
2. [▲] [▼] キーを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. パスワードが設定されているときは、管理者のパスワードを入力し [OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [Wi-Fi 設定] を選択し、[OK] キーを押します。

5. [▲] [▼] キーを押して [設定ウィザード] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] [▼] キーを押して [アドホック] を選択し、[次へ] を押します。

設定ウィザード	◆
インフラストラクチャー	
アドホック	
次へ	

7. [▲] [▼] キーを押して周波数チャンネルを選択し、[次へ] を押します。
接続する機器に対応するチャンネルを選択します。
8. [▲] [▼] キーを押して検索一覧から SSID を選択し、[次へ] を押します。

検索一覧	1/3	◆
SSID を入力		
LAN router-001		
前へ	次へ	

使用する SSID が見つからないときは、[SSID を入力] を選択し、テンキーを使って入力します。

9. [▲] [▼] キーを押して認証方法を選択し、[次へ] を押します。

認証	2/2	◆
WPA-2PSK		
WPA2 /WPA 混在モード		
前へ	次へ	

10. [▲] [▼] キーを押して暗号化方法を選択し、[次へ] を押します。

暗号化	1/2	◆
WEP 64 ビット Hex		
WEP 64 ビット ASCII		
前へ	次へ	

11. テンキーを使って暗号化キーと ID を入力し、[接続] を押します。

WEP キー	
キー : <input type="text"/> (10文字)	
ID : <input type="text"/> 1 (1-4を入力)	
前へ	接続

ID は、暗号化キーを識別するために使用されます。1-4 を登録できます。

12. [はい] を押します。

接続してよろしいですか?	
いいえ	はい

13. [▲] [▼] キーを押して、[Wi-Fi 状態] を選択し、[OK] キーを押します。

「接続されています」と表示されたときは、接続に成功しています。

「接続されていません」と表示されたときは、接続に失敗しています。最初からやり直してください。

ドライバーやソフトウェアをインストールする

本機を使用するために必要なドライバーやソフトウェアは、付属の CD-ROM からインストールします。パソコンに CD-ROM をセットすると、自動的に CD-ROM が起動し、メニューが表示され、インストール方法やインストールするソフトウェアを選択できます。

★重要

- プリンタードライバーと TWAIN ドライバーは、Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012、Mac OS X に対応しています。

ご使用の OS および接続方法に応じて適切な方法を選択してください。

USB おすすめインストール

USB ケーブル経由で本機をパソコンに接続するときは、この方法を選択してプリンターと TWAIN ドライバーをまとめてインストールします。

ネットワークおすすめインストール

ネットワーク経由で本機をパソコンに接続するときは、この方法を選択してプリンターと TWAIN ドライバーをまとめてインストールします。

単独インストール

プリンタードライバー、PC ファクスドライバー、TWAIN ドライバーを個別にインストールします。

↓補足

- Mac OS X でのインストール手順は、P.74 「Mac OS X にドライバーをインストールする」を参照してください。

接続方法を確認する

本機は、ネットワーク接続またはローカル接続ができます。プリンタードライバーをインストールする前に、本機をどのように接続したかを確認します。

使用する接続方法でのインストール方法を参照し、プリンタードライバーをインストールしてください。

ネットワーク接続で使用する

ネットワーク接続では、Windows の印刷ポートを使用して本機へダイレクト印刷 (Peerto-Peer ネットワーク)、またはサーバーを使用してクライアントから印刷するネットワークプリンターとして本機を使用します。

Windows の印刷ポートを使用する

ネットワーク接続でのインターフェースは、イーサネットまたは無線 LAN を使用します。

接続方法	使用できるポート
<ul style="list-style-type: none"> イーサネット 無線 LAN 	<ul style="list-style-type: none"> Standard TCP/IP ポート (IPv4 環境で使用可) IPP ポート

↓ 補足

- ポートを指定してドライバーをインストールする方法は、P.69 「ポートを指定してインストールする」を参照してください。

プリントサーバーを使用する

本機は Windows プリントサーバーを、ネットワークプリンターとして使用できます。

クライアントの OS	使用できるサーバー
<ul style="list-style-type: none"> Windows XP Windows Vista Windows 7 Windows 8 Windows Server 2003/2003 R2 Windows Server 2008/2008 R2 Windows Server 2012 	<ul style="list-style-type: none"> Windows XP プリントサーバー Windows Vista プリントサーバー Windows 7 プリントサーバー Windows 8 プリントサーバー Windows Server 2003/2003 R2 プリントサーバー Windows Server 2008/2008 R2 プリントサーバー Windows Server 2012 プリントサーバー

↓ 補足

- プリントサーバーを使用したドライバーのインストール方法は、P.71 「Windows プリントサーバーを使用する」を参照してください。

ローカル接続で使用する

ローカル接続には、USB 接続があります。

↓ 補足

- 接続環境に沿ったドライバーのインストール方法は、P.72 「USB で接続する」を参照してください。

USB おすすめインストール

USB ケーブル経由で本機をパソコンに接続するときは、この方法を選択してプリンターと TWAIN ドライバーをまとめてインストールします。

★重要

- 操作手順は、ご使用の OS によって異なることがあります。
- この操作を行うには、Windows のログオン時に管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーでログオンしてください。
- 本機の電源が入っていないこと、および USB ケーブルが接続されていないことを確認してから、インストールを始めてください。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。
3. [USB おすすめインストール] をクリックします。
4. ソフトウェア使用許諾契約書を読み、[同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。
5. セットアップの種別を選択し、[次へ] をクリックします。
6. プリンターを選択し、[次へ] をクリックします。
7. 本機の電源がオフで、USB ケーブルが接続されていないことを確認し、[次へ] をクリックします。
ファイルのコピーが完了するまで、しばらく待ちます。
8. USB ケーブルで本機とパソコンを接続してから本機の電源を入れます。
自動検出が始まります。
自動検出を中止するには [自動認識中止] をクリックしてください。
9. 本機を通常使うプリンターに設定するときには、[はい] を選択します。
10. インストールが正常に完了したとメッセージが表示されたら [完了] をクリックします。
再起動が必要なときは、今すぐ再起動するか、あとで再起動するかを選択してください。

ネットワークおすすめインストール

本機をネットワークに接続するときは、この方法を選択してプリンターと TWAIN ドライバーをまとめてインストールします。

★重要

- 操作手順は、ご使用の OS によって異なることがあります。
- この操作を行うには、Windows のログオン時に管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーでログオンしてください。

- この手順を始める前に、本機に IP アドレスを割り当ててください。詳しくは、P.47「IP アドレスの設定をする」を参照してください。
1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
 2. 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。
 3. [ネットワークおすすすめインストール] をクリックします。
 4. ソフトウェア使用許諾契約書を読み、[同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。
 5. セットアップの種別を選択し、[次へ] をクリックします。
 6. プリンターの追加方法を選択し、[次へ] をクリックします。
[プリンターを自動検索する] が選択されていることを確認します。
[IP アドレスを指定して検索する]、または [ポートの選択または、ポートの作成を行う] を選択することもできます。
 7. プリンターの電源がオンになっていること、ネットワークに接続していることを確認し、[次へ] をクリックします。
 8. プリンターを選択し、[次へ] をクリックします。
 9. [プリンタードライバーの導入] ダイアログで本機の名前を選択し、必要な設定を行ってから [完了] をクリックします。
 10. インストールが正常に完了したとメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。
再起動が必要なときは、今すぐ再起動するか、あとで再起動するかを選択してください。

単独インストール

ここでは、プリンター、TWAIN ドライバーを個別にインストールする方法を説明します。

プリンタードライバー

プリンタードライバーのインストールは、P.68「プリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

PC ファクスドライバー

PC ファクスドライバーのインストールは、『使用説明書<ファクス機能編>』「PC ファクスドライバーをインストールする」を参照してください。

TWAIN ドライバー

次の手順で、TWAIN ドライバーをインストールしてください。

★重要

- 操作手順は、ご使用の OS によって異なることがあります。
- この操作を行うには、Windows のログオン時に管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーでログオンしてください。
- この手順を始める前に、本機に IP アドレスを割り当ててください。詳しくは、P.47 「IP アドレスの設定をする」を参照してください。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。
3. [TWAIN ドライバー (スキャナードライバー)] をクリックします。
4. [次へ] をクリックします。
5. ソフトウェア使用許諾書を読み、[はい] をクリックします。
6. インストールが正常に完了したとメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。

↓補足

- ネットワーク経由で TWAIN のスキャンを行うには、TWAIN ドライバーをインストールしたあとに、本機の IP アドレスを指定してください。IP アドレスは、TWAIN ドライバーを起動して [一般] タブをクリックし、「読み取り設定」から [スキャナー:] の [更新] ボタンをクリックして指定します。
- [更新] ボタンで本機の IP アドレスを検索できないときは、手動で IP アドレスを指定してください。[スキャナー:] で [スキャナー IP アドレス追加...] を選択し、表示されたダイアログボックスで IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

プリンタードライバーをインストールする

ここでは、プリンターをインストールする方法を説明します。

★重要

- 操作手順は、ご使用の OS によって異なることがあります。
- この操作を行うには、Windows のログオン時に管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーでログオンしてください。
- この手順を始める前に、本機に IP アドレスを割り当ててください。詳しくは、P.47 「IP アドレスの設定をする」を参照してください。

ポートを指定してインストールする

ポートを指定してプリンタードライバーをインストールします。使用するポートでのインストール方法をお読みください。

↓ 補足

- ドライバーのインストール中に、[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [OK] をクリックします。
- ドライバーのインストール中に、[Windows セキュリティ] ダイアログが表示されたときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。

ポートの種類	参照先
Standard TCP/IP ポート	P.69 「Standard TCP/IP ポートを使用する」
IPP ポート	P.70 「IPP ポートを使用する」

Standard TCP/IP ポートを使用する

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。
3. [DDST プリンタードライバー] をクリックします。
4. ソフトウェア使用許諾契約書を読み、[同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。
5. セットアップの種別を選択し、[次へ] をクリックします。
6. プリンターの追加方法を選択し、[次へ] をクリックします。
[プリンターを自動検索する] が選択されていることを確認します。
[IP アドレスを指定して検索する]、または [ポートの選択または、ポートの作成を行う] を選択することもできます。
7. 本機の電源がオンになっていること、およびネットワークに接続していることを確認し、[次へ] をクリックします。
8. プリンターを選択し、[次へ] をクリックします。
9. [プリンタードライバーの導入] ダイアログで本機の名前を選択し、必要な設定をしてから [完了] をクリックします。
10. インストールが正常に完了したとメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。
再起動が必要なときは、今すぐ再起動するか、あとで再起動するかを選択してください。

↓ 補足

- Windows 8 または Windows Server 2012 のときは、[自動再生] ダイアログが数秒間しか表示されません。[自動再生] ダイアログが消えたときは、以下の手順で CD-ROM を再生してください。
 1. チャームバーで [検索] をクリックし、[コンピューター] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。

IPP ポートを使用する

★ 重要

- Windows Vista/7/8 または Windows Server 2008/2008 R2/2012 を使用するとき、IPP-SSL 経由で印刷するときは、IPP ポートでプリンタードライバをインストールする前に、パソコンに機器の証明書をインストールしてください。
1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
 2. [スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 8 または Windows Server 2012 のときは、チャームバーで [検索] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 3. [プリンターの追加] をクリックします。

Windows 8 または Windows Server 2012 のときは、手順 5 に進みます。
 4. [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します] を選択し、[次へ] をクリックします。
 5. [探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。
 6. [共有プリンターを名前を選択する] を選択し、ボックスに「http:// (本機の IP アドレス) /printer」または「http:// (本機の IP アドレス) /ipp」と入力します。
 7. [次へ] をクリックします。
 8. [ディスク使用...] をクリックします。
 9. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

[自動再生] ダイアログが表示されたら、[閉じる] をクリックします。
 10. [参照] をクリックし、ドライバーの収録先を指定します。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。
CD-ROM ドライブが D:¥ のときは、以下のフォルダーに収録されています。

- DDST

32bit 版 D: ¥DRIVERS¥DDST¥XP_VISTA¥DISK1

64bit 版 D: ¥DRIVERS¥DDST¥X64¥DISK1

11. [OK] をクリックします。
12. [プリンタの追加ウィザード] でインストールするプリンタードライバーを選択し、[OK] をクリックします。
13. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使用するプリンターに設定し、[次へ] をクリックします。
14. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。

2

Windows プリントサーバーを使用する

★重要

- プリンタードライバーをインストールする前に、プリントサーバーを正しく設定してください。
1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
 2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。
 3. [DDST プリンタードライバー] をクリックします。
 4. ソフトウェア使用許諾契約書を読み、[同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。
 5. セットアップの種別を選択し、[次へ] をクリックします。
 6. [ポートの選択または、ポートの作成を行う] を選択し、[次へ] をクリックします。
 7. [新しいポートを作成する] を選択し、[次へ] をクリックします。
 8. [ネットワークプリンター] を選択し、[次へ] をクリックします。
 9. ネットワークツリーで、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。
 10. インストールするプリンタードライバーを選択し、[OK] をクリックします。
[ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。
 11. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。
 12. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使用するプリンターに設定します。
 13. [完了] をクリックします。

14. [プリンタードライバーの導入] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

使用する機種によっては、このダイアログが表示されないことがあります。そのときは、次の手順に進んでください。

15. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

↓ 補足

- Windows 8 または Windows Server 2012 のときは、[自動再生] ダイアログが数秒間しか表示されません。[自動再生] ダイアログが消えたときは、以下の手順で CD-ROM を再生してください。
 1. チャームバーで [検索] をクリックし、[コンピューター] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
- ネットワークプリンターを使用するときは、クライアントに印刷通知されないことがあります。

USB で接続する

本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、プリンタードライバーをインストールする方法を説明します。

★ 重要

- **管理者権限が必要です。** Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

↓ 補足

- ドライバーのインストール中に、[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [OK] をクリックします。
- ドライバーのインストール中に、[Windows セキュリティ] ダイアログが表示されたときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。

Windows XP, Windows Server 2003/2003 R2

USB ケーブルを初めて使用したとき、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。
3. [新しいハードウェアの検出ウィザード] で [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] をチェックし、[次へ] をクリックします。

4. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM のオートランプログラムが起動したときは、[キャンセル] をクリックします。

5. [次の場所で最適のドライバを検索する] の [次の場所を含める] をチェックし、[参照] をクリックしてドライバーの収録先を指定します。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D:¥のときは、以下のフォルダーに収録されています。

- DDST
32bit 版 D:¥DRIVERS¥DDST¥XP_VISTA¥DISK1
64bit 版 D:¥DRIVERS¥DDST¥X64¥DISK1

6. [次へ] をクリックします。

ドライバーのインストールが開始されます。

7. [完了] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USBxxx」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタと FAX] ウィンドウに作成されます。

Windows Vista、Windows Server 2008

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。

2. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

3. [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。

4. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

5. 使用するプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

インストールを開始します。

6. [閉じる] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USBxxx」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

Windows 7/8、Windows Server 2008 R2/2012

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。

2. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

3. [スタート] ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 8 または Windows Server 2012 のときは、チャームバーで [検索] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

4. [未指定] で、インストールするプリンターのアイコンをダブルクリックします。
5. プリンタードライバのプロパティ画面で、[ハードウェア] タブをクリックします。
6. インストールするプリンターの名前を選択し、[プロパティ] をクリックします。
7. [設定の変更] をクリックします。
8. [ドライバー] タブをクリックします。
9. CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[閉じる] をクリックします。
10. [ドライバーの更新...] をクリックします。
11. [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します] をクリックします。
12. [参照...] をクリックして、ドライバーの収録先を指定します。
ここではドライバーの INF ファイルを指定します。
CD-ROM ドライブが D:¥のときは、以下のフォルダーに収録されています。
 - DDST
32bit 版 D:¥DRIVERS¥DDST¥XP_VISTA¥DISK1
64bit 版 D: ¥DRIVERS¥DDST¥X64¥DISK1
13. [次へ] をクリックします。
インストールを開始します。
14. [閉じる] をクリックします。
インストールが正常に終了すると、「USBxxx」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [デバイスとプリンター] ウィンドウに作成されます。

Mac OS X にドライバーをインストールする

本機に同梱の CD-ROM から、ドライバーをインストールします。

PPD ファイルをインストールする

Mac OS X では、OS に付属のプリンタードライバーを使用するため、PPD ファイルをインストールします。

★重要

- PPD ファイルをインストールするときは、管理者としてログインしてください。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
3. CD-ROM の [Mac OS X] フォルダをダブルクリックします。
4. [DDST ドライバー] フォルダをダブルクリックします。
5. [Mac OS X 10.6 or later] または [Mac OS X 10.5] フォルダをダブルクリックします。
6. パッケージファイルをダブルクリックします。
7. インストーラーの指示にしたがって操作します。

↓補足

- PPD ファイルは以下の場所に自動的にインストールされます。
- ¥ライブラリ¥Printers¥PPDs¥Contents¥Resources¥

TWAIN ドライバーをインストールする

スキャナーを使用するためには、TWAIN ドライバーをインストールします。

★重要

- TWAIN ドライバーをインストールするときは、管理者としてログインしてください。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
3. CD-ROM の [Mac OS X] フォルダをダブルクリックします。
4. [TWAIN ドライバー] フォルダをダブルクリックします。
5. [Mac OS X 10.6 or later] または [Mac OS X 10.5] フォルダをダブルクリックします。
6. パッケージファイルをダブルクリックします。
7. インストーラーの指示にしたがって操作します。

機器を登録する

機器を使用するには、機器をプリントリストに登録します。

電源を入れた機器とパソコンを接続した状態で以降の作業をしてください。

↓ 補足

- ネットワーク接続、USB 接続を使用するときは、機器とパソコンをケーブルで接続してください。
- プrintリストに多数のプリンタードライバーを組み込んでいると、すべての PPD ファイルが表示されないことがあります。
- Mac OS X の操作方法は使用している OS のバージョンによって多少異なります。本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。

1. システム環境設定を起動します。

2. [プリントとファクス] または [プリントとスキャン] をクリックします。

プリンターの一覧に、プラグアンドプレイで認識された本機が表示されていることを確認します。

3. 「+」 ボタンをクリックします。

4. [デフォルトブラウザ] または [デフォルト] をクリックします。

5. 検出された機器の一覧から、使用する機器を選択します。

「種類」または「接続」の項目で、機器との接続の種類（USB、Bonjour）が確認できます。

6. [ドライバ:] または [使用するドライバ:] で使用する機器の PPD ファイルを選択します。

PPD ファイルが自動的に選択されないときは、[使用するドライバを選択...] または [(機器の製造元)] を選択し、手動で PPD ファイルを指定します。PPD ファイルの格納先は、P.75 「PPD ファイルをインストールする」を参照してください。

7. [追加] をクリックします。

ドライバーのセットアップ中に [構成] をクリックすると、オプション構成を設定できます。詳しくは、P.117 「オプション構成や用紙の設定」を参照してください。

8. システム環境設定を終了します。

オプション構成を設定する

1. システム環境設定を起動します。

2. [プリントとファクス] または [プリントとスキャン] をクリックします。

3. 機器の一覧から使用する機器を選択し、[オプションとサプライ...] をクリックします。

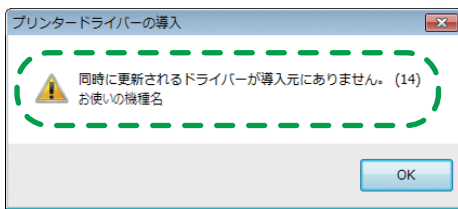
4. [ドライバ] をクリックします。
5. 必要に応じてオプションの構成を変更します。
6. [OK] をクリックします。
7. システム環境設定を終了します。

↓ 補足

- インストールできるオプションが表示されないときは、PPD ファイルが正しく設定されていません。[プリンタ情報] ダイアログの中に表示される、PPD ファイル名を確認してください。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

エラーメッセージ (13)、(14)、(34)、(58) が表示されたときは、オートランプログラムによるインストールはできません。



CHJ164

プリンタードライバーをアンインストールしたあと、インストールをし直してください。

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 :
[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。
- Windows Vista、Windows Server 2008 :
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。
[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows 8、Windows Server 2012 :
チャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. プリンターウィンドウで [プリンターの追加] または [プリンターのインストール] をクリックします。
3. 表示される指示にしたがって、プリンタードライバーをインストールします。

USB 接続がうまくいかないとき

2

ここでは、USB 接続に関連する問題の考えられる状態および対処方法を説明します。

状態	対処方法
電源コードまたは USB ケーブルが正しく接続されていない。	電源コードおよび USB ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また、破損していないことも確認してください。
本機が自動認識されない。	本機の電源を OFF にして、ケーブルを再接続し、接続した後、電源を ON にしてください。
Windows が自動的に USB 接続の設定をしてみました。	Windows のデバイスマネージャーを開き、不正なデバイスを [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] から削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の [!] がついたり、黄色の [?] になっています。誤って必要なデバイスを削除しないようにしてください。
USB 接続で、プリンター/TWAIN ドライバーが正しくインストールされていない。	本機の電源をオフにしてから USB ケーブルを抜いてください。そのあと、[USB おすすめインストール] をやり直します。本機の電源は、指示があったときにオンにしてください。
ソフトウェアのインストール中にエラーが発生した。	まず Windows を再起動してください。そのあと [スタート] メニューで [コントロールパネル] を選択してください。システムのアイコンをダブルクリックし、次に [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] をクリックしてください。[その他のデバイス] でプリンターを選択し、プロパティダイアログを開いてください。[全般] タブで [ドライバー再インストール] をクリックして、ドライバーを再インストールしてください。

ネットワーク接続がうまくいかないとき

ここでは、ネットワーク接続に関連する問題の考えられる状態および対処方法を説明します。

状態	対処方法
電源コードまたはネットワークケーブルが正しく接続されていない。	電源コードおよびネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また、破損していないことも確認してください。
本機の IP アドレスが指定されていない、または本機とパソコンが同じネットワーク上にない。	ネットワーク上で本機が見つからない場合、本機に IP アドレスが指定されていないか、パソコンと本機が同じネットワーク上にありません。この場合、本機の IP アドレスとネットワークの構成を確認してください。

3. 用紙の仕様とセット方法

本機で使用できる用紙種類やサイズ、用紙のセット方法について説明します。

用紙について

本機で使用できる用紙と使用できない用紙、用紙に関する注意、各種用紙についての詳細、および印刷可能範囲について説明します。

↓ 補足

- 用紙はサイズにかかわらず、すべて縦方向にセットしてください。
- 海外向けサイズの用紙は以下のとおりに表示されます。

本書の表記	Legal	Letter	5 ¹ / ₂ × 8 ¹ / ₂
操作部の表示	8 1/2 × 14	8 1/2 × 11	5 1/2 × 8 1/2
プリンタードライバーの表示	Legal (8 1/2" × 14")	Letter (8.5" × 11")	5 1/2" × 8 1/2"

使用できる用紙の種類とサイズ

各給紙トレイにセットできる用紙の種類、サイズと用紙厚について説明します。また、各給紙トレイにセットできる最大枚数についても説明します。

★ 重要

- 用紙をセットしたら、操作部で用紙種類と用紙サイズを設定してください。本機は用紙サイズを自動検知できません。
- トレイ1か手差しトレイに不定形サイズの用紙をセットしたときは、操作部とプリンタードライバーで用紙の縦と横（長さ×幅）の長さを設定してください。
- 手差しトレイで不定形サイズの用紙に印刷するときは、用紙設定の[手差しトレイ設定選択]の設定によっては、操作部で用紙種類、用紙サイズを設定せずに印刷できます。

給紙トレイ (トレイ 1)

種類	サイズ	用紙厚	最大セット枚数
薄紙 普通紙 中厚口 厚紙 1 厚紙 2 再生紙 色紙 印刷済み紙 パンチ済み紙 レターヘッド ボンド紙 カードストック ラベル紙 封筒	A4 B5 A5 B6 A6 Legal (8 ¹ / ₂ × 14 インチ) Letter (8 ¹ / ₂ × 11 インチ) 5 ¹ / ₂ × 8 ¹ / ₂ インチ 7 ¹ / ₄ × 10 ¹ / ₂ インチ 8 × 13 インチ 8 ¹ / ₂ × 13 インチ 8 ¹ / ₄ × 13 インチ 16K (195 × 267 mm) 郵便はがき 往復はがき 4 ¹ / ₈ × 9 ¹ / ₂ インチ 3 ⁷ / ₈ × 7 ¹ / ₂ インチ C5 封筒 (162 × 229 mm) C6 封筒 (114 × 162 mm) DL 封筒 (110 × 220 mm) 不定形サイズ： 幅 90~216 mm 長さ 148~356 mm	60~160 g/m ² (52~138 kg)	270 枚 (マイペーパー)

増設トレイ (トレイ 2) : オプション

種類	サイズ	用紙厚	最大セット枚数
薄紙 普通紙 中厚口 厚紙 1 再生紙 色紙 印刷済み紙 パンチ済み紙 レターヘッド	A4 Letter (8 ¹ / ₂ × 11 インチ)	60~105 g/m ² (52~90 kg)	540 枚 (マイペーパー)

手差しトレイ

種類	サイズ	用紙厚	最大セット枚数
薄紙 普通紙 中厚口 厚紙 1 厚紙 2 再生紙 色紙 パンチ済み紙 レターヘッド ボンド紙 カードストック ラベル紙 封筒	A4 B5 A5 B6 A6 Legal (8 ¹ / ₂ × 14 インチ) Letter (8 ¹ / ₂ × 11 インチ) 5 ¹ / ₂ × 8 ¹ / ₂ インチ 7 ¹ / ₄ × 10 ¹ / ₂ インチ 8 × 13 インチ 8 ¹ / ₂ × 13 インチ 8 ¹ / ₄ × 13 インチ 16K (195 × 267 mm) 郵便はがき 往復はがき 4 ¹ / ₈ × 9 ¹ / ₂ インチ 3 ⁷ / ₈ × 7 ¹ / ₂ インチ C5 封筒 (162 × 229 mm) C6 封筒 (114 × 162 mm) DL 封筒 (110 × 220 mm) 不定形サイズ： 幅 90~216 mm 長さ 148~356 mm	60~160 g/m ² (52~138 kg)	1 枚

↓ 補足

- はがきは印刷速度が遅くなります。故障ではありません。
- 長形 3 号封筒 (120 × 235 mm) と長形 4 号封筒 (90 × 205 mm) は、トレイ 1 か手差しトレイで、不定形サイズとして使用できます。
- Legal サイズの用紙には、プリンタードライバーで [印刷品質] タブの [グラデーション:] を [画質優先] に設定していると印刷できないことがあります。

用紙種類

ここでは、使用できる各種用紙についての詳細をまとめています。

★ 重要

- 用紙の種類によっては、トナーが乾くまでに時間がかかることがあります。用紙は、完全に乾いていることを確認してから取り扱ってください。トナーがにじむことがあります。

- 市販されているすべての用紙での印刷結果を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。推奨の用紙について詳しくは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店に連絡してください。

薄紙

項目	説明
用紙の厚さ	60~65 g/m ²
使用できる給紙トレイ	すべての給紙トレイが使用できます。
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内側の「厚紙」の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	A4、B5、Legal (8 ¹ / ₂ × 14 インチ)、Letter (8 ¹ / ₂ × 11 インチ)、7 ¹ / ₄ × 10 ¹ / ₂ インチ、8 × 13 インチ、8 ¹ / ₂ × 13 インチ、8 ¹ / ₄ × 13 インチ、16K (195 mm × 267 mm)

普通紙

項目	説明
用紙の厚さ	66~74 g/m ²
使用できる給紙トレイ	すべての給紙トレイが使用できます。
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内側の「厚紙」の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	A4、B5、Legal (8 ¹ / ₂ × 14 インチ)、Letter (8 ¹ / ₂ × 11 インチ)、7 ¹ / ₄ × 10 ¹ / ₂ インチ、8 × 13 インチ、8 ¹ / ₂ × 13 インチ、8 ¹ / ₄ × 13 インチ、16K (195 mm × 267 mm)

中厚口

項目	説明
用紙の厚さ	75~90 g/m ²
使用できる給紙トレイ	すべての給紙トレイが使用できます。
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内側の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	A4、B5、Legal (8 ¹ / ₂ × 14 インチ)、Letter (8 ¹ / ₂ × 11 インチ)、7 ¹ / ₄ × 10 ¹ / ₂ インチ、8 × 13 インチ、8 ¹ / ₂ × 13 インチ、8 ¹ / ₄ × 13 インチ、16K (195 mm × 267 mm)

厚紙 1

項目	説明
用紙の厚さ	91～105 g/m ²
使用できる給紙トレイ	すべての給紙トレイが使用できます。
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内側の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	なし
その他の注意	1 分間あたりの印刷枚数は普通紙の約半分になります。

3

厚紙 2

項目	説明
用紙の厚さ	106～160 g/m ²
使用できる給紙トレイ	トレイ 1、手差しトレイ
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内側の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	なし
その他の注意	1 分間あたりの印刷枚数は普通紙の約半分になります。

再生紙

項目	説明
用紙の厚さ	75～90 g/m ²
使用できる給紙トレイ	すべての給紙トレイが使用できます。
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内側の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	A4、B5、Legal (8 ¹ / ₂ × 14 インチ)、Letter (8 ¹ / ₂ × 11 インチ)、7 ¹ / ₄ × 10 ¹ / ₂ インチ、8 × 13 インチ、8 ¹ / ₂ × 13 インチ、8 ¹ / ₄ × 13 インチ、16K (195 mm × 267 mm)
その他の注意	用紙厚が指定範囲外のときは、[薄紙]、[普通紙]、[厚紙 1]、または [厚紙 2] を選択してください。

色紙

項目	説明
用紙の厚さ	75~90 g/m ²
使用できる給紙トレイ	すべての給紙トレイが使用できます。
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内側の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	A4、B5、Legal (8 ¹ / ₂ × 14 インチ)、Letter (8 ¹ / ₂ × 11 インチ)、7 ¹ / ₄ × 10 ¹ / ₂ インチ、8 × 13 インチ、8 ¹ / ₂ × 13 インチ、8 ¹ / ₄ × 13 インチ、16K (195 mm × 267 mm)
その他の注意	用紙厚が指定範囲外の場合は、[薄紙]、[普通紙]、[厚紙 1]、または [厚紙 2] を選択してください。

パンチ済み紙

項目	説明
用紙の厚さ	75~90 g/m ²
使用できる給紙トレイ	すべての給紙トレイが使用できます。
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内側の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	A4、B5、Legal (8 ¹ / ₂ × 14 インチ)、Letter (8 ¹ / ₂ × 11 インチ)、7 ¹ / ₄ × 10 ¹ / ₂ インチ、8 × 13 インチ、8 ¹ / ₂ × 13 インチ、8 ¹ / ₄ × 13 インチ、16K (195 mm × 267 mm)
その他の注意	用紙厚が指定範囲外の場合は、[薄紙]、[普通紙]、[厚紙 1]、または [厚紙 2] を選択してください。

レターヘッド

項目	説明
用紙の厚さ	75~90 g/m ²
使用できる給紙トレイ	すべての給紙トレイが使用できます。
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内側の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	A4、B5、Legal (8 ¹ / ₂ × 14 インチ)、Letter (8 ¹ / ₂ × 11 インチ)、7 ¹ / ₄ × 10 ¹ / ₂ インチ、8 × 13 インチ、8 ¹ / ₂ × 13 インチ、8 ¹ / ₄ × 13 インチ、16K (195 mm × 267 mm)
その他の注意	用紙厚が指定範囲外の場合は、使用できません。

ボンド紙

項目	説明
用紙の厚さ	106~160 g/m ²
使用できる給紙トレイ	トレイ 1、手差しトレイ
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内側の「厚紙」の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	なし
その他の注意	<ul style="list-style-type: none"> • 1分間あたりの印刷枚数は普通紙の約半分になります。 • 用紙厚が指定範囲外の場合は、[厚紙 1] を選択してください。

3

カードストック

項目	説明
用紙の厚さ	106~160 g/m ²
使用できる給紙トレイ	トレイ 1、手差しトレイ
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内側の「厚紙」の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	なし
その他の注意	<ul style="list-style-type: none"> • 1分間あたりの印刷枚数は普通紙の約半分になります。 • 160 g/m² より厚い紙に印刷することはできません。

ラベル紙

項目	説明
使用できる給紙トレイ	トレイ 1、手差しトレイ
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	なし
その他の注意	<ul style="list-style-type: none"> • 1分間あたりの印刷枚数は普通紙の約半分になります。 • 糊がはみ出したラベル紙を使用しないでください。糊が機械の内部に付着して、用紙の搬送や印刷の品質に影響が出たり、トナーカートリッジの感光体部分が通常よりも早く劣化することがあります。

封筒

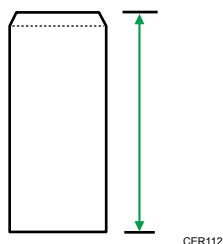
★重要

- フラップ（ふた）に糊が付いている封筒は使用しないでください。故障の原因になります。

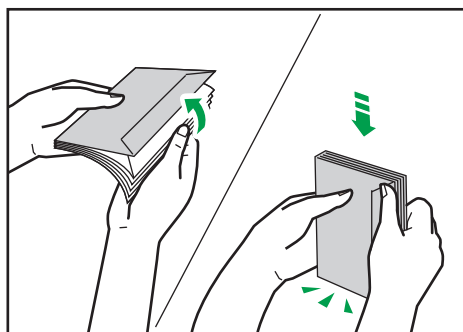
項目	説明
使用できる給紙トレイ	トレイ 1、手差しトレイ
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内側の「厚紙」の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	なし

その他の注意

- 1 分間あたりの印刷枚数は普通紙の約半分になります。
- シワが発生するなど正しく印刷されないときは、封筒のセット方向を反対にし、印刷画像を 180 度回転して印刷してください。印刷画像の方向を変更するには、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 推奨封筒または推奨封筒以外でも、環境によってはシワが発生したりするなど、正しく印刷されないことがあります。
- 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。
- 場合によっては、封筒の長辺の端に細かいしわができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されることがあります。また黒くベタ塗りするときに、封筒の用紙が重なりあっている部分にすじが入ることがあります。
- 封筒のサイズを設定するときは、短辺側にフラップがある封筒は、フラップが開いた状態の長さを指定してください。

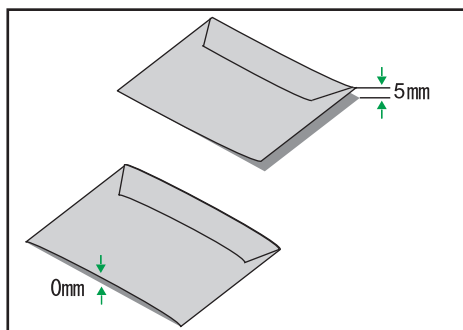


- 封筒をセットするときは、封筒をさばいて端をそろえます。

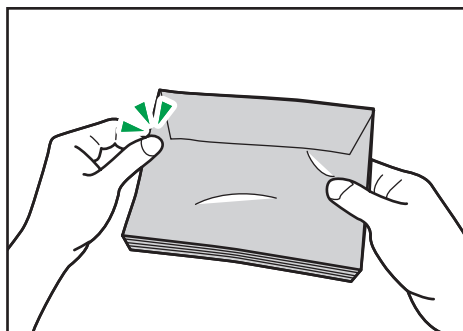


DAC573

- さばくときに、封筒どうしが接着していないか確認し、接着していればはがしてください。
- さばくときに、フラップが接着していないか確認し、接着していればはがしてください。
- 封筒が反っていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響がでることがあります。セットする前に反りが下図の範囲になるように直してください。それでも反りが大きいときは、封筒のカールしている部分を図のように指でのして曲がりを直してください。



DAC574



DAC575

- 封筒は、「ハート社レーザープリンタ専用封筒長3 ホワイト」、「山櫻社純白封筒 洋長3 カマス POD ホワイト 2.0」、「山櫻社純白封筒長4」を推奨します。

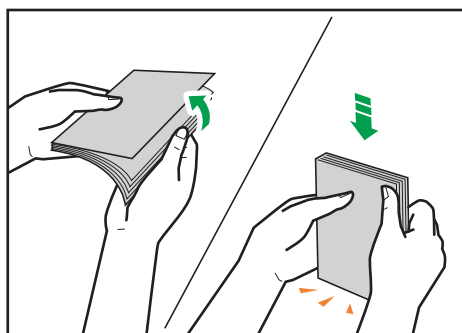
はがき

項目	説明
使用できる給紙トレイ	トレイ 1、手差しトレイ
セット可能枚数	紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。給紙トレイ内側の「はがき」の上限表示を超えないようにセットしてください。
両面印刷できるサイズ	なし

3

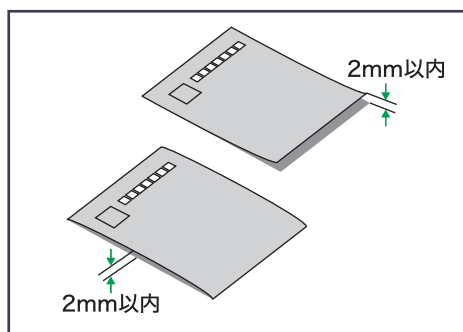
その他の注意

- 印刷時はトレイの用紙種類を [厚紙 2] に設定し、プリンタードライバーの設定も合わせてください。
- 印刷速度が紙厚が普通紙よりも遅くなります。
- 以下のはがきは使用できません。
 - インクジェットプリンター専用はがき
 - 絵はがきなどの厚いはがき
 - 絵入りはがきなど裏写り防止用の粉がついているはがき
 - 他のプリンターで一度印刷したはがき
 - 表面加工されているはがき
 - 表面に凸凹のあるはがき
- はがきをセットするときは、はがきをさばいて端をそろえてからセットしてください。



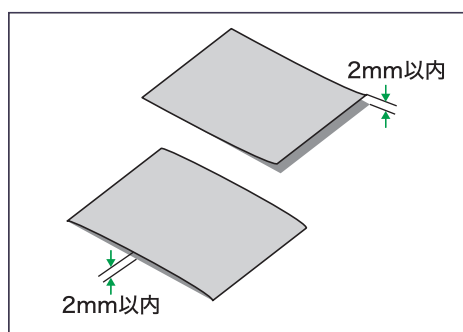
DAC635

- はがきが反っていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響がでることがあります。セットする前に、反りが下図の範囲になるように直してください。
<宛名面に印刷するとき>



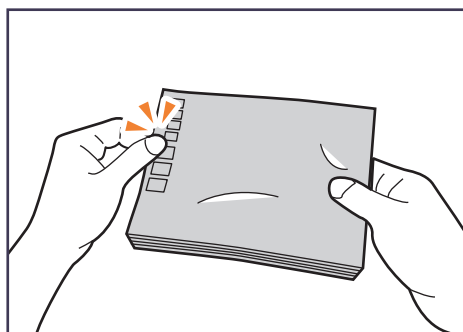
DAC631

<裏面に印刷するとき>



DAC632

- はがきの先端部が曲がっていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響がでることがあります。セットする前に、先端部を図のように指でのして曲がりを直してください。



DAC608

- はがきの裏面にバリ（裁断したときにできた返し）があるときは、はがきを平らなところに置き、定規などを水平に1～2回動かしてはがきの4辺のバリを取り除き、バリを取り除いたときに出了る紙粉を払います。
- はがきを印刷するときは、裏面⇒表面の順で印刷すると、より良い印刷品質が得られます。

- はがきに印刷すると、紙粉が多く発生するので、こまめな清掃を心がけてください。詳しくは、P.313「レジストローラー周辺と給紙トレイを清掃する」を参照してください。

使用できない用紙

★重要

- プリンターに適切な用紙でも、保存状態が悪いときは、紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因になることがあります。

以下のような用紙は使用しないでください。

- ジェルジェット紙
- 曲がり、折れ、端が波打っている用紙
- カール（反り）のある用紙
- 破れのある紙
- しわのある紙
- 湿気を吸っている用紙
- 乾燥して静電気が発生している用紙
- 他のプリンターで一度印刷した用紙（レターヘッドは除く）
- 感熱紙、銀紙、カーボン紙、伝導性の紙などの特殊な用紙
- 厚さが規定以外の用紙（極端に厚い・薄い用紙）
- 窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスなどの加工がされている紙
- 糊がはみ出したり、台紙の見えるラベル紙
- ステープラーの針、クリップなどを付けたままの用紙
- インクジェットプリンター用紙
定着ユニットに付着し、紙づまりの原因になります。
- OHP フィルム
- 表面が加工された用紙（指定用紙を除く）
- 写真用またはインクジェット用の年賀状
- 汚れている用紙

↓補足

- セットした用紙の表面に触らないように注意してください。

用紙を保管するとき

★重要

- 用紙は常に適切な方法で保管するようにしてください。保存状態が悪いときは、紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因となることがあります。

用紙は以下の点に注意して保管してください。

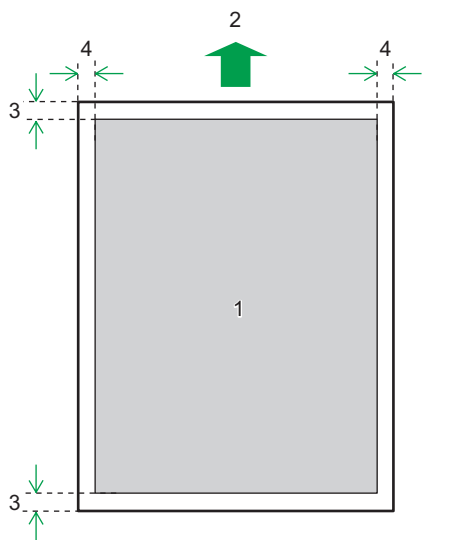
- 湿気の多いところには置かないでください。
- 直射日光の当たるところには置かないでください。
- 用紙は立てかけないでください。
- 残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。

3

印刷範囲

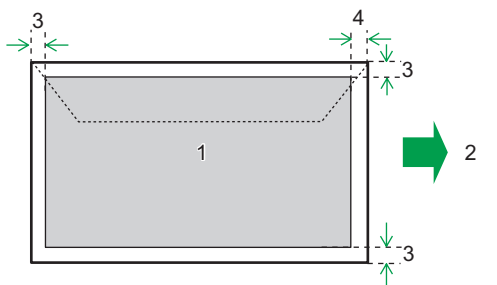
本機の印刷範囲は以下の図のとおりです。アプリケーションで、余白を正しく設定してください。

用紙



1. 印刷範囲
2. 給紙方向
3. 約 4.2 mm
4. 約 4.2 mm

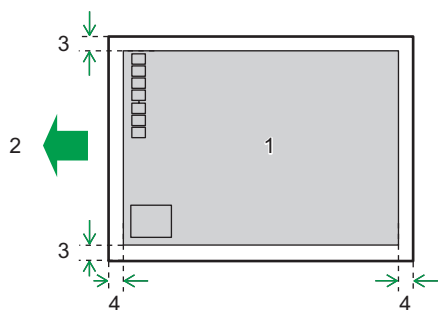
封筒



DAC610

1. 印刷範囲
2. 給紙方向
3. 約 10 mm
4. 約 15 mm

はがき



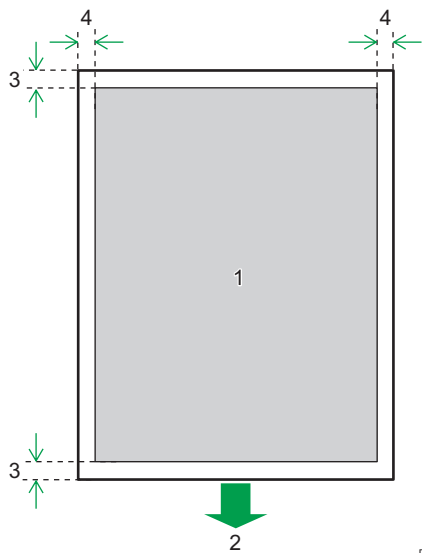
DAC611

1. 印刷範囲
2. 給紙方向
3. 約 4.2mm
4. 約 4.2mm

↓ 補足

- 縁なし印刷は対応していません。
- 印刷範囲は、用紙サイズやプリンタードライバーの設定によって変わることがあります。
- 封筒にきれいに印刷するためには、左右上下の余白を 15 mm 以上に設定することをお勧めします。

コピー機能



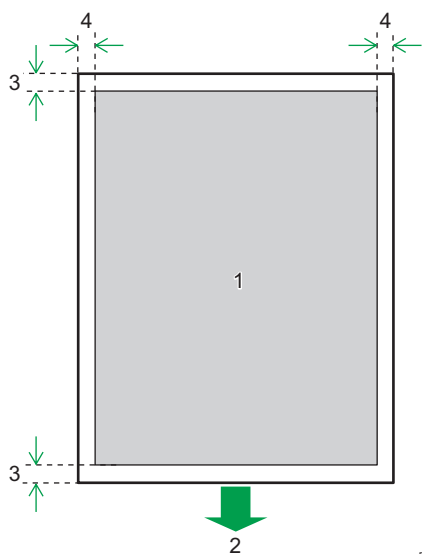
DAC612

1. 印刷範囲
2. 給紙方向
3. 約 4 mm
4. 約 3 mm

↓ 補足

- 印刷範囲は、用紙サイズの設定によって変わることがあります。

ファクス機能



DAC612

1. 印刷範囲
2. 給紙方向
3. 約 4.2 mm
4. 約 2 mm

↓ 補足

- 印刷範囲は、用紙サイズの設定によって変わることがあります。

用紙をセットする

給紙トレイと手差しトレイに用紙をセットする方法について説明します。

⚠ 注意



- 給紙トレイを引き出すときは、強く引き出さないでください。トレイが落下し、けがの原因になります。



- 用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。



- ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

3

トレイ 1 と 2 に用紙をセットする

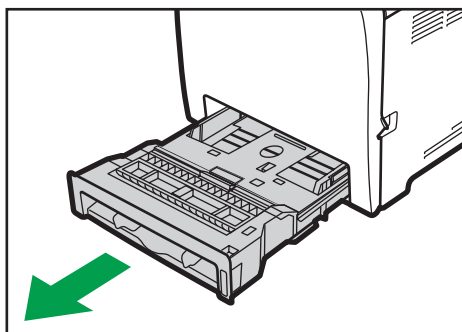
ここでは、トレイ 1 に用紙をセットする方法を説明します。

同様の手順で、トレイ 2 に用紙をセットしてください。

★ 重要

- 封筒以外の用紙に印刷するときは、印刷する前に本機の前カバーを開け、封筒レバーが左右両方とも上がっていることを確認してください。
- 用紙がカールしているときは、一度カールしている方向と逆方向へ曲げるなどして、カールを直してからセットしてください。
- 用紙をセットしたら、操作部で用紙の種類とサイズを設定してください。本機は用紙のサイズを自動的に検知しないため、設定を行わないと正しく印刷ができない場合があります。

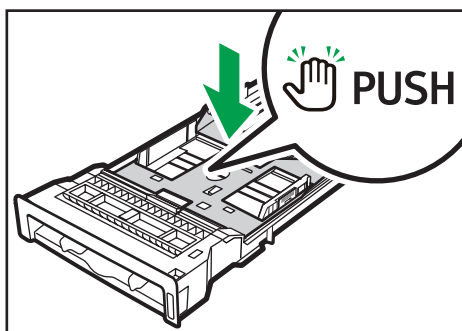
1. トレイを引き出し、両手で取り外します。



DAC070

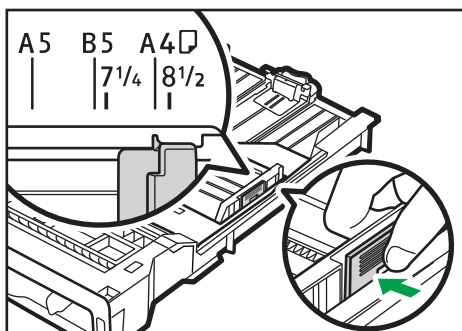
引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。

2. 底板の「PUSH」部分を押し下げてロックします。



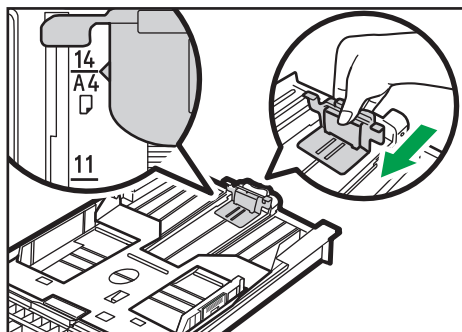
DAC050

3. サイドガイドをつまんでスライドし、用紙サイズに合わせます。



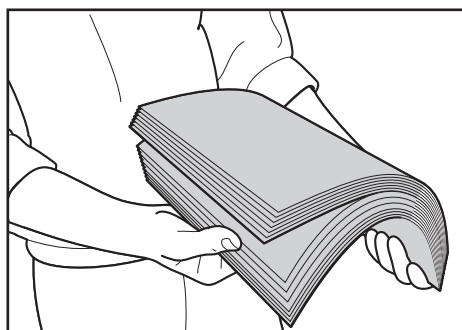
DAC312

4. エンドガイドをつまんでスライドし、用紙サイズに合わせます。



DAC313

5. セットする用紙をさばきます。

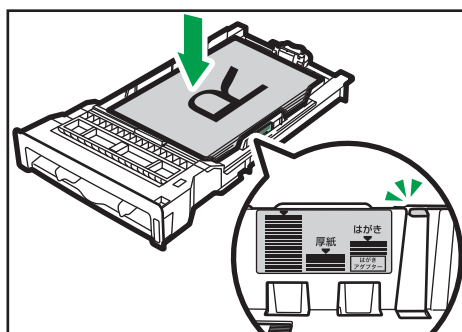


DAC344

6. 印刷する面を上にして用紙をセットします。

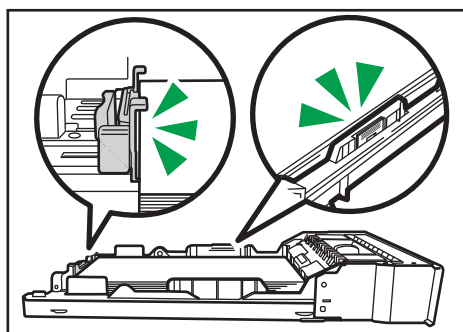
上限表示を超えないように用紙をセットしてください。

サイドガイドの突起に収まるように用紙をセットしてください。



DAC351

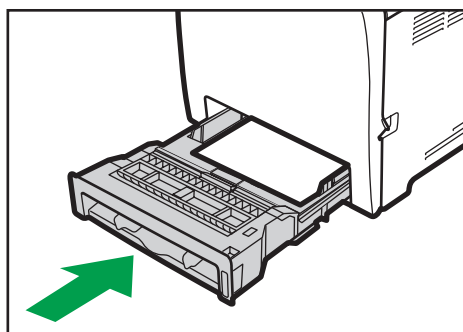
7. 用紙とサイドガイド、およびエンドガイドの間にすき間がないことを確認します。



DAC314

8. トレイを水平に差し込み、ゆっくりと押し込みます。

トレイを強く押し込むと、ガイドがずれることがありますので、ゆっくりと押し込んでください。



DAC069

紙づまりを防ぐため、確実にトレイを閉めてください。

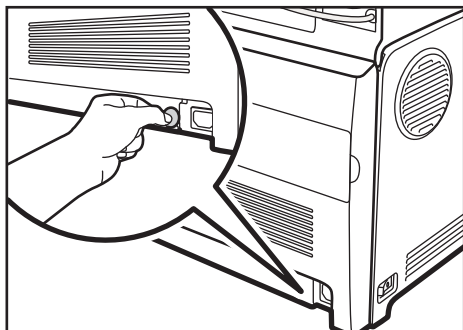
↓ 補足

- 上限表示は、用紙の種類によって異なります。トレイの内側にある上限表示を見て、セットできる量を確認してください。
- 給紙トレイ正面右側にある用紙残量インジケータでは、用紙のおおよその残量がわかります。

A4 よりも長い用紙をセットする

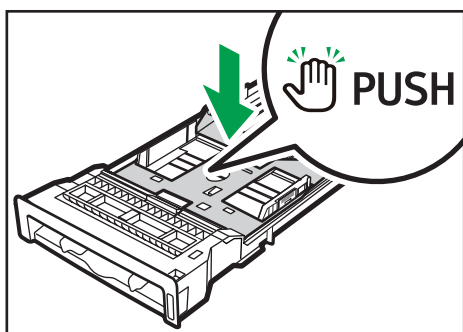
ここでは、A4 (297mm) よりも長い用紙をセットする方法について説明します。

1. コインを使って、背面カバーを取り外します。



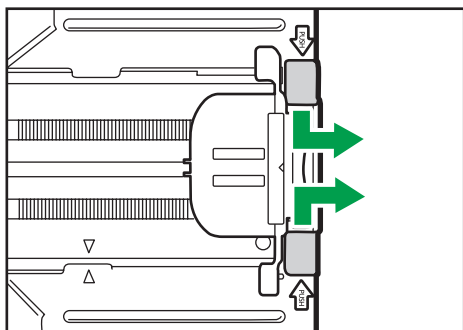
DAC032

2. トレイ 1 を引き出し、途中から両手で持って引き抜きます。
引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。
3. 底板の「PUSH」部分をロックされる位置まで押し下げます。



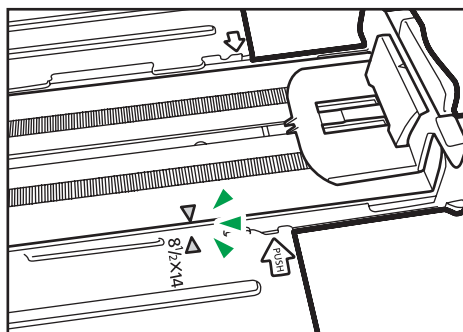
DAC050

4. 延長ガイドを「PUSH」の方向につまみながら、カチッと音がするまで引き出します。



DAC055

引き出した延長ガイドの矢印と、トレイの矢印が合っていることを確認してください。



3

5. 「トレイ 1 と 2 に用紙をセットする」の手順 3～7 に従って、用紙をセットします。

↓ 補足

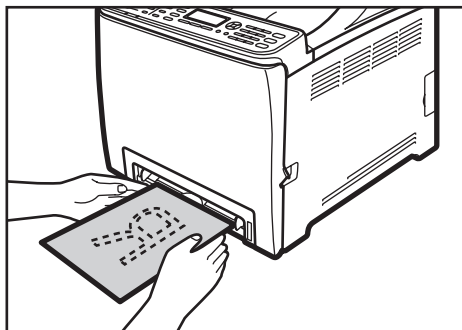
- 延長ガイドを元に戻すときは、ゆっくりと押し込んでください。

手差しトレイに用紙をセットする

★ 重要

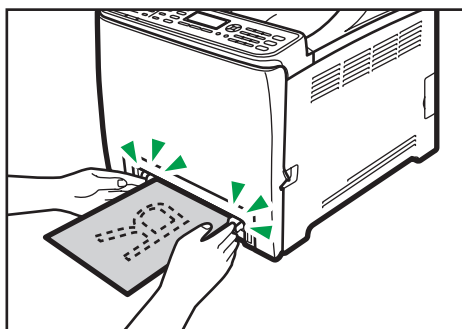
- 封筒以外の用紙に印刷するときは、印刷する前に本機の前カバーを開け、封筒レバーが左右両方とも上がっていることを確認してください。
- 両面印刷はできません。
- 用紙がカールしているときは、一度カールしている方向と逆方向へ曲げるなどして、カールを直してからセットしてください。
- 用紙は、印刷面を下にして縦方向にセットしてください。
- 動作中に用紙をセットしないでください。
- 手差しトレイに用紙がセットされているときは、トレイ 1 とトレイ 2 は使用できません。
- 省エネルギー機能が動作中は、手差しトレイに用紙をセットできません。

1. 印刷する面を下にして、用紙の先端を挿入します。



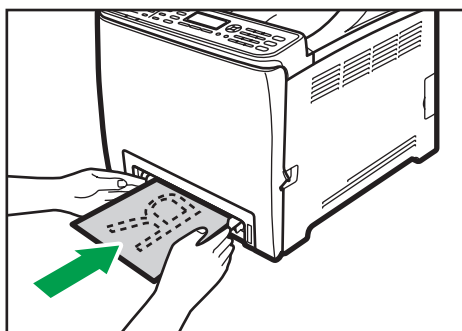
DAC067

2. 用紙ガイドを、セットする用紙の幅に合わせてます。



DAC066

3. 用紙を両手で持ち、用紙の先端が奥に突き当たるまで差し込みます。



DAC065

封筒をセットする

⚠ 注意



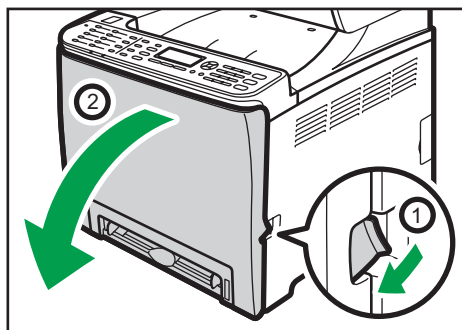
- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

★ 重要

- 封筒がしわにならないように、印刷する前に本機の前カバーを開けて、封筒レバーを左右両方とも下げてください。また、封筒の印刷が終わったらレバーを元の位置に戻してください。
- フラップ（ふた）に糊が付いている封筒は使用しないでください。故障の原因になります。
- 封筒をおさえて中の空気を抜いてからセットしてください。
- 種類やサイズの異なる封筒を同時にセットしないでください。
- 封筒の進行方向側の端に鉛筆や定規を当てて、平らにしてからセットください。
- 封筒の種類によっては、つまったり、シワが発生したりするなど、正しく印刷されないことがあります。
- 部分によって厚さの異なる封筒では、印刷品質に違いがでることがあります。封筒を1、2枚印刷し、印刷状態を確認してください。
- 高温多湿な環境では、封筒がしわになって排紙されたり、きれいに印刷されないことがあります。

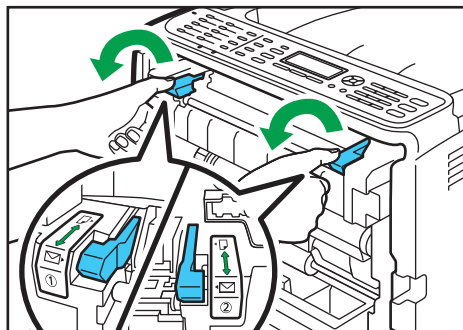
封筒レバーを下げる

1. 前カバー開閉レバーを引いて、ゆっくりと前カバーを開けます。



DAC061

2. 封筒レバーを、左右両方とも親指で下げます。



DAC340

3. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

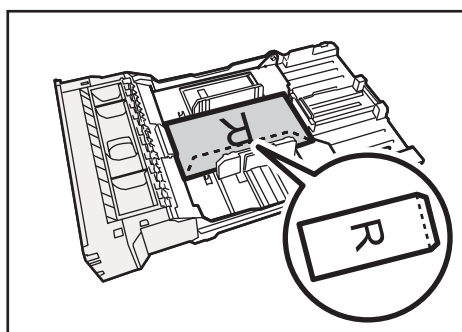


DAC062

封筒をセットする方法について詳しくは、P.97「トレイ1と2に用紙をセットする」とP.102「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。トレイ2には封筒をセットできません。

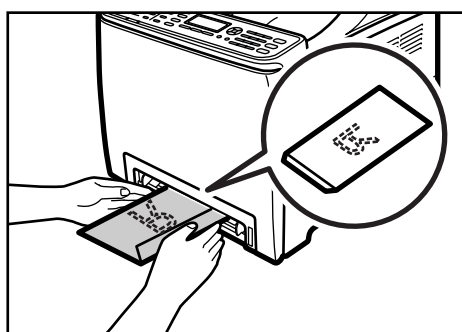
↓ 補足

- シワが発生するなど正しく印刷されないときは、封筒のセット方向を反対にし、印刷画像を180度回転して印刷してください。印刷画像の方向を変更するには、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- トレイ1を使うとき
 - 短辺側にフラップ（ふた）がある場合、フラップを開いた状態にし、フラップを必ずトレイ奥側に向けてセットしてください。長辺側にフラップ（ふた）がある場合、フラップを閉じた状態にし、フラップを必ず右側に向けてセットしてください。



DAC576

- 手差しトレイを使うとき
 - 短辺側にフラップ（ふた）がある場合、フラップを開いた状態にし、フラップを必ずトレイ手前側に向けてセットしてください。長辺側にフラップ（ふた）がある場合、フラップを閉じた状態にし、フラップを必ず右側に向けてセットしてください。



DAC473

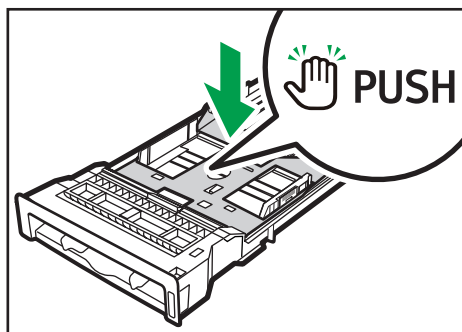
はがきをセットする

★重要

- 印刷面を上にしてセットしてください。
- トレイ1にはがきをセットするときは、本機に付属のはがきアダプターを使用します。はがきを印刷しないときは、トレイ1からはがきアダプターを取り外してください。はがきアダプターを付けたままのはがき以外の用紙に印刷すると、印刷結果に影響を及ぼすことがあります。
- 封筒以外の用紙に印刷するときは、印刷する前に本機の前カバーを開け、封筒レバーが左右両方とも上がっていることを確認してください。
- 手差しトレイでは、はがきが斜めに給紙されたり、印刷開始位置がずれることがあります。

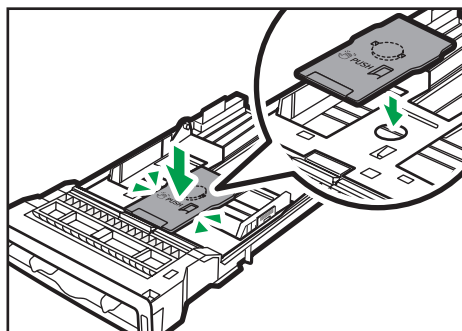
はがきアダプターを取り付ける

1. トレイ 1 をゆっくりと引き出し、途中から両手で持って引き抜きます。
引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。
2. トレイに用紙がセットされているときは、用紙を取り出します。
3. 底板の「PUSH」部分をロックされる位置まで押し下げます。



DAC050

4. はがきアダプター裏面の円形の凸部を、トレイの丸穴にあわせるようにしながら、はがきアダプターを上から押し付けて取り付けます。



DAC617

はがきをセットする方法について詳しくは、P.97「トレイ 1 と 2 に用紙をセットする」と P.102「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。トレイ 2 には、はがきをセットできません。

用紙種類・用紙サイズを設定する

操作部で用紙種類と用紙サイズを設定する方法について説明します。

↓ 補足

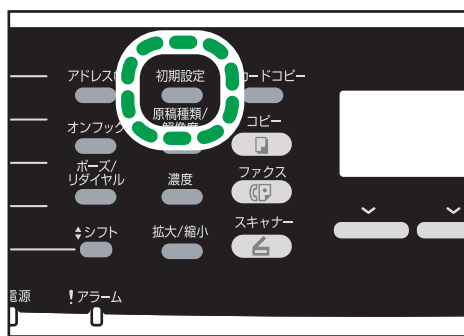
- 操作部で設定した用紙の種類とサイズに合わせて、プリンタードライバーで用紙の種類とサイズを設定してください。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

- 手差しトレイまたはトレイ 1 からの印刷をプリンタードライバーの設定で行うか操作部の設定で行うかを、用紙設定の [手差しトレイ設定選択] または [トレイ 1 設定選択] で選択できます。[手差しトレイ設定選択] または [トレイ 1 設定選択] について詳しくは、P.203 「用紙設定」を参照してください。
- 用紙サイズ・種類のエラーが起きたら印刷がいったん停止します。このとき、システム初期設定の [エラースキップ] を有効にしていると、操作部で行なった用紙設定に従い、セットされている用紙で約 10 秒後に印刷が自動的に再開されます。印刷を再開したとき、機器側の設定とプリントジョブの用紙サイズの指定が異なるときは、紙づまりすることがあります。[エラースキップ] について詳しくは、P.198 「システム初期設定」を参照してください。

用紙の種類を設定する

用紙の種類を設定する方法について説明します。

1. [初期設定] キーを押します。



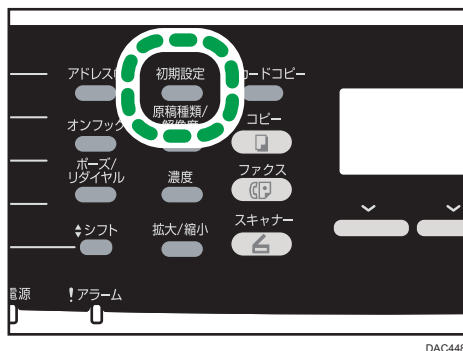
DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して [用紙設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して目的のトレイの用紙種類設定を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して用紙の種類を選択し、[OK] キーを押します。
5. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

定形サイズの内紙を指定する

定形サイズの内紙を指定する方法について説明します。

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [用紙設定] を選択し、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して目的のトレイの用紙サイズ設定を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して用紙の種類を選択し、[OK] キーを押します。
5. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

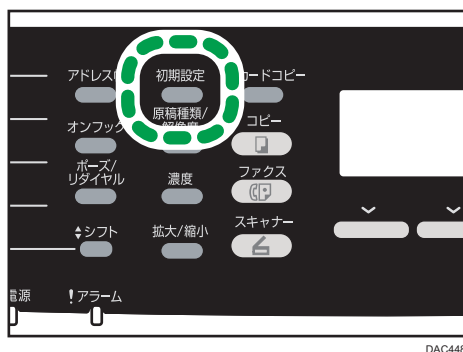
不定形サイズの内紙を指定する

不定形サイズの内紙を指定する方法について説明します。

★重要

- 不定形サイズの内紙は、トレイ2にはセットできません。
- 操作部とプリンタードライバーで用紙サイズの設定が合っていることを確認してください。用紙サイズが合っていないときは、エラーメッセージが表示されます。エラーを無視して、そのままの内紙に印刷するときは、P.121「用紙エラーが発生したとき」を参照してください。

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [用紙設定] を選択し、[OK] キーを押します。

3. [▲] [▼] キーを押して目的のトレイの用紙サイズ設定を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] [◀] [▶] キーを押して [不定形サイズ] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [mm] または [inch] を選択し、[OK] キーを押します。
6. テンキーで幅を入力し、[OK] キーを押します。
7. テンキーで長さを入力し、[OK] キーを押します。
8. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

プリンタードライバーで用紙種類・用紙サイズを設定する

★重要

- トレイにセットした用紙種類と用紙サイズに合わせて、プリンタードライバーの用紙種類と用紙サイズを設定してください。本機は、トレイにセットされた用紙サイズを自動検知しないため、合わせずにご使用になると、正しく印刷ができないことがあります。
1. プリンタードライバーの印刷設定を開きます。
 2. [用紙] タブをクリックします。
 3. [給紙トレイ:] プルダウンメニューから、印刷に使用するトレイを選択します。
 4. [用紙種類:] プルダウンメニューから、指定したトレイにセットされている用紙種類を選択します。
 5. [原稿サイズ:] プルダウンメニューから、指定したトレイにセットされている用紙サイズを選択します。
 6. [OK] をクリックします。

原稿をセットする

セットできる原稿の種類とセットする方法を説明します。

原稿について

ここでは、セットできる原稿の種類と画像の欠け範囲を説明します。

セットできる原稿のサイズと紙厚

セットできる原稿の種類と紙厚を説明します。

原稿ガラス

幅 216mm 以下、長さ 297mm 以下

ADF

- 用紙サイズ：幅 140～216mm、長さ 140～356mm
- 紙厚：52～105 g/m²

↓ 補足

- 原稿ガラスに一度にセットできる原稿枚数は、1 枚です。
- ADF に一度にセットできる原稿枚数は、最大 35 枚です（マイペーパーを使用しているとき）。

自動原稿送り装置（ADF）にセットできない原稿

次のような原稿を ADF にセットすると、紙づまり、原稿破損、白スジ、黒スジの原因になることがあります。

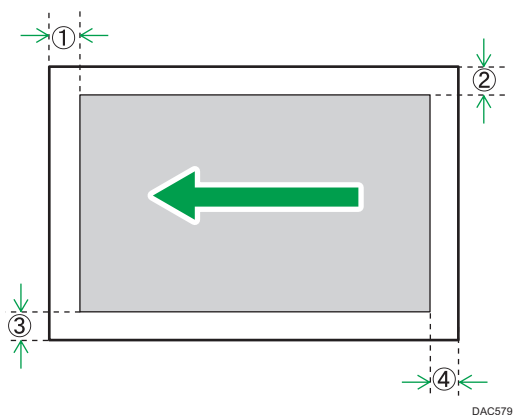
- 指定の重量を超える重さの原稿
- ホッチキスの針やクリップのついた原稿
- 穴、破れのある原稿
- そり、折れ、しわのある原稿
- はり合わせた原稿
- 感熱紙、アート紙、銀紙、カーボン紙、導電性の用紙などのように表面が加工された原稿
- ミシンがけ原稿
- インデックスや付せんなど、はみ出た部分のある原稿
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）などのようにすべりにくい原稿
- 薄くて曲がりやすい原稿

- 極端に厚い原稿
- 本などのようにとじてある原稿
- OHP フィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）などのように透明度の高い原稿
- 修正液やインクが完全に乾いていない原稿

画像欠け範囲

3

原稿ガラスや ADF に原稿を正しくセットしても、原稿の周囲から内側数ミリは読み取りができないことがあります。



原稿ガラス使用時の画像欠け範囲

	コピーモード	スキャナーモード	ファクスモード
①上	4 mm	0 mm	1 mm
②右	3 mm	0 mm	1 mm
③左	3 mm	0 mm	1 mm
④下	4 mm	0 mm	2 mm

ADF 使用時の画像欠け範囲

	コピーモード	スキャナーモード	ファクスモード
①上	4 mm	0 mm	0 mm
②右	3 mm	0 mm	1 mm (Letter、Legal) 0 mm (その他のサイズ)
③左	3 mm	0 mm	1 mm (Letter、Legal) 0 mm (その他のサイズ)
④下	4 mm	2 mm	2 mm

原稿をセットする

原稿ガラスと ADF に原稿をセットする方法を説明します。

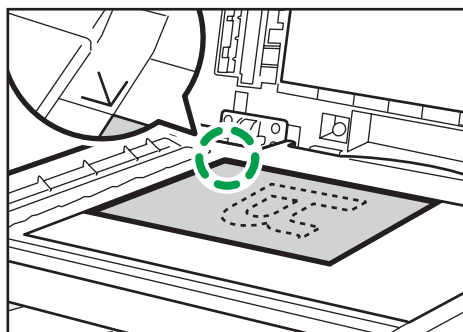
★重要

- 修正液やインクなどが完全に乾いていない原稿はセットしないでください。原稿ガラスや読み取りガラスが汚れ、その汚れが読み取られます。
- ADF と原稿ガラスの両方に原稿がセットされているときは、ADF の原稿が優先されます。
- ADF を上げるときは、ADF 給紙トレイを持たないようにしてください。トレイの損傷の原因になります。

3

原稿ガラスに原稿をセットする

1. ADF を上げます。
2. 原稿を、読み取りたい面を下にして原稿ガラスの上に置きます。原稿は、左奥のセット基準に合わせてセットします。



DAC006

3. ADF を閉じます。

厚い原稿、折癖のある原稿、冊子原稿などで ADF 前側が浮き上るときは、ADF を手で抑えてください。

自動原稿送り装置 (ADF) に原稿をセットする

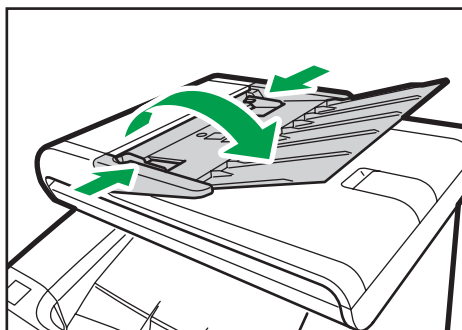
ADF では、複数ページを 1 度に読み取ることができます。

★重要

- ADF には、サイズの異なる原稿を同時にセットしないでください。
- 原稿のカールを平らにしてから、ADF にセットしてください。
- 複数ページ同時に給紙されるのを防ぐため、原稿をさばいてから ADF にセットしてください。

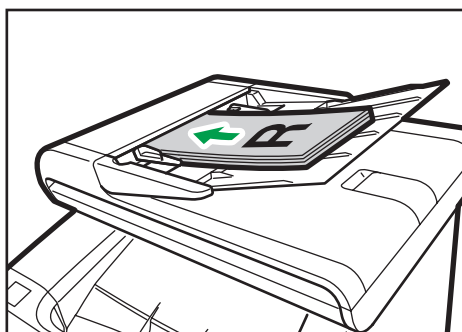
- 原稿はまっすぐにセットしてください。

1. ADF の給紙トレイのカバーを開け、原稿ガイドを原稿サイズに合わせます。



DAC538

2. 原稿を、コピーしたい面を上にして、きれいに揃えてから ADF にセットします。原稿は先頭ページが一番上になるようにセットしてください。



DAC019

↓ 補足

- A4/Letter よりも長いサイズの原稿をセットするときは、ADF トレイの延長ガイドを伸ばしてください。

文字を入力する

本機の設定をしたりするとき、操作部を使って文字を入力する方法について説明します。

数字を入力する

テンキーを押します。

文字を削除する

[◀] キーを押します。

ファクス番号を入力する

- 数字を入力する

テンキーを押します。

- 数字以外の文字を入力する

“*” : [*] キーを押します。

“#” : [#] キーを押します。

ポーズ : [ポーズ/リダイヤル] キーを押します。ポーズは、画面に「P」で表示されます。

スペース : [▶] キーを押します。

名前を入力する

テンキーで文字、記号、数字を入力します。入力したい文字が表示されるまでテンキーを繰り返し押します。

同じテンキーで入力する文字が2つ続くときは、最初の文字を入力したあとに [▶] キーを押してから次の文字を入力します。

テンキー	入力できる文字
1	アイウエオ アイウエオ l
2	カキクケコ A B C a b c 2
3	サシスセソ D E F d e f 3
4	タチツテト ッ G H I g h i 4
5	ナニヌネノ J K L j k l 5
6	ハヒフヘホ M N O m n o 6
7	マミムメモ P Q R S p q r s 7
8	ヤユヨヤユヨ T U V t u v 8
9	ラリルレロ W X Y Z w x y z 9
0	ワヲン 0 - . ! " , ; : ^ ` _ = / ' ? \$ @ % & + () [] { } < > ~ \
*	*
#	° 。 「 」 、 ・ ー #

DAC368

↓ 補足

- 漢字・ひらがなは入力できません。
- 実際に入力できる文字は、設定によって異なります。
- 入力した値が設定中の項目に対して大きすぎたり小さすぎたりするときは、設定を確認できません。このとき、本機が自動的に、その設定の最大値または最小値に値を変更して登録します。

4. プリンター機能を使う

プリンター機能について説明します。

オプション構成や用紙の設定

本機に装着されているオプションや、セットされている用紙の情報をプリンタードライバーに設定します。

★重要

- プリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。
- 双方向通信が可能なときは、有効にしてお使いください。双方向通信が働いていると、パソコン側から本機の用紙設定や本機の状態を取得できます。

双方向通信が可能な条件

双方向通信を利用するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

- パソコンの OS: Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012
- ネットワークで接続しているとき
本機が TCP/IP 標準ポートでネットワークに接続されており、ポートのデフォルト名が変わっていない。
プリンタードライバーのプロパティ画面の [ポート] タブで、[双方向サポートを有効にする] にチェックマークを付けている。
- USB で接続しているとき
本機が USB インターフェースケーブルでパソコンに接続されている。
プリンタードライバーのプロパティ画面の [ポート] タブで、[双方向サポートを有効にする] にチェックマークを付けている。

Windows のとき

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 :
[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。
- Windows Vista、Windows Server 2008 :
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :

[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。

- Windows 8、Windows Server 2012 :

チャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. プリンターのプロパティを表示します。

- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 :

本機のアイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。

- Windows Vista、Windows Server 2008 :

本機のアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :

本機のアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

- Windows 8、Windows Server 2012 :

本機のアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [オプション構成] タブをクリックし、[今すぐ更新] をクリックします。

双方向通信が働いていないときは、手動で装着されているオプションを選択してください。

4. [用紙サイズ] タブをクリックし、[今すぐ更新] をクリックします。

双方向通信が働いていないときは、手動で使用するトレイと用紙サイズを選択してください。

5. [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

Mac OS X のとき

1. アップルメニューから、[システム環境設定...] を選択します。

2. 「ハードウェア」のカテゴリにある [プリントとファクス] をクリックします。

3. 本機を選択して、[オプションとサブライ...] をクリックします。

4. [ドライバ] タブをクリックし、必要な設定をします。

5. [OK] をクリックします。

6. メニューバーの [システム環境設定] から [システム環境設定を終了] を選択します。

プリンターの印刷設定にアクセスする

プリンターの印刷設定へのアクセスについて説明します。設定について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

OS からプリンターの印刷設定にアクセスする

プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

★重要

- オプション構成を含むプリンターの初期設定を変更するには、「プリンタの管理」のアクセス許可を得ているアカウントを使ってログオンしてください。Administrators グループのメンバーには、あらかじめ「プリンタの管理」のアクセス許可が与えられています。
- ユーザーごとにプリンターの初期設定を変更することはできません。プリンターのプロパティ画面の設定は、すべてのユーザーに適用されます。
- 操作手順は、ご使用の OS によって異なることがあります。

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 :
[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。
- Windows Vista、Windows Server 2008 :
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows 8、Windows Server 2012 :
チャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. 本機のアイコンを右クリックして、[印刷設定] をクリックします。

↓補足

- ここでの設定は、すべてのアプリケーションの初期設定として適用されます。

アプリケーションからプリンターの印刷設定にアクセスする

アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

Windows のとき

特定のアプリケーションに対してプリンターの設定ができます。

ここでは例として、ワードパッドでの設定を説明しています。

1. アプリケーションから印刷を指示し、[印刷] ダイアログを開きます。
2. [プリンタの選択] で使用するプリンターを選択し、[詳細設定] をクリックします。

↓ 補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- 実際の表示の方法はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示した印刷設定の設定内容は、一般ユーザーでも変更できます。

Mac OS X のとき

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューの [プリント...] をクリックします。
3. [プリンタ] リストから本機を選択します。

プリンターの基本的な使いかた

基本的な印刷方法について説明します。

ここでは例として、ワードパッドでの操作を説明しています。

1. アプリケーションから印刷を指示し、[印刷] ダイアログを開きます。

2. 必要に応じて印刷範囲や部数を設定します。

プリンタードライバーの機能を使うときは、[詳細設定] をクリックし、印刷設定を表示させ、設定してください。

3. [印刷] をクリックします。

↓ 補足

- プリントジョブの印刷（カラー/白黒の両方、または白黒のみ）が制限されているときは、印刷する前にプリンタードライバーの印刷設定でユーザーコードを入力してください。ユーザーコードの入力について詳しくは、P.34「使用できる機能が制限されているとき」を参照してください。
- 自動トレイ選択で印刷するときどのトレイを優先的に使用するかを、用紙設定の[給紙トレイ優先設定] で設定できます。[給紙トレイ優先設定] について詳しくは、P.203「用紙設定」を参照してください。
- 紙づまりが起きたときは、印刷中のページが排紙された後に印刷が停止します。紙づまりが解消されると、つまったページから印刷が再開されます。紙づまりを取り除く方法について詳しくは、P.253「紙がつまったとき」を参照してください。
- 封筒に印刷したあとは、封筒レバーを左右両方とも元の位置に上げてください。封筒レバーについて詳しくは、P.104「封筒をセットする」を参照してください。
- プリンターの印刷設定の表示方法について詳しくは、P.119「プリンターの印刷設定にアクセスする」を参照してください。

用紙エラーが発生したとき

用紙のサイズや種類が印刷データと合っていないときはエラーが発生します。このエラーを解除するには、次の2つの方法があります。

そのままの用紙に印刷する

強制印刷機能を使ってエラーを無視し、そのままの用紙に印刷します。

プリントジョブをリセットする

印刷を中止します。

そのままの用紙に印刷する

1. エラーメッセージが表示されている間に、[強制印刷] を押します。

セットされている用紙のまま印刷が再開されます。

印刷データに対して用紙が小さすぎると、画像の端が切れたりすることがあります。

プリントジョブをリセットする

1. エラーメッセージが表示されている間に、[印刷取消] を押します。

4

印刷を中止する

ジョブの状態に応じて、本機の操作部またはパソコンのどちらかを使用して印刷を中止できます。

印刷開始前にジョブを中止する

印刷が始まる前は、パソコンから印刷を中止してください。

Windows のとき

操作手順は、ご使用の OS によって異なることがあります。

1. パソコンのタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 中止したいデータを選択し、[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。
3. [はい] をクリックします。

Mac OS X のとき

1. アップルメニューから、[システム環境設定...] を選択します
2. 「ハードウェア」のカテゴリにある [プリントとファクス] をクリックします。
3. [プリンタ] リストに表示されている本機の名前をダブルクリックします。
4. 印刷を取り消すジョブを選択し、[削除] をクリックします。

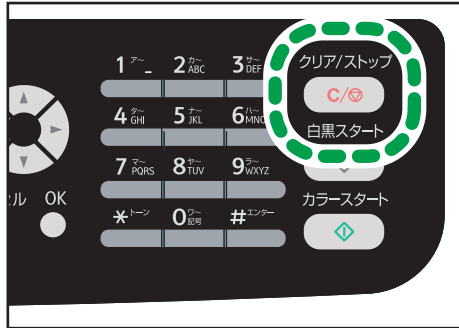
↓ 補足

- プリントジョブがすでに処理されていたときは、ジョブの中止前に数ページ印刷されることがあります。
- プリントジョブのサイズが大きいときは、中止までしばらくかかることがあります。

印刷中にジョブを中止する

印刷中のときは、操作部から印刷を中止してください。

1. [クリア/ストップ] キーを押します。



DAC459

機密文書を印刷する

対象機種：RICOH SP C251SF

機密印刷は、ネットワークでプリンターを共有しているときなど、他人に見られたくない文書を印刷するときに有効な機能です。

この機能を使うと、印刷ジョブをパスワードで保護された機密文書として本機に蓄積できます。機密文書は、操作部からパスワードを入力したときだけ印刷されますので、他人に見られる心配がありません。

4

機密文書を本機に蓄積する

パソコンからプリンタードライバーを使って機密文書を送り、本機に蓄積する方法について説明します。

1. パソコンで機密印刷したいファイルを開きます。
2. プリンタードライバーの印刷設定を開きます。
3. [基本] タブをクリックし、[機密印刷] を選択します。

[パスワード:] と [ユーザーコード:] が入力できるようになります。

[ユーザーコード:] には、パソコンのログインユーザー名か、前回の機密印刷に使用したユーザーコードが表示されます。

4. パスワード (4~8 桁の数字) とユーザーコード (半角英数字で最大 9 文字) を入力し、[OK] をクリックします。

ユーザーコードは、操作部から機密文書を印刷するときに、他の機密文書と区別するために画面に表示される文書名となります。

5. 印刷の操作を行います。

プリントジョブが機密文書として本機に蓄積されます。機密文書は、操作部でパスワードを入力して印刷します。

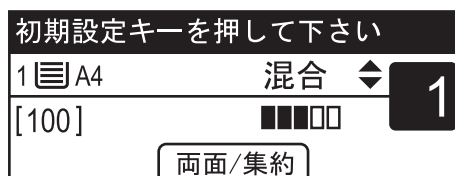
↓ 補足

- 本機に蓄積された機密文書は、印刷するか、本機の電源を切ると消去されます。
- 本機には一度に最大 5 つ、または最大 5 MB の機密文書を蓄積できます。
- 本機に蓄積された機密文書が一杯の状態でも、新規の機密文書は [システム初期設定] の [機密印刷] で設定された時間の間はキャンセルされずに保持されます。この時間内は、新規の機密文書を印刷したり削除したりできます。また、すでに蓄積されている機密文書を印刷したり削除したりすることで、新規の機密文書を蓄積できます。

- 機密印刷がキャンセルされると、本機にキャンセルのログが残ります。ログによって、どの機密文書がキャンセルされたかを確認できます。

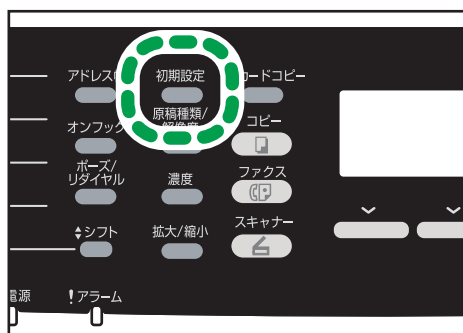
機密文書を印刷する

本機に機密文書が蓄積されると、本機がコピーモードのときに、操作部の画面に「機密文書印刷 初期設定キーを押して下さい」と表示されます。



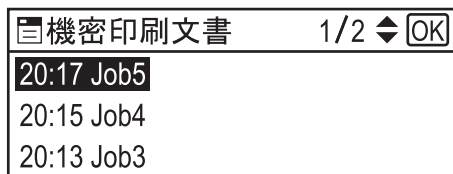
機密文書を印刷する方法について説明します。

1. 機密印刷のメッセージが画面に表示されたら、[初期設定] キーを押します。



DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して印刷する文書を選択し、[OK] キーを押します。



機密文書の蓄積された時間とユーザー ID を確認して、目的の文書を選択してください。

3. [印刷] を押します。

4. テンキーでパスワードを入力して、[OK] キーを押します。

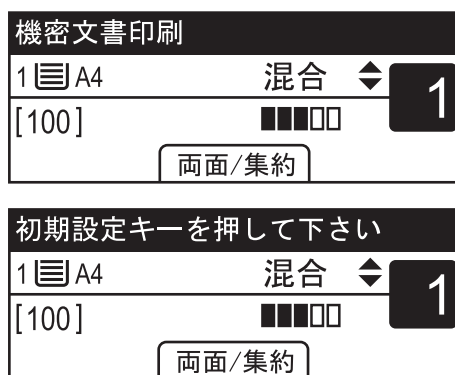
機密文書が印刷されます。

↓ 補足

- 本機の初期設定を変更したいときは、[スキャナー] キーまたは [ファクス] キーを押してから [初期設定] キーを押してください。機密文書を印刷するには、[コピー] キーを押してコピーモードに戻ってください。
- 他のジョブを印刷している間は、機密印刷文書の印刷はできません。印刷しようとすると、本機からビープ音が鳴ります。
- 操作部でパスワードを入力している間は、他のジョブの印刷はできません。
- 本機に蓄積された機密文書は、印刷するか、本機の電源を切ると消去されます。

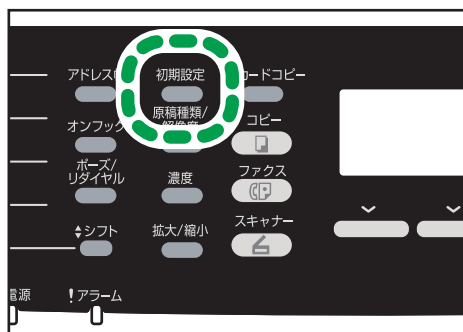
機密文書を削除する

本機に機密文書が蓄積されると、本機がコピーモードのときに、操作部の画面に「機密文書印刷 初期設定キーを押して下さい」と表示されます。



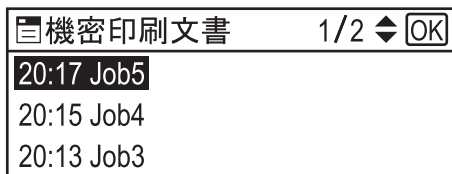
機密文書を削除する方法について説明します。削除するときは、パスワードを入力する必要はありません。

1. 機密印刷のメッセージが画面に表示されたら、[初期設定] キーを押します。



DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して削除する文書を選択します。



機密文書の蓄積された時間とユーザーコードを確認して、目的の文書を選択してください。

3. [削除] を押します。

機密文書が削除されます。

機密文書やログがまだ本機に残っているときは、そのリストが表示されます。残っていないときは初期画面に戻ります。

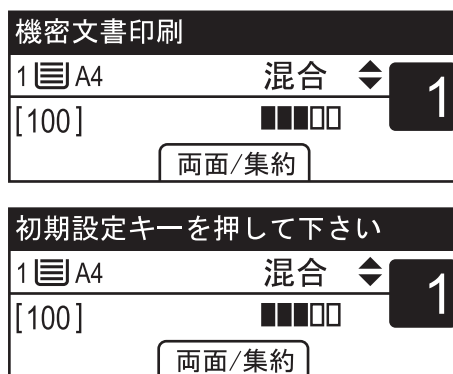
↓ 補足

- 本機の初期設定を変更したいときは、[スキャナー] キーまたは [ファクス] キーを押してから [初期設定] キーを押してください。機密文書を印刷するには、[コピー] キーを押してコピーモードに戻ってください。

キャンセルされた機密文書を確認する

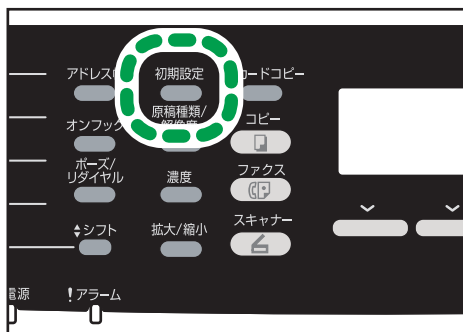
機密印刷が中止されると、本機にキャンセルのログが残ります。ログによって、どの機密文書がキャンセルされたかを確認できます。

キャンセルのログが記録されると、本機がコピーモードのときに、操作部の画面に「文書を削除しました 初期設定キーを押して下さい」と表示されます。



中止された機密印刷を確認する方法について説明します。

1. 機密印刷のメッセージが画面に表示されたら、[初期設定] キーを押します。



DAC448

2. [▲] [▼] キーを押して名前の先頭に「！」がついている文書を探します。



機密文書の蓄積された時間とユーザー ID を確認して、目的の文書を選択してください。

ログを削除するには、次の手順に進みます。

3. [OK] キーを押します。

4. [削除] を押します。

ログが削除されます。

機密文書やログがまだ本機に残っているときは、そのリストが表示されます。残っていないときは、初期画面に戻ります。

↓ 補足

- 本機の初期設定を変更したいときは、[スキャナー] キーまたは [ファクス] キーを押してから [初期設定] キーを押してください。機密文書を印刷するには、[コピー] キーを押してコピーモードに戻ってください。
- 本機は最新のログを 10 個まで保持します。すでに 10 個保持されている状態で機密印刷がキャンセルされると、古いログから削除されます。
- すべてのログが削除されると、「文書を削除しました 初期設定キーを押して下さい」というメッセージは表示されなくなります。
- 本機の電源を切ると、すべてのログは削除されます。

デジタルカメラから直接印刷する (PictBridge)

デジタルカメラから直接印刷する機能についての説明です。

PictBridge とは？

本機と PictBridge 対応のデジタルカメラを USB ケーブルで接続し、デジタルカメラを操作することで、撮影した画像を直接印刷できます。

↓ 補足

- お使いのデジタルカメラが PictBridge に対応していることを確認してください。
- 1 回の印刷で送信できる画像枚数は 999 枚までです。1000 枚以上の枚数を送信したときはカメラ側にエラーを返し、印刷は行われません。
- 印刷条件はデジタルカメラ側で設定するため、お使いのデジタルカメラによって設定できる項目が異なります。詳しくは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。
- この機能は、USB 2.0 に対応しています。

PictBridge で印刷する

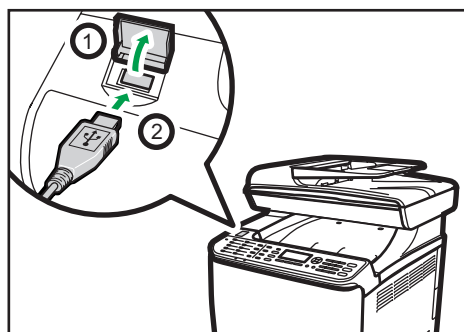
本機とデジタルカメラを USB ケーブルで接続し、印刷の手順を説明します。

★ 重要

- 高解像度の画像を印刷しようとする、メモリーが一杯になってしまうことがあります。このときは、画像のサイズを縮小し、再度お試しください。
- データの送信中に USB ケーブルを抜かないでください。正しく印刷されないことがあります。

1. 本機とお使いのデジタルカメラの電源が入っていることを確認します。

2. PictBridge 用 USB ポートのカバーを開けて USB ケーブルを接続し、ケーブルの片方をデジタルカメラと接続します。



DAC030

正常に接続されると操作部に「PictBridge 接続中」と表示後、「操作できます」と表示されます。

3. デジタルカメラで、印刷を行いたい画像を選択して印刷条件を設定してください。
4. デジタルカメラで設定した内容を本機に送信し、印刷を行います。

↓ 補足

- PictBridge を使うために、デジタルカメラの設定や操作が必要なときがあります。詳しくは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。

本機でできること

本機に対応している PictBridge の印刷機能を紹介します。

使用できる設定項目は以下のとおりです。

- 単一画像印刷
- 任意選択画像印刷
- 全画像印刷
- インデックス印刷
- 用紙サイズ
- 集約

↓ 補足

- お使いのデジタルカメラにより、印刷の機能名や設定できる項目が異なることがあります。詳しくは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。

PictBridge を終了するには

PictBridge モードを終了する手順を説明します。

★重要

- データの送信中に USB ケーブルを抜かないでください。正しく印刷されないことがあります。

1. 本機の操作部に「操作できます」が表示されていること確認します。

2. 本機に接続されている USB ケーブルを抜きます。

PictBridge 用の USB ポートのカバーを閉じてください。

4

こんなときには

印刷がうまくいかないときの原因と対処方法について説明します。

状態	原因	対処法
PictBridge が利用できない。	USB の接続か、PictBridge の設定に問題があります。	以下の順番で確認してください。 1. USB ケーブルの抜き差しを行ってください。 2. PictBridge の設定が有効になっているか確認をしてください。 3. 一度 USB ケーブルを抜き、本機の電源の OFF/ON を行い、再度立ち上がったのを確認してから USB ケーブルを接続してください。
複数のデジタルカメラを接続したが、2 台目以降のデジタルカメラが認識しない。	複数のデジタルカメラを接続しています。	デジタルカメラの接続可能台数は 1 台です。複数のデジタルカメラを接続しないでください。
印刷ができない。	指定した画像の枚数が多すぎます。	1 回で印刷指定できる画像枚数は 999 枚までです。 指定枚数が超えているときは減らして再度印刷を行ってください。
印刷ができない。	指定した用紙が本機にセットされていません。	本機の用紙を確認してください。用紙切れのときは用紙のセットを、指定サイズ以外の用紙に印刷するときは強制印刷を、印刷をとりやめるときにはジョブキャンセルを、それぞれ本機で行ってください。

状態	原因	対処法
印刷ができない。	本機で印刷できないサイズ の用紙を指定しています。	本機で印刷できない用紙サイズを指定 していないか確認してください。指定 していたときは、本機で印刷できるサ イズの用紙に変更してください。

こんな印刷がしたい

用途に応じた印刷機能を説明します。以下の機能について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

画質機能

画質とカラートーンは、印刷データに合わせて調節できます。ここでは、画質の設定をいくつか説明します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

カラー文書を白黒で印刷する

カラー原稿も含めたすべてを黒1色で印刷します。カラー印刷よりも高速で印刷できます。

CMYK に色分解して、指定した色だけで印刷する

カラー印刷はシアン・マゼンタ・イエロー・ブラックの4色を使って行います。特定の色を使いたくないときは、該当する色の使用を無効にし、他の色だけで印刷することができます。



DAC807

印刷時にトナーを節約する（トナーセーブ）

通常よりも少ない量のトナーで画像を印刷することによって、トナーを節約できます。[しない]、[やや薄い]、[薄い] から選択するか、[ユーザー設定] を選択して文字、図形、写真などの要素ごとに、トナーの使用量を個別に設定することもできます。



DAC808

画像の印刷方法を変更する

画質と速度のどちらを優先して印刷するか選択できます。解像度の高い画像は印刷にかかる時間も長くなります。

ディザパターンを変更する

ディザパターンとは擬似的な表現を行うためのドットを作り出す元となるデータです。このデータを変えることにより、擬似表現の特性を変えることができます。実際に印刷する画像に合ったパターンを選択してください。

カラーマッチングのパターンを変更する

カラー変換時に使用するパターンを変更することで、画面上の色に対する印刷時の色合いを調整できます。

画面上の色は RGB の 3 色で表現されますが、本機からは CMYK の 4 色で印刷されます。そのため、印刷時には RGB カラーから CMYK カラーへ変換します。調整をしないで印刷すると、実際に印刷されたイメージとパソコンの画面上のものが異なって見えることがあります。

グレースケールを黒 1 色で印刷するか、CMYK で印刷するか選択する

文書中の黒またはグレー部分を黒 1 色で印刷するか、CMYK の 4 色で印刷するかを選択できます。CMYK の 4 色で印刷する黒に比べて、黒 1 色で印刷する黒は均一で純度が高くなります。

ICM (Image Color Matching) を使用する

Windows の ICM 機能を使って、用紙に印刷される色をパソコンの画面上の色にできるだけ近く再現できます。

この機能を使用するときは、カラープロファイルをパソコンに追加してください。カラープロファイルは、付属の CD-ROM の ICM フォルダに収録されています。なお、カラープロファイルを追加する方法については、Windows のヘルプでキーワードを“カラープロファイル”にして検索し、適切なトピックを参照してください。

↓ 補足

- ここで紹介した機能は、お使いの OS によって使用できないことがあります。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷出力機能

用途に応じて印刷の出力方法を選択できます。いくつかの指定可能な設定を説明します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

複数部数を印刷する

同じ文書を複数部数指定して印刷できます。

部単位で印刷する（ソート）

複数部数を印刷するとき、1部ずつページ順に並べて印刷できます。（ページ1、ページ2、ページ1、ページ2...）この機能を使わずに複数部数を印刷すると、ページごとに出力されます。（ページ1、ページ1、ページ2、ページ2...）この機能は、プレゼンテーション資料を作成するときなどに有効です。

画像の方向を変える、180度回転する

画像の方向を縦と横に変更できます。また画像を180度回転できます。レターヘッド紙のようにあらかじめ上下の向きが決まっている用紙は、イメージを回転して逆さまに印刷しないようにします。

複数のページを1枚の用紙に印刷する（集約）

複数ページを1ページにまとめて印刷できます。

集約時は指定した用紙サイズと集約枚数に応じて自動的に縮小します。

1ページを複数枚の用紙に分けて印刷する（拡大連写）

1ページを複数枚の用紙に分けて拡大印刷できます。印刷された紙を貼り合わせることで、ポスターのような大判の印刷物を作ることができます。

用紙の両面に印刷する（両面印刷）

用紙の両面に印刷できます。

両面印刷は自動で行われ、製本向け中綴じ機能も使用できます。

文書を拡大・縮小する

倍率を1%刻みに25%から400%の範囲で指定して印刷できます。自動的に指定のサイズに拡大・縮小して印刷することもできます。この機能は、ホームページを印刷するときなどに有効です。

[大きなサイズの用紙を使用する] 機能を選択すると、A3/11×17/B4/8Kサイズの文書が本機対応の用紙サイズに縮小されて印刷されます。

白紙を節約する

印刷データに含まれる白紙ページを印刷しないように設定できます。

表紙をつけて印刷する

プリントジョブに表紙を追加できます。

表紙を白紙にするか、文書の最初のページを表紙に印刷するかを選択できます。表紙を両面印刷にすると、裏面にも印刷できます。

表紙に使う用紙は、残りのページと同じ種類や違う種類にできます。

不定形サイズの用紙に印刷する

用紙サイズを不定形に設定すると、定形外の用紙に印刷できます。

背景に透かし文字を重ねて印刷する（透かし文字）

透かし文字を重ねて印刷できます。さまざまな透かし文字が用意されています。オリジナルの透かし文字を作成することもできます。

↓ 補足

- ここで紹介した機能は、お使いの OS によって使用できないことがあります。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

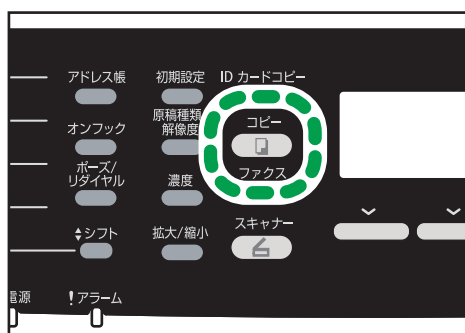
5. コピー機能を使う

コピー機能について説明します。

コピーモード画面

コピーモードの画面について説明します。

初期設定では、電源を入れるとコピーモード画面が表示されます。スキャナーかファクスモード画面が表示されているときは、操作部の [コピー] キーを押してコピーモード画面に切り替えてください。



DAC445

初期画面



DAC629

1. 本機の現在の状態やメッセージ

本機の現在の状態やメッセージを表示します。

2. 現在の設定

現在設定されている印刷用のトレイ、拡大・縮小の倍率、原稿の読み取り方法を表示します。

3. 選択キーの項目

画面下部に選択項目が表示されたときは、対応する選択キーを押して機能を使用できます。

4. コピー部数

現在設定されているコピー部数を表示します。

↓ 補足

- 本機の電源を入れたときのモードは [管理者用設定] の [優先機能] 設定で指定できます。詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。

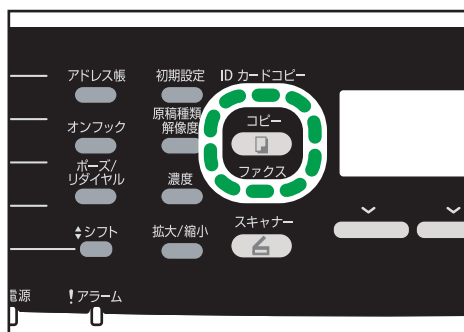
コピーの基本的な使いかた

基本的なコピー方法を説明します。

★重要

- ADF と原稿ガラスの両方に原稿がセットされているときは、ADF の原稿が優先されま
す。

1. [コピー] キーを押します。



DAC445

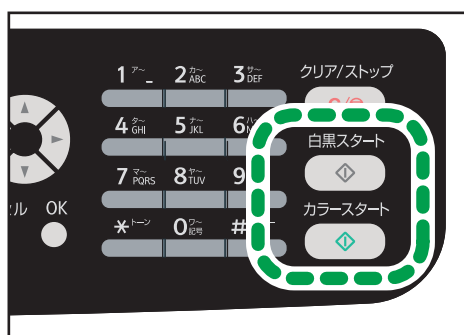
2. 原稿ガラスの上か ADF に原稿をセットします。

原稿のセット方法について詳しくは、P.111 「原稿をセットする」を参照してください。

必要に応じて、読み取り方法やコピーのしかたを設定してください。

3. 複数の部数をコピーするときは、テンキーでコピーする部数を入力します。

4. [白黒スタート] キー、または [カラースタート] キーを押します。



DAC458

白黒でコピーするには、[白黒スタート] キーを押します。

カラーでコピーするには、[カラースタート] キーを押します。

↓補足

- 一度にコピーできる部数は、最大で 99 部です。

- [▲] [▼] キーを押して印刷用のトレイを一時的に変更できます。トレイ 2 を装着しているときは、用紙サイズ (A4 か Letter) に応じてトレイを自動的に選択するように設定できます。
- コピーで使うトレイを、コピー初期設定の [用紙選択] で設定できます。また、用紙サイズに応じてトレイ 1 とトレイ 2 を自動的に切り替えるように設定したときは、用紙設定の [給紙トレイ優先設定] で、どちらのトレイを優先的に使うかを設定できます。[用紙選択] について詳しくは、P.191 「コピー初期設定」を参照してください。[給紙トレイ優先設定] について詳しくは、P.203 「用紙設定」を参照してください。
- 複数ページの原稿を何部かコピーするときは、コピー初期設定の [ソート] で、1 部ずつ排紙するか、ページごとに排紙するか選択できます。詳しくは、P.191 「コピー初期設定」を参照してください。
- 紙づまりが起きたときは印刷が停止します。紙づまりが解消されると、つまったページから印刷が再開されます。
- ADF で紙づまりが起きたときは、コピーはキャンセルされます。このときは、つまったページからコピーをやり直してください。紙づまりを取り除く方法について詳しくは、P.265 「給紙・排紙が正常に行われない」を参照してください。

コピーを中止する

コピーを中止する方法について説明します。

原稿を読み取っているとき

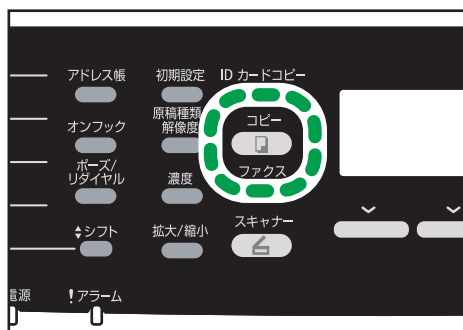
原稿を読み取っているときにコピーを中止すると、コピーは即座に中止され、印刷もされません。

ADF に原稿がセットされているときは、ただちに読み取りを停止し、すべての原稿が排紙されます。

印刷しているとき

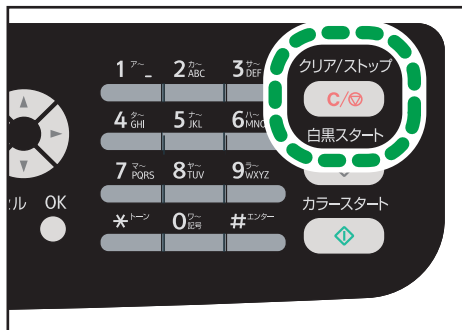
印刷中にコピーを中止すると、印刷中のページが排紙された後にコピーを中止します。

1. [コピー] キーを押します。



DAC445

2. [クリア/ストップ] キーを押します。

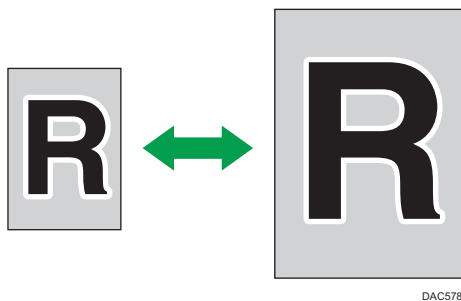


DAC459

拡大・縮小してコピーする

倍率の設定には、固定の倍率を選択する方法（固定変倍）と、手動で倍率を指定する方法（ズーム）があります。

- 固定変倍



50%、71%、82%、93%、122%、141%、200%、400%

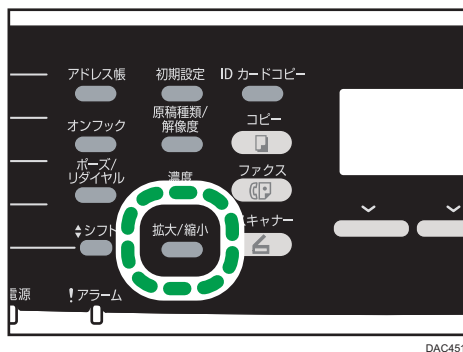
- ズーム



25%～400%の間で、1%刻みに倍率を指定します。

拡大・縮小を設定する

1. [拡大/縮小] キーを押します。



2. [拡大]、[縮小] または [ズーム] を押します。

[拡大] または [縮小] を選択したときは、[▲] [▼] [◀] [▶] キーを押して倍率を選択します。[ズーム] を選択したときは、テンキーで倍率を指定します。

3. [OK] キーを押します。

↓ 補足

- 常に同じ倍率でコピーしたいときは、コピー初期設定の [変倍] で設定を変更できます。詳しくは、P.191 「コピー初期設定」を参照してください。
- 一時的に行った設定は、以下のときにクリアされます。
 - 初期画面表示中、[システムオトリセット時間設定] で設定した時間内に入力なかったとき。詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。
 - 初期画面表示中に [クリア/ストップ] キーを押したとき
 - モード変更したとき
 - 電源を切ったとき
 - 設定した項目の初期値が変更されたとき

片面原稿を両面/集約コピーする

片面印刷の原稿を用紙の両面にコピーするように設定する方法について説明します。

★重要

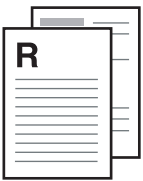



- この機能は、ADF でコピーするときのみ使用できます。原稿ガラスでコピーするときは使用できません。
- 集約してコピーするには、コピー用の用紙のサイズを、あらかじめ A4、Letter、または Legal サイズに設定してください。
- 両面コピー用の用紙は、トレイ 1 かトレイ 2 から給紙されます。手差しトレイからは給紙されません。
- 両面コピーに使用できる用紙のサイズは、A4、B5、Letter、Legal、7¹/₄ × 10¹/₂ インチ、8 × 13 インチ、8¹/₂ × 13 インチ、8¹/₄ × 13 インチ、または 16K です。
- 両面コピーに使用できる用紙の種類は、薄紙、普通紙、中厚口、再生紙、色紙、印刷済み紙、またはパンチ済み紙です。

集約/両面コピーには、以下の種類があります。原稿や仕上がりのコピーレイアウトに合わせて選択してください。

片面集約コピー







1 枚の用紙に 2 または 4 ページを集約してコピーできます。

- 片面 2 枚を 2 ページごと集約 (片)

	原稿	コピー
タテ		
ヨコ		

DAC623

- 片面 4 枚を 4 ページごと集約 (片)







	原稿	コピー	
タテ		左から右 	上から下 
ヨコ		左から右 	上から下 

DAC624

両面集約コピー

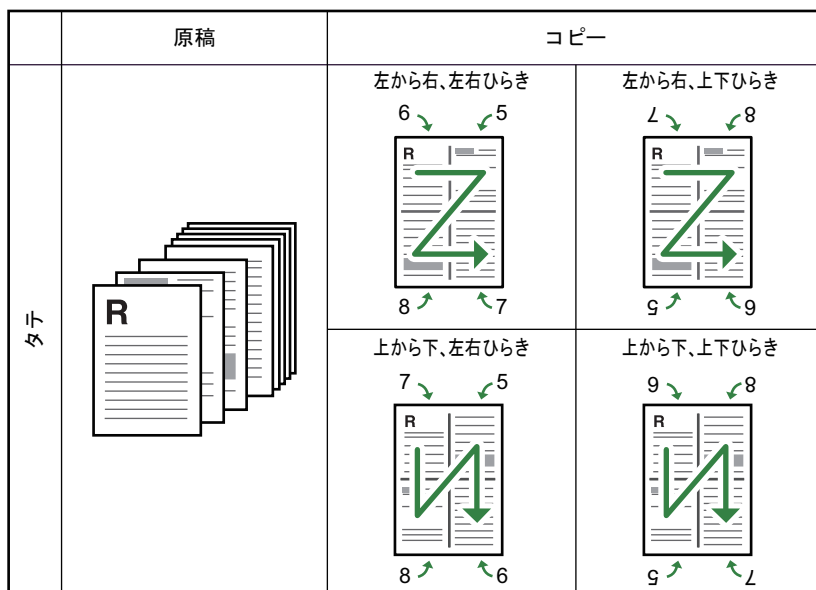
複数ページの原稿を両面に集約してコピーできます。

- 片面 4 枚を 2 ページごと集約 (両)

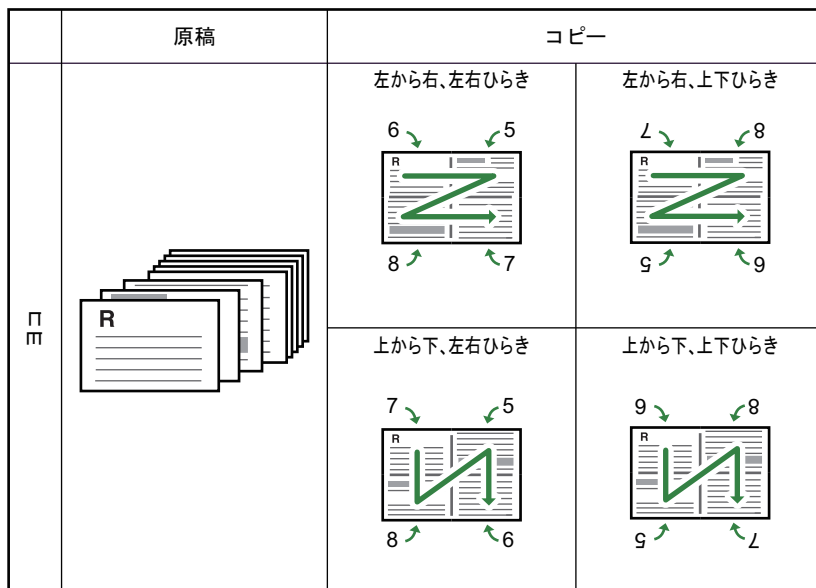
	原稿	コピー	
タテ		左右ひらき 	上から下 
ヨコ		左右ひらき 	上から下 

DAC625

- 片面 8 枚を 4 ページごと集約 (両)



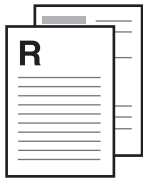





DAC626



DAC627

両面コピー：片面原稿→両コピー

片面の原稿を集約しないで両面にコピーできます。

	原稿	コピー	
タテ		左右ひらき 	上から下 
ヨコ		左右ひらき 	上から下 

DAC628

両面/集約コピーを設定する

1. [両面/集約] を押します。
2. [▲] [▼] キーを押して実行するコピーの種類を選択し、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して用紙の向きとページ順を選択し、[OK] キーを押します。
4. [キャンセル] キーを押します。

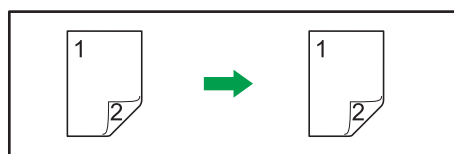
初期画面に選択したコピーの種類が表示されます。

↓ 補足

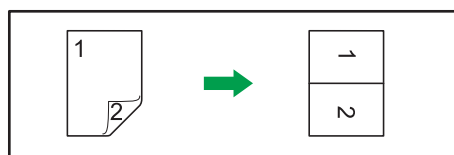
- 常に集約でコピーしたいときは、コピー初期設定の [両面/集約] で設定を変更できます。詳しくは、P.191 「コピー初期設定」を参照してください。
- 両面/集約コピーを設定すると [ID カードコピー] は自動的にキャンセルされます。
- 一時的に行った設定は、以下のときにクリアされます。
 - 初期画面表示中、[システムオートリセット時間設定] で設定した時間内に入力がなかったとき。詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。
 - 初期画面表示中に [クリア/ストップ] キーを押したとき
 - モード変更したとき
 - 電源を切ったとき
 - 設定した項目の初期値が変更されたとき

両面原稿を両面/集約コピーする（手動両面機能）

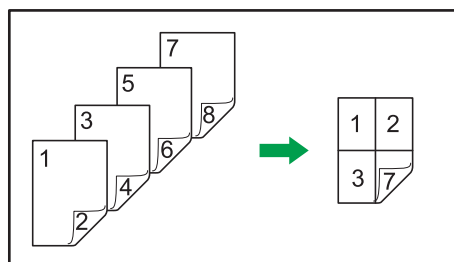
両面印刷の原稿を両面にコピーしたり、片面または両面に2ページ集約/4ページ集約でコピーするように設定する方法を説明します。



DAC602



DAC603



DAC603

★重要

- [両面1枚を2ページごと集約（片）]、[両面2枚を4ページごと集約（片）]、[両面原稿→両面コピー]、[両面2枚を2ページごと集約（両）]、[両面4枚を4ページごと集約（両）]は、ADFでコピーするときのみ使用できます。原稿ガラスでコピーするときは使用できません。
- オモテ面とウラ面は同じカラーモードでコピーします。異なるモードでコピーしようとすると、アラームが鳴ります。

手動両面には次の6種類があります。

両面1枚を2ページごと集約（片）

両面原稿を用紙の方面にまとめてコピーします。

両面2枚を4ページごと集約（片）

2ページ分の両面原稿を用紙の方面にまとめてコピーします。

両面原稿→両面コピー

両面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

両面 2 枚を 2 ページごと集約 (両)

2 ページ分の両面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

両面 4 枚を 4 ページごと集約 (両)

4 ページ分の両面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

手動両面原稿読取モード

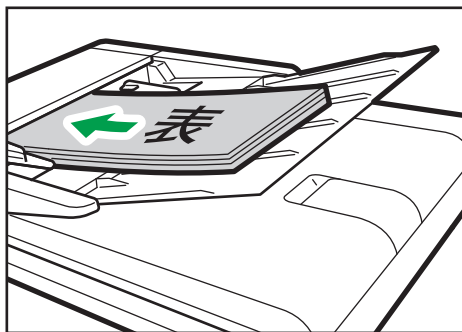
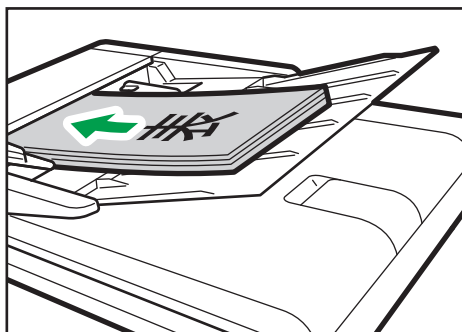
原稿ガラスで両面コピーします。

ADF から手動両面コピーをする

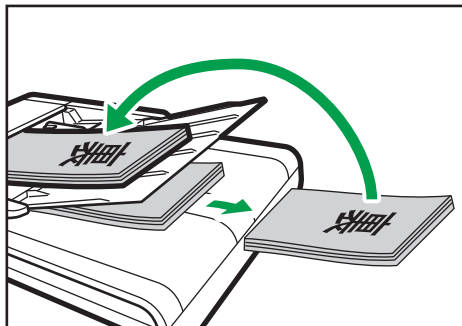
★重要

- 表面と裏面でページ数を合わせてください。ページ数が合わないときジョブリセットされます。

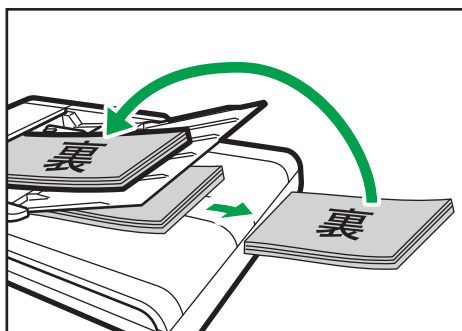
1. [両面/集約] を押します。
2. [▲] [▼] キーを押してコピーするモードを選択し、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して用紙の向きとページ順を選択し、[OK] キーを押します。
4. すべての両面原稿を、オモテ面を上にして、ADF にセットします。



5. [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。
6. すべての原稿が排紙されたら、ウラ面を上にして ADF にセットします。
縦長原稿のときは、裏面は表面と逆方向にセットします。



DAC372



DAC374

7. もう一度 [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。
両面とも同じモード（白黒またはカラー）でコピーしてください。
すべてのページの読み取りが終了すると、コピーを開始します。

↓ 補足

- 原稿をセットするとき、[システムオートリセット時間設定] で設定した時間内に [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押さないと、ジョブはキャンセルされます。詳しくは、P.206「管理者用設定」を参照してください。
- 原稿の読み取り中にメモリーがいっぱいになると、ジョブはキャンセルされます。

原稿ガラスから手動両面コピーをする

★ 重要

- [手動両面原稿読取モード] を使って奇数のページを印刷すると最後のページのみ印刷できません。最後のページのみ [両面/集約] を [しない] にしてから印刷してください。

1. [両面/集約] を押します。
2. [▲] [▼] キーを押して [手動両面原稿読取モード] を選択し、[OK] キーを押します。
3. 原稿の読み取りたい面を下にして、先頭が本機の奥側を向くように原稿ガラスにセットします。
原稿は1枚ずつセットします。
4. [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。
5. 「裏面をセットしスタートキーを押す」が表示されたら、原稿の反対面を下にして原稿ガラスにセットします。
6. もう一度 [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。
両面とも同じモード（白黒またはカラー）でコピーしてください。

↓ 補足

- 原稿をセットするとき、[システムオートリセット時間設定] で設定した時間内に [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押さないと、ジョブはキャンセルされます。詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。
- ソートはできません。

用紙の片面に ID カードの両面をコピーする

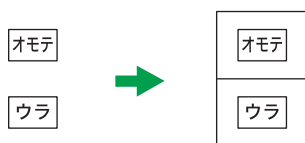
ID カードなど、小さな文書の表、裏の両面を用紙の片面にコピーする方法について説明します。

A4 サイズの用紙にコピーするときは、A5 サイズより小さい文書をコピーできます。

Letter サイズの用紙にコピーするときは、Half Letter サイズより小さい文書をコピーできます。

★重要

- この機能は、原稿ガラスでコピーするときのみ使用できます。ADF でコピーするときは使用できません。
- この機能を使用するには、コピー用の用紙のサイズを、あらかじめ A4 か Letter サイズに設定してください。

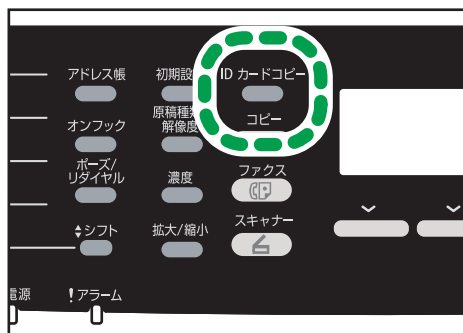


CHP020

5

ID カードをコピーする

1. [ID カードコピー] キーを押します。



DAC444

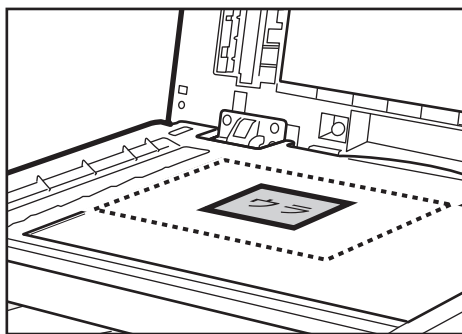
この機能を使用するには、管理者用設定の [ダイレクト機能呼出し設定] を [ID カードコピーモード] に設定して、[ID カードコピー] キーを押すと ID カードコピーモードになるようにする必要があります。

[ID カードコピー] キーを押しても ID カードコピー画面が表示されないときは、[ダイレクト機能呼出し設定] を [ID カードコピーモード] に設定してから再度 [ID カード

ドコピー] キーを押してください。[ダイレクト機能呼出し設定] について詳しくは、P.40 「ダイレクト機能呼出しを設定する」を参照してください。

2. 原稿の読み取りたい面を下にして、先頭が本機の奥側を向くように原稿ガラスにセットします。

原稿は A5 サイズ/ Half Letter サイズの読み取り範囲の中央に置いてください。



DAC630

3. [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。

原稿の反対面を下にして原稿ガラスにセットするように、画面に表示されます。

4. 原稿の反対面を下にして、先頭が本機の奥側を向くように原稿ガラスにセットして、もう一度 [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。

両面とも同じモード（白黒またはカラー）でコピーしてください。

↓ 補足

- 原稿をセットするとき、[システムオートリセット時間設定] で設定した時間内に [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押さないと、ジョブはキャンセルされます。詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。
- 本機の拡大・縮小の設定に関係なく、ID カードコピーでは常に 100% でコピーされます。
- 現在のジョブの設定は、つぎのようなときに解除されます。
 - 初期画面の表示中に、[システムオートリセット時間設定] で設定されている時間内に入力がなかったとき。詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。
 - 初期画面の表示中に、[クリア/ストップ] キーが押されたとき
 - 本機のモードが変更されたとき
 - 本機の電源が切れたとき
 - 設定した項目の初期値が変更されたとき

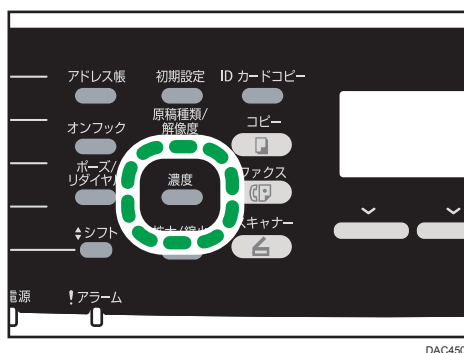
読み取り方法を設定する

濃度と原稿の種類を設定する方法を説明します。

濃度を調整する

濃度を5段階で調整します。濃度レベルが高くなるほど、画像が濃くなります。

1. [濃度] キーを押します。



2. [◀] [▶] キーを押して濃度を選択し、[OK] キーを押します。

↓ 補足

- 常に特定の濃度でコピーしたいときは、コピー初期設定の「濃度」で設定を変更できます。詳しくは、P.191「コピー初期設定」を参照してください。
- 一時的に行った設定は、以下のときにクリアされます。
 - 初期画面表示中、[システムオートリセット時間設定] で設定した時間内に入力がなかったとき。詳しくは、P.206「管理者用設定」を参照してください。
 - 初期画面表示中に [クリア/ストップ] キーを押したとき
 - モード変更したとき
 - 電源を切ったとき
 - 設定した項目の初期値が変更されたとき

原稿に合わせて文書種類を選択する

3つの文書種類から選択できます。

混合

文字と写真などが混じった原稿に適した設定で読み取ります。

文字

文字が主体の原稿に適した設定で読み取ります。

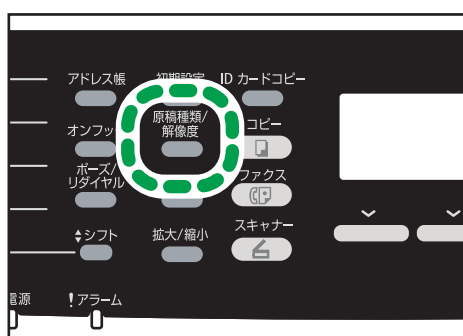
写真

写真などが主体の原稿に適した設定で読み取ります。以下のような原稿を読み取る
ときに選択してください。

- 写真
- 雑誌などのように、主に写真や絵画で構成されている原稿

原稿種類を設定する

1. [原稿種類/解像度] キーを押します。



DAC449

2. [▲] [▼] キーを押して文書種類を選択し、[OK] キーを押します。

↓ 補足

- 常に特定の文書種類でコピーしたいときは、コピー初期設定の「[原稿種類]」で設定を変更できます。詳しくは、P.191「コピー初期設定」を参照してください。
- 一時的に行った設定は、以下のときにクリアされます。
 - 初期画面表示中、[システムオートリセット時間設定] で設定した時間内に入力がなかったとき。詳しくは、P.206「管理者用設定」を参照してください。
 - 初期画面表示中に [クリア/ストップ] キーを押したとき
 - モード変更したとき
 - 電源を切ったとき
 - 設定した項目の初期値が変更されたとき

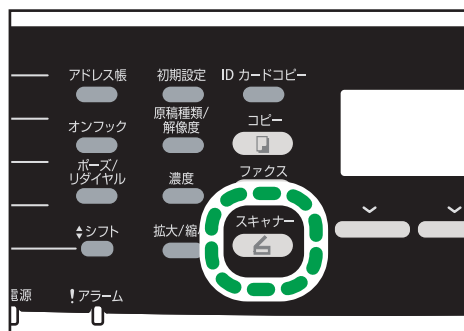
6. スキャナー機能を使う

スキャナーには、パソコンから本機を操作してスキャンする方法と、操作部を使用してスキャンする方法の2つがあります。パソコンからスキャンすると、スキャンしたファイルを直接パソコンに取り込めます (TWAIN/WIA)。操作部を使用してスキャンすると、スキャンしたファイルをあらかじめ設定したあて先に送信できます (メールのあて先/FTP サーバー/パソコンの共有フォルダー)。

スキャナーモード画面

スキャナーモード時の画面について説明します。

初期設定では、電源を入るとコピーモード画面が表示されます。コピーかファクスモード画面が表示されているときは、操作部の [スキャナー] キーを押してスキャナーモード画面に切り替えます。



DAC447

初期画面



DAC109

1. 本機の現在の状態やメッセージ

本機の現在の状態やメッセージを表示します。

2. 現在の設定

現在設定されているスキャナーのモードと読み取り方法を表示します。

- 「宛先を指定」と表示されているとき
メール送信/FTP 送信/ フォルダ送信機能が使用できます。
- 「読取データを USB に保存」と表示されているとき
本機に USB メモリーが差し込まれていて、USB メモリー送信機能が使用できます。

3. 選択キーの項目

選択キーを押して使用できる機能を表示します。

↓ 補足

- 本機の電源を入れたときのモードは [管理者用設定] の [優先機能] 設定で指定できます。 [優先機能] について詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。

スキャナーのあて先を登録する

アドレス帳にあて先を登録する方法を説明します。スキャンしたファイルをメールアドレス、FTP サーバー、または共有フォルダーに送信するには、あらかじめ Web Image Monitor からアドレス帳にあて先の登録が必要です。

★重要

- アドレス帳のデータは、不意に破損したり、失われることがあります。弊社では、データの喪失によるあらゆる損害に対する一切の責任を負いかねます。アドレス帳のバックアップファイルを定期的に作成してください。バックアップファイルの作成について詳しくは、P.248「本機の設定をバックアップする」を参照してください。
- FTP 送信、フォルダー送信機能を使用するとき、ネットワーク環境によっては、あて先にユーザー名とパスワードの登録が必要です。あて先を登録したら、そのあて先にテスト送信をして、ユーザー名とパスワードが正しく入力されていることを確認してください。登録したあて先にスキャンしたファイルを送信するには、P.164「基本的なメール送信/FTP 送信/フォルダー送信のしかた」を参照してください。

アドレス帳にはワンタッチダイヤル 20 件を含む 100 件まで登録できます。

ワンタッチダイヤルに登録したあて先は、ワンタッチキーで選択できます。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。
2. [ワンタッチキー宛先] または [スキャナー宛先] をクリックします。
3. [宛先種別] リストから [メール宛先]、[FTP 宛先]、または [フォルダー宛先] を選択します。
4. 必要な情報を登録します。
登録が必要な情報はあて先によって異なります。詳しくは、以下の表を参照してください。
5. 必要なときは、管理者のパスワードを入力してください。
6. [適用] をクリックします。
7. Web ブラウザーを終了します。

メール宛先登録/変更の設定

項目	設定	説明
ワンタッチキー番号	任意	あて先をワンタッチダイヤルに登録します。
宛先名	必須	あて先名です。スキャナーのあて先を選択するときに、ここで設定したあて先名が画面に表示されます。半角英数字/半角カナで 16 文字まで入力できます。
あて先メールアドレス	必須	あて先メールアドレスです。半角英数字で 64 文字まで入力できます。
通知メールアドレス	任意	送信後の通知を受けるメールアドレスです。半角英数字で 64 文字まで入力できます。
件名	必須	メールの件名です。半角英数字で 64 文字まで入力できます。 例：○○○○○○
送信者名	任意	メールの送信者名です。送信者名は、メールの差出人欄に表示されます。半角英数字で 32 文字まで入力できます。 例：○○○tarou
ファイル形式 (カラー/グレースケール)	必須	カラーで読み取るときのファイル形式です。PDF または JPEG を選択できます。PDF のときは複数ページのファイルが作成できますが、JPEG のときはできません。
ファイル形式 (白黒)	必須	白黒で読み取るときのファイル形式です。PDF または TIFF を選択できます。どちらのファイル形式でも、複数ページのファイルが作成できます。
読み取りサイズ	任意	原稿の読み取りサイズを、A5、B5、A4、 $7\frac{1}{4} \times 10\frac{1}{2}$ 、 $8\frac{1}{2} \times 5\frac{1}{2}$ 、Letter、Legal、不定形サイズから選択します。不定形サイズを選択したときは [mm] または [inch] を選択し、幅と長さを指定します。

項目	設定	説明
解像度	任意	読み取りの解像度を、100×100、150×150、200×200、300×300、400×400、600×600dpi から選択します。
濃度	任意	画像の濃度を左右のボタンをクリックして指定します。濃度は5段階から調整できます。

FTP 宛先登録/変更の設定

項目	設定	説明
ワンタッチキー番号	任意	あて先をワンタッチダイヤルに登録します。
宛先名	必須	あて先名です。スキャナーのあて先を選択するとき、ここで設定したあて先名が画面に表示されます。半角英数字/半角カナで16文字まで入力できます。 例：○○○○tarou
FTP サーバーアドレス	必須	FTP サーバーの名前、または IP アドレスです。半角英数字で64文字まで入力できます。 例：○○○○○○server、xxx.xxx.xxx.xxx
ファイル形式 (カラー/グレースケール)	必須	カラーで読み取る際のファイル形式です。PDF または JPEG を選択できます。PDF のときは複数ページのファイルが作成できますが、JPEG のときはできません。
ファイル形式 (白黒)	必須	白黒で読み取る際のファイル形式です。PDF または TIFF を選択できます。どちらのファイル形式でも、複数ページのファイルが作成できます。
FTP ユーザー名	任意	FTP サーバーにログオンするためのユーザー名です。半角英数字で32文字まで入力できます。 例：○○○○tarou

項目	設定	説明
FTP パスワード	任意	FTP サーバーにログオンするためのパスワードです。半角英数字で 32 文字まで入力できます。 例：password
ディレクトリ	任意	スキャンしたファイルを保存する FTP サーバーのディレクトリ名です。半角英数字で 64 文字まで入力できます。
通知メールアドレス	任意	送信後の通知を受けるメールアドレスです。半角英数字で 64 文字まで入力できます。 例：tarou@xxx.xx
読み取りサイズ	任意	原稿の読み取りサイズを、A5、B5、A4、7 ¹ / ₄ ×10 ¹ / ₂ 、8 ¹ / ₂ ×5 ¹ / ₂ 、Letter、Legal、不定形サイズから選択します。不定形サイズを選択したときは [mm] または [inch] を選択し、幅と長さを指定します。
解像度	任意	読み取りの解像度を、100×100、150×150、200×200、300×300、400×400、600×600dpi から選択します。
濃度	任意	画像の濃度を左右のボタンをクリックして指定します。濃度は 5 段階から調整できます。
接続テスト	-	指定したフォルダーへの接続を確認するために、接続テストが開始されます。

フォルダー宛先登録/変更の設定

項目	設定	説明
ワンタッチキー番号	任意	あて先をワンタッチダイヤルに登録します。
宛先名	必須	あて先名です。スキャナーのあて先を選択するときに、ここで設定したあて先名が画面に表示されます。半角英数字/半角カナで 16 文字まで入力できます。 例：○○○○tarou

項目	設定	説明
サービス名	必須	スキャンしたファイルが保存されるディレクトリのパスです。あて先のパソコンの IP アドレス（半角英数字で 64 文字まで）と共有フォルダーの名前（半角英数字で 32 文字まで）で構成されます。 例：〇〇〇.〇〇〇.〇〇〇.〇〇〇\taroufolder
ドメイン	任意	あて先のパソコンが所属するドメインの名前を指定します。半角英数字で 15 文字まで入力できます。 例：domain.local
ログインユーザー名	任意	送り先のパソコンにログオンするためのユーザー名です。半角英数字で 32 文字まで入力できます。 例：〇〇〇〇tarou
ログインパスワード	任意	送り先のパソコンにログオンするためのパスワードです。半角英数字で 32 文字まで入力できます。 例：password
ディレクトリ	任意	スキャンしたファイルを保存する共有フォルダー内のディレクトリです。半角英数字で 64 文字まで入力できます。 例：taroufolder
通知メールアドレス	任意	送信後の通知を受けるメールアドレスです。半角英数字で 64 文字まで入力できます。 例：tarou@xxx.xx
ファイル形式（カラー/グレースケール）	必須	カラーで読み取る際のファイル形式です。PDF または JPEG を選択できます。PDF のときは複数ページのファイルが作成できますが、JPEG のときはできません。
ファイル形式（白黒）	必須	白黒で読み取る際のファイル形式です。PDF または TIFF を選択できます。どちらのファイル形式でも、複数ページのファイルが作成できます。
読み取りサイズ	任意	原稿の読み取りサイズを、A5、B5、A4、 $7\frac{1}{4}\times 10\frac{1}{2}$ 、 $8\frac{1}{2}\times 5\frac{1}{2}$ 、Letter、Legal、不定形サイズから選択します。不定形サイズを選択したときは [mm] または [inch] を選択し、幅と長さを指定します。
解像度	任意	読み取りの解像度を、100×100、150×150、200×200、300×300、400×400、600×600dpi から選択します。
濃度	任意	画像の濃度を左右のボタンをクリックして指定します。濃度は 5 段階から調整できます。
接続テスト	-	指定した共有フォルダーへの接続を確認するために、接続テストが開始されます。

↓ 補足

- メールでファイルを送るには、あらかじめ SMTP と DNS の設定をしてください。SMTP と DNS の設定について詳しくは、P.236 「DNS の設定をする」、P.239 「SMTP の設定をする」を参照してください。
- メール送信機能で送ったメールの送信日時を正しく表示するには、お客様の地域に合わせてタイムゾーンを正しく設定してください。日本であれば [(GMT)+9:00] に設定します。タイムゾーンの設定について詳しくは、P.239 「SMTP の設定をする」を参照してください。
- FTP サーバーやパソコンの共有フォルダーにファイルを送るには、ユーザー名、パスワード、ディレクトリを正しく設定してください。
- DNS サーバーを運用しているネットワークに接続するときは、[サービス名] にはパソコンのコンピューター名を、[ドメイン] にはパソコンが所属するドメインの名前を指定してください。Web Image Monitor で DNS 関連の設定が必要です。Web Image Monitor の使用について詳しくは、P.217 「Web Image Monitor を使う」を参照してください。
- フォルダー送信のあて先には、以下の OS のパソコンが設定できます：Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012、Mac OS X。
- 操作部からはあて先を登録できません。

あて先を修正する

登録したあて先を修正する方法を説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。
Web Image Monitor の使用について詳しくは、P.217 「Web Image Monitor を使う」を参照してください。
2. [スキャナー宛先] をクリックします。
3. [メール宛先]、[FTP 宛先]、[フォルダー宛先] タブのいずれかをクリックします。
4. 修正したいあて先を選択し、[変更] をクリックします。
5. 必要に応じて設定を修正します。
6. 必要なときは、管理者のパスワードを入力してください。
7. [適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

↓ 補足

- [ワンタッチキー宛先] 画面から、ワンタッチダイヤルの登録を解除できます。解除したいあて先を選択して [削除] をクリックし、確認画面で [適用] をクリックします。
- 修正しようとしたあて先が受信ファクスの転送先として設定されていたときは、確認画面が表示されます。ファクスの転送設定について詳しくは、『使用説明書<ファクス機能編>』「受信したファクスを転送する」を参照してください。

あて先を削除する

登録したあて先を削除する方法を説明します。

1. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力して本機にアクセスします。
Web Image Monitor の使用について詳しくは、P.217 「Web Image Monitor を使う」を参照してください。
2. [スキャナー宛先] をクリックします。
3. [メール宛先]、[FTP 宛先]、[フォルダー宛先] タブのいずれかをクリックします。
4. 削除したいあて先を選択し、[削除] をクリックします。
5. 削除したいあて先を選択していることを確認します。
6. 必要なときは、管理者のパスワードを入力してください。
7. [適用] をクリックします。
8. Web ブラウザーを終了します。

↓ 補足

- 削除しようとしたあて先が受信ファクスの転送先として設定されていたときは、確認画面が表示されます。あて先を削除するときは、ファクスの転送設定を変更してください。ファクスの転送設定について詳しくは、『使用説明書<ファクス機能編>』「ファクスの設定をする」を参照してください。

操作部を使ってスキャンする

操作部を使用してスキャンしたファイルは、あらかじめ登録したあて先や USB メモリーに送信できます。

以下の 4 種類の送信方法があります。

- メールをあて先へ送信する
- FTP サーバーへ送信する
- パソコンの共有フォルダーへ送信する
- USB メモリーへ送信する
- スキャンしたファイルを本機に差し込んだ USB メモリーに保存します。

↓ 補足

- メール送信、FTP 送信、フォルダー送信をするには、本機をネットワークに接続してください。USB メモリー送信には、ネットワークの接続は必要ありません。

6

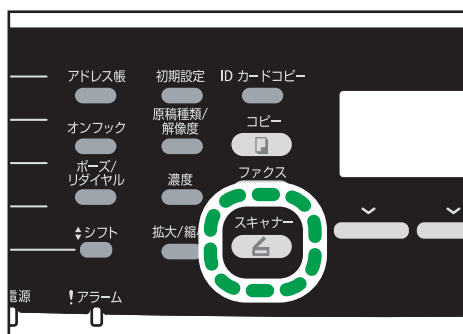
基本的なメール送信/FTP 送信/ フォルダー送信のしかた

メール送信/FTP 送信/ フォルダー送信の基本的な操作について説明します。スキャンしたファイルは、指定されたあて先によって、メールアドレス、FTP サーバー、またはパソコンの共有フォルダーに送信されます。

★ 重要

- ADF と原稿ガラスの両方に原稿がセットされているときは、ADF の原稿が優先されます。
- スキャナーのあて先は、Web Image Monitor を使用して登録してください。
- USB メモリーを本機に差し込んでいると、スキャンしたファイルは USB メモリーに保存されます。USB メモリーが差し込まれていないことを確認してください。

1. [スキャナー] キーを押します。



DAC447

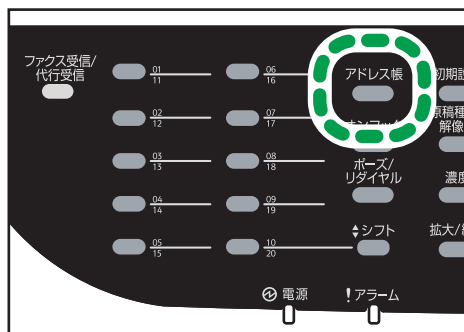
画面に [宛先を指定] と表示されていることを確認してください。

2. 原稿ガラスの上か ADF に原稿をセットします。

原稿のセット方法は、P.111「原稿をセットする」を参照してください。

必要に応じて、読み取り方法を設定してください。読み取り方法を設定するには、P.171「読み取り方法を設定する」を参照してください。

3. [アドレス帳] キーを押します。



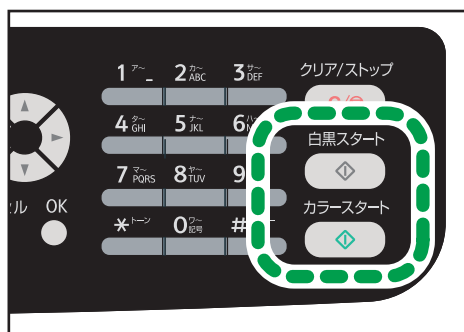
DAC452

[管理者用設定] の [ダイレクト機能呼出し設定] を [スキャナー宛先選択] に設定すると、[ID カードコピー] キーを押してあて先を選択できます。[ダイレクト機能呼出し設定] について詳しくは、P.206「管理者用設定」を参照してください。

4. [アドレス帳検索] の表示を確認し、[OK] キーを押します。

5. [▲] [▼] キーであて先を検索し、[OK] キーを押します。

6. [白黒スタート] キー、または [カラースタート] キーを押します。

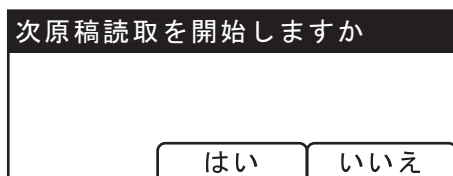


DAC458

白黒で読み取るには、[白黒スタート] キーを押します。

カラーで読み取るには、[カラースタート] キーを押します。

本機の設定によっては、原稿ガラスでスキャンをしていると以下の画面が表示されません。



このときは、次の手順に進んでください。

7. 追加する原稿があるときは、次の原稿を原稿ガラスにセットしてから [はい] を押します。この手順を繰り返し、すべての原稿を読み取ってください。
8. すべての原稿を読み取ったら、[いいえ] を押してファイルを送信します。

↓ 補足

- スキャンを中止するには、[スキャナー] キーを押して、[クリア/ストップ] キーを押します。スキャンを中止すると、スキャンしたファイルは破棄されます。
- ワンタッチキーまたは [ポーズ/リダイヤル] キーを使用して、あて先を指定できます。詳しくは、P.166 「あて先を指定する」を参照してください。
- スキャナー初期設定で [連続読み取り] 設定が有効になっているときは、原稿ガラスに原稿を追加できます。[連続読み取り] について詳しくは、P.196 「読み取り設定」を参照してください。
- スキャナー初期設定で [シングル/マルチページ選択] が [マルチページ] になっているときは、複数のページをスキャンして、PDF または TIFF 形式でひとつのファイルにできます。ただし、ファイル形式が JPEG のときは、1 ページごとにひとつのファイルが作成されます。[シングル/マルチページ選択] について詳しくは、P.196 「読み取り設定」を参照してください。
- ADF で紙づまりが発生したときは、読み取りが一時的に保留されます。紙づまりを取り除き、つまったページから読み取りをやり直してください。ADF でつまった紙を取り除く方法は、P.260 「ADF から紙づまりを取り除く」を参照してください。

あて先を指定する

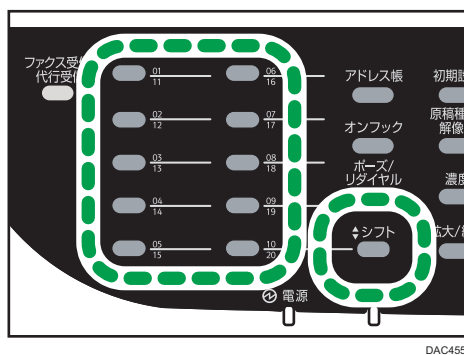
以下のキーを使用してあて先を指定する方法を説明します。

- ワンタッチキー
ワンタッチダイヤルに登録されているあて先を指定します。
- [ポーズ/リダイヤル] キー
最後に指定したあて先を指定できます。

ワンタッチキーを使用する

指定したいあて先が登録されているワンタッチキーを押します。

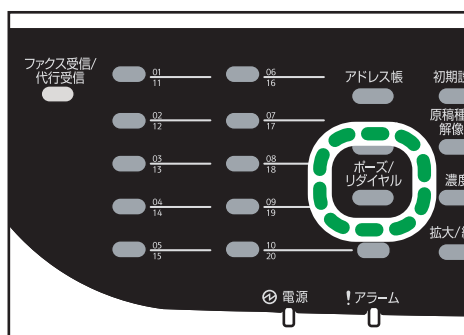
ワンタッチダイヤルの 11～20 を使用するときには、ワンタッチキーを押す前に [シフト] キーを押してください。



DAC455

【ポーズ/リダイヤル】キーを使用する

【ポーズ/リダイヤル】キーを押して、最後に使用したあて先を選択します。



DAC454

↓ 補足

- スキャンのあて先を指定すると、アドレス帳に登録された内容にしたがって、読み取り方法の設定が自動的に変わります。この設定は、必要に応じて操作部で変更できます。読み取り方法を設定するには、P.171「読み取り方法を設定する」を参照してください。
- 電源を入れたあと、初めてスキャンするときは、【ポーズ/リダイヤル】キーは使用できません。
- ワンタッチダイヤルに登録されていないあて先を選択するには、【アドレス帳】キーを使います。【アドレス帳】キーを使用してあて先を指定する方法は、P.164「基本的なメール送信/FTP送信/フォルダー送信のしかた」を参照してください。
- あて先を間違えたときは【クリア/ストップ】キーを押して、あて先を指定し直してください。

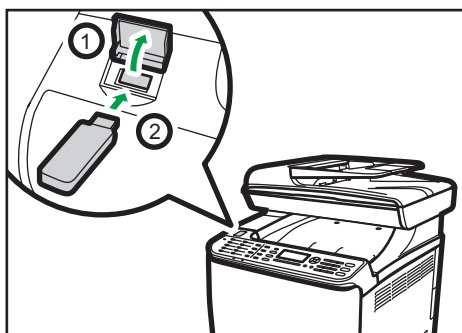
基本的な USB メモリー送信のしかた

USB メモリー送信の基本的な操作について説明します。スキャンしたファイルは、本機に差し込んだ USB メモリーに保存されます。

★重要

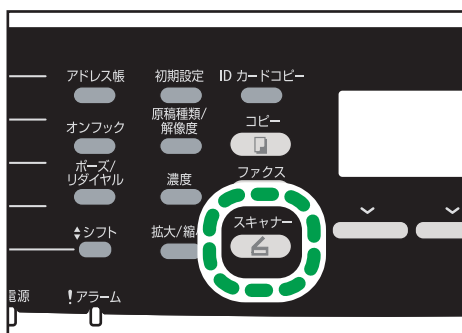
- ADF と原稿ガラスの両方に原稿がセットされているときは、ADF の原稿が優先されます。
- USB メモリーは、本機のポートに直接差し込んでください。USB ハブなどは使用できません。
- 市販されているすべての USB メモリーで動作を保証するものではありません。
- USB メモリー送信をするには、あらかじめ [読取データを USB に保存] を [有効] に設定してください。詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。

1. USB メモリーを USB メモリー用のポートに差し込みます。



DAC031

2. [スキャナー] キーを押します。



DAC447

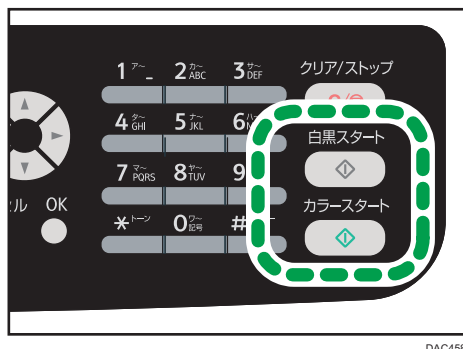
画面に「読み込み中」と表示されます。「読取データを USB に保存」と表示されるまでお待ちください（表示されるまでの時間は、USB メモリーによって異なります）。

3. 原稿ガラスの上か ADF に原稿をセットします。

原稿のセット方法は、P.111 「原稿をセットする」を参照してください。

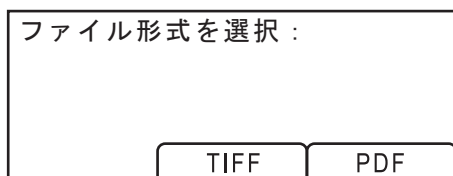
必要に応じて、読み取り方法を設定してください。読み取り方法を設定するには、P.171 「読み取り方法を設定する」を参照してください。

4. [白黒スタート] キー、または [カラースタート] キーを押します。

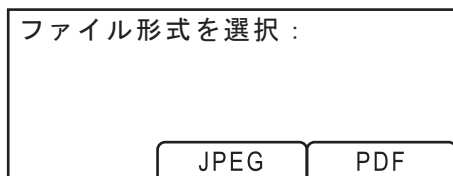


白黒で読み取るには、[白黒スタート] キーを押します。
 カラーで読み取るには、[カラースタート] キーを押します。
 本機の設定によって、以下の画面が表示されます。

- 白黒（ハーフトーン）のとき：

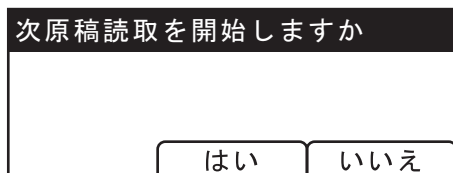


- カラー/白黒（グレースケール）のとき：



5. ファイル形式に応じた選択キーを押します。

本機の設定によっては、原稿ガラスでスキャンをしていると以下の画面が表示されません。



この画面が表示されたら、手順6に進んでください。それ以外の場合は、手順8に進んでください。

6. 追加する原稿があるときは、次の原稿を原稿ガラスにセットしてから [はい] を押します。この手順を繰り返し、すべての原稿を読み取ってください。

7. すべての原稿を読み取ったら、[いいえ] を押してファイルを送信します。

8. 画面に「操作できます」と表示されるまでお待ちください。

スキャンしたファイルは、USB メモリーの一番上の階層に保存されます。

9. USB メモリーを本機から取り外します。

USB ポートのカバーを閉じてください。

↓ 補足

- スキャンを中止するには、[スキャナー] キーを押して、[クリア/ストップ] キーを押します。スキャンを中止すると、スキャンしたファイルは破棄されます。
- スキャナー初期設定の [読み取りモード (白黒)] で、白黒のスキャンをハーフトーンにするかグレースケールにするかを設定できます。詳しくは、P.196 「読み取り設定」を参照してください。
- スキャナー初期設定で [連続読み取り] 設定が有効になっているときは、原稿ガラスに原稿を追加できます。詳しくは、P.196 「読み取り設定」を参照してください。
- スキャナー初期設定で [シングル/マルチページ選択] が [マルチページ] になっているときは、複数のページをスキャンして、PDF または TIFF 形式でひとつのファイルにできます。ただし、ファイル形式が JPEG のときは、1 ページごとにひとつのファイルが作成されます。詳しくは、P.196 「読み取り設定」を参照してください。
- ADF で紙づまりが発生したときは、読み取りが一時的に保留されます。紙づまりを取り除き、つまったページから読み取りをやり直してください。詳しくは、P.260 「ADF から紙づまりを取り除く」を参照してください。

読み取り方法を設定する

読み取りサイズ、濃度、解像度を調整する方法を説明します。

スキヤンのあて先を指定したとき

スキヤンのあて先を指定すると、アドレス帳に登録された内容にしたがって、読み取り方法の設定が自動的に変わります。

あて先ごとに読み取り方法をその都度変更しなくてもスキヤンしたファイルを送信できます。あらかじめ設定された読み取りの設定は、必要に応じて操作部で変更できます。

↓ 補足

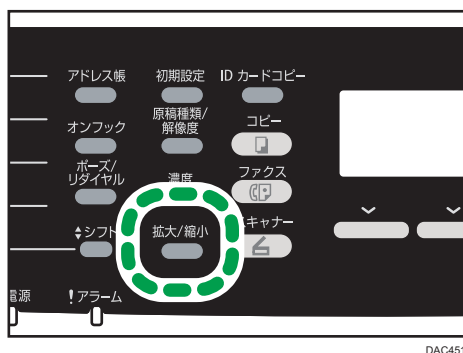
- 選択されたあて先の登録内容にしたがって変更された読み取り方法の設定は、本機が待機状態に戻るまで保持されます。
- 操作部で読み取り方法の設定を変更しても、アドレス帳に登録されている情報は変更されません。
- 操作部で読み取り方法の設定を変更しても、もう一度そのあて先を指定すると、登録された読み取り方法の設定に戻ります。

原稿のサイズに合わせて読み取りサイズを設定する

原稿のサイズに合わせて原稿の読み取りサイズを一時的に変更する方法を説明します。

常に特定のサイズで原稿を読み取りたいときは、スキヤナー初期設定の「読み取りサイズ」で設定を変更できます。詳しくは、P.196「読み取り設定」を参照してください。

1. [拡大/縮小] キーまたは [読取サイズ] を押します。



DAC451

2. [▲] [▼] キーを押して読み取りサイズを選択し、[OK] キーを押します。

[不定形サイズ] を選択したときは、以下の手順に進んでください。

3. [▲] [▼] キーを押して [mm] または [inch] を選択し、[OK] キーを押します。

4. テンキーで幅を入力し、[OK] キーを押します。

小数点は、[✖] キーで入力します。

5. テンキーで長さを入力し、[OK] キーを押します。

小数点は、[✖] キーで入力します。

↓ 補足

- 一時的に行った設定は、以下のときにクリアされます。
 - 初期画面表示中、[システムオートリセット時間設定] で設定した時間内に入力できなかったとき。[システムオートリセット時間設定] について詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。
 - 初期画面表示中に [クリア/ストップ] キーを押したとき
 - モード変更したとき
 - 電源を切ったとき
 - 設定した項目の初期値が変更されたとき

6

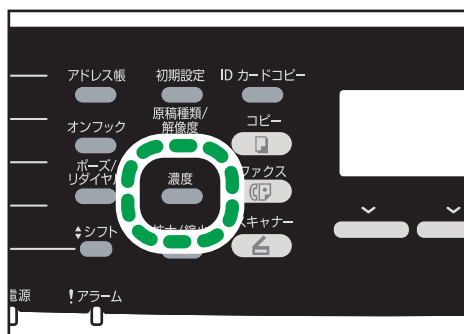
濃度を調整する

原稿の濃度を一時的に変更する方法を説明します。

常に特定の濃度で原稿を読み取りたいときは、スキャナー初期設定の [濃度] で設定を変更できます。詳しくは、P.196 「読み取り設定」を参照してください。

濃度を 5 段階で調整します。濃度レベルが高くなるほど、画像が濃くなります。

1. [濃度] キーを押します。



DAC450

2. [◀] [▶] キーを押して濃度を選択し、[OK] キーを押します。

↓ 補足

- 一時的に行った設定は、以下のときにクリアされます。

- 初期画面表示中、[システムオトリセット時間設定] で設定した時間内に入力
がなかったとき。[システムオトリセット時間設定] について詳しくは、P.206
「管理者用設定」を参照してください。
- 初期画面表示中に [クリア/ストップ] キーを押したとき
- モード変更したとき
- 電源を切ったとき
- 設定した項目の初期値が変更されたとき

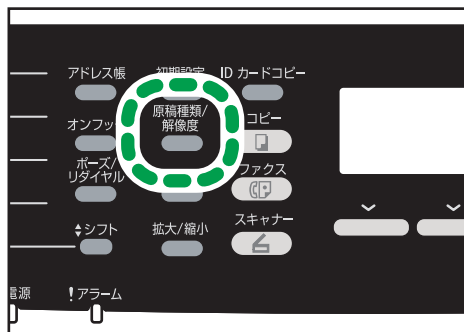
解像度を設定する

解像度を一時的に変更する方法を説明します。

常に特定の解像度で原稿を読み取りたいときは、スキャナー初期設定の [解像度] で設定
を変更できます。詳しくは、P.196 「読み取り設定」を参照してください。

解像度は6段階で調整されます。解像度が高くなるほど画質はよくなりますが、ファイル
サイズは大きくなります。

1. [原稿種類/解像度] キーを押します。



2. [▲] [▼] [◀] [▶] キーを押して解像度を選択し、[OK] キーを押します。

↓ 補足

- 一時的に行った設定は、以下のときにクリアされます。
 - 初期画面表示中、[システムオトリセット時間設定] で設定した時間内に入力
がなかったとき。[システムオトリセット時間設定] について詳しくは、P.206
「管理者用設定」を参照してください。
 - 初期画面表示中に [クリア/ストップ] キーを押したとき
 - モード変更したとき
 - 電源を切ったとき
 - 設定した項目の初期値が変更されたとき

パソコンからスキャンする

パソコンからのスキャンしたファイルは、直接パソコンに取り込めます。以下の2つの方法があります。

- TWAIN でスキャンする
- WIA でスキャンする

TWAIN は、USB 接続とネットワーク接続の両方で使用できます。

USB で接続しているときは、WIA を使用してパソコンから原稿をスキャンできます。WIA でスキャンするには、OS が Windows XP 以降のパソコンで、WIA に対応したアプリケーションが必要です。詳しくは、アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

TWAIN の基本的な使いかた

TWAIN スキャナーの基本的な操作について説明します。

TWAIN スキャナーを実行するには、TWAIN 対応のアプリケーションが必要です。

6

TWAIN スキャナーを使用するための準備について

本機を TWAIN スキャナーとして使用するためには、事前に以下の準備が必要です。

- ネットワーク環境への接続を確認する
- [ネットワーク設定] でネットワークを設定する
- TWAIN ドライバーをインストールする
- TWAIN 対応アプリケーションをインストールする

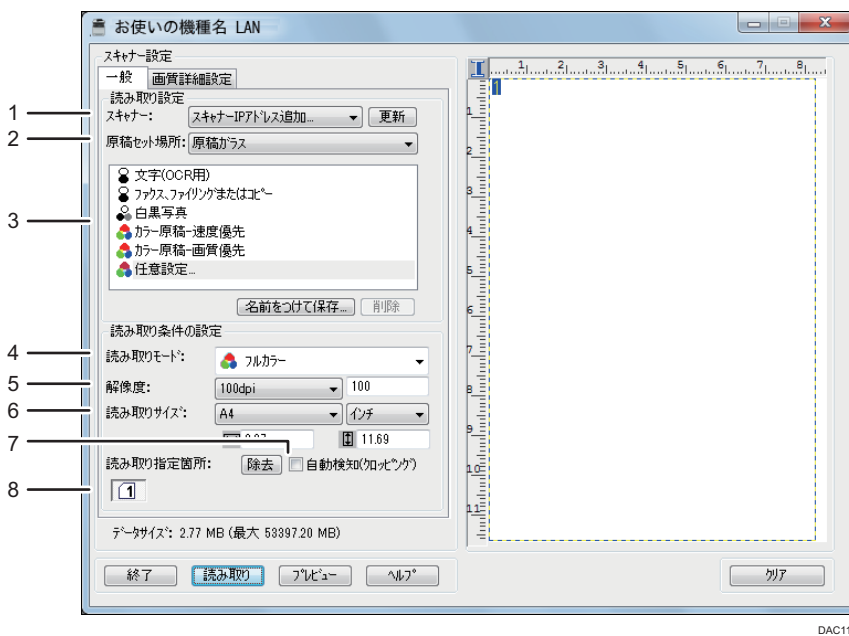
パソコンからスキャンする

TWAIN スキャナーを実行するには、TWAIN 対応のアプリケーションが必要です。

1. 原稿ガラスの上または ADF に原稿をセットします。
2. TWAIN 対応アプリケーションでプロパティ画面を表示します。
3. 必要に応じて設定をして、[OK] をクリックします。

TWAIN ダイアログボックスで設定できる項目

TWAIN ダイアログボックスで設定できる項目について説明します。



DAC110

6

1. スキャナー：

ドロップダウンリストボックスからスキャナーを選択します。選択したスキャナーはデフォルトで次回から使用できます。[更新] をクリックすると、USB 接続やネットワーク上にあるスキャナーを検索し、ドロップダウンリストボックスに表示され、スキャナーリストを更新します。

2. 原稿セット場所：

原稿をセットした場所を選択します。

3. 原稿の種類

• 原稿ガラス

• 文字 (OCR 用)

ビジネスレター、契約書、メモなどの文書を読み取ったあとで編集するときを使用します。

• ファクス、ファイリングまたはコピー

新聞、雑誌、レシート、伝票などの印刷文書をスキャンするときを使用します。

• 白黒写真

白黒写真をグレースケール画像として読み取ります。

• カラー原稿-速度優先

画像が多いページ、画像とテキストが混じっているページ、ラインアート、カラー写真を手早くスキャンするときを使用します。

• カラー原稿-画質優先

画像が多いページ、画像とテキストが混じっているページ、ラインアート、カラー写真をスキャンするときを使用します。

- 任意設定...
あらゆる文書の読み取りに対応します。
- ADF
 - ADF-速度優先
画像が多いページ、画像とテキストが混じっているページ、ラインアート、カラー写真を手早くスキャンするときに使用します。
 - ADF-画質優先
画像が多いページ、画像とテキストが混じっているページ、ラインアート、カラー写真をスキャンするときに使用します。
 - ADF-グレースケール
画像が多いページ、画像とテキストが混じっているページ、ラインアート、カラー写真をスキャンするときに使用します。
 - 任意設定...
あらゆる文書の読み取りに対応します。

4. 読み取りモード：

カラー、グレースケール、白黒から選択します。

5. 解像度：

解像度のドロップダウンリストボックスからスキャンする解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリーや読取時間が増えますが、スキャンされた画像の質は向上します。任意で解像度を設定できます。

原稿のセット場所により解像度が以下のように異なります。

- 原稿ガラス
75、100、150、200、300、400、500、600、1200、2400、4800、9600、19200 dpi、ユーザー指定
- ADF
75、100、150、200、300、400、500、600 dpi、ユーザー指定

6. 読み取りサイズ：

読み取りサイズのドロップダウンリストボックスから原稿の用紙サイズを設定します。プレビュー画面でマウスをドラッグしてサイズを設定できます。

[ユーザー指定] を選択したときは、幅と高さを入力します。単位は、cm、インチ、ピクセルから選択できます。詳しくは、TWAIN ドライバーのヘルプを参照してください。

7. 自動検知（クロッピング）

読み取る原稿の大きさを自動的に判別します。TWAIN の初期設定ではチェックがはずれています。ADF を使用するときは、この機能は使用できません。

8. 読み取り指定箇所：

指定した読み取り箇所を、最大 10 件表示します。読み取り箇所を削除するには、削除したい読み取り箇所のアイコンをクリックして選択し、[除去] をクリックします。ADF を使用するときは、この機能は使用できません。また、Mac OS X ではこの項目は表示されません。

↓ 補足

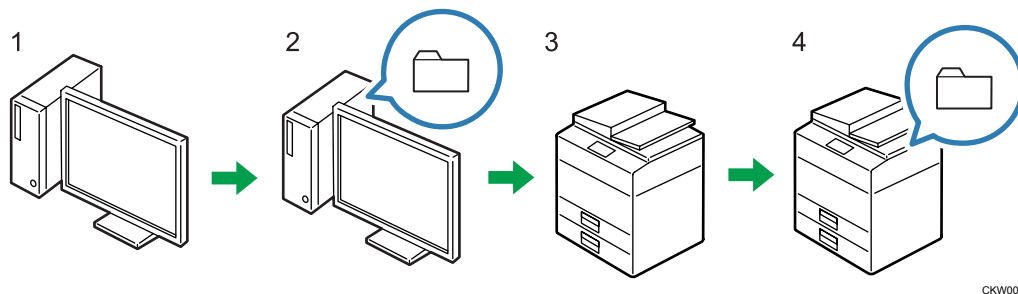
- 読み取るファイルのサイズがディスクの空き領域より大きいときはエラーメッセージが表示され、読み取りは中止されます。適切な解像度を選択してください。

WIA スキャナーの基本的な使いかた

1. 原稿ガラスの上または ADF に原稿をセットします。
2. [スタート] メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
3. 使用するプリンターアイコンを右クリックし、[スキャンの開始] をクリックします。
スキャナーダイアログボックスが表示されます。
4. ダイアログで必要な設定をして、[スキャン] をクリックします。

フォルダー送信を使用するまでの流れ

フォルダー送信するために必要な準備や操作などについて説明します。



1. 送信先のパソコンの設定内容を確認する。

送信先のパソコンのコンピューター名や IP アドレスなどを調べて、チェックシートへ記入します。

2. 送信先のパソコンで共有フォルダーを作成する。

送信先のパソコンに読み取ったデータを保存するための共有フォルダーを作成し、共有フォルダー名をチェックシートへ記入します。

3. 本機の [ネットワーク設定] でネットワークの設定を確認する。

使用している環境のネットワークの設定を確認します。プリンターで印刷できるなど、すでにネットワークが接続されているとき、手順 3 は必要ありません。

4. 本機のアドレス帳に送信先のパソコンの共有フォルダーを登録する。

手順 1、2 の設定値を記入したチェックシートを使用してパソコンの共有フォルダーを本機のアドレス帳に登録します。登録方法は、P.157「スキャナーのあて先を登録する」を参照してください。

手順 1～4 が終了したら、本機で原稿を読み取り、パソコンの共有フォルダーに送信できます。

チェックシートへ設定内容を記入する

送信先のパソコンの設定値を以下のチェックシートへ記入します。

このチェックシートを印刷して、確認した設定値を書き込むことをお勧めします。

チェックシートを使用して設定値を記入する詳しい手順については、P.180「フォルダー送信するための準備」を参照してください。

★重要

- アドレス帳登録が済んだら、個人情報の漏えいを防止するため、記入済みのチェックシートは破棄してください。

チェックシート

No.	チェック項目（設定値の記入例）	設定値の記入欄
[1]	コンピューター名 (例：YamadaPC)	
	DHCP サーバーの有効設定 (「はい」または「いいえ」)	
	パソコンの IP アドレス (例:192.168.0.152)	
[2]	ドメイン名/ワークグループ名 (例：ABCD-NET)	USERDNSDOMAIN [] USERDOMAIN []
	パソコンのログインユーザー名 (例：TYamada)	
[3]	パソコンのログインパスワード (例：Administrator)	
[4]	パソコンの共有フォルダー名 (例：scan)	

 補足

- ネットワークの環境により、USERDNSDOMAIN または USERDOMAIN が表示されないことがあります。表示されたドメイン名/ワークグループ名をチェックシートに記入してください。

フォルダー送信するための準備

フォルダー送信するためには、事前に以下の準備が必要です。

- Windows の環境に共有フォルダーを作成/コンピューターの情報を確認する
- Mac OS X の環境に共有フォルダーを作成/コンピューターの情報を確認する

↓ 補足

- 共有フォルダーへの送信に対応する OS は、Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012、Mac OS X 10.5 以降です。

Windows の環境に共有フォルダーを作成/コンピューターの情報を確認する

Windows の環境に送信先の共有フォルダーを作成し、コンピューターの情報を確認します。確認した情報は、チェックシートへ記入します。

6

手順 1：コンピューター名とログインユーザー名を確認する

読み取った文書を送信するコンピューターのコンピューター名とログインユーザー名を確認します。

1. クライアントコンピューターの [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] をポイントして [アクセサリ] から [コマンドプロンプト] をクリックします。
2. "ipconfig/all"と入力して、[Enter] キーを押します。
3. 表示されたコンピューター名、DHCP サーバーの有効設定、IP アドレスを確認して、チェックシートの [1] へ記入します。

たとえば、コンピューター名が"YamadaPC"、DHCP 有効が"いいえ" (有効でない)、IP アドレスが"192.168.0.152"に設定されているパソコンのときは、以下のように表示されます。

```

C:\Users\TYamada> ipconfig /all

Windows IP 構成
. . . . .
ホスト名 . . . . . : YamadaPC
. . . . .
ブード タイプ . . . . . : ハイブリッド
IP ルーティング有効 . . . . . : いいえ
WINS プロキシ有効 . . . . . : いいえ

イーサネット アダプター ローカル エリア接続:
. . . . .
接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
説明 . . . . . : Broadcom NetLink (TM) Gigabit Ethernet
. . . . .
DHCP 有効 . . . . . : いいえ
. . . . .
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.0.152 (優先)
. . . . .
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.0.1
DHCPv6 IAD . . . . . : 234890158
DHCPv6 クライアント DUID . . . . . : 00-01-00-01-13-17-E1-6B-00-23-AE-70
-5E-44
DNS サーバー . . . . . : 192.168.0.1
NetBIOS over TCP/IP . . . . . : 有効

```

CKX006

4. 続けて、"set user"と入力して、[Enter] キーを押します。

"set"と"user"の間には、半角スペースを入れます。

5. 表示されたドメイン名・ワークグループ名、ログインユーザー名を確認して、チェックシートの [2] に記入します。

たとえば、ドメイン名・ワークグループ名の USERDNSDOMAIN が"abcd - net.local"、USERDOMAIN が"ABCD - NET"、ログインユーザー名が"TYamada"に設定されているパソコンのときは以下のように表示されます。

```

USERDNSDOMAIN=abcd-net.local
USERDOMAIN=ABCD-NET
USERNAME=TYamada

```

CKX007

パソコンのログインパスワードを確認して、チェックシートの [3] に記入します。パスワードは、パソコンを使用するときに入力するパスワードです。

↓ 補足

- OS やセキュリティの設定によってはパスワードのないユーザー名は使用できないことがあります。パスワードのあるログインユーザー名を使用することを推奨します。

手順 2 : Windows の環境に共有フォルダーを作成する

Windows の環境に送信先の共有フォルダーを作成し、共有化の設定をします。ここでは、OS が Windows 7 Ultimate で、コンピューターがドメインに参加しているときを例に説明します。

★重要

- この操作をするには管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- 手順 6 で「Everyone」を選択していると、作成したフォルダーに、すべてのユーザーがアクセスできます。セキュリティ面で問題が発生することがあるため、特定ユーザーだけにアクセス権を与えることを推奨します。ここでは、「Everyone」を削除し、特定のユーザーにアクセス権を与える手順を説明します。
- OS ごとのフォルダー作成方法は、リコーホームページのよくあるご質問（FAQ）を参照してください。
- 共有フォルダーを作成する前に簡易共有の設定を無効にしてください。

6

1. 通常のフォルダー作成手順と同様に、コンピューター内の任意の場所にフォルダーを作成します。作成したフォルダーの名称をチェックシートの [4] へ記入します。
2. 作成したフォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
Windows XP のときは、作成したフォルダーを右クリックし、[共有とセキュリティ] をクリックします。
3. [共有] タブから、[詳細な共有...] をクリックします。
Windows XP のときは、[共有] タブから、[このフォルダを共有する] をクリックします。手順 5 に進んでください。
4. [このフォルダーを共有する] をチェックします。
5. [アクセス許可] をクリックします。
6. [グループ名またはユーザー名] の一覧から「Everyone」を選択し、[削除] をクリックします。
7. [追加...] をクリックします。
アクセス権を設定したいグループやユーザーを「グループ名またはユーザー名」一覧に追加します。ここでは例として、チェックシートへ記入したユーザーのアクセス権を追加する手順を説明します。
8. [詳細設定...] をクリックします。
9. [オブジェクトの種類...] をクリックし、[ユーザー] を選択して [OK] をクリックします。

10. [場所] をクリックし、ユーザーの所属しているドメイン名またはワークグループ名のどちらか（チェックシートの [2]）を選択して [OK] をクリックします。
11. [検索] をクリックします。
12. 検索結果一覧から追加するパソコンのログインユーザー名（チェックシートの [2]）を選択し、[OK] をクリックします。
13. [OK] をクリックします。
14. 追加したユーザーを選択し、アクセス許可の一覧の [許可] にチェックマークを付けます。
アクセス許可はグループまたはユーザーごとに設定します。
15. [OK] を 2 回クリックします。

手順 3：ほかのグループやユーザーにアクセス権を設定する

作成した共有フォルダーに、ほかのグループやユーザーにアクセス権を設定するとき以下の設定をします。

1. 手順 2 で作成したフォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
2. [セキュリティ] タブで [編集...] をクリックします。
3. [追加...] をクリックします。
4. [詳細設定...] をクリックします。
5. [オブジェクトの種類...]、[場所...] を選択して、[検索] をクリックします。
6. アクセス権を設定するグループやユーザーを選択し、[OK] をクリックします。
7. [OK] をクリックします。
8. 追加したユーザーを選択し、アクセス許可の一覧の [許可] にチェックマークを付けます。
9. [OK] をクリックします。

↓ 補足

- 最初に、使用しているコンピューターへ共有フォルダーを作成するときは、ファイル共有の設定を有効にします。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

Mac OS X の環境に共有フォルダーを作成/コンピューターの情報を確認する

Mac OS X の環境に送信先の共有フォルダーを作成し、コンピューターの情報を確認します。

ここでは、Mac OS X 10.6 を例に説明します。

手順 1：Mac OS X の環境に共有フォルダーを作成する

Mac OS X の環境に共有フォルダーを作成します。

★重要

- この操作をするには管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. 送信先のフォルダーを任意の場所に作成します。

作成したフォルダーの名称をチェックシートの [4] へ記入します。

2. アップルメニューから [システム環境設定] をクリックします。

3. [共有] をクリックします。

4. [ファイル共有] を有効にします。

5. [オプション] をクリックします。

6. [SMB (Windows) を使用してファイルやフォルダを共有] を有効にします。

7. 対象のアカウントを有効にします。

8. [認証] 画面が表示されたら、対象アカウントのパスワードを入力して [OK] をクリックし、[完了] をクリックします。

9. [共有フォルダ] の下の [+] (新規) をクリックします。

10. 手順 1 で作成したフォルダーを指定し、[追加] をクリックします。

11. このフォルダーにアクセスするユーザーの権限が「読み/書き」に設定されていることを確認します。

手順 2：コンピューター名とログインユーザー名を確認する

読み取った文書を送信するコンピューターのコンピューター名とログインユーザー名を確認します。確認した情報はチェックシートへ記入します。

1. アップルメニューから [この Mac について] をクリックします。

2. [詳しい情報] をクリックします。

コンピューターの情報画面が表示されます。

3. 表示されたコンピューター名、ユーザー名を確認します。

コンピューター名をチェックシートの [1] へ、ユーザー名をチェックシートの [2] へ記入します。

↓ 補足

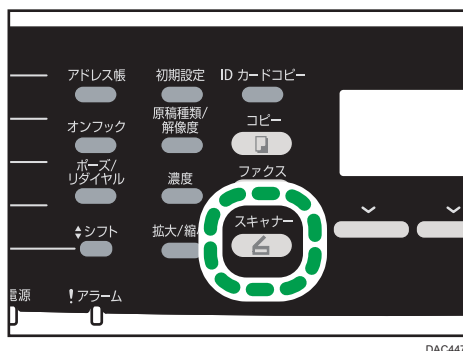
- OS やセキュリティーの設定によってはパスワードのないユーザー名は使用できないことがあります。パスワードのあるログインユーザー名を使用することを推奨します。
- IP アドレスを確認するときは、アップルメニューから [システム環境設定] をポイントして [ネットワーク] > [Ethernet] をクリックします。IP アドレスの欄に表示されているのが IP アドレスです。

送信テストをする

★ 重要

- USB メモリーを本機に差し込んでいると、スキャンしたファイルは USB メモリーに保存されます。USB メモリーが差し込まれていないことを確認してください。

1. 原稿ガラスの上か ADF に原稿をセットします。
2. [スキャナー] キーを押します。

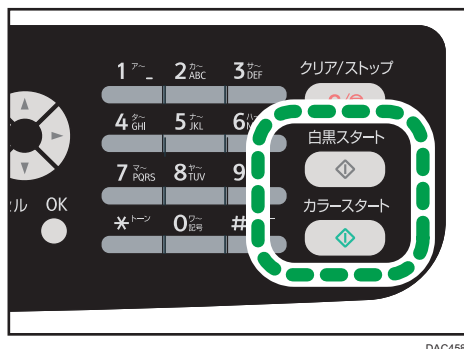


画面に「宛先を指定」と表示されていることを確認してください。

3. 送信するあて先を指定します。

あて先の設定について詳しくは、P.166 「あて先を指定する」を参照してください。操作部に指定されたあて先が表示されます。

4. [白黒スタート] キー、または [カラースタート] キーを押します。



読み取りが開始され、スキャンした文書ファイルが共有フォルダーに保存されます。

↓ 補足

- 正しく送信できないときは、以下の項目を確認してください。
 - あて先がアドレス帳に正しく登録されているか確認してください。
 - パソコンの共有フォルダー名に、全角文字が使われていないか確認してください。
 - あて先のパソコンでセキュリティーソフトやファイアウォールをオフにして、送信テストしてください。セキュリティーソフトやファイアウォールの設定について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 - 送信先のパソコンが複数台あるときは、ほかのパソコンに正しく送信できるかテストしてください。正しく送信ができるときは、設定内容を比較してください。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
 - 送信先のディスク容量が不足しているときは、正しく送信できないことがあります。

7. 操作部で設定する

操作部を使って本機の設定を変更したり調整したりする方法について説明します。

本機は工場出荷時の設定でも使用できますが、ご使用の状況に合わせて設定を変更できません。本機の電源を切っても設定の変更は保存されます。

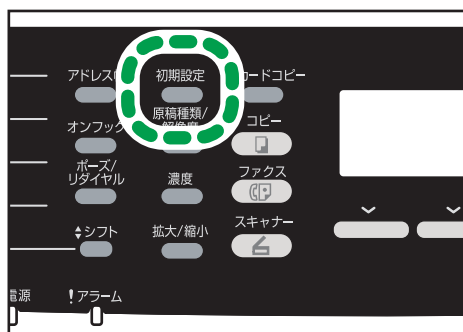
基本操作

本機の設定をするために、2種類の方法があります。

- システム初期設定、用紙設定、管理者用設定、ネットワーク設定は、[初期設定] キーを押します。
- コピー、スキャナー、ファクスの設定は、[◀] [▶] キーを押して、設定する機能を選択します。

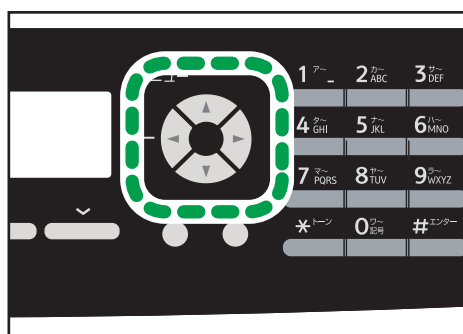
設定したい機能の内容は、P.189「操作部で設定できる機能」を参照してください。

1. システム初期設定、用紙設定、管理者用設定、ネットワーク設定は、[初期設定] キーを押します。



DAC448

コピー、スキャナー、ファクスの設定は、「操作できます」が表示されているときに、[◀] [▶] キーを押します。



DAC457

2. [▲] [▼] キーを押し、設定する機能を選択します。

[アドレス帳]、[ネットワーク設定]、または[管理者用設定]を選択したときは、パスワードの入力を要求されることがあります。4桁のパスワードを入力し、[OK]キーを押しします。

パスワードについては、P.206「管理者用設定」の「管理者用設定をロック」を参照してください。

3. 設定項目の内容や値を確定するときは、[OK] キーを押しします。

4. 前の表示項目に戻るには、[キャンセル] キーを押しします。

↓ 補足

- 初期画面には、[キャンセル] キーを何度か押して戻す、または[初期設定] キーを押しします。

操作部で設定できる機能

操作部から以下の機能を設定できます。

Web Image Monitor で行う本機の設定について詳しくは、P.217 「Web Image Monitor を使う」を参照してください。

★重要

- 一部の項目は、本機の種類や構成、および設定によって、表示されないことがあります。
- 一部の項目は、Web Image Monitor からでも設定できます。

コピー初期設定（コピーモードを選択し、[◀] [▶] キーから設定）

[用紙選択]、[ソート]、[原稿種類]、[濃度]、[変倍]、[カラー調整]、[両面/集約]、
[白黒コピー読み取り設定]

読み取り設定（スキャナーモードを選択し、[◀] [▶] キーから設定）

[読み取りサイズ]、[読み取りモード（白黒）]、[送信メールサイズ制限]、[濃度]、
[解像度]、[圧縮率（カラー）]、[連続読み取り]、[シングル/マルチページ選択]

ファクス送信設定（ファクスモードを選択し、[◀] [▶] キーから設定）

『使用説明書<ファクス機能編>』「ファクス送信設定」

システム初期設定（[初期設定] キーから設定）

[音量調節]、[インターフェース切り替え時間]、[エラースキップ]、[トナーセーブ]、
[消耗品状態]、[高湿対応レベル]、[色ずれ補正]、[オートクリーニング]、[白黒印刷優先設定]、
[通知：トナーもうすぐ交換]

用紙設定（[初期設定] キーから設定）

[用紙サイズ：トレイ 1]、[用紙サイズ：トレイ 2]、[用紙サイズ：手差しトレイ]、
[用紙種類：トレイ 1]、[用紙種類：トレイ 2]、[用紙種類：手差しトレイ]、[トレイ
1 設定選択]、[手差しトレイ設定選択]、[給紙トレイ優先設定]

管理者用設定（[初期設定] キーから設定）

[年月日/時刻設定]、[ファクス発信元情報登録]、[ダイヤル/ブッシュ選択]、[内線
/外線選択]、[内線アクセス番号]、[優先機能]、[システムオートリセット時間設
定]、[省エネモード設定]、[表示言語切替]、[国設定]、[設定を初期化]、[ダイレク
ト機能呼出し設定]、[管理者用設定をロック]、[IPsec]、[ファクス番号確認]、[読
取データを USB に保存]

アドレス帳（[初期設定] キーから設定）

『使用説明書<ファクス機能編>』「アドレス帳の設定」

ファクス初期設定（[初期設定] キーから設定）

『使用説明書<ファクス機能編>』「ファクス初期設定」

リスト/レポート印刷（[初期設定] キーから設定）

[システム設定リスト]、[ファクス通信管理レポート]、[ファクス送信/受信待機文書リスト]、[ワンタッチキー宛先リスト]、[ファクス短縮番号宛先リスト]、[スキャナー宛先リスト]、[スキャナー送信結果レポート]、[メンテナンスレポート]、[特定相手先リスト]

ネットワーク設定（[初期設定] キーから設定）

[イーサネット]、[Wi-Fi]、[IPv4 設定]、[IPv6 設定]

コピー初期設定

用紙選択

コピーを印刷する用紙を指定します。

トレイを選択したときは、そのトレイからだけ給紙されます。

用紙サイズを選択したときは、指定サイズの用紙がセットされているトレイから給紙されます（手差しトレイからは給紙されません）。トレイ 1、トレイ 2 の両方に指定サイズの用紙がセットされているときは、用紙設定の [給紙トレイ優先設定] で指定されたトレイから印刷を始めます。そのトレイの用紙がなくなったら、自動的にもう一方のトレイに切り替えて印刷します。

増設トレイ（トレイ 2）が装着されていないときは、[トレイ 1] と [手差しトレイ] のみが表示されます。

工場出荷時の設定：[トレイ 1]

- トレイ 1
- トレイ 2
- 手差しトレイ
- A4
- 8¹/₂×11

ソート

複数ページからなる文書を複数部コピーするとき、1部ずつのセットで出力されるようにします。（ページ 1、ページ 2、ページ 1、ページ 2...）

工場出荷時の設定：[しない]

- しない
- する

原稿種類

原稿に適した読み取り方法を選択します。

工場出荷時の設定：[混合]

- 混合
文字と写真などが混じった原稿に適した設定で読み取ります。
- 文字
文字が主体の原稿に適した設定で読み取ります。
- 写真

写真などが主体の原稿に適した設定で読み取ります。以下のような原稿を読み取るときに選択してください。

- 写真

- 雑誌などのように、主に写真や絵画で構成されている原稿

濃度

濃度を設定します。

工場出荷時の設定： ■■■■□□

- ■□□□□ (薄く)
- ■■■□□□
- ■■■■□□
- ■■■■□□
- ■■■■□□
- ■■■■□□ (濃く)

変倍

コピーの拡大・縮小率を設定します。

工場出荷時の設定： [100%]

- 50%
- 71%
- 82%
- 93%
- 100%
- 122%
- 141%
- 200%
- 400%
- ID カードコピー

ID カードなど、小さな文書の表、裏の両面を用紙の片面にコピーするようにします。

- ズーム 25-400%

カラー調整

主にレッド、グリーン、ブルーの色味を調整します。例えば、赤みが強いと感じたら [レッド] を薄く、弱いと感じたら濃く設定します。

- レッド

工場出荷時の設定： ■■■■□□

- ■□□□□ (濃く)
- ■■■□□□
- ■■■■□□
- ■■■■□□

- ■■■■■■ (薄く)
- ブルー
 - 工場出荷時の設定： ■■■■■■
 - ■■■■■■ (濃く)
 - ■■■■■■
 - ■■■■■■
 - ■■■■■■
 - ■■■■■■ (薄く)
- グリーン
 - 工場出荷時の設定： ■■■■■■
 - ■■■■■■ (濃く)
 - ■■■■■■
 - ■■■■■■
 - ■■■■■■
 - ■■■■■■ (薄く)

両面/集約

片面印刷の原稿を用紙の両面にコピーするようにします。

縦と横それぞれの用紙の向きで、左右開きと上下開きをとじ方として選択できます。

両面/集約を設定すると、[ID カードコピー] は自動的にキャンセルされます。

工場出荷時の設定： [しない]

- しない
- 片面 2 枚を 2 ページごと集約 (片)
 - 片面 2 ページを片面 1 ページに集約してコピーするときに選択します。
 - タテ
 - ヨコ
- 片面 4 枚を 4 ページごと集約 (片)
 - 片面 4 ページを片面 1 ページに集約してコピーするときに選択します。
 - タテ：左から右
 - タテ：上から下
 - ヨコ：左から右
 - ヨコ：上から下
- 片面原稿→両面コピー
 - 片面 2 ページを両面 1 ページにコピーするときに選択します。
 - タテ：左右ひらき

- タテ：上から下
- ヨコ：左右ひらき
- ヨコ：上から下
- 片面 4 枚を 2 ページごと集約（両）
片面 4 ページを両面 2 ページに集約してコピーするときに選択します。
 - タテ：左右ひらき
 - タテ：上から下
 - ヨコ：左右ひらき
 - ヨコ：上から下
- 片面 8 枚を 4 ページごと集約（両）
片面 8 ページを両面 2 ページに集約してコピーするときに選択します。
 - タテ：左から右、左右ひらき
 - タテ：左から右、上下ひらき
 - タテ：上から下、左右ひらき
 - タテ：上から下、上下ひらき
 - ヨコ：左から右、左右ひらき
 - ヨコ：左から右、上下ひらき
 - ヨコ：上から下、左右ひらき
 - ヨコ：上から下、上下ひらき
- 両面 1 枚を 2 ページごと集約（片）
両面 1 ページを片面 1 ページに集約してコピーするときに選択します。
 - タテ：左右ひらき
 - タテ：上から下
 - ヨコ：左右ひらき
 - ヨコ：上から下
- 両面 2 枚を 4 ページごと集約（片）
両面 2 ページを片面 1 ページに集約してコピーするときに選択します。
 - タテ：左から右、左右ひらき
 - タテ：左から右、上下ひらき
 - タテ：上から下、左右ひらき
 - タテ：上から下、上下ひらき
 - ヨコ：左から右、左右ひらき
 - ヨコ：左から右、上下ひらき
 - ヨコ：上から下、左右ひらき

- ヨコ：上から下、上下ひらき
- 両面原稿→両面コピー
両面原稿を両面コピーする。
- 両面 2 枚を 2 ページごと集約（両）
両面 2 ページを両面 1 ページに集約してコピーするときに選択します。
 - タテ：左右ひらき
 - タテ：上から下
 - ヨコ：左右ひらき
 - ヨコ：上から下
- 両面 4 枚を 4 ページごと集約（両）
両面 4 ページを両面 1 ページに集約してコピーするときに選択します。
 - タテ：左から右、左右ひらき
 - タテ：左から右、上下ひらき
 - タテ：上から下、左右ひらき
 - タテ：上から下、上下ひらき
 - ヨコ：左から右、左右ひらき
 - ヨコ：左から右、上下ひらき
 - ヨコ：上から下、左右ひらき
 - ヨコ：上から下、上下ひらき
- 手動両面原稿読取モード
原稿ガラスを使用し、両面コピーするときに選択します。

白黒コピー読み取り設定

白黒印刷でコピーするときのコピー読み取り方法を設定します。

カラー原稿のときは、[階調優先] に設定すると色調をよりきれいに白黒の階調で表現します。

ただし、[速度優先] よりも読み取り速度が遅くなります。

工場出荷時の設定：[速度優先]

- ・速度優先
- ・階調優先

読み取り設定

読み取りサイズ

原稿サイズに応じて、読み取りサイズを設定します。

工場出荷時の設定：[A4]

- A4、7 1/4 × 10 1/2、8 1/2 × 5 1/2、8 1/2 × 11、8 1/2 × 14、A5、B5、不定形サイズ

読み取りモード（白黒）

操作部を使って白黒スキャンするときの読み取りモードを設定します。

工場出荷時の設定：[ハーフトーン]

- ハーフトーン
1 ビットの白黒イメージを作成します。イメージは白と黒のみで構成されます。
- グレースケール
8 ビットの白黒イメージを作成します。イメージは白と黒、および中間色のグレーで構成されます。

送信メールサイズ制限

メールで送信できるファイルの最大サイズを設定します。

工場出荷時の設定：[1 MB]

- 1MB
- 2MB
- 3MB
- 4MB
- 5MB
- 制限しない

ご使用のメールサーバーで送信できる最大サイズまで送信できます。

濃度

濃度を設定します。

工場出荷時の設定：■■■■□□

- ■■■■■□□ (薄く)
- ■■■■■□□
- ■■■■■□□
- ■■■■■□□
- ■■■■■■■■ (濃く)

解像度

読み取りの解像度を設定します。

工場出荷時の設定：[300 × 300dpi]

- 100 × 100dpi
- 150 × 150dpi
- 200 × 200dpi
- 300 × 300dpi
- 400 × 400dpi
- 600 × 600dpi

圧縮率（カラー）

JPEG ファイルのカラー圧縮率を設定します。圧縮率が低くなるほど画質はよくなりますが、ファイルサイズが大きくなります。

工場出荷時の設定：[中]

- 低
- 中
- 高

連続読み取り

原稿ガラスでスキャンするとき、追加の原稿をセットできるようにします。

工場出荷時の設定：[しない]

- しない
- する

シングル/マルチページ選択

複数ページからなる文書をスキャンするとき、すべてのページをひとつのファイルにまとめるか、ページごとに個別のファイルにするかを選択します。

ファイル形式が PDF か TIFF のときに、複数ページをひとつのファイルにまとめられます。ファイル形式が JPEG のときは、ページごとに個別のファイルになります。

工場出荷時の設定：[マルチページ]

- マルチページ
すべてのページをひとつのファイルにまとめます。
- シングルページ
ページごとに個別のファイルを作成します。

システム初期設定

音量調節

本機から出る音の音量を調節します。

- ブザー音

キーを押したときに出るブザーの音量を調節します。

工場出荷時の設定：[小]

- OFF
- 小
- 中
- 大

- オンフック時

オンフックモードのときにスピーカーから聞こえる音の音量を設定します。

工場出荷時の設定：[中]

- OFF
- 小
- 中
- 大

- ジョブ終了通知音

印刷、読み取り、コピーが終了したときのブザーの音量を設定します。

工場出荷時の設定：[中]

- OFF
- 小
- 中
- 大

- ジョブエラー通知音

ファクス送信中にエラーが起こったときのブザーの音量を設定します。

工場出荷時の設定：[中]

- OFF
- 小
- 中
- 大

- 警告音

本機の操作中にエラーが起こったときのブザーの音量を設定します。

工場出荷時の設定：[中]

- OFF
- 小
- 中
- 大

インターフェース切り替え時間

- USB

USB で接続されたパソコンからプリンターのジョブを受信している途中で受信データが途切れたときに、続きのデータを待つ時間を設定します。設定された時間内に続きのデータを受信できなかつたら、受信ができた分だけを印刷します。他のポートからのデータによって印刷が頻繁に妨害されるときは、待ち時間を長く設定してください。

工場出荷時の設定：[60 秒]

- 15 秒
- 60 秒
- 300 秒

- ネットワーク

ネットワークで接続されたパソコンからプリンターのジョブを受信している途中で受信データが途切れたときに、続きのデータを待つ時間を設定します。設定された時間内に続きのデータを受信できなかつたら、受信ができた分だけを印刷します。他のポートからのデータによって印刷が頻繁に妨害されるときは、待ち時間を長く設定してください。

工場出荷時の設定：[60 秒]

- 15 秒
- 60 秒
- 300 秒

- 機密印刷

本機に蓄積された機密文書が一杯の状態、新規の機密文書を受信したときに、それを保持する時間を指定します。ここで指定した時間内は、新規の機密文書を印刷したり削除したりできます。また、すでに蓄積されている機密文書を印刷したり削除したりすることで、新規の機密文書を蓄積できます。

工場出荷時の設定：60 秒

- 0～300 秒、1 秒単位

- ユーザー認証（コピー）

原稿ガラスでコピーしたときに、コピーが排紙された後、ユーザーの認証状態が継続する時間を指定します。なお、ADFでコピーしたときや、その他認証が必要な機能を使ったときは、ジョブの終了直後に認証状態が解除されます。

工場出荷時の設定：30 秒

- 5～60 秒、1 秒単位
 - USB ポート固定
- 1 台のパソコンを複数の本機と USB で接続して使用するとき、同じプリンター/PC ファクスドライバーをそれぞれの機器で使用できるようにするかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：[しない]

- しない
- 2 台目以降の機器は新しいハードウェアとして認識されるため、機器ごとにドライバーをインストールして使用します。
- する
- ドライバーをインストールするときに使用した機器以外でも、同じドライバーが使用できます。

エラースキップ

用紙サイズや用紙種類のエラーを無視して印刷を続けます。エラーが検知されると印刷が一時的に停止し、約 10 秒後に自動的に再開します。

印刷を再開したとき、機器側の設定とプリントジョブの用紙サイズの指定が異なるときは、紙づまりすることがあります。

工場出荷時の設定：[しない]

- しない
- する

トナーセーブ

コピーするときに使用するトナーの量を節約します。印刷は薄くなりますが、トナーを長持ちさせられます。

工場出荷時の設定：[しない]

- しない
- する

消耗品状態

消耗品情報を表示します。

- トナー
- トナー残量を表示します。
- ブラック：
 - マゼンタ：

- シアン :

- イエロー

■■■■■■■■ (使い初め)、■■■■■■■□、■■■■■■□□、■■■■□□□、■■□□□□、□□□□□ (交換時期)

- その他の消耗品

廃トナーボトル、定着ユニット、中間転写ベルト、転写ローラーの寿命を表示します。

定着ユニット、転写ローラー、中間転写ベルトの交換は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。

- 廃トナーボトル

[廃トナーボトル：操作できます] (使い初め)、[廃トナーボトル：もうすぐ満杯] (交換時期間近)、[廃トナーボトル：満杯] (交換時期)

- 定着ユニット使用 :

- 中間転写ベルト

- 転写ローラー

■■■■■■■■ (使い初め)、■■■■■■■□、■■■■■■□□、■■■■□□□、■■□□□□、□□□□□ (交換時期)

高温対応レベル

湿度が高いときに印刷の品質を改善できます。

この設定は、[管理者用設定] の [すべての設定を初期化]、または Web Image Monitor の [管理者用設定] で [メニュー設定を初期化] をしても、工場出荷時の設定に戻りません。

工場出荷時の設定 : [OFF]

- OFF
- レベル 1 (弱)

印刷がにじむときに選択します。

- レベル 2 (中)

用紙がカールしたり、印刷がにじむときに選択します。このモードを選択すると、ファーストプリントの速度が遅くなります。

- レベル 3 (強)

[レベル 2 (中)] を選択していても、用紙がカールしたり、印刷がにじんだりするときは、このモードを選択します。ファーストプリントは、[レベル 2 (中)] よりも遅くなります。

色ずれ補正

必要に応じて色ずれの補正を実行して、画質を調節します (通常は、機械が自動的に補正します)。

色ずれ補正を実行するには、[はい] を押します。[いいえ] を押すと、色ずれ補正を実行せずに前のメニューに戻ります。

オートクリーニング

定期的に機械の内部を自動的に清掃します。清掃中は動作音が聞こえますが、故障ではありません。

工場出荷時の設定：[する]

- する
- しない

白黒印刷優先設定

白黒印刷をするときにカラートナーの消費量を少なくします。また、この設定を有効にすると、ウォームアップ中のカラートナーの消費量も少なくなります。

この設定は、[管理者用設定] の [すべての設定を初期化]、または Web Image Monitor の [管理者用設定] で [メニュー設定を初期化] をしても、工場出荷時の設定に戻りません。

工場出荷時の設定：[しない]

- しない
- する

7

通知：トナーもうすぐ交換

トナー交換時期を通知するタイミングを設定します。

この設定は、[管理者用設定] の [すべての設定を初期化]、または Web Image Monitor の [管理者用設定] で [メニュー設定を初期化] をしても、工場出荷時の設定に戻りません。

工場出荷時の設定：[標準]

- 早め
トナーの残量がおよそ 300 ページ分を印刷できる量になったときに通知します。
- 標準
トナーの残量がおよそ 200 ページ分を印刷できる量になったときに通知します。
- 遅め
トナーの残量がおよそ 100 ページ分を印刷できる量になったときに通知します。

用紙設定

用紙サイズ：トレイ 1

トレイ 1 の用紙サイズを設定します。

工場出荷時の設定：[A4]

- A4、B5、A5、B6、A6、8 1/2 × 14、8 1/2 × 11、5 1/2 × 8 1/2、7 1/4 × 10 1/2、8 × 13、8 1/2 × 13、8 1/4 × 13、16K、郵便ハガキ、往復ハガキ、4 1/8 × 9 1/2、3 7/8 × 7 1/2、C5 Env、C6 Env、DL Env、不定形サイズ

用紙サイズ：トレイ 2

トレイ 2 の用紙サイズを設定します。

この設定は、増設トレイ（トレイ 2）が装着されているときに表示されます。

工場出荷時の設定：[A4]

- A4、8 1/2 × 11

用紙サイズ：手差しトレイ

手差しトレイの用紙サイズを設定します。

工場出荷時の設定：[A4]

- A4、B5、A5、B6、A6、8 1/2 × 14、8 1/2 × 11、5 1/2 × 8 1/2、7 1/4 × 10 1/2、8 × 13、8 1/2 × 13、8 1/4 × 13、16K、郵便ハガキ、往復ハガキ、4 1/8 × 9 1/2、3 7/8 × 7 1/2、C5 Env、C6 Env、DL Env、不定形サイズ

用紙種類：トレイ 1

トレイ 1 の用紙種類を設定します。

工場出荷時の設定：[薄紙]

- 薄紙、普通紙、中厚口、厚紙 1、再生紙、色紙、レターヘッド、印刷済み紙、パンチ済み紙、ラベル紙、ボンド紙、カードストック、封筒、厚紙 2

用紙種類：トレイ 2

トレイ 2 の用紙種類を設定します。

この設定は、増設トレイ（トレイ 2）が装着されているときに表示されます。

工場出荷時の設定：[薄紙]

- 薄紙、普通紙、中厚口、厚紙 1、再生紙、色紙、レターヘッド、パンチ済み紙

用紙種類：手差しトレイ

手差しトレイの用紙種類を設定します。

工場出荷時の設定：[薄紙]

- 薄紙、普通紙、中厚口、厚紙 1、再生紙、色紙、レターヘッド、印刷済み紙、パンチ済み紙、ラベル紙、ボンド紙、カードストック、封筒、厚紙 2

トレイ1 設定選択

トレイ1のプリントジョブの処理方法を設定します。

工場出荷時の設定：[機器側設定優先]

- 機器側設定優先

機器側の設定ですべてのプリントジョブを印刷します。

プリンタードライバーで指定した用紙サイズ/用紙種類が機器側の指定と異なるとエラーが発生します。

- ドライバー/コマンド優先

用紙サイズ/用紙種類が機器側の指定にかかわらず、プリンタードライバーや印刷コマンドで指定したプリントジョブを印刷します。

手差しトレイ設定選択

手差しトレイのプリントジョブの処理方法を設定します。

工場出荷時の設定：[ドライバー/コマンド優先]

- 機器側設定優先

本機に設定されている用紙設定で印刷します。

プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ/用紙種類の設定と本機の用紙サイズ/用紙種類の設定が一致しないときは、エラーになります。

- ドライバー/コマンド優先

給紙トレイを指定して印刷するとき、本機の用紙サイズ/用紙種類の設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ/用紙種類を適用して印刷します。

- 全用紙サイズ・用紙種類許可

本機の用紙サイズ/用紙種類の設定とプリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ/用紙種類の設定が一致しなくても印刷します。ただし、印刷データに対して用紙サイズが小さいときは、画像がトリミングされます。

- 全不定形サイズ・用紙種類許可

プリンタードライバーで指定した用紙サイズ/用紙種類が不定形サイズのときは、本機の用紙設定で印刷します。ただし、印刷データに対して用紙サイズが小さいときは、画像がトリミングされます。

プリンタードライバーで指定した用紙サイズ/用紙種類が定形サイズのときは、本機の用紙設定と一致しないときは、エラーになります。

給紙トレイ優先設定

本機が優先的に使用するトレイを、プリンター機能、コピー機能、ファクス機能のそれぞれに対してトレイ1とトレイ2から選択します。優先トレイの紙がなくなったら、自動的にもう一方のトレイに切り替えて印刷します。

[トレイ2] は、増設トレイ（トレイ2）が装着されているときに表示されます。

各機能の工場出荷時の設定：[トレイ 1]

- プリンター

自動トレイ選択で印刷するときは、トレイ 1 とトレイ 2 の両方にプリントジョブに合った用紙がセットされていたら、ここで指定されたトレイから印刷が開始されます。

- コピー

コピー初期設定の [用紙選択] が [A4] または [8 1/2×11] に設定されていて、トレイ 1 とトレイ 2 の両方にそのサイズ of 用紙がセットされていたら、ここで指定されたトレイから印刷が開始されます。

- ファクス

ファクス初期設定の [給紙トレイ選択] が [自動] に設定されていて、トレイ 1 とトレイ 2 の両方に同じサイズの用紙がセットされていたら、ここで指定されたトレイから印刷が開始されます。

管理者用設定

年月日/時刻設定

本機のシステム時計を設定します。

- 年月日設定

システム時計の日付を設定します。

日付形式の初期値：[年/月/日]

- 年：2000～2099
- 月：1～12
- 日：1～31
- 日付形式：月/日/年、日/月/年、年/月/日

- 時刻設定

システム時計の時刻を設定します。

時刻形式の初期値：[24 時間形式]

- 時刻形式：12 時間形式、24 時間形式
- AM/PM 表示：AM、PM（12 時間形式）
- 時間：0～23（24 時間形式）、1～12（12 時間形式）
- 分：0～59

ファクス発信元情報登録

ファクスの発信元情報を設定します。

- 番号：

ファクス番号を最大 20 桁で設定します。番号には、0～9 までの数字、「+」（[*] キーで入力します）、およびスペースが使用できます。

- 名称：

本機の名称を最大 20 文字で設定します。文字や数字と記号が使用できます。

ダイヤル/プッシュ選択

電話回線の種類を設定します。

この設定を行うには、ご利用の電話会社に確認し、ご使用の電話回線に合った設定を選択してください。間違った設定をすると、ファクス送信に不具合が生じることがあります。

工場出荷時の設定：[プッシュ]

- プッシュ
- ダイヤル（10PPS）
- ダイヤル（20PPS）

内線／外線選択

電話回線への接続形態を設定します。

工場出荷時の設定：[外線]

- 外線

本機が公衆交換電話網（PSTN）に直接接続されているときに選択します。

- 内線

本機が構内交換機（PBX）に接続されているときに選択します。

内線アクセス番号

本機が PBX に接続されているときに、外線にダイヤルするための番号を設定します。

ご使用の PBX の設定に合った外線ダイヤル番号を設定してください。設定が合っていないと、外線へのファクス送信を正常に行えないときがあります。

工場出荷時の設定：0

- 0～999

優先機能

電源を入れたとき、または待機状態のまま [システムオートリセット時間設定] で設定した時間が経過したときに起動するモードを設定します。

工場出荷時の設定：[コピー]

- コピー
- ファクス
- スキャナー

システムオートリセット時間設定

本機の待機状態が設定した時間経過したとき、[優先機能] で設定されているモードに移行します。この設定は、ID カードコピーや手動両面コピーの次の原稿を準備するまでの時間にも適用されます。

工場出荷時の設定：[1 分]

- OFF
- 30 秒
- 1 分
- 2 分
- 3 分
- 5 分
- 10 分

省エネモード設定

予熱モードと省エネモードを設定します。予熱モードや省エネモードは、プリンターのジョブを受信したときや受信したファクスを印刷するとき、または [コピー]、[カラースタート]、[白黒スタート] キーが押されたときに解除されます。

- 予熱モード

待機状態のまま 30 秒間が経過すると、予熱モードに移行します。予熱モードは省エネモードより復帰時間がかかりませんが、消費電力は省エネモードより高くなります。

工場出荷時の設定：[OFF]

- OFF
- ON (移行時間 30 秒)

- 省エネモード

待機状態のまま設定された時間が経過すると、省エネモードに移行します。省エネモードの消費電力は予熱モードより低く抑えられますが、復帰に必要な時間が長くなります。

工場出荷時の設定：[ON] (10 分)

- ON (移行時間 1~240 分、1 分単位)
- OFF

表示言語切替

画面とレポートで使用する言語を選択します。

この設定の初期値は、本機を購入後最初に電源を入れたときに設定した言語になります。

国設定

本機を使用する国を選択します。国設定は、日時の表示形式や、ファクス通信に関連する設定の初期値を設定します。

正しく国が選択されていることを確認します。間違った言語が選択されていると、ファクス通信に障害がでることがあります。

この設定の初期値は、本機を購入後最初に電源を入れたときに選択した国になります。

設定を初期化

誤って設定をクリアしないように注意してください。

- すべての設定を初期化

画面表示言語、国設定、ネットワーク設定、ファクスのワンタッチダイヤルと短縮ダイヤル、特定相手先の設定を除く本機の設定を初期値に戻します。初期化を実行するには [はい] を押します。[いいえ] を押すと、初期化をせずに前のメニューに戻ります。

- ネットワーク設定を初期化
ネットワーク設定を初期値に戻します。初期化を実行するには [はい] を押し
ます。[いいえ] を押しすと、初期化をせずに前のメニューに戻ります。
- アドレス帳を初期化
ファクスのワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルと特定相手先の登録内容を消去
します。初期化を実行するには [はい] を押します。[いいえ] を押しすと、初期
化をせずに前のメニューに戻ります。

ダイレクト機能呼出し設定

操作部の [ID カードコピー] キーに次のいずれかの機能を割り当てます。

工場出荷時の設定：[ID カードコピーモード]

- ID カードコピーモード
- ファクス自動印刷設定
- ファクス直接送信
- ファクスアドレス帳
- スキャナー宛先選択

管理者用設定をロック

[アドレス帳]、[ネットワーク設定]、および [管理者用設定] メニューにアクセスす
るための4桁のパスワードを設定します。

パスワードは忘れないようにしてください。

工場出荷時の設定：[しない]

- する (0000~9999)
- しない

IPsec

IPsec を有効にするか無効にするかを設定します。

この設定は、[管理者用設定をロック] でパスワードが設定されているときに表示さ
れます。

工場出荷時の設定：[無効]

- 無効
- 有効

ファクス番号確認

操作部のテンキーで相手先のファクス番号を入力したとき、確認のための再入力をも
要求するかしないかを設定します。

この設定は、[管理者用設定をロック] でパスワードが設定されているときに表示さ
れます。

工場出荷時の設定：[しない]

- する
- しない

読取データを USB に保存

読み取りデータの USB への保存を有効または無効にするかを設定します。

この設定は、[管理者用設定をロック] でパスワードが設定されているときに表示されます。

工場出荷時の設定：[有効]

- 無効
- 有効

リスト/レポート印刷

リスト/レポートの種類

システム設定リスト

本機のシステム構成や設定の内容を印刷します。

ファクス通信管理レポート

ファクスの送受信の履歴を最新の 50 件まで印刷します。

ファクス送信/受信待機文書リスト

本機のメモリーに残っている未送信文書、印刷されていない受信文書のリストを印刷します。

ワンタッチキー宛先リスト

スキャナーとファクスのワンタッチダイヤル登録リストを印刷します。

ファクス短縮番号宛先リスト

ファクスの短縮番号の登録リストを印刷します。短縮番号順、または名前順で印刷できます。

スキャナー宛先リスト

スキャナーのあて先リストを印刷します。

スキャナー送信結果レポート

過去 100 件までのメール送信、FTP 送信、フォルダー送信のレポートを印刷します。

メンテナンスレポート

メンテナンスレポートを印刷します。

特定相手先リスト

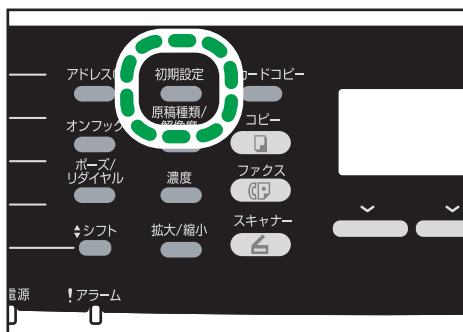
特定相手先リストを印刷します。

↓ 補足

- リストやレポートは、A4 またはレターサイズ用の紙に印刷されます。印刷の前に、トレイに A4 またはレターサイズ用の紙をセットしてください。

リスト/レポートを印刷する

1. [初期設定] キーを押します。



2. [▲] [▼] キーを押して [リスト/レポート印刷] を選択し、[OK] キーを押します。
3. [▲] [▼] キーを押して印刷するリスト/レポートを選択し、[OK] キーを押します。
4. [する] を押します。

リスト/レポートが印刷されます。

ネットワーク設定

イーサネット

- 物理アドレス
本機の MAC アドレスが表示されます。
- イーサネット速度
現在のイーサネットの速度設定を表示します。
 - 100Mbps 全二重固定
 - 100Mbps 半二重固定
 - 10Mbps 全二重固定
 - 10Mbps 半二重固定
 - イーサネット使用不可
ネットワークに接続されていないときに表示されます。
- イーサネット速度設定
イーサネットの通信速度を設定します。お使いのネットワーク環境に合った速度を選択してください。
通常は、工場出荷時の設定から変更する必要はありません。
工場出荷時の設定：[自動設定]
 - 自動設定
 - 100Mbps 全二重固定
 - 100Mbps 半二重固定
 - 10Mbps 全二重固定
 - 10Mbps 半二重固定

Wi-Fi 設定

- Wi-Fi
無線 LAN を有効にするか無効にするかを設定します。
[無効] に設定すると、[Wi-Fi 状態]、[物理アドレス]、[現在の接続状況]、[設定ウィザード]、[WPS] は表示されません。
工場出荷時の設定：[無効]
 - 無効
 - 有効
- Wi-Fi 状態
現在の接続状態を表示します。
- MAC アドレス

本機の物理アドレスを表示します。

- 現在の接続状況

SSID や無線信号の強度など、接続についての詳細情報を表示します。

- 設定ウィザード

手動で無線 LAN に接続するための手順を表示します。手順ごとの指示にしたがって接続の設定ができます。

- WPS

WPS (Wi-Fi Protected Setup) を使用して、接続設定できます。

詳しくは、P.54 「無線 LAN を設定する」を参照してください。

IPv4 設定

- DHCP

DHCP サーバーから IPv4 アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトのゲートウェイアドレスを自動で取得します。

DHCP を使用しているときは、IPv4 アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトのゲートウェイアドレスは、手動で設定できません。

工場出荷時の設定：[無効]

- 無効
- 有効

- IP アドレス

DHCP を使用していないときは、本機の IPv4 アドレスを設定します。

DHCP を使用しているときは、このメニューを使って現在の IP アドレスを確認します。

工場出荷時の設定：XXX.XXX.XXX.XXX

ネットワーク環境により、表示されるアドレス番号は異なります。

- サブネットマスク

DHCP を使用していないときは、本機のサブネットマスクを設定します。

DHCP を使用しているときは、このメニューを使って現在のサブネットマスクを確認します。

工場出荷時の設定：XXX.XXX.XXX.XXX

ネットワーク環境により、表示されるアドレス番号は異なります。

- ゲートウェイアドレス

DHCP を使用していないときは、本機のデフォルトのゲートウェイアドレスを設定します。

DHCP を使用しているときは、このメニューを使って現在のデフォルトのゲートウェイアドレスを確認します。

工場出荷時の設定：XXX.XXX.XXX.XXX

ネットワーク環境により、表示されるアドレス番号は異なります。

- IP アドレス方式

IP アドレスの取得方法を表示します。

工場出荷時の設定：[デフォルト IP]

- DHCP

DHCP サーバーから IP アドレスを自動で取得したときに表示されます。

- オート IP

DHCP サーバーから IP アドレスを取得できず、臨時の IP アドレスが設定されているときに表示されます。IP アドレスを設定し直してください。

- 手動設定

手動で IP アドレスを設定したときに表示されます。

- デフォルト IP

DHCP サーバーから IP アドレスを取得できず、IP アドレスが本機の工場出荷時の設定のままになっているときに表示されます。IP アドレスを設定し直してください。

IPv6 設定

- IPv6

IPv6 を有効にするか無効にするかを設定します。

工場出荷時の設定：[有効]

- 有効

- 無効

- DHCP

DHCP サーバーから IPv6 アドレスを自動で取得するかしないかを設定します。

工場出荷時の設定：[無効]

- 無効

- 有効

- IP アドレス (DHCP)

DHCP サーバーで取得した IPv6 アドレスを表示します。

- 手動設定アドレス

- 手動設定アドレス

DHCP を使用しないときに、本機の IPv6 アドレスを設定します。39 文字まで入力できます。

- プレフィックス長

プレフィックス長を 0~128 の値で指定します。

- ゲートウェイアドレス

DHCP を使用しないときに、デフォルトゲートウェイの IPv6 アドレスを設定します。39 文字まで入力できます。

- ステートレスアドレス

ルーター通知で取得した IPv6 ステートレスアドレスを表示します。

- ステートレスアドレス 1
- ステートレスアドレス 2
- ステートレスアドレス 3
- ステートレスアドレス 4

- リンクローカルアドレス

IPv6 リンクローカルアドレスを表示します。

8. パソコンを使って設定する

Web Image Monitor から直接本機にアクセスし、本機の状態を確認したり、設定を変更したりできます。

Web Image Monitor を使う

★重要

- 一部の項目は、本機の種類や構成、および設定によって、表示されないことがあります。
- 一部の項目は、操作部からでも設定できます。

Web Image Monitor でできること

パソコンの Web Image Monitor から、ネットワークを介して以下の遠隔操作ができます。

- 本機の状態/設定を表示する
- 本機の設定をする
- スキャナーおよびファクスのあて先を登録する
- ファクスの特定相手先を登録する
- ユーザーが使用できる機能を制限する
- ネットワークの設定をする
- IPsec の設定をする
- リスト/レポートを印刷する
- 管理者用のパスワードとメールアドレスを設定する
- 工場出荷時の設定に戻す
- 各種設定のバックアップファイルを作成する
- バックアップファイルから各種設定を回復する
- 本機の日付と時刻を設定する
- 省エネモードを設定する

推奨ブラウザ

- Windows:
Internet Explorer 6.0-11.0
- Mac OS X:
Safari 3.0-6.0

↓ 補足

- Web Image Monitor から本機を操作するには、TCP/IP または無線 LAN を設定する必要があります。詳しくは、P.47 「ネットワークを設定する」または P.54 「無線 LAN を設定する」を参照してください。
- 操作部で行う本機の設定について詳しくは、P.189 「操作部で設定できる機能」を参照してください。

トップページを表示する

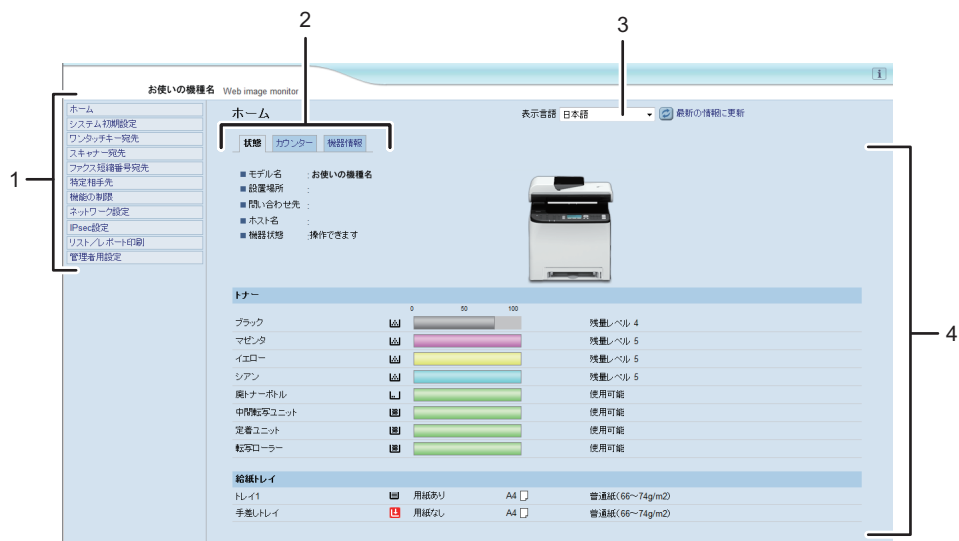
Web Image Monitor を使って本機にアクセスすると、ブラウザにトップページが表示されます。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス) /"と入力し、本機にアクセスします。

DNS または WINS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されているときは、IP アドレスの代わりにホスト名を入力できます。

トップページ

Web Image Monitor のページはフレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。



DAC814

1. メニューエリア

メニューをクリックすると、メインエリアに設定ページの内容が表示されます。

2. タブエリア

目的の設定や情報を表示するためのタブを表示します。

3. 表示言語

表示される言語をほかの言語に変更できます。

4. メインエリア

メニューエリアで選択された項目の内容が表示されます。

メインエリアの情報は自動的に更新されません。情報を更新したいときは、同エリア右上の [最新の情報に更新] をクリックしてください。Web ブラウザー画面全体を更新したいときは、ブラウザの [更新] や [再読み込み] をクリックしてください。

↓ 補足

- 使用するブラウザのバージョンが推奨するバージョンより低いときや、使用するブラウザの設定で、「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていないときは、表示や操作に不具合が生じることがあります。
- プロキシサーバーをご使用のときは、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。
- ブラウザーの [戻る] で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザの [更新] や [再読み込み] をクリックしてください。

システム情報を確認する

[ホーム] をクリックして、Web Image Monitor のメインページを表示します。メインページでは、現在のシステム情報を確認できます。

このページには、以下のタブがあります：[状態]、[カウンター]、[機器情報]。

機器の状態を確認する

[状態] タブをクリックして、機器情報、給紙トレイの状況、および消耗品の状況を表示します。

項目	説明
モデル名	本機の名前を表示します。
設置場所	[SNMP] ページで登録した本機の設置場所を表示します。
問い合わせ先	[SNMP] ページで登録した本機の問い合わせ先を表示します。
ホスト名	[DNS] ページで設定した本機のホスト名を表示します。
機器状態	操作部の画面に表示されている現在のメッセージを表示します。

トナー

項目	説明
ブラック	ブラックのトナー残量です。
マゼンタ	マゼンタのトナー残量です。
イエロー	イエローのトナー残量です。
シアン	シアンのトナー残量です。
廃トナーボトル	廃トナーボトルの廃トナーの量を [使用可能]、[もうすぐ満杯]、[満杯] で表示します。
中間転写ユニット	中間転写ユニットの寿命を [使用可能]、[交換間近]、[交換時期] で表示します。
定着ユニット	定着ユニットの寿命を [使用可能]、[交換間近]、[交換時期] で表示します。
転写ローラー	転写ローラーの寿命を [使用可能]、[交換間近]、[交換時期] で表示します。

給紙トレイ

項目	説明
トレイ 1	トレイ 1 の状態、用紙サイズと種類を表示します。

項目	説明
トレイ 2	トレイ 2 の状態、用紙サイズと種類を表示します。
手差しトレイ	手差しトレイの状態、用紙サイズと種類を表示します。

↓ 補足

- リコー純正品以外のトナーカートリッジを使うと、正確なトナーの寿命が表示されません。
- 増設トレイ（トレイ 2）が装着されているときのみトレイ 2 の情報が表示されます。
- 中間転写ユニット、定着ユニット、転写ローラーの情報は、お使いの機器が RICOH SP C251SF のときに表示されます。

カウンター情報を確認する

[カウンター] タブをクリックして、カウンター情報を確認します。

ページ数カウンター

項目	説明
プリンター	プリンター機能で印刷されたページ数を以下の項目で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • トータルページ数 • カラーのページ数 • 白黒のページ数
スキャナー	スキャナー機能で読み取りされたページ数を以下の項目で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • トータルページ数 • カラーのページ数 • 白黒のページ数
コピー	コピー機能で印刷されたページ数を以下の項目で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • トータルページ数 • カラーのページ数 • 白黒のページ数
ファクス	通常の電話回線で送受信されたファクスのページ数を以下の項目で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • トータルページ数 • 受信ページ数 • 送信ページ数

機器カウンター

項目	説明
機器カウンター	プリンター、コピー、ファクス機能とリスト/レポートで印刷されたページ数を以下の項目で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • トータルページ数 • カラーのページ数 • 白黒のページ数
ブラック	プリンター、コピー、ファクス機能とリスト/レポートで印刷されたページ数を以下の項目で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • ブラックトナーの累積カバレッジ (A4 サイズ用紙でのパーセント換算) • ブラックトナーの累積消費量 (A4 サイズ用紙でのページ数換算)
シアン	プリンター、コピー、ファクス機能とリスト/レポートで印刷されたページ数を以下の項目で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • シアントナーの累積カバレッジ (A4 サイズ用紙でのパーセント換算) • シアントナーの累積消費量 (A4 サイズ用紙でのページ数換算)
マゼンタ	プリンター、コピー、ファクス機能とリスト/レポートで印刷されたページ数を以下の項目で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • マゼンタトナーの累積カバレッジ (A4 サイズ用紙でのパーセント換算) • マゼンタトナーの累積消費量 (A4 サイズ用紙でのページ数換算)
イエロー	プリンター、コピー、ファクス機能とリスト/レポートで印刷されたページ数を以下の項目で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • イエロートナーの累積カバレッジ (A4 サイズ用紙でのパーセント換算) • イエロートナーの累積消費量 (A4 サイズ用紙でのページ数換算)

エコノミーカラー印刷

項目	説明
エコノミーカラー印刷 (カラー)	プリンター機能で、トナーセーブモードを使って印刷したページの総数を表示します。
ブラック	プリンター機能で、トナーセーブモードを使って印刷したページ数を以下の項目で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • ブラックトナーの累積カバレッジ (A4 サイズ用紙でのパーセント換算) • ブラックトナーの累積消費量 (A4 サイズ用紙でのページ数換算)

項目	説明
シアン	プリンター機能で、トナーセーブモードを使って印刷したページ数を以下の項目で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> シアントナーの累積カバレッジ（A4 サイズ用紙でのパーセント換算） シアントナーの累積消費量（A4 サイズ用紙でのページ数換算）
マゼンタ	プリンター機能で、トナーセーブモードを使って印刷したページ数を以下の項目で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> マゼンタトナーの累積カバレッジ（A4 サイズ用紙でのパーセント換算） マゼンタトナーの累積消費量（A4 サイズ用紙でのページ数換算）
イエロー	プリンター機能で、トナーセーブモードを使って印刷したページ数を以下の項目で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> イエロートナーの累積カバレッジ（A4 サイズ用紙でのパーセント換算） イエロートナーの累積消費量（A4 サイズ用紙でのページ数換算）

両面

項目	説明
両面カウンター	両面印刷されたページの総数を表示します（表面と裏面を合わせて「1」とカウントされます）。

↓ 補足

- [ページ数カウンター]、[機器カウンター]、[エコノミーカラー印刷] では、両面印刷は 2 ページ分としてカウントされます。

機器情報を確認する

[機器情報] タブをクリックして、機器の情報を確認します。

機器情報

項目	説明
ファームウェアバージョン	本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。
エンジンファームウェアバージョン	本機エンジンのファームウェアのバージョンを表示します。
機番	本機のシリアルナンバーです。
ファクスモジュール	ファクスモジュールが搭載されているかどうかを表示します。

項目	説明
搭載メモリー	本機に搭載されているメモリーの総容量を表示します。

システム初期設定を変更する

[システム初期設定] をクリックして、システム初期設定のページを表示します。

このページには、以下のタブがあります：[音量調節]、[用紙設定]、[コピー]、[ファクス]、[優先トレイ]、[トナーセーブ]、[インターフェース切り替え時間]、[白黒印刷優先]、[ダイレクト機能呼出し]。

スピーカー音量を設定する

システム初期設定ページの [音量調節] タブをクリックして、スピーカー音量を設定するページを表示します。

音量調節

項目	説明
ブザー音	キーを押したときに出るブザーの音量を、[OFF]、[小]、[中]、[大] から選択します。
オンフック時	オンフックモードのときにスピーカーから聞こえる音の音量を、[OFF]、[小]、[中]、[大] から選択します。
ジョブ終了通知音	ジョブが終了したときのブザーの音量を、[OFF]、[小]、[中]、[大] から選択します。
ジョブエラー通知音量	ファクス送信中にエラーが起こったときのブザーの音量を、[OFF]、[小]、[中]、[大] から選択します。
警告音	本機の操作中にエラーが起こったときのブザーの音量を、[OFF]、[小]、[中]、[大] から選択します。

用紙の設定を変更する

システム初期設定ページの [用紙設定] タブをクリックして、用紙設定をするページを表示します。

トレイ 1

項目	説明
用紙サイズ	トレイ 1 の用紙サイズを、次の中から選択します： A4、B5 JIS、A5、A6、 $8\frac{1}{2} \times 14$ 、 $8\frac{1}{2} \times 11$ 、 $7\frac{1}{4} \times 10\frac{1}{2}$ 、 8×13 、 $8\frac{1}{2} \times 13$ 、 $8\frac{1}{4} \times 13$ 、16K、 $4\frac{1}{8} \times 9\frac{1}{2}$ 、 $3\frac{7}{8} \times 7\frac{1}{2}$ 、C5 Env、C6 Env、DL Env、郵便ハガキ、往復ハガキ、B6 JIS、 $5\frac{1}{2} \times 8\frac{1}{2}$ 、不定形サイズ

項目	説明
用紙種類	トレイ 1 の用紙の種類を、次の中から選択します： 普通紙 (66~74g/m ²)、薄紙 (60~65g/m ²)、中厚口 (75~90g/m ²)、厚紙 1 (91~105g/m ²)、再生紙、色紙、レターヘッド、印刷済み紙、パンチ済み紙、ラベル紙、ポンド紙、カードストック、封筒、厚紙 2 (106~160g/m ²)

トレイ 2

項目	説明
用紙サイズ	トレイ 2 の用紙サイズを、次の中から選択します： A4、8 ¹ / ₂ × 11
用紙種類	トレイ 2 の用紙の種類を、次の中から選択します： 普通紙 (66~74g/m ²)、薄紙 (60~65g/m ²)、中厚口 (75~90g/m ²)、厚紙 1 (91~105g/m ²)、再生紙、色紙、レターヘッド、印刷済み紙、パンチ済み紙

手差しトレイ

項目	説明
用紙サイズ	手差しトレイの用紙サイズを、次の中から選択します： A4、B5 JIS、A5、A6、8 ¹ / ₂ × 14、8 ¹ / ₂ × 11、7 ¹ / ₄ × 10 ¹ / ₂ 、8 × 13、8 ¹ / ₂ × 13、8 ¹ / ₄ × 13、16K、4 ¹ / ₈ × 9 ¹ / ₂ 、3 ⁷ / ₈ × 7 ¹ / ₂ 、C5 Env、C6 Env、DL Env、郵便ハガキ、往復ハガキ、B6 JIS、5 ¹ / ₂ × 8 ¹ / ₂ 、不定形サイズ
用紙種類	手差しトレイの用紙の種類を、次の中から選択します： 普通紙 (66~74g/m ²)、薄紙 (60~65g/m ²)、中厚口 (75~90g/m ²)、厚紙 1 (91~105g/m ²)、再生紙、色紙、レターヘッド、パンチ済み紙、ラベル紙、ポンド紙、カードストック、封筒、厚紙 2 (106~160g/m ²)

トレイ 1 優先

項目	説明
トレイ 1 優先	トレイ 1 でのプリントジョブの処理方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 機器側設定優先 機器側の設定ですべてのプリントジョブを印刷します。プリンタードライバーで指定した用紙サイズ/用紙種類が機器側の指定と異なるとエラーが発生します。 • ドライバー/コマンド優先 用紙サイズ/用紙種類が機器側の指定にかかわらず、プリンタードライバーや印刷コマンドで指定したプリントジョブを印刷します。

手差しトレイ設定選択

項目	説明
手差しトレイ設定選択	<p>手差しトレイを指定したプリントジョブの処理方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 機器側設定優先 本機に設定されている用紙設定で印刷します。プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ/用紙種類の設定と本機用の紙サイズ/用紙種類の設定が一致しないときは、エラーになります。 ドライバー/コマンド優先 給紙トレイを指定して印刷するとき、本機用の紙サイズ/用紙種類の設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ/用紙種類を適用して印刷します。 全用紙サイズ・用紙種類許可 本機用の紙サイズ/用紙種類の設定とプリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ/用紙種類の設定が一致しなくても印刷します。ただし、印刷データに対して用紙サイズが小さいときは、画像がトリミングされます。 全不定形サイズ・用紙種類許可 プリンタードライバーで指定した用紙サイズ/用紙種類が不定形サイズのときは、本機用の紙設定で印刷します。ただし、印刷データに対して用紙サイズが小さいときは、画像がトリミングされます。 プリンタードライバーで指定した用紙サイズ/用紙種類が定形サイズのときは、本機用の紙設定と一致しないときは、エラーになります。

 補足

- 増設トレイ（トレイ 2）が装着されているとき、トレイ 2 の情報が表示されます。

コピーの用紙を指定する

システム初期設定ページの [コピー] タブをクリックしてコピーの用紙を設定するページを表示します。

用紙選択

項目	説明
用紙選択	コピーを印刷する用紙のサイズを次の中から選択します： [トレイ 1]、[トレイ 2]、[手差しトレイ]、[A4]、[8 ¹ / ₂ × 11] トレイを選択すると、そのトレイからだけ印刷されます。 用紙サイズを選択すると、そのサイズ用紙がセットされているトレイから給紙されます（手差しトレイからは給紙されません）。 トレイ 1、トレイ 2 の両方に指定されたサイズ用紙がセットされているときは、[優先トレイ] ページの [コピー] で指定されたトレイから印刷を始めます。そのトレイ用紙がなくなったら、自動的にもう一方のトレイに切り替えて印刷します。

補足

- 増設トレイ（トレイ 2）が装着されていないときは、[トレイ 1] と [手差しトレイ] のみ表示されます。

優先トレイを指定する

システム初期設定ページの [優先トレイ] タブをクリックして、優先トレイの設定をするページを表示します。

優先トレイ

項目	説明
プリンター	プリントジョブの印刷で優先的に使用するトレイを、トレイ 1 とトレイ 2 から選択します。 自動トレイ選択で印刷するときは、トレイ 1 とトレイ 2 の両方にプリントジョブに合った用紙がセットされていたら、ここで指定されたトレイから印刷が開始されます。優先トレイの紙がなくなったら、自動的にもう一方のトレイに切り替えて印刷します。
コピー	コピーの印刷で優先的に使用するトレイを、トレイ 1 とトレイ 2 から選択します。 [コピー] ページの [用紙選択] で [A4] または [8 ¹ / ₂ × 11] が選択されていて、トレイ 1 とトレイ 2 の両方にそのサイズ用紙がセットされていたら、ここで指定されたトレイから印刷が開始されます。優先トレイの紙がなくなったら、自動的にもう一方のトレイに切り替えて印刷します。
ファクス	ファクスの印刷で優先的に使用するトレイを、トレイ 1 とトレイ 2 から選択します。 [ファクス] ページの [給紙トレイ選択] で [自動] が選択されていて、トレイ 1 とトレイ 2 の両方に同じサイズ用紙がセットされていたら、ここで指定されたトレイから印刷が開始されます。優先トレイの紙がなくなったら、自動的にもう一方のトレイに切り替えて印刷します。

↓ 補足

- 増設トレイ（トレイ 2）が装着されているとき、[トレイ 2] が表示されます。

トナーセーブを設定する

システム初期設定ページの [トナーセーブ] タブをクリックして、トナーセーブの設定をするページを表示します。

トナーセーブ

項目	説明
トナーセーブ	コピーの印刷をするときに使用するトナーの量を節約します。印刷は薄くなりますが、トナーを長持ちさせられます。

インターフェース切り替え時間を指定する

システム初期設定ページの [インターフェース切り替え時間] タブをクリックして、インターフェース切り替え時間の設定をするページを表示します。

インターフェース切り替え時間

項目	説明
USB ポート固定	1 台のパソコンを複数の本機と USB で接続して使用するとき、同じプリンター/PC ファクスドライバーをそれぞれの機器で使用できるようにするかどうかを設定します。 この設定を有効にすると、ドライバーをインストールするときに使用した機器以外でも、同じドライバーが使用できます。 無効にしたときは、2 台目以降の機器は新しいハードウェアとして認識されるため、機器ごとにドライバーをインストールして使用します。
機密印刷タイムアウト（秒）	本機に蓄積された機密文書が一杯の状態でも新規の機密文書を受信したときに、それを保持する時間を指定します（0～300 秒）。ここで指定した時間内は、新規の機密文書を印刷したり削除したりできます。すでに蓄積されている機密文書を印刷したり削除したりすることで、新規の機密文書を蓄積できます。

↓ 補足

- [機密印刷タイムアウト（秒）] は、お使いの機器が RICOH SP C251SF のときに表示されます。

白黒印刷優先設定を指定する

システム初期設定ページの [白黒印刷優先] タブをクリックして、白黒印刷優先の設定をするページを表示します。

白黒印刷優先

項目	説明
白黒印刷優先	白黒印刷をするときに消費されるカラートナーの量を少なくします。また、この設定を有効にすると、ウォームアップ中に消費されるカラートナーの量も少なくなります。

ダイレクト機能呼出しを設定する

システム初期設定ページの [ダイレクト機能呼出し] タブをクリックして、ダイレクト機能呼出しを設定するページを表示します。

ダイレクト機能呼出し

項目	説明
ダイレクト機能呼出し設定	<p>操作部の [ID カードコピー] キーに次のいずれかの機能を割り当てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ID カードコピーモード • ファクス自動印刷設定 • ファクス直接送信 • ファクスアドレス帳 • スキャナー宛先選択

あて先を登録する

Web Image Monitor を使って、スキャナーとファクスのあて先を登録できます。

最大登録数は、スキャナーは 100 件、ファクスはワンタッチダイヤル 20 件と短縮ダイヤル 200 件です。

↓ 補足

- スキャナーのあて先登録については、P.157 「スキャナーのあて先を登録する」を参照してください。
- Web Image Monitor を使ってのファクスのあて先登録について詳しくは、『使用説明書 <ファクス機能編>』 「Web Image Monitor であて先を登録する」を参照してください。

ユーザーが使用できる機能を制限する

対象機種：RICOH SP C251SF

本機の機能の一部は、使用の際にユーザーコードによる認証を要求するように設定できます。

Web Image Monitor を使って以下の機能の中から制限したい機能を選択し、その機能を使えるユーザーを登録します。

- コピー（カラーと白黒）
- コピー（カラーのみ）
- ファクスの送信
- スキャナーのメール/FTP/フォルダー送信
- スキャナーの USB メモリー送信
- PictBridge での印刷
- プリントジョブの印刷（カラーと白黒）
- プリントジョブの印刷（カラーのみ）
- PC ファクスの送信

使える機能は、ユーザーごとに設定できます。

最大 30 件のユーザーを登録できます。

↓ 補足

- ユーザー制限について詳しくは、P.31 「ユーザーが使用できる機能を制限する」を参照してください。

ネットワークの設定をする

[ネットワーク設定] をクリックして、ネットワーク設定ページを表示します。

このページには、以下のタブがあります：[ネットワーク情報]、[IPv6 設定]、[ネットワーク設定]、[DNS]、[自動メール通知]、[SNMP]、[SMTP]、[POP3]、[インターネットファクス]、[無線]。

★重要

- 設定を変更したときは、本機の再起動が必要なことがあります。
- 一部の項目は、本機の種類や構成、および設定によって、表示されないことがあります。

ネットワーク情報の設定をする

ネットワーク設定ページの [ネットワーク情報] タブをクリックして、ネットワーク情報の設定をするページを表示します。

ネットワーク情報

項目	説明
イーサネット速度	ネットワーク接続の種類および速度を表示します。
IPP プリンター名	ネットワーク上で本機を識別するために使用する名前を表示します。
ネットワークバージョン	ネットワークモジュールのバージョン (本機ファームウェアの一部) を表示します。
イーサネット MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。
有効なインターフェース	現在の通信方法を表示します。

TCP/IP 情報

項目	説明
DHCP	DHCP を使って、本機が IPv4 アドレスを自動的に取得するかどうか選択します。DHCP を使用するには、[有効] を選択してください。有効にしたとき、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイアドレス] は設定できません。
IP アドレス	本機の IPv4 アドレスを入力します。
サブネットマスク	ネットワークのサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイアドレス	ネットワークのゲートウェイアドレスを設定します。

IPv6 の設定をする

ネットワーク設定ページの [IPv6 設定] タブをクリックし、IPv6 の設定をするページを表示します。

IPv6

項目	説明
IPv6	IPv6 を有効にするか無効にするかを設定します。無効にすると、[DHCP]、[ステートレスアドレス]、[リンクローカルアドレス]、[手動設定アドレス] は設定できません。本機が IPv6 環境で使用されているときは、Web Image Monitor で IPv6 を無効にすることはできません。そのときは、操作部のネットワーク設定で [IPv6] を無効にしてください。

IPv6 アドレス

項目	説明
DHCP	DHCP サーバーから IPv6 アドレスを自動で取得するかしないかを設定します。
IP アドレス (DHCP)	[DHCP] が [有効] のときに、DHCP サーバーで取得した IPv6 アドレスを表示します。
ステートレスアドレス	4 つのステートレス自動アドレスを表示します。
ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイアドレスを表示します。
リンクローカルアドレス	本機のリンクローカルアドレスを表示します。リンクローカルアドレスはローカルネットワーク環境でのみ有効なアドレスです。
手動設定アドレス	任意で IPv6 アドレスを設定します。最大で 39 文字入力できます。
プレフィックス長	プレフィックス長を 0~128 の値で入力します。
ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイの IPv6 アドレスを設定します。最大で 39 文字入力できます。

ネットワーク設定をする

ネットワーク設定ページの [ネットワーク設定] タブをクリックして、スキャナー送信機能や印刷プロトコルの設定をするページを表示します。

スキャナー送信設定

項目	説明
メール送信	メール送信機能を有効にします。

項目	説明
送信メールサイズ制限	メールに添付できるファイルの最大容量を選択します (1~5MB、またはサイズ制限しない)。
FTP 送信	FTP 送信機能を有効にします。
フォルダー送信	フォルダー送信機能を有効にします。

ネットワーク印刷設定

項目	説明
IPP	インターネット印刷プロトコルを使った TCP/IP ネットワーク印刷を有効にします (TCP ポート 631/80 を使用します)。
FTP	本機内蔵の FTP プロトコルを使ったネットワーク印刷を有効にします (TCP ポート 20/21 を使用します)。
RAW	raw 印刷を有効にします。
ポート番号	raw 印刷に使用する TCP ポートの番号を入力します。有効なポート番号は 1024~65535 で、53550 は除きます (デフォルト: 9100)。
LPR	LPR/LPD を使ったネットワーク印刷を有効にします (TCP ポート 515 を使用します)。

mDNS 設定

項目	説明
mDNS	マルチキャスト DNS を有効にします。無効にしたとき、[プリンター名] は設定できません。
プリンター名	本機の名前を入力します。最大 32 文字入力できます。

DNS の設定をする

ネットワーク設定ページの [DNS] タブをクリックして、DNS を設定をするページを表示します。

DNS

項目	説明
DNS 方式	手動でドメインサーバーを指定するか、ネットワークを通して自動的に DNS 情報を受け取るかを選択します。[自動的に取得 (DHCP)] にしたとき、[プライマリー DNS サーバー]、[セカンダリー DNS サーバー]、[ドメイン名] は無効になります。
プライマリー DNS サーバー	主要 DNS の IPv4 アドレスを入力します。
セカンダリー DNS サーバー	補助 DNS の IPv4 アドレスを入力します。

項目	説明
ドメイン名	本機のドメイン名を入力します。最大 32 文字入力できます。
IPv6DNS 方式	手動で IPv6 ドメインサーバーを指定するか、ネットワークを通して自動的に DNS 情報を受け取るかを選択します。 [自動的に取得 (DHCP)] にしたとき、[IPv6 プライマリー DNS サーバー]、[IPv6 セカンダリー DNS サーバー]、[IPv6 ドメイン名] は無効になります。
IPv6 プライマリー DNS サーバー	IPv6 主要 DNS の IPv6 アドレスを入力します。最大 39 文字入力できます。
IPv6 セカンダリー DNS サーバー	IPv6 補助 DNS の IPv6 アドレスを入力します。最大 39 文字入力できます。
IPv6 ドメイン名	本機の IPv6 ドメイン名を入力します。最大 32 文字入力できます。
DNS 名前解決優先	IPv4 と IPv6 のどちらに DNS 名前解決の優先を与えるかを設定します。
DNS タイムアウト (秒)	DNS 要求をタイムアウトにするまでの最大待ち時間を入力します (1~999)。
ホスト名	本機のホスト名を入力します。最大 15 文字入力できます。

自動メール通知の設定をする

ネットワーク設定ページの [自動メール通知] タブをクリックして、自動メール通知の設定をするページを表示します。

メール通知 1/メール通知 2

項目	説明
表示名	自動通知メールの送信者名を入力します。最大 32 文字入力できます。
メールアドレス	自動通知メールのあて先となるアドレスを入力します。最大 64 文字入力できます。
用紙づまり	紙づまりが発生したときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。
用紙なし	用紙が切れたときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。
トナー残りわずか	トナーが少なくなったときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。
サービスコール	本機故障などの問題が発生したときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。

項目	説明
トナーなし	トナーが切れたときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。
カバーオープン	カバーが開いているときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。

SNMP の設定をする

ネットワーク設定ページの [SNMP] タブをクリックして、SNMP を設定をするページを表示します。

SNMP

項目	説明
SNMP	本機が SNMP サービスを使えるようにするかどうか選択します。

Trap

項目	説明
Trap 送信	本機が管理ホスト (NMS) にトラップを送信できるようにするかどうか選択します。 無効にしたとき、[SNMP マネージャーアドレス 1]、[SNMP マネージャーアドレス 2] は設定できません。
SNMP マネージャーアドレス 1	IP アドレスか、管理ホストのホスト名を入力します。最大 64 文字入力できます。
SNMP マネージャーアドレス 2	IP アドレスか、管理ホストのホスト名を入力します。最大 64 文字入力できます。

コミュニティ

項目	説明
Get コミュニティ	Get 要求の認証に使用するコミュニティ名を入力します。最大 32 文字入力できます。
Trap コミュニティ	Trap 要求の認証に使用するコミュニティ名を入力します。最大 32 文字入力できます。

システム

項目	説明
設置場所	本機の場所を入力します。ここで入力した場所は、トップページに表示されます。最大 64 文字入力できます。

項目	説明
問い合わせ先	連絡先の情報を入力します。ここで入力した連絡先の情報は、トップページに表示されます。最大 64 文字入力できます。

SMTP の設定をする

ネットワーク設定ページの [SMTP] タブをクリックして、SMTP を設定するページを表示します。

SMTP

項目	説明
プライマリー SMTP サーバー	SMTP/POP3 サーバーの IP アドレスかホスト名を入力します。最大 64 文字入力できます。
ポート番号	SMTP のポート番号を入力します。(1~65535)
認証種類	認証方式を以下から選択してください。 [しない]：ユーザー名およびパスワードは必要ありません。 [SMTP]：本機は NTLM および LOGIN 認証に対応しています。 [POP before SMTP]：認証には POP3 サーバーを使用します。 SMTP サーバーにメールを送信する前に、まず POP3 サーバーに接続して認証を行うことで、SMTP サーバーのセキュリティレベルを強化できます。
認証ユーザー名	SMTP サーバーにログインするユーザー名を入力します。最大 32 文字入力できます。
認証パスワード	SMTP サーバーにログインするパスワードを入力します。最大 32 文字入力できます。
機器メールアドレス	本機のメールアドレスを入力します。 このアドレスは、自動通知メールやインターネットファクスなど、本機から送信されるメールの送信者アドレスとして使用されます。最大 64 文字入力できます。
サーバータイムアウト (秒)	SMTP 操作をタイムアウトにするまでの待ち時間を入力します (1~999)。
タイムゾーン	お客様の地域に合わせた設定を選択してください。設定した地域が異なると、本機の日時を正しく設定していても、スキャナーのメール送信機能で送ったメールの送信日時が正しく表示されないことがあります。日本であれば [(GMT)+9:00] に設定します。

POP3 の設定をする

[ネットワーク設定] をクリックし、[POP3] タブをクリックして、POP3 の設定をするページを表示します。

POP3 設定

項目	説明
POP3 サーバー	メール受信用の POP3 サーバーの IP アドレスかホスト名を入力します。 ここで指定した POP3 サーバーは [POP before SMTP] で使用されます。最大 64 文字入力できます。
ユーザーアカウント	POP3 サーバーにログインするときのユーザー名を入力します。最大 32 文字入力できます。 ここでメールアドレスを入力すると、インターネットファクス受信用のアドレスとして使用されます。
ユーザーパスワード	POP3 サーバーにログインするときのパスワードを入力します。最大 32 文字入力できます。
認証	認証方法を以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [なし] パスワードは暗号化されません。 • [APOP 認証] パスワードは暗号化されます。 • [自動] POP3 サーバーの設定により、パスワードは暗号化されるときとされないときがあります。

無線 LAN を設定する

ネットワーク設定ページの [無線] タブをクリックして、無線 LAN を設定するページを表示します。

無線 LAN

項目	説明
無線 LAN	無線 LAN の接続状態を表示します。
MAC アドレス	本機の物理アドレスを表示します。
通信モード	本機の接続している通信モードを表示します。
SSID	本機の接続している SSID を表示します。
チャンネル	[通信モード] で [アドホック] を選択しているときは、現在の無線 LAN のチャンネル情報を表示します。
電波状態	受信している無線信号の強度を表示します。

項目	説明
無線	無線 LAN を使用するかしないかを設定します。

無線 LAN 設定

項目	説明
SSID	アクセスポイントの SSID を入力します。SSID は、32 文字までで入力します。 [検索一覧] をクリックすると、利用可能なアクセスポイントの一覧が表示されます。一覧から SSID を選択できます。
通信モード	接続する通信モードを選択します。 無線ルータ、またはアクセスポイントに接続するときは、[インフラストラクチャー] を選択します。 本機に直接接続するときは、[アドホック] を選択します。
アドホックチャンネル	[通信モード] で [アドホック] を選択しているときは、チャンネルを選択します。
認証	認証方法を選択します。 [通信モード] で [アドホック] を選択しているときは、[オープンシステム] または [共有キー] を選択します。
暗号化	認証方法を選択します。 [通信モード] で [アドホック] を選択しているときは、[なし] または [WEP] を選択します。
WPA パスフレーズ	[認証] で [WPA2-PSK] または [WPA/WPA2 混在モード] を選択しているときは、WPA 暗号化キーを入力します。
WEP キー長	[64 ビット]、または [128 ビット] を選択します。
WEP 送信キー ID	複数の WEP 接続が設定されているときは、各 WEP キーを識別するための ID 番号を選択します。
WEP キー形式	WEP キーを入力するフォーマットを選択します。
WEP キー	WEP キーを入力します。文字数と形式は、選択した WEP キー長と、WEP キー形式によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> WEP キー長：[64 ビット]、形式：[16 進]、最大長：10 文字 (0~9、A~F、a-f) WEP キー長：[64 ビット]、形式：[ASCII]、最大長：5 文字 (0x20~0x7e) WEP キー長：[128 ビット]、形式：[16 進]、最大長：26 文字 (0~9、A~F、a-f) WEP キー長：[128 ビット]、形式：[ASCII]、最大長：13 文字 (0x20~0x7e)

↓ 補足

- 手で接続を設定するときは、アクセスポイントや無線ルータの SSID、認証方法、暗号化キーを事前に確認してください。

IPsec の設定をする

[IPsec 設定] をクリックし、IPsec 設定ページを表示します。

このページには、以下のタブがあります：[IPsec グローバル設定]、[IPsec ポリシーリスト]。

★重要

- この設定は、[管理者] ページで管理者用のパスワードが設定されているときに表示されます。

IPsec グローバル設定をする

IPsec 設定ページの [IPsec グローバル設定] タブをクリックして、IPsec グローバル設定のページを表示します。

項目	説明
IPsec 機能	IPsec を有効にするか無効にするかを設定します。
IPsec デフォルトポリシー	IPsec デフォルトポリシーを許可するかどうかを設定します。
ブロードキャストとマルチキャストに適用しない	IPsec を適用したくないサービスを以下から選択します： [DHCPv4]、[DHCPv6]、[SNMP]、[mDNS]、[NetBIOS]、 [UDP53550 番ポート]
全ての ICMP に適用しない	IPsec を ICMP パケット (IPv4 と IPv6) に適用するかどうかを以下から選択します： <ul style="list-style-type: none"> • [有効] すべての ICMP パケットは IPsec で保護されません。ping コマンド (エコー要求およびエコー応答) は IPsec で保護されません。 • [無効] 一部の ICMP メッセージは IPsec で保護されません。

↓補足

- [全ての ICMP に適用しない] が [無効] に設定されたときにどの ICMP メッセージが保護されないかについては、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

IPsec ポリシーを設定する

IPsec 設定ページの [IPsec ポリシーリスト] タブをクリックして、IPsec ポリシーの登録リストを表示します。

項目	説明
No.	IPsec ポリシー番号を表示します。
名前	IPsec ポリシー名を表示します。
アドレス設定	IPsec ポリシーの IP アドレスフィルターを表示します： リモートアドレス/プレフィックス長
アクション	IPsec ポリシーのアクションを表示します： [許可]、[拒否]、[セキュリティ]
状態	IPsec ポリシーの状態を表示します： [適用する]、[適用しない]

IPsec ポリシーを設定するには、任意の IPsec ポリシーを選択し、[変更] をクリックして、[IPsec ポリシー設定] ページを開きます。

以下の設定は [IPsec ポリシー設定] ページで行います。

IP ポリシー設定

項目	説明
No.	IPsec ポリシー用に 1～10 の番号を指定します。指定した番号で IPsec ポリシーリストのポリシー位置が決定します。リストの順番により、ポリシーが検索されます。指定した番号が他のポリシーにより既に指定されていたとき、現在設定しようとしているポリシーがその番号を取得し、以前その番号を割り当てられていたポリシーおよびその他のポリシーは、それに従い再度採番されます。
適用の状態	ポリシーを有効にするか無効にするかどうかを設定します。
名前	ポリシー名を入力します。最大 16 文字入力できます。
アドレスタイプ	IPsec 通信で使用する IP アドレスとして、IPv4 または IPv6 を選択します。
ローカルアドレス	本機の IP アドレスを表示します。
リモートアドレス	通信するデバイスの IPv4 または IPv6 アドレスを入力します。最大 39 文字入力できます。
プレフィックス長	リモートアドレスのプレフィックス長を 1～128 の値で入力します。本設定が未入力の場合、32 (IPv4) または 128 (IPv6) が自動的に選択されます。

項目	説明
アクション	<p>IP パケットの処理方法を以下から指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [許可] IP パケットに適用した IPsec なしで IP パケットを送受信します。 • [拒否] IP パケットを処分します。 • [セキュリティー] IPsec は送受信する IP パケットに適用されます。 [セキュリティー] を選択したとき、[IPsec 設定] および [IKE 設定] を設定する必要があります。

IPsec 設定

項目	説明
カプセル化タイプ	<p>カプセル化タイプを以下から指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [トランスポート] IPsec 対応デバイスと通信するとき、各 IP パケットのペイロードのみを保護します。 • [トンネル] 各 IP パケットのすべてを保護します。本タイプは、VPN デバイスのようなセキュリティーゲートウェイ間での通信のときに推奨します。
セキュリティープロトコル	<p>セキュリティープロトコルを以下から指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [AH] 認証のみをサポートする安全な通信を確立します。 • [ESP] 認証およびデータ暗号化をサポートする安全な通信を確立します。 • [ESP&AH] データ暗号化およびパケットヘッダーを含むパケット認証をサポートする安全な通信を確立します。[カプセル化タイプ] で [トンネル] が選択されているとき、本プロトコルを指定できません。
AH 認証アルゴリズム	<p>[セキュリティープロトコル] で [AH] または [ESP&AH] が選択されたときに適用される認証アルゴリズムを以下から指定します。 [MD5]、[SHA1]</p>
ESP 暗号化アルゴリズム	<p>[セキュリティープロトコル] で [ESP] または [ESP&AH] が選択されたときに適用される暗号化アルゴリズムを以下から指定します。 [なし]、[DES]、[3DES]、[AES-128]、[AES-192]、[AES-256]</p>
ESP 認証アルゴリズム	<p>[セキュリティープロトコル] で [ESP] が選択されたときに適用される認証アルゴリズムを以下から指定します。 [MD5]、[SHA1]</p>

項目	説明
有効期間	IPsec SA の有効期間を時間またはデータ容量として指定します。指定した時間を過ぎたときや、指定したデータ容量に到達したときに、SA は無効となります。時間とデータ容量を指定するとき、どちらかに到達した時点で SA は無効となります。そして、ネゴシエーションにより、SA が新たに取得されます。SA の有効期間を時間で指定するには、任意の時間 (300~172800 秒) を入力します。SA の有効期間をデータ容量で指定するには、任意の容量 (20480~2147483647 キロバイト) を入力します。
PFS	PFS を有効にするか無効にするかどうかを設定します。

IKE 設定

項目	説明
IKE バージョン	IKE バージョンを表示します。
暗号化アルゴリズム	暗号化アルゴリズムを以下から指定します。 [DES]、[3DES]、[AES-128]、[AES-192]、[AES-256]
認証アルゴリズム	認証アルゴリズムを以下から指定します。 [MD5]、[SHA1]
IKE 有効期間	ISAKMP SA の有効期間を時間で指定します。任意の時間 (300~172800 秒) を入力します。
IKE Diffie-Hellman グループ	IKE 暗号鍵の生成で使用される IKE Diffie-Hellman グループを以下から指定します。 [DH1]、[DH2]
PSK	通信デバイス認証に使用される PSK を指定します。最大 32 文字入力できます。
PFS	PFS を有効にするか無効にするかどうかを設定します。

リスト/レポートを印刷する

[リスト/レポート印刷] をクリックして、リストやレポートの印刷ページを表示します。項目を選択し、[印刷する] をクリックしてその項目に関する情報を印刷します。

リスト/レポート印刷

項目	説明
システム設定リスト	本機のシステム構成や設定の内容を印刷します。
ファクス通信管理レポート	過去 50 件までのファクス送受信のレポートを印刷します。本機の通信履歴は、印刷後もクリアされずに残ります。
ファクス送信/受信待機文書リスト	メモリーに残っている印刷待ち、送信待ち、転送待ちのファクスジョブのリストを印刷します。
ワンタッチキー宛先リスト	ワンタッチダイヤルの登録リストを印刷します。
ファクス短縮番号宛先リスト	短縮ダイヤルの登録リストを印刷します。
スキャナー宛先リスト	スキャナーのあて先リストを印刷します。
スキャナー送信結果レポート	過去 100 件までのメール送信、FTP 送信、フォルダー送信のレポートを印刷します。
メンテナンスレポート	メンテナンスレポートを印刷します。

↓ 補足

8

- 本機が印刷中のときは、レポート印刷の操作を行ってもレポートは印刷されません。本機の印刷が終わってから、印刷してください。
- リストやレポートは、A4 またはレターサイズ of 用紙に印刷されます。印刷の前に、トレイに A4 またはレターサイズ of 用紙をセットしてください。

管理者用設定をする

[管理者用設定] をクリックして、管理者用設定ページを表示します。

このページには、以下のタブがあります：[管理者]、[設定を初期化]、[バックアップ設定]、[リストア設定]、[年月日/時刻設定]、[省エネモード設定]。

管理者用のメールアドレスとパスワードを設定する

管理者用設定ページの [管理者] タブをクリックして、管理者用のパスワードとメールアドレスを設定するページを表示します。

管理者設定

項目	説明
パスワード変更	管理者パスワードを変更するときにチェックします。
新規パスワード	新しい管理者パスワードを入力します。最大 16 文字入力できます。
新規パスワード (確認)	確認のため同じパスワードを入力してください。
メールアドレス変更	管理者用のメールアドレスを変更するときにチェックします。
管理者メールアドレス	管理者メールアドレスを入力します。 [SMTP] ページで本機のメールアドレスが設定されていないときは、このアドレスが自動通知メールやインターネットファクスなど、本機から送信されるメールの送信者アドレスとして使用されます。最大 64 文字入力できます。

↓ 補足

- 管理者メールアドレスは、お使いの機器が RICOH SP C251SF のときに設定できます。
- 管理者のメールアドレスを本機のメールアドレスとして使用しないでください。

本機の設定を初期化する

管理者用設定ページの [設定を初期化] タブをクリックして、本機の設定を初期化するページを表示します。

設定を初期化

項目	説明
ネットワーク設定を初期化	ネットワーク設定が初期値に戻ります。
メニュー設定を初期化	ネットワーク設定以外の本機の設定が初期値に戻ります。
スキャナー宛先を初期化	スキャナーのあて先を消去します。

項目	説明
使用できる機能の設定を初期化	ユーザー制限の設定を消去します。
アドレス帳を初期化	ファクスのワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルのあて先、特定相手先リストを消去します。
IPsec 設定を初期化	IPsec 設定が初期値に戻ります。

↓ 補足

- [IPsec 設定を初期化] は、[管理者] ページで管理者用のパスワードが設定されているときに表示されます。

本機の設定をバックアップする

管理者用設定ページの [バックアップ設定] タブをクリックして、本機の設定のバックアップファイルを作成するページを表示します。必要であれば、このバックアップファイルを使って前回の設定を復元できます。

★ 重要

- 本機を修理に出すときは、必ず事前にバックアップファイルを作成してください。修理後、本機の設定は初期設定に戻ります。

バックアップ設定

項目	説明
ネットワークの設定のバックアップをとる	[ネットワーク設定] と [管理者用設定] で設定した内容のバックアップファイルを作成します。 なお、[ネットワーク設定] の [送信メールサイズ制限] はこの項目ではバックアップされず、[メニュー設定のバックアップをとる] でバックアップされます。
メニュー設定のバックアップをとる	ネットワーク設定以外の設定のバックアップファイルを作成します。
スキャナー宛先のバックアップをとる	スキャナーのあて先のバックアップファイルを作成します。
使用できる機能の設定のバックアップをとる	ユーザー制限の設定のバックアップファイルを作成します。
アドレス帳のバックアップをとる	ファクスのあて先と特定相手先のバックアップファイルを作成します。
IPsec 設定のバックアップをとる	IPsec 設定のバックアップファイルを作成します。

次の手順でバックアップファイルを作成します。

1. バックアップしたい項目を選択します。
2. 必要なときは、管理者のパスワードを入力してください。
3. [OK] をクリックします。
4. [保存] をクリックします。
5. バックアップファイルを保存する場所を指定します。
6. ファイル名を指定して、[保存] をクリックします。

↓ 補足

- [IPsec 設定のバックアップをとる] は、[管理者] ページで管理者用のパスワードが設定されているときに表示されます。

本機の設定を復元する

管理者用設定ページの [リストア設定] タブをクリックして、バックアップファイルから本機の設定を復元するページを表示します。

★ 重要

- 本機が修理から戻ったら、バックアップファイルから設定を復元します。修理後、本機の設定は初期設定に戻ります。

リストア設定

項目	説明
リストアするファイル	復元するファイル名を入力するか、[参照] をクリックしてファイルを選択します。

次の手順でバックアップファイルを指定し、復元します。

1. [参照] をクリックします。
2. 復元するバックアップファイルの格納場所に進みます。
3. バックアップファイルを選択し、[開く] をクリックします。
4. 必要なときは、管理者のパスワードを入力してください。
5. [OK] をクリックします。

↓ 補足

- 設定が正しく復元されなかったときは、エラーメッセージが表示されます。もう一度バックアップファイルから設定を復元してください。

日付と時刻を設定する

管理者用設定ページの [年月日/時刻設定] タブをクリックして、日付と時刻を設定するページを表示します。

年月日設定

項目	説明
年	現在の年を入力します。(2000～2009)
月	現在の月を入力します。(1～12)
日	現在の日を入力します。(1～31)
日付形式	日付形式を [MM/DD/YYYY]、[DD/MM/YYYY]、[YYYY/MM/DD] から選択します。

時刻設定

項目	説明
時刻形式	時刻の表示を 24 時間形式か 12 時間形式かを選択します。
時刻 (AM/PM)	12 時間形式を選択しているとき、AM/PM を選択します。
時 (0-23)	24 時間形式を選択しているとき、現在の時刻を入力します。
時 (1-12)	12 時間形式を選択しているとき、現在の時刻を入力します。
分 (0-59)	現在の時刻を入力します。

省エネモードの設定をする

管理者用設定ページの [省エネモード設定] タブをクリックして、省エネモードの設定をするページを表示します。予熱モード、省エネモードでは、電力の消費量を低く抑えます。

省エネモード設定

項目	説明
予熱モード	[適用する] を選択すると、待機状態のまま約 30 秒が経過すると、予熱モードに移行します。 予熱モードの消費電力は省エネモードより高くなりますが、短い時間で通常のモードに復帰します。
省エネモード	[適用する] を選択すると、待機状態のまま [移行時間 (1-240)] で設定された時間が経過すると (1～240 分)、省エネモードに移行します。 省エネモードの消費電力は予熱モードより低く抑えられますが、復帰に必要な時間が長くなります。

 補足

- 予熱モードや省エネモードは、プリンターのジョブを受信したときや受信したファクスを印刷するとき、または [コピー]、[カラースタート]、[白黒スタート] キーが押されたときに解除されます。

9. 困ったときには

困ったときの対処方法について説明します。

紙がつまったとき

本機が作動しているのに用紙が給紙されないとき、用紙が何度もつまるときは、本機や用紙の状態を確認します。

★重要

- アラートランプが点灯または点滅しているときは、コピーモードに変更してメッセージの内容を確認してください。

メッセージ	参照先
紙づまり：機器内部	P.254 「定着ユニットから紙づまりを取り除く」を参照してください。
紙づまり：本体トレイ	
紙づまり：給紙トレイ	P.256 「トレイから紙づまりを取り除く」を参照してください。
紙づまり：トレイ 1	
紙づまり：トレイ 2	
紙づまり：両面ユニット 取り除いてください	P.258 「搬送ユニットから紙づまりを取り除く」を参照してください。
ADF 原稿づまり ADF カバーを開けて用紙を取り除いてください	P.260 「ADF から紙づまりを取り除く」を参照してください。

メッセージに対応する参照先をみて、つまった用紙を取り除いてください。

紙づまりを取り除く

⚠注意



- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。



- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。



- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹸水でよく洗い流してください。

★重要

- つまった用紙には、トナーが付着していることがあります。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意ください。
- 紙づまりを取り除いた直後は、印刷面のトナーが溶けたり、にじんだりすることがあります。トナー汚れがなくなるまで、テストページを印刷してください。
- つまった紙を無理に引き出さないようにしてください。破れることがあります。内部に紙片が残っていると、紙づまり再発の原因となり、本機が破損する恐れがあります。
- 紙づまりなどのエラーでページが印刷されないことがあります。このとき、印刷されなかったページのみ再印刷してください。

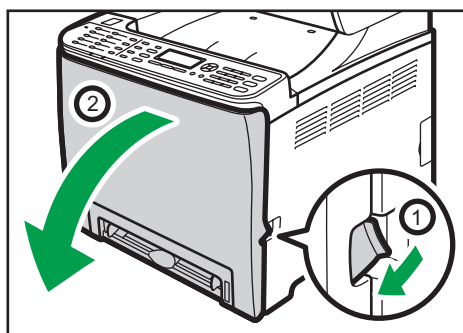
定着ユニットから紙づまりを取り除く

定着ユニットで紙づまりが発生したときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

★重要

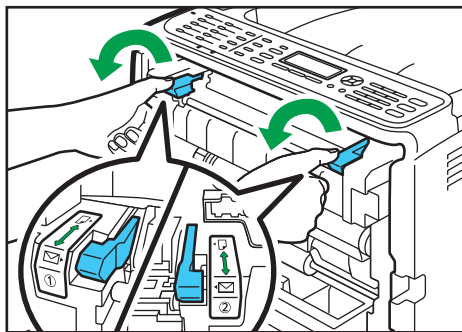
- ガイドの周辺は高温になっています。時間をおいて十分に温度が下がってから、紙づまりを取り除いてください。

1. 前カバー開閉レバーを引いて、ゆっくりと前カバーを開けます。



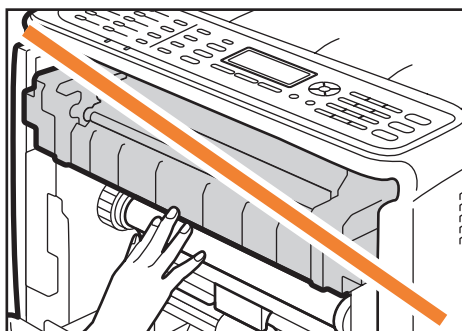
DAC061

2. 封筒レバーを左右両方とも親指で下げ、用紙をゆっくりと引き抜きます。



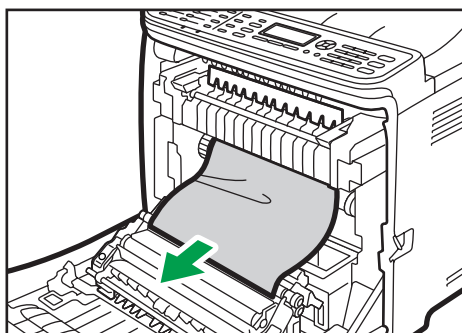
DAC340

定着ユニットには触れないでください。



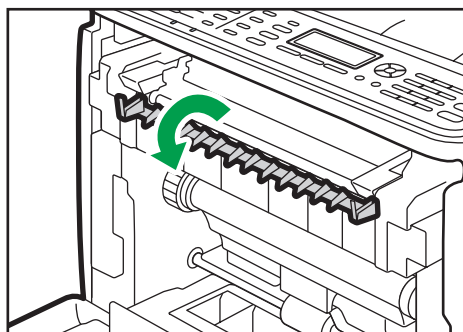
DAC605

用紙は下向きに引き抜いてください。上には抜かないようにしてください。



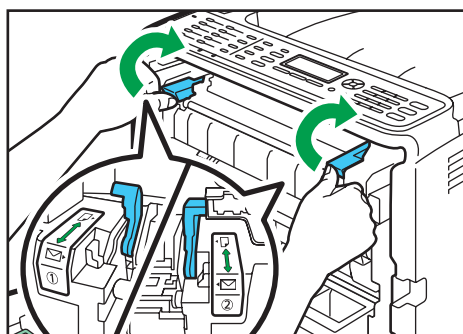
DAC074

詰まった用紙が見えにくいときは、ガイドを下に開けて紙づまりがないか確認してください。



DAC073

3. 封筒レバーを左右両方とも親指で上げます。



DAC071

4. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。



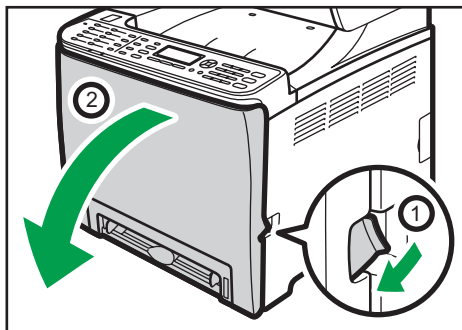
DAC062

前カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

トレイから紙づまりを取り除く

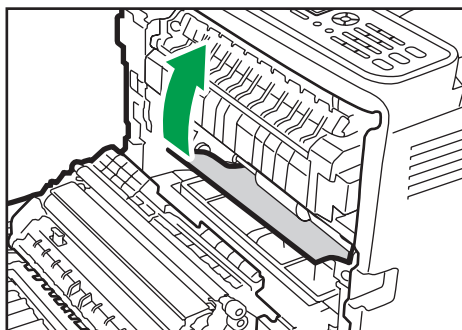
トレイ1かトレイ2で紙づまりが発生したときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

1. 前カバー開閉レバーを引いて、ゆっくりと前カバーを開けます。



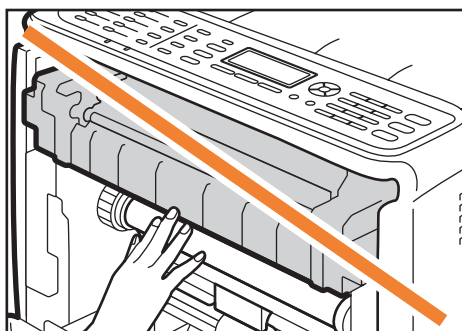
DAC061

2. 用紙をゆっくりと引き抜きます。



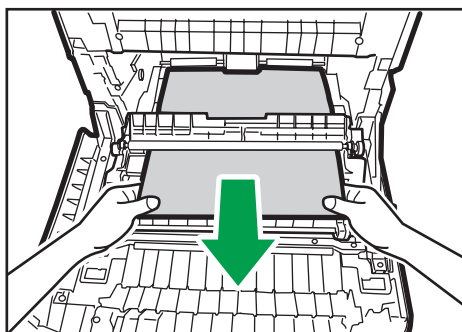
DAC084

定着ユニットには触れないでください。



DAC605

搬送ユニットで紙づまりが発生しているときは、用紙を手前へ引き抜いてください。



DAC092

3. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。



DAC062

前カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

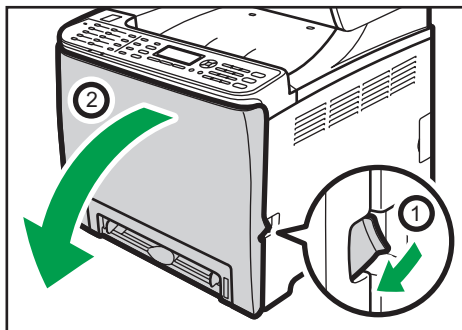
↓ 補足

- トレイ 1 を引き出さないでください。
- トレイ 2 で紙づまりが発生し、位置を特定しにくいときは、トレイ 2 を引き出して用紙を取り除いてください。紙づまりを取り除いた後、トレイ 2 をゆっくりと戻します。

搬送ユニットから紙づまりを取り除く

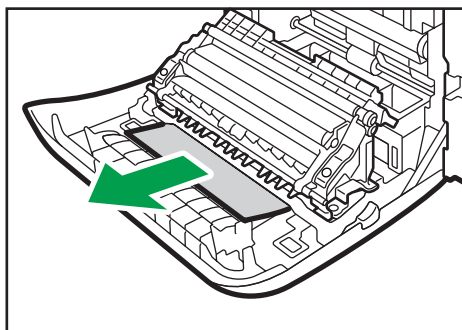
搬送ユニットで紙づまりが発生したときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

1. 前カバー開閉レバーを引いて、ゆっくりと前カバーを開けます。



DAC061

2. 搬送ユニットの下から詰まった用紙をゆっくりと取り除きます。



DAC090

紙づまりが見つからないときは、本体内部を確認してください。

3. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。



DAC062

前カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

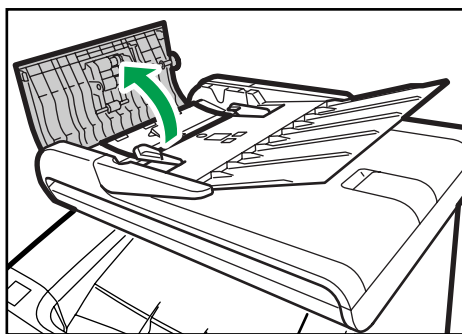
ADF から紙づまりを取り除く

★重要

- ADF を上げるときは、ADF 給紙トレイを持たないようにしてください。トレイの損傷の原因になります。

ADF で紙づまりが発生したときは、以下の手順に従って ADF につまった原稿を取り除いてください。

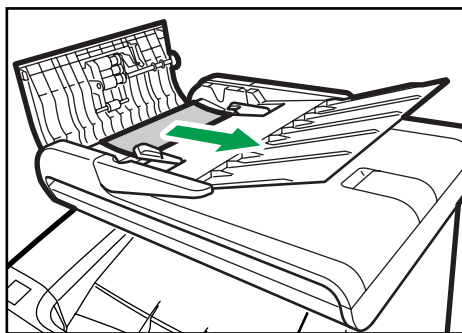
1. ADF カバーを開けます。



DAC011

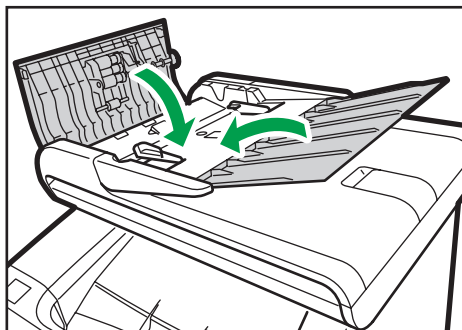
2. つまった原稿をゆっくりと引いて取り除きます。

原稿を強く引っ張らないでください。破れる恐れがあります。



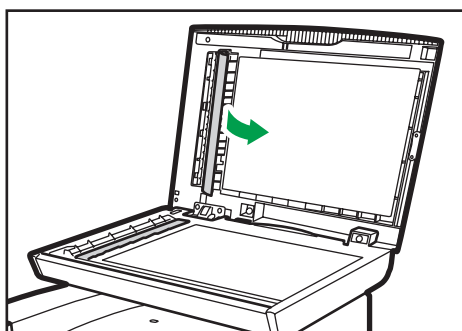
DAC013

3. ADF カバーと ADF 給紙トレイカバーを閉じます。



DAC012

4. ADF を持ち上げ、原稿がまだ残っているときは、詰まった紙をゆっくりと引き出してください。



DAC002

5. ADF を閉じます。

よくある質問

操作中に起こりうる問題の原因と対処方法について説明します。

状態	原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていません。	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていることを確認してください。 正常に機能する他の機器に接続してみて、コンセントに故障がないか確認してください。
アラートランプが点灯または点滅している。	エラーが発生しています。	コピーモードに変更し、メッセージの内容を確認して対処してください。
画面にエラーメッセージが表示されている	エラーが発生しています。	P.280「操作部にメッセージが表示されたとき」を参照してください。
ページが印刷されない	本機がウォームアップ中かデータを受信中です。	画面に「印刷中」と表示されるまでしばらくお待ちください。「処理中」と表示されているときは、本機がデータを受信中です。
ページが印刷されない	インターフェースケーブルが正しく接続されていません。	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルを接続しなおしてください。 正しいタイプのインターフェースケーブルを使用しているか確認してください。
異常音がする	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品やオプションが正しく取り付けられていません。 [システム初期設定]の[オートクリーニング]が[する]に設定されていると、本機は定期的に内部の清掃を自動的に行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品、またはオプションを正しく取り付けてください。 清掃が完了するまでしばらくお待ちください。故障ではありません。
本機から出る音が大きすぎる	音量が高いレベルに設定されています。	ブザー、呼び出し音、スピーカーやアラームの音量を調節してください。詳しくは、P.198「システム初期設定」を参照してください。
本機から出る音が小さすぎる	音量がオフ、または低いレベルに設定されています。	ブザー、呼び出し音、スピーカーやアラームの音量を調節してください。詳しくは、P.198「システム初期設定」を参照してください。

↓ 補足

- 問題が解決しないときは、電源を切り、電源コードを引き抜いてください。その後、サービス実施店に連絡してください。

テスト印刷ができない

ここでは、パソコンからテストページの印刷ができないときの原因と対処方法を説明します。

原因	対処方法
電源コード、USB ケーブル、またはネットワークケーブルが正しく接続されていません。	電源コード、USB ケーブル、またはネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また、破損していないことも確認してください。接続がうまくいかないときは P.78 「USB 接続がうまくいかないとき」、または P.78 「ネットワーク接続がうまくいかないとき」を参照してください。
ポート接続が正しく設定されていません。	<ol style="list-style-type: none">[スタート] メニューで [デバイスとプリンター] をクリックします。プリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックし、必要に応じ、ポートが USB またはネットワークプリンターに設定されていることを確認します。

↓ 補足



- 問題が解決しないときは、ネットワークの管理者に確認してください。
- USB が使用できるポートの一覧に表示されていないときに USB 経由で接続するには、プリンタードライバーを再インストールしてください。

給紙・排紙が正常に行われない

本機が作動しているのに用紙が給紙されないとき、用紙が何度もつまるときは、本機や用紙の状態を確認します。

状態	対処方法
用紙がうまく送られない	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？本機で使用できる用紙をセットしてください。詳しくは、P.81「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。 • 用紙ガイドを正しい位置に合わせ、用紙をきちんとセットしてください。詳しくは、P.97「用紙をセットする」を参照してください。 • 用紙がカールしているときは、カールをのばしてください。 • トレイから紙を取り出して用紙をさばき、上下を逆にしてトレイに戻してください。
用紙が何度もつまる	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙と用紙ガイドとの間に隙間があるときは、用紙ガイドを調節して隙間をなくしてください。 • 全画面をベタに塗りつぶしたような、トナーを大量に消費するデータを印刷するときは、片面印刷することをお勧めします。 • 用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？本機で使用できる用紙をセットしてください。詳しくは、P.81「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。 • 用紙をセットするときは、給紙トレイ内側に示された上限表示を超えないようにしてください。 • フリクションパッド、給紙コ口、またはレジストローラーが汚れていないか確認してください。詳しくは、P.310「フリクションパッドと給紙コ口を清掃する」、またはP.313「レジストローラー周辺と給紙トレイを清掃する」を参照してください。 • 用紙が折れていたり、しわになっていたりしませんか？折れやしわのない用紙をお使いください。 • 他の機種で一度印刷した用紙を使っていませんか？ • 用紙が湿っていませんか？適切に保管された用紙を使ってください。 • 用紙の設定を間違えている可能性があります。例えば、厚紙を使っているときに薄紙が設定されている可能性があります。操作部またはプリンタードライバーの用紙の設定を確認してください。詳しくは、P.97「用紙をセットする」およびプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • はがきアダプターがセットされていませんか？はがき以外の用紙に印刷するときは、はがきアダプターを忘れずに取り外してください。

状態	対処方法
用紙が一度に何枚も送られる	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙をさばいてからセットしてください。机の上などの平らな面で用紙の端を整えてください。 • 用紙と用紙ガイドとの間に隙間があるときは、用紙ガイドを調節して隙間をなくしてください。 • 用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？本機で使用できる用紙をセットしてください。詳しくは、P.81「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。 • 用紙をセットするときは、給紙トレイ内側に示された上限表示を超えないようにしてください。 • フリクションパッド、給紙コロ、またはレジストローラーが汚れていないか確認してください。詳しくは、P.310「フリクションパッドと給紙コロを清掃する」、またはP.313「レジストローラー周辺と給紙トレイを清掃する」を参照してください。 • トレイ内に用紙が残っているうちに、新しく用紙を追加しなかったか確認してください。 トレイ内の用紙が完全になくなってから、新しい用紙を追加してください。 • 他の機種で一度印刷した用紙を使っていませんか？ • 用紙が乾燥して静電気を発しています。正しく保管された用紙をお使いください。 • はがきアダプターがセットされていませんか？はがき以外の用紙に印刷するときは、はがきアダプターを忘れずに取り外してください。
用紙にしわがよっている	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙が湿っています。適切に保管された用紙を使用してください。詳しくは、P.81「用紙について」を参照してください。 • 用紙が薄すぎます。詳しくは、P.81「用紙について」を参照してください。 • 用紙と用紙ガイドとの間に隙間があるときは、用紙ガイドを調節して隙間をなくしてください。 • 両方の封筒レバーが普通紙マークの位置まできちんと上がっていることを確認してください。
印刷された用紙がカールしている	<ul style="list-style-type: none"> • 給紙トレイに用紙の表と裏を反対にしてセットしてください。 • 用紙のカールがひどいときは、排紙トレイからこまめに用紙を取り出すようにしてください。 • 用紙が湿っています。適切に保管された用紙を使用してください。詳しくは、P.81「用紙について」を参照してください。 • [システム初期設定] の [高湿対応レベル] で、[レベル 2 (中)] または [レベル 3 (強)] を選択してください。[レベル 2 (中)] または [レベル 3 (強)] を選択すると、ファーストプリントの時間が約 30 秒から 1 分長くなります。

状態	対処方法
<p>正しい位置に印刷されない</p>  <p style="text-align: center;">DAC606</p>	<ul style="list-style-type: none"> 用紙ガイドを調整して、用紙サイズに合わせてください。詳しくは、P.97「用紙をセットする」を参照してください。
<p>用紙に対してイメージが斜めに印刷される</p>  <p style="text-align: center;">DAC572</p>	<p>用紙とサイドガイドとの間に隙間があるときは、サイドガイドを調節して隙間をなくしてください。</p>
<p>用紙が斜めに給紙される</p>	<p>両方の封筒レバーが普通紙マークの位置まできちんと上がっていることを確認してください。</p>
<p>封筒が斜めに給紙される</p>	<p>両方の封筒レバーが封筒マークの位置まできちんと下がっていることを確認してください。</p>

きれいに印刷できないとき

きれいに印刷できないときの原因と対処方法について説明します。

本機の状態を確認する

きれいに印刷できないときは、まず本機の状態を確認します。

原因	対処方法
設置場所がよくない	本機が水平な場所に設置されているか確認してください。本機は衝撃や揺れない場所に設置してください。
使用できない種類の用紙が使われている	現在使用中の用紙が、本機対応の用紙か確認してください。詳しくは、P.81「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
用紙の設定が間違っている	プリンタードライバーで設定した用紙種類が、セットされた用紙と合っているか確認してください。詳しくは、P.97「用紙をセットする」を参照してください。
リコー純正品以外のトナーカートリッジがセットされている	リコー純正品以外のご使用は、印字品質の低下やプリンター本体の故障など、製品に悪影響を及ぼすことがあります。リコー純正のトナーカートリッジを使用されることを推奨します。 詳しくは、P.327「消耗品一覧 (RICOH SP C251SF)」、または P.329「消耗品一覧 (RICOH SP C250SFL)」を参照してください。
古いトナーカートリッジがセットされている	トナーカートリッジは開封後6ヶ月以内に使用してください。
トナー濃度センサーが汚れている	P.309「トナー濃度センサーを清掃する」を参照し、必要に応じて本機を清掃してください。
色ずれ補正が適正でない	本機を移動した後や、通常の印刷を繰り返しているうちに、カラー原稿を印刷すると色ずれが発生することがあります。このとき、色ずれ補正を行うことにより適正な印刷結果を得ることができます。[システム初期設定]の[色ずれ補正]を実行してください。

プリンタードライバーの設定を確認する

状態	対処方法と参照先
全体がかすれる。	プリンタードライバーの【印刷品質】タブで、「トナーセーブ」の設定を「しない」に変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
指でこすると画像がかすれる。 (トナーが定着していない)	プリンタードライバーの【用紙】タブで、【用紙種類:】を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。本体の用紙種類の変更方法は、P.97「用紙をセットする」を参照してください。
画面どおりに印刷されない。	アプリケーション側でレイアウトや文字の大きさの設定を変更してください。
ページレイアウトがずれる。	プリンタードライバーの【用紙】タブで、「指定した用紙に印刷」の「用紙サイズに合わせて印刷」をチェックしてください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される。	プリンタードライバーの【用紙】タブを選択します。用紙設定のサイズを確認して、アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙に設定してください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使って縮小して印刷してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
写真が粗く印刷される。	プリンタードライバーの【印刷品質】タブで、「グラデーション:」を【画質優先】に、または解像度を高く設定してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
実線が破線、もしくはかすれたように印刷される。	プリンタードライバーの【印刷品質】タブで、【カラー詳細設定】を選択し、ディザリング設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
細線がギザギザに印刷されたり印刷されない。または、太さにばらつきが生じる。	プリンタードライバーの【印刷品質】タブで、【カラー詳細設定】を選択し、ディザリング設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 ディザリングの設定を変更しても改善されないときは、アプリケーションで線の太さを変更してください。

思い通りにプリンター機能が使えないとき

思い通りにプリンター機能が使えないときの状態に応じた原因と対処方法について説明します。


正しく印刷できないとき

状態	原因と対処方法
エラーが発生する	<p>印刷中にエラーが発生するときは、パソコン、またはプリンタードライバの設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリンターアイコンの名前が 32 文字（半角英数）を超えていないか確認してください。名前が長すぎるときは、短くしてください。 • 他のアプリケーションが起動中でないか確認してください。印刷に影響しているかもしれません。使用中のアプリケーションを閉じてください。それでも印刷できないときは、必要のない処理も閉じてください。 • 最新のプリンタードライバを使用しているか確認してください。
印刷がキャンセルされる	<ul style="list-style-type: none"> • Legal サイズの用紙に印刷するとき、プリンタードライバの設定によっては印刷がキャンセルされることがあります。[印刷品質] タブの [グラデーション:] を [画質優先] 以外に設定してから、印刷をやり直してください。詳しくは、プリンタードライバのヘルプを参照してください。 • [システム初期設定] の [インターフェース切り替え時間] が 15 秒に設定されていると、印刷がキャンセルされることがあります。他のポートからのデータによって印刷が頻繁に妨害されるときや、処理に時間がかかるデータを印刷するときは、待ち時間を長く設定してください。詳しくは、P.198「システム初期設定」を参照してください。 • プリントジョブの印刷が制限されているとき、プリンタードライバで入力したユーザーコードが正しくなかったら、自動的にジョブがキャンセルされます。詳しくは、P.34「使用できる機能が制限されているとき」を参照してください。 • プリントジョブの印刷が制限されている状態で機密文書を印刷する場合、パスワードを正しく入力してもジョブがキャンセルされるときは、プリンタードライバで入力したユーザーコードが正しくない可能性があります。詳しくは、P.34「使用できる機能が制限されているとき」を参照してください。

状態	原因と対処方法
機密印刷がキャンセルされる	<ul style="list-style-type: none"> • 本機にすでに5つ、または5MBの機密文書が蓄積されています。蓄積されている機密文書を印刷するか削除してください。詳しくはP.124「機密文書を印刷する」を参照してください。 • 本機に蓄積された機密文書が一杯の状態でも、新規の機密文書は[システム初期設定]の[機密印刷]で設定された時間の間はキャンセルされずに保持されます。この時間内は、新規の機密文書を印刷したり削除したりできます。また、すでに蓄積されている機密文書を印刷したり削除したりすることで、新規の機密文書を蓄積できます。 [機密印刷]について詳しくはP.198「システム初期設定」を参照してください。 • 機密文書のページ数が多すぎるか、ファイルサイズが大きすぎます。ページ数を減らすか、[印刷品質]タブの[グラデーション:]で画質を下げてください。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
印刷の指示をしてから1枚目の印刷が始まるまで時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> • 写真などデータが大きいものは、処理に時間がかかります。そのまましばらくお待ちください。 • プリンタードライバーの設定を変えると、印刷速度が速くなる場合があります。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • 本機が省エネモードになっている可能性があります。省エネモードになっていると、ウォームアップをするため、印刷を開始するまで時間がかかります。
アプリケーションを使用すると、ドキュメントが正しく印刷されない、または画像が正しく印刷されない 文字がうすく印刷される、または印刷されない	印刷品質の設定を変えてください。
印刷の指示をしてから印刷が終わるまで時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> • 写真などデータが大きいものは、処理に時間がかかります。そのまましばらくお待ちください。 • プリンタードライバーの設定を変えると、印刷速度が速くなる場合があります。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • 「処理中」と表示されているときは、本機がデータを受信中です。そのまましばらくお待ちください。 • カラー調整を行っています。そのまましばらくお待ちください。待ち時間はおよそ2分です。システム初期設定の[白黒印刷優先設定]を有効にしているとき、カラーのジョブを送信するたびにカラー調整を行うため、印刷に時間が掛かることがあります。カラー調整が終了するまで待つか、[白黒印刷優先設定]を無効にしてください。

状態	原因と対処方法
画面どおりに印刷されない	<ul style="list-style-type: none">• 拡大や縮小などの機能を使うと、画面上のレイアウトと異なることがあります。• アプリケーションでページレイアウト設定が正しくされているか確認してください。• プリンターのプロパティで設定した用紙サイズが、セットされた用紙と合っているか確認してください。詳しくは、プリンタードライバのヘルプを参照してください。
画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される	アプリケーションで設定した用紙サイズより小さい用紙に印刷している可能性があります。アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙をセットしてください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使って縮小して印刷できます。詳しくは、プリンタードライバのヘルプを参照してください。
印刷された色と画面上の色が違う	<ul style="list-style-type: none">• 印刷された色と画面上の色は、色を再現するシステムが違うため、異なることがあります。• プリンタードライバの [印刷品質] タブで [トナーセーブ] を有効にしていると、色のグラデーションが異なって見えます。詳しくは、プリンタードライバのヘルプを参照してください。• 電源スイッチを切ってから、電源を入れなおしてください。それでも色が出ないときは、[システム初期設定] の [色ずれ補正] を実行してください。詳しくは、P.198「システム初期設定」を参照してください。それでも色が出ないときは、サービス実施店に連絡してください。
プリンタードライバで調整したとき、印刷された色が極端に変わった	プリンタードライバの [印刷品質] タブのカラー設定を極端な設定にしないでください。
カラー印刷が白黒で印刷される	<ul style="list-style-type: none">• プリンタードライバがカラー印刷に設定されていません。詳しくは、プリンタードライバのヘルプを参照してください。• アプリケーションの中には、カラー印刷を白黒で印刷するものがあります。

きれいに印刷できないとき

状態	原因と対処方法
画像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙が湿っている可能性があります。適切に保管された用紙を使用してください。詳しくは、P.81「用紙について」を参照してください。 • [システム初期設定] の [高湿対応レベル] で、[レベル1 (弱)]、[レベル2 (中)]、または [レベル3 (強)] を選択してください。[レベル2 (中)] または [レベル3 (強)] を選択すると、ファーストプリントの時間が約30秒から1分長くなります。 • [システム初期設定] の [トナーセーブ] を有効にすると、一般的に印刷濃度は低くなります。 • プリンタードライバーの [印刷品質] タブで [トナーセーブ] を有効にしていると、色のグラデーションが異なって見えます。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • トナーがほぼ空になっている可能性があります。「交換時期: トナー (○)」が画面に表示されたら、該当するトナーカートリッジを交換してください。 • 結露が発生した可能性があります。温度や湿度に急激な変化があったときは、本機が環境に適應するまで使用を控えてください。
画像がはがれたり、光沢がない	封筒レバーが下がっていたら、上げてください。
用紙の印刷面に汚れが出る	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙の設定を間違えている可能性があります。例えば、厚紙を使っているときに薄紙が設定されている可能性があります。操作部またはプリンタードライバーの用紙の設定を確認してください。詳しくは、P.81「用紙について」およびプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • 用紙が反っていたり、曲がったりしていませんか？特にはがきに印刷するときは反りが発生しやすいので、セットする前に必ず直してください。詳しくは、P.81「用紙について」を参照してください。
縦の線が印刷される 	<ul style="list-style-type: none"> • 中間転写ユニットが汚れています。以下の手順で中間転写ユニットを清掃してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 電源を入れた状態で上カバーを開けます。 2. トナーカートリッジをすべて取り出します。 3. 上カバーをゆっくりと閉めます。 本機が自動的にクリーニングを開始し、終了すると「トナーセット不良」のエラーが表示されます。 4. 上カバーを開けてトナーカートリッジをすべて戻します。 <p>上記の手順で問題が解決しない場合は、原稿ガラス、または ADF が汚れている可能性があります。P.308「本機を清掃する」を参照して清掃してください。</p> <p>清掃しても線が消えないときは、サービス実施店に連絡してください。</p>

状態	原因と対処方法
横の線が印刷される	<ul style="list-style-type: none"> 物理的衝撃が加わると、用紙に横の線が印刷されるなどの不具合を生じることがあります。本機に物理的衝撃を与えないでください。特に印刷中はお気をつけください。 横の線が印刷されたときは、本機の電源を切ってしばらくお待ちください。そのあと電源を入れなおし、印刷ジョブを再開してください。
印刷された色が指定した色と違う	指定した色が出ないときは、電源スイッチを切ってから入れなおします。それでも色が出ないときは、サービス実施店に連絡してください。
写真の画質が粗い	アプリケーションの中には、印刷の解像度が下がるものがあります。
1つの色が欠けていたり、ぼやける	<ul style="list-style-type: none"> 用紙が湿っています。適切に保管された用紙をご使用ください。詳しくは、P.81「用紙について」を参照してください。 トナーがほぼ空になっている可能性があります。「交換時期：トナー」が画面に表示されたら、該当するトナーカートリッジを交換してください。 結露が発生した可能性があります。温度や湿度に急激な変化が生じたときは、本機を室温に十分なじませてからご使用ください。
色ずれが発生する	[システム初期設定] の [色ずれ補正] を実行してください。詳しくは、P.198「システム初期設定」を参照してください。
白い斑点が現れる	レジストローラー、給紙トレイが、紙粉で汚れている可能性があります。レジストローラー周辺および給紙トレイを清掃してみてください。詳しくは、P.313「レジストローラー周辺と給紙トレイを清掃する」を参照してください。
ベタ画像を印刷したときに、粒状の色抜けが発生する	<p>現在設定している用紙種類を他の用紙種類に変更してから印刷してください。</p> <p>例：「再生紙」⇒「薄紙」⇒「普通紙」</p> <p>詳しくは、P.107「用紙種類・用紙サイズを設定する」を参照してください。</p>
白い線や、色の線が現れる	トナーがほぼ空になっている可能性があります。「交換時期：トナー」が画面に表示されたら、該当するトナーカートリッジを交換してください。
用紙の裏面が汚れる	<ul style="list-style-type: none"> 紙づまりの用紙を取り除いたとき、プリンター内部が汚れた可能性があります。きれいになるまで何枚か印刷してみてください。 原稿サイズが用紙サイズより大きいとき（例：A4の原稿をB5に印刷しようとするとき）、次に印刷する用紙の裏面が汚れることがあります。
印刷実行後、操作部の画面に「処理中」と表示されない	<p>印刷を実行しても操作部の画面に「処理中」と表示されないときは、プリンターにデータが届いていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> パソコンとケーブルで接続しているとき 印刷ポートの設定が適切かどうかを確認してください。印刷ポートの確認方法は、P.44「USBケーブルで接続する」を参照してください。 パソコンとネットワークで接続しているとき ネットワークの管理者に相談してください。

状態	原因と対処方法
黒色のグラデーションが不自然である	<ul style="list-style-type: none"> プリンタードライバーの [グレー印刷方式:] で [CMYK4 色] を選択してください。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
細かい点が印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> プリンタードライバーで [デザイン設定:] を変更してください。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
シアン、マゼンタ、イエローが混ざると、塗りつぶしの部分、線、文字が光って見える	<ul style="list-style-type: none"> プリンタードライバーの [グレー印刷方式:] で [黒 1 色] を選択してください。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
実線が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> プリンタードライバーで [デザイン設定:] を変更してください。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
カラー印字時に黒色部分に粒状の色抜けが発生する	<ul style="list-style-type: none"> プリンタードライバーの [グレー印刷方式:] で [CMYK4 色] を選択してください。 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
指でこすると、用紙の印刷面に汚れが出る	<ul style="list-style-type: none"> 用紙の設定を間違えている可能性があります。例えば、厚紙を使っているときに薄紙が設定されている可能性があります。操作部またはプリンタードライバーの用紙の設定を確認してください。 詳しくは、P.97 「用紙をセットする」 およびプリンタードライバーヘルプを参照してください。

給紙がうまくいかないとき

状態	原因と対処方法
印刷された用紙が本機の後ろに落下する	用紙ストッパーを立ててください。A4/Letter サイズの用紙のときは手前のストッパーを、Legal サイズの用紙のときは奥のストッパーを立てます。詳しくは、P.17 「各部の名称とはたらき」を参照してください。
印刷された用紙がうまく重ならない	<ul style="list-style-type: none"> 用紙が湿っている可能性があります。適切に保管された用紙を使用してください。詳しくは、P.81 「用紙について」を参照してください。 [システム初期設定] の [高湿対応レベル] で、[レベル 2 (中)] または [レベル 3 (強)] を選択してください。[レベル 2 (中)] または [レベル 3 (強)] を選択すると、ファーストプリントの時間が約 30 秒から 1 分長くなります。 用紙ストッパーを立ててください。A4/Letter サイズの用紙のときは手前のストッパーを、Legal サイズの用紙のときは奥のストッパーを立てます。詳しくは、P.17 「各部の名称とはたらき」を参照してください。

状態	原因と対処方法
印刷された用紙が反れている	<ul style="list-style-type: none"> 給紙トレイの用紙を、上下逆にセットしてみてください。 反りが大きいときは、排紙トレイからこまめに用紙を引き取ってください。 [システム初期設定] の [高湿対応レベル] で、[レベル1 (弱)]、[レベル2 (中)]、または [レベル3 (強)] を選択してください。[レベル2 (中)] または [レベル3 (強)] を選択すると、ファーストプリントの時間が約30秒から1分長くなります。 [システム初期設定] の [トナーセーブ] を有効にすると、一般的に印刷濃度は低くなります。
封筒にしわがよる	封筒に印刷する前に、前カバーを開けて、両方の封筒レバーが封筒マークの位置まできちんと下がっていることを確認してください。詳しくは、P.104「封筒をセットする」を参照してください。

その他のトラブルシューティング

状態	原因と対処方法
トナー切れのため印刷が止まってしまった	<ul style="list-style-type: none"> 「印刷を続けますか？」と表示されているときに [はい] を押すことで数ページ印刷できます。ただし、印字品質は保証できませんので、早めにトナーを交換してください。

思い通りにコピー機能が使えないとき

思い通りにコピー機能が使えないときの状態に応じた原因と対処方法について説明します。

コピーがきれいにとれないとき

状態	原因と対処方法
白紙でコピーされる	原稿のセット面が間違っています。 原稿ガラスにセットするときは、読み取りたい面を下に向けてください。ADF にセットするときは、コピー面を上向きにセットしてください。詳しくは、P.153「濃度を調整する」を参照してください。
間違った原稿がコピーされた	原稿ガラスからコピーしているときは、ADF に原稿がないか確認してください。
コピーされたページが原稿と同じように見えない	原稿の種類に応じて、正しい読み取り方法を選択してください。詳しくは、P.153「原稿に合わせて文書種類を選択する」を参照してください。
原稿が印画紙写真（プリント/現像された写真）のとき、黒い斑点がコピーされる	湿度が高く、印画紙写真が原稿ガラスに貼りついています。原稿ガラスにセットした印画紙写真の上に白紙を2、3枚重ねます。コピーするとき ADF は開けたままにしておいてください。
モアレが発生している 	原稿に線や網点が重なり合ってコピーされる原稿種類を〔写真〕と〔混合〕の間で切り替えると、モアレを解消できることがあります。 詳しくは、P.153「原稿に合わせて文書種類を選択する」を参照してください。
地肌が汚れている	<ul style="list-style-type: none"> 濃度が濃く設定されています。濃度を調節してください。詳しくは、P.153「濃度を調整する」を参照してください。 原稿ガラス、または ADF が汚れています。詳しくは、P.308「本機を清掃する」を参照してください。 原稿を原稿ガラスに置く前に、インクや修正液が乾いているか確認してください。 ADF からコピーしていたときで、濃度の調整が思い通りにできないときは、原稿ガラスでコピーしてください。
原稿ガラスでコピーしたら、画像がゆがんだ状態でコピーされた	原稿のコピーしたい面を下にしてセットしてください。その際、原稿が後部左端にそろえられているかと、原稿ガラスに対して水平になっているかを確認してください。

思いどおりにコピーできないとき

状態	原因と対処方法
順番通りにコピーされない	操作部でコピー初期設定の〔ソート〕設定を変更して、ページをソートします。〔ソート〕について詳しくは、P.191「コピー初期設定」を参照してください。
コピーされたページが暗すぎる、明るすぎる	濃度を調節してください。詳しくは、P.153「濃度を調整する」を参照してください。
思い通りの色味でコピーできない	コピー初期設定の〔カラー調整〕で色味を調整してください。レッド、グリーン、ブルーの強さを調整できます。詳しくは、P.191「コピー初期設定」を参照してください。

思い通りにスキャナー機能が使えないとき

思い通りにスキャナー機能が使えないときの状態に応じた原因と対処方法について説明します。

送信するファイルをネットワークで表示できないとき

状態	原因と対処方法
本機の以下の設定が正しくありません： <ul style="list-style-type: none"> • IP アドレス • サブネットマスク 	設定を確認してください。詳しくは、P.47「ネットワークを設定する」を参照してください。

思いどおりにスキャンできないとき

状態	原因と対処方法
読み取りが始まらない	ADF か ADF カバーが開いています。ADF か ADF カバーが開いているときは、ADF からの読み取りはできません。ADF か ADF カバーを閉じてください。
読み取ったイメージが汚れる	<ul style="list-style-type: none"> • 原稿ガラス、または ADF が汚れています。詳しくは、P.308「本機を清掃する」を参照してください。 • 原稿を原稿ガラスに置く前に、インクや修正液が乾いているか確認してください。
イメージがゆがむ、ずれる	読み取り中に原稿が動きました。読み取り中は原稿を動かさないでください。
イメージの上下が逆に読み取られる	原稿の上下が反対にセットされています。正しくセットしなおしてください。詳しくは、P.111「原稿をセットする」を参照してください。
イメージが読み取られない	原稿の表と裏が逆にセットされました。原稿ガラスにセットするときは、読み取りたい面を下に向けてください。ADF にセットするときは、読み取り面を上向きにセットしてください。詳しくは、P.111「原稿をセットする」を参照してください。
読み取ったイメージが暗すぎる、明るすぎる	濃度を調節してください。詳しくは、P.172「濃度を調整する」を参照してください。
メール送信、FTP 送信、フォルダー送信ができない	USB メモリーが本機に差し込まれています。USB メモリーが差し込まれていると、USB メモリー送信以外の操作はできません。

操作部にメッセージが表示されたとき

操作部の画面に表示されるおもなエラーメッセージの原因と対処方法について説明します。

メッセージは、アルファベット順/50音順に説明しています。

“〇〇”の部分は、用紙のサイズや種類、トレイの名前、トナーの色など、状況に応じて異なる表示がされる部分を表します。

★重要

- アラートランプが点灯または点滅しているときは、コピーモードに変更してメッセージの内容を確認してください。

メッセージ	原因	対処方法
2〇〇〇14	受信したファクスを一時的に印刷できない状態になっているか、送られて来ているファクスのサイズが大きすぎるため、メモリーが一杯になっています。	<ul style="list-style-type: none"> トレイの用紙がなくなっているときは、用紙を補給してください。詳しくは、P.97「用紙をセットする」を参照してください。 [ファクス初期設定]の[給紙トレイ選択]で指定しているトレイにA4/Letter/Legalサイズ以外の用紙がセットされているときは、A4/Letter/Legalサイズの用紙をセットして、[用紙設定]の用紙サイズ設定を変更してください。 本機のカバーやトレイが開いているときは、開いているカバーやトレイを閉じてください。 紙づまりが起きているときは、つまった用紙を取り除いてください。詳しくは、P.253「紙づまりを取り除く」を参照してください。 トナーが空になっている場合は、トナーを交換してください。詳しくは、P.294「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。 送られて来ているファクスのサイズが大きすぎます。送信者に連絡して、一度に送るページを少なくしてもらるか、解像度を低く設定して送り直してもらってください。
ADF 原稿づまり ADF カバーを開けて用紙を取り除いてください。	ADF 内部で原稿がつまっています。	<ul style="list-style-type: none"> つまった原稿を取り除いて、セットしなおしてください。詳しくは、P.260「ADFから紙づまりを取り除く」を参照してください。 使用している原稿が本機で読み取り可能なものか確認してください。詳しくは、P.111「原稿をセットする」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法
ADF に原稿をセットして下さい [読み取りサイズ]が原稿ガラスを使用できない設定です。	スキャナーの読み取りサイズが A4/Letter よりも大きなサイズに設定されていると、ADF に原稿をセットしないとスキャンは実行されません。	<ul style="list-style-type: none"> • A4/Letter かそれ以下のサイズの原稿をスキャンするときも、ADF に原稿をセットしてください。 • 原稿ガラスを使用する必要があるときは、スキャナー初期設定の [読み取りサイズ] で、A4/Letter かそれ以下のサイズを設定してください。詳しくは、P.196 「読み取り設定」を参照してください。
ID カードコピーで使用できません A4 または 8 1/2 × 11	トレイに A4、または Letter サイズ以外の用紙がセットされているため、ID カードコピーできません。	<ul style="list-style-type: none"> • [用紙選択] で、A4 か Letter サイズの用紙を指定してください。詳しくは、P.191 「コピー初期設定」を参照してください。 • 用紙サイズ設定で、コピーを印刷するトレイの用紙サイズを A4 か Letter サイズに指定してください。詳しくは、P.198 「システム初期設定」を参照してください。
USB 接続に失敗しました	パソコンからのスキャン中に USB ケーブルの接続が切断されました。	USB ケーブルを正しく接続してから、もう 1 度スキャンしてください。
USB 接続に失敗しました クリアキーを押してください	USB メモリー送信が完了する前に USB メモリーが抜けたため、USB メモリー送信に失敗しました。	USB メモリーは本機にしっかりと差し込んでください。操作部に「操作できます」と表示されるまで、USB メモリーを抜かないでください。
USB メモリーオーバー クリアキーを押してください	USB メモリーの空き容量が不足して、USB メモリー送信に失敗しました。	空き容量が十分な USB メモリーを使ってください。
宛先が登録されていません	このワンタッチキーには、番号が登録されていません。	<ul style="list-style-type: none"> • 別のワンタッチキーを押してください。 • ワンタッチキーに番号を登録してください。詳しくは、P.157 「スキャナーのあて先を登録する」を参照してください。
印刷できません ADF に原稿をセットして下さい	原稿が ADF にセットされていなかったため、2 ページ集約、4 ページ集約、または両面コピーが実行できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> • コピーする原稿が 1 枚のときも ADF を使用してください。 • 原稿ガラスを使用する必要があるときは、コピー初期設定の [両面/集約] で [しない] または [手動両面原稿読取モード] を有効にしてから、もう 1 度コピーしてください。詳しくは、P.191 「コピー初期設定」を参照してください。
オンフックキーまたはクリアストップキー	受話器が外れた状態になったままです。	受話器をもとに戻すか、[クリア/ストップ] キーを押してください。

メッセージ	原因	対処方法
書き込み禁止 クリアキーを押し てください	USB メモリーへのアクセ スが正常に行われず、USB メモリー送信に失敗しま した。	パスワードの設定や書き込みの制限がされてい ない USB メモリーを使ってください。
カバーオープン	カバーが開いています。	カバーをしっかりと閉じてください。
紙づまり：機器内 部	本機内部で紙づまりが発 生しています。	用紙を取り除いてください。詳しくは、P.253 「紙づまりを取り除く」を参照してください。
紙づまり：給紙ト レイ	給紙トレイで紙づまりが 発生しています。	用紙を取り除いてください。詳しくは、P.253 「紙づまりを取り除く」を参照してください。
紙づまり：トレイ 1	トレイ 1 の給紙口で紙づ まりが発生しています。	用紙を取り除いてください。詳しくは、P.253 「紙づまりを取り除く」を参照してください。
紙づまり：トレイ 2	トレイ 2 の給紙口で紙づ まりが発生しています。	用紙を取り除いてください。詳しくは、P.253 「紙づまりを取り除く」を参照してください。
紙づまり：本体ト レイ	本機の排紙部で紙づまり が発生しています。	用紙を取り除いてください。詳しくは、P.253 「紙づまりを取り除く」を参照してください。
紙づまり：両面ユ ニット 取り除いてくださ い	両面ユニットで紙づまり が発生しています。	用紙を取り除いてください。詳しくは、P.253 「紙づまりを取り除く」を参照してください。
交換時期：中間転 写ユニット	中間転写ユニットの交換 が必要です。	お買い上げの販売店または最寄りのサービス実 施店にお問合せください。
交換時期：トナー (○○)	トナーが空になっていま す。	トナーカートリッジを交換してください。詳しく は、P.294 「トナーカートリッジを交換する」 を参照してください。
交換してくださ い： 定着ユニット	定着ユニットの交換が必 要です。	お買い上げの販売店または最寄りのサービス実 施店にお問合せください。
交換してくださ い：トナー (○○)	トナーの交換が必要です。	トナーカートリッジを交換してください。詳しく は、P.294 「トナーカートリッジを交換する」 を参照してください。
交換してくださ い： 廃トナーボトル	廃トナーボトルが満杯に なりました。	廃トナーボトルを交換してください。詳しく は、P.301 「廃トナーボトルを交換する」を参照 してください。

メッセージ	原因	対処方法
この設定は印刷できません 集約：2→1 / 4→1 用紙サイズ：B6 / 7 1/4x10 1/2	2 ページ集約、4 ページ集約のコピーが実行できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> 給紙トレイに A4、Letter、または Legal をセットしてください。[用紙選択] で、A4、Letter、または Legal サイズを指定してください。詳しくは、P.191 「コピー初期設定」を参照してください。 用紙サイズ設定で、コピーを印刷するトレイの用紙サイズを A4、Letter、または Legal に指定してください。詳しくは、P.198 「システム初期設定」を参照してください。
最大メールサイズを超えました	スキャンしたファイルのサイズが送信できる容量を超えています。	<ul style="list-style-type: none"> 操作部からスキャナー初期設定の [解像度] を選択し、読み取りの解像度を下げてください。詳しくは、P.196 「読み取り設定」を参照してください。 操作部からスキャナー初期設定の [送信メールサイズ制限] を選択し、許容サイズを大きくしてください。詳しくは、P.196 「読み取り設定」を参照してください。
サーバーに接続できません	あて先不明のため、スキャンしたファイルが送信できませんでした。	あて先が正しく登録されているか確認し、もう 1 度スキャンしてください。
サーバーの応答がありません	通信が開始される前に、サーバーとの接続エラーが発生しました。	あて先が正しく登録されているか確認し、もう 1 度操作してください。 問題が解決しないときは、ネットワーク管理者に連絡してください。
サービスコール ○	本機の機能に障害が生じたため、修理が必要です。	お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。
受信エラー	受信エラーが発生したため、ファクスの受信に失敗しました。	可能なときは、送信者に連絡してファクスを再送してもらってください。
使用できない USB ハブです 取り外してください	USB メモリー以外の USB 機器が接続されていたか、対応していない形式でフォーマットされた USB メモリーが接続されていたため、USB メモリー送信に失敗しました。	本機の機能と互換性のある USB メモリーを使ってください。
使用できない装置 です 取り出してください	USB メモリー以外の USB 機器が接続されていたか、対応していない形式でフォーマットされた USB メモリーが接続されていたため、USB メモリー送信に失敗しました。	本機の機能と互換性のある USB メモリーを使ってください。

メッセージ	原因	対処方法
使用できない用紙種類です	トレイに薄紙、普通紙、中厚口、再生紙、色紙、印刷済み紙、またはパンチ済み紙以外の用紙がセットされているため、両面コピーできません。	<ul style="list-style-type: none"> 用紙選択で、正しい種類の用紙が設定されているトレイ（手差しトレイ以外）を指定してください。詳しくは、P.191「コピー初期設定」を参照してください。 用紙種類設定で、コピーを印刷するトレイの用紙種類を正しい種類に指定してください。詳しくは、P.203「用紙設定」を参照してください。
接続に失敗しました	回線が正しく接続されませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> 電話線が本機にきちんと接続されているか確認してください。 本機から電話線を取り外し、通常の電話機につなぎます。その電話機で通話できるか確認してください。通話ができないときは、電話会社に連絡してください。
セット不良： 廃トナーボトル	廃トナーボトルが正しくセットされていません。	廃トナーボトルをセットしなおしてください。詳しくは、P.301「廃トナーボトルを交換する」を参照してください。
ソートコピーがキャンセルされました。	ソートコピーで ADF から原稿を読み取り中にメモリーが許容量に達しました。	メモリーへの読み込みが終了した原稿を印刷するには [確認] を押します。その後、ADFに残った原稿をもう一度コピーしてください。
送信エラー	通信エラーが発生したため、ファクスの送信に失敗しました。	[自動リダイヤル] を有効にすると、本機が自動的にリダイヤルします。リダイヤルでの送信に失敗したとき、または直接送信モードのときは、ファクスは送信されません。もう一度ファクスを送信してください。
ダイヤル失敗	ファクスが送信できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤルした番号が正しいか確認してください。 ダイヤル先がファクス機であることを確認してください。 回線が通話中でないことを確認してください。 あて先番号の間にポーズを入れてください。市外局番などの後で [ポーズ/リダイヤル] キーを押してください。 [管理者用設定] の [内線/外線選択] が、お使いの電話回線に合った設定になっていることを確認してください。詳しくは、P.206「管理者用設定」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法
正しい用紙をセット	[ファクス初期設定]の[給紙トレイ選択]で設定されているトレイに、A4、Letter、または Legal サイズの用紙がセットされていません。	メッセージが表示されている間に、[OK] キーを押してください。用紙サイズを変更するメニューが画面に表示されます。A4、Letter、または Legal サイズの用紙をトレイにセットし、用紙サイズを [▲] [▼] キーで選択して [OK] キーを押します。ファクスが印刷されます。 [用紙設定] の用紙サイズが変更されますので、ご注意ください。詳しくは、P.203 「用紙設定」を参照してください。
電源を入れ直してください	本機の再起動が必要です。	電源を切ってから、もう一度入れなおしてください。
トナーセット不良：○○	トナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていません。	トナーカートリッジをセットしなおしてください。詳しくは、P.294 「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
トナーなし：○○	トナーが空になっています。	トナーカートリッジを交換してください。詳しくは、P.294 「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
ネットワーク接続に失敗しました	ネットワークケーブルが正しく接続されていないため、スキャンしたファイルが送信できませんでした。	ネットワークケーブルを正しく接続してから、もう1度スキャンしてください。
ネットワーク通信エラー	データの送受信中にサーバーとの接続が切断されました。	ネットワーク管理者に連絡してください。
ネットワークに接続できません	DHCP サーバーからの IP アドレス情報の取得が完了していないため、スキャンしたファイルを送信できません。	IP アドレスの取得が完了するまで待つてから、もう1度スキャンしてください。
濃度センサークリーニングしてください	色ずれ補正に失敗しました。	トナー濃度センサーを清掃してください。詳しくは、P.309 「トナー濃度センサーを清掃する」を参照してください。
非純正トナー：○ ○	非純正のトナーカートリッジがセットされています。	純正カートリッジに交換することを推奨します。純正カートリッジを使用して表示されたときは、操作上問題はありませので、そのままご使用ください。
ファイル作成に失敗しました クリアキーを押してください	USB メモリーの空き容量が不足して、USB メモリー送信に失敗しました。	空き容量が十分な USB メモリーを使ってください。

メッセージ	原因	対処方法
ファイルにアクセス失敗 クリアキーを押してください	USB メモリーへのアクセスが正常に行われず、USB メモリー送信に失敗しました。	パスワードの設定や書き込みの制限がされていない USB メモリーを使ってください。
ファクスジョブ： メモリーオーバー	送信や印刷待ちのファクスの件数が最大に達しているため、新しいファクスがメモリーに蓄積できません。	待機中のジョブを送信、印刷してください。
前カバーを開け、 封筒 レバーを上げる/下 げる	封筒レバーの位置が正しくありません。	用紙の種類と封筒レバーの位置が一致しないと、本機は印刷を開始しません。 <ul style="list-style-type: none"> 封筒を印刷しようとしているときは、両方のレバーが封筒マークの位置まできちんと下がっていることを確認してください。 用紙を印刷しようとしているときは、両方のレバーが普通紙マークの位置まできちんと上がっていることを確認してください。
メモリーオーバー	プリンタードライバーの [印刷品質] タブで、[グラデーション:] 設定を [画質優先] にして蓄積した機密印刷文書を印刷しようとする、印刷がキャンセルされることがあります。	他の機密印刷文書を印刷するか削除した後に、印刷できなかった機密印刷文書を印刷し直してください。または、[印刷品質] タブの [グラデーション:] 設定を [速度優先] または [標準] に設定してから機密印刷文書をもう一度蓄積し、印刷をし直してください。
	Legal サイズの用紙に印刷しようとする、プリンタードライバーの設定によっては印刷がキャンセルされることがあります。	[印刷品質] タブの [グラデーション:] を、[標準] または [速度優先] に設定してから、印刷をやり直してください。
メモリーオーバー	<ul style="list-style-type: none"> 送信前のファクスをメモリーに蓄積している途中で、1 ページ目の読み込み中に、メモリーが許容量に達しました。 PC ファクスの送信中に、メモリーが許容量に達しました。 	ファクスをいくつかに分けて送信するか、解像度を下げて送信してください。
メモリーオーバー 送信 取り消し	メモリー送信モードでファクスを送信しようとしたとき、原稿の 2 ページ目以降を読み取っている間にメモリーが一杯になりました。	メモリーへの読み込みが終了したページのみを送信するには [送信] を、送信を中止するには [取り消し] を押してください。

メッセージ	原因	対処方法
もうすぐ交換： トナー (○○)	トナーカートリッジが残りわずかです。	新しいトナーカートリッジを用意してください。
もうすぐ交換： 廃トナーボトル	もうすぐ廃トナーボトルの交換時期です。	新しい廃トナーボトルを用意してください。
用紙サイズ確認	設定した用紙のサイズが、トレイの用紙のサイズと異なっています。	[強制印刷] を押して印刷を始めるか、または [印刷取消] を押してジョブをキャンセルします。
用紙種類確認	設定した用紙の種類が、トレイの用紙の種類と異なっています。	[強制印刷] を押して印刷を始めるか、または [印刷取消] を押してジョブをキャンセルします。
用紙づまり： 手差しトレイ	手差しトレイに用紙がセットされたまま、手差しトレイ以外のトレイを指定して印刷しようとしています。	手差しトレイから用紙を取り除いてください。
用紙なし：○○	トレイの用紙がなくなりました。	トレイに用紙をセットしてください。詳しくは、P.97「用紙をセットする」を参照してください。
両面コピーで使用 できません A4/B5/LG/LT/EXE/ 8x13/8.25x13/8.5x1 3/16K	トレイに A4、B5、Legal、Letter、 $7\frac{1}{4} \times 10\frac{1}{2}$ 、 8×13 、 $8\frac{1}{4} \times 13$ 、 $8\frac{1}{2} \times 13$ 、または 16K サイズ以外の用紙がセットされているため、両面コピーできません。	<ul style="list-style-type: none"> • [用紙選択] で、A4、B5、Legal、Letter、$7\frac{1}{4} \times 10\frac{1}{2}$、$8 \times 13$、$8\frac{1}{4} \times 13$、$8\frac{1}{2} \times 13$、または 16K サイズの用紙がセットされているトレイ（手差しトレイ以外）を指定してください。詳しくは、P.191「コピー初期設定」を参照してください。 • 用紙サイズ設定で、コピーを印刷するトレイの用紙サイズを A4、B5、Legal、Letter、$7\frac{1}{4} \times 10\frac{1}{2}$、$8 \times 13$、$8\frac{1}{4} \times 13$、$8\frac{1}{2} \times 13$、または 16K サイズに指定してください。詳しくは、P.198「システム初期設定」を参照してください。
両面コピーで使用 できません トレイ 1 またはト レイ 2	手差しトレイの用紙でコピーしようとしているため、両面コピーできません。	[用紙選択] で [手差しトレイ] 以外を指定してください。詳しくは、P.191「コピー初期設定」を参照してください。

10. 保守・運用

本機の保守・運用方法について説明します。

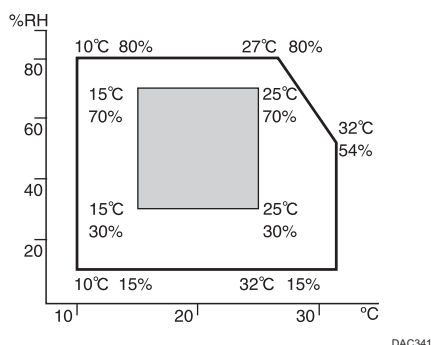
保守・運用について (RICOH SP C251SF)

保守や輸送方法についての注意事項です。

使用上のお願い

本機を使用する上での注意事項です。

- 温度や湿度が以下の図で示す範囲に収まる場所に設置してご使用ください。



- 白い部分：使用可能範囲
- グレー部分：推奨範囲
- 寒い所から暖かい所に移動させたり、温度変化の激しい場所に設置すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じたときは、1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- プリンター内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や給気口をふさがないようにしてください。
- 前カバーを開けたままにしないでください。
- 印刷中に前カバーを開けたり、プリンターを移動したりしないでください。
- 印刷中は給紙トレイを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。
- クリップなどの異物がプリンターの中に入らないようにしてください。
- 印刷中に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。
- 印刷中にプリンターの上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
- 日本国外へ移動するときは、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。

- トナーカートリッジ等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により、プリント品質を評価しています。品質維持のため、リコー指定のトナーカートリッジ、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。
- 本機は、月間印刷ページ数（A4 のとき）が 3,000 ページ以下、使用年数を 5 年と想定して設計・製造されています。月間印刷ページ数がこのページ数を超えていたり、総印刷ページ数が 180,000 ページを超えたりすると、想定された年数より使用年数が短くなることがあります。

換気について

換気の悪い部屋や狭い部屋で長時間使用したり大量の印刷を行うと、本機から臭気が出ることがあります。また、出力した用紙に臭気が残ることがあります。

臭いが気になるときは、快適な作業環境を保つために、定期的に換気をしてください。

- 排気風が直接人に当たらない場所に機械を設置してください。
- 換気量 1 人あたり 30m³ 以上/時間の換気をしてください。

オゾン臭が感じられることがありますが、通常の使用方法ではオゾン濃度が許容値（日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告）：0.1ppm、0.2mg/m³ を上回ることはありません。

新品時の臭いについて

新品時には、特有の臭いがすることがあります。この臭いは一週間程度で収まります。臭いが気になるときは、部屋の換気や通風を十分に行ってください。

サービス交換部品について

- 中間転写ユニットはサービス交換部品です。操作部に「交換時期：中間転写ベルト」のメッセージが表示されたら、サービス実施店にご連絡ください。
- 定着ユニットはサービス交換部品です。操作部に「交換時期：定着ユニット」のメッセージが表示されたら、サービス実施店にご連絡ください。

超音波式加湿器をお使いの方への注意

本製品の近くで超音波式加湿器を使用しないでください。

超音波式加湿器によって霧化された塩素やミネラル成分が製品内部の電子部品に付着し、故障の原因になる恐れがあります。

保守契約

- 保守契約とは、一定のご予算で本機を良好な状態に保つために考えられた、無償保証期間後のサービスシステムです。
- 保守契約されると次のようなメリットがあります。
 - 計画的に経費の運用ができます。
 - 万一故障したときは、迅速で的確なサービスが受けられます。

- カルテ管理により、適切なサービスが受けられます。
- 保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、7年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできないことがあります。
- 保守契約を希望されるときは、購入された販売店、またはサービス実施店にご連絡ください。

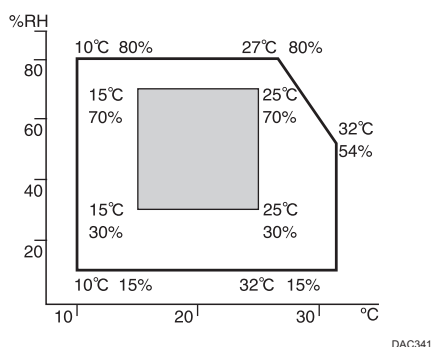
保守・運用について (RICOH SP C250SFL)

保守や輸送方法についての注意事項です。

使用上のお願い

本機を使用する上での注意事項です。

- 温度や湿度が以下の図で示す範囲に収まる場所に設置してご使用ください。



- 白い部分：使用可能範囲
- グレー部分：推奨範囲
- 寒い所から暖かい所に移動させたり、温度変化の激しい場所に設置すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じたときは、1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- プリンター内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や給気口をふさがないようにしてください。
- 前カバーを開けたままにしないでください。
- 印刷中に前カバーを開けたり、プリンターを移動したりしないでください。
- 印刷中は給紙トレイを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。
- クリップなどの異物がプリンターの中に入らないようにしてください。
- 印刷中に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。
- 印刷中にプリンターの上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
- 日本国外へ移動するときは、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。
- トナーカートリッジ等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により、プリント品質を評価しています。品質維持のため、リコー指定のトナーカートリッジ、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。

- 本機は、月間印刷ページ数 (A4 のとき) が 1,500 ページ以下、使用年数を 5 年と想定して設計・製造されています。月間印刷ページ数がこのページ数を超えていたり、総印刷ページ数が 90,000 ページを超えたりすると、想定された年数より使用年数が短くなる場合があります。

換気について

換気の悪い部屋や狭い部屋で長時間使用したり大量の印刷を行うと、本機から臭気が出ることがあります。また、出力した用紙に臭気が残ることがあります。

臭いが気になるときは、快適な作業環境を保つために、定期的に換気をしてください。

- 排気風が直接人に当たらない場所に機械を設置してください。
- 換気量 1 人あたり 30m³ 以上/時間の換気をしてください。

オゾン臭が感じられることがありますが、通常の使用方法ではオゾン濃度が許容値 (日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告) : 0.1ppm、0.2mg/m³ を上回ることはありません。

新品時の臭いについて

新品時には、特有の臭いがあります。この臭いは一週間程度で収まります。臭いが気になるときは、部屋の換気や通風を十分に行ってください。

超音波式加湿器をお使いの方への注意

本製品の近くで超音波式加湿器を使用しないでください。

超音波式加湿器によって霧化された塩素やミネラル成分が製品内部の電子部品に付着し、故障の原因になる恐れがあります。

保守契約

- 保守契約とは、一定のご予算で本機を良好な状態に保つために考えられた、無償保証期間後のサービスシステムです。
- 保守契約されると次のようなメリットがあります。
 - 計画的に経費の運用ができます。
 - 万一故障したときは、迅速で的確なサービスが受けられます。
 - カルテ管理により、適切なサービスが受けられます。
- 保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、7 年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできないことがあります。
- 保守契約を希望されるときは、購入された販売店、またはサービス実施店にご連絡ください。

トナーカートリッジを交換する

⚠ 警告



- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。



- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。



- こぼれたトナー（使用済みトナーを含む）を掃除機で吸引しないでください。吸引されたトナーが掃除機内部の電気接点の火花などにより発火や爆発の原因になります。ただし、トナー対応の業務用掃除機は使用可能です。トナーをこぼしたときは、トナーを飛散させないように、水で湿らせた布などで拭きとってください。



- ポリ袋の WARNING 表示の意味は次のとおりです。
 - 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠ 注意



- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散ると、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。



- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。



- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだときは、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。



- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹸水でよく洗い流してください。



- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入ったときは、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだときは、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- 上カバーを開閉する際、指挟み、指のけがに注意してください。

操作部のメッセージ

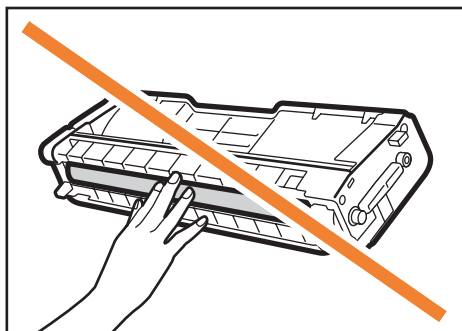
- 操作部に次のメッセージが表示されたときは、トナーを交換してください。
 - 「トナーなし：ブラック」
 - 「トナーなし：マゼンタ」
 - 「トナーなし：シアン」
 - 「トナーなし：イエロー」
- 次のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。新しいトナーを用意してください。
 - 「もうすぐ交換： トナー（ブラック）」
 - 「もうすぐ交換： トナー（マゼンタ）」
 - 「もうすぐ交換： トナー（シアン）」
 - 「もうすぐ交換： トナー（イエロー）」

★重要

- 「交換してください：トナー (○○)」が表示されているときに印刷を実行すると、「印刷を続けますか？」のメッセージが表示されることがあります。「はい」を押すことで数ページ印刷できますが、印字品質は保証できませんので、早めにトナーを交換してください。「印刷を続けますか？」のメッセージが表示されないときは、トナーを交換してください。
- トナーカートリッジは冷暗所に保管してください。
- トナーカートリッジの寿命は、トナーの残量およびカートリッジ部品の消耗度合いで決まります。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、セット方向、印刷内容、一度に印刷する枚数、環境条件によって異なります。トナーカート

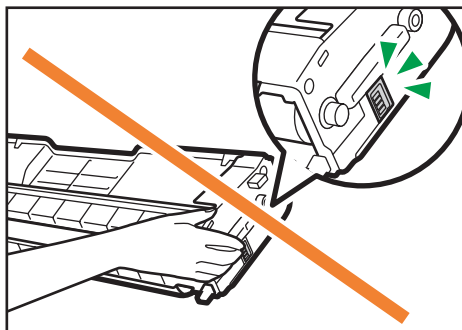
リッジは使用期間によっても劣化するため、ご使用の条件によっては、寿命が半分以下になることがあります。

- 実際に印刷できる枚数は、画像の量、濃度、一度に印刷する枚数、用紙の種類、用紙サイズ、気温や湿度など環境によって異なります。
- プリンターの性能を安定した状態でご使用いただくために、消耗品はリコー純正品の使用をお勧めします。
- リコー純正品以外のご使用は、印字品質の低下やプリンター本体の故障など、製品に悪影響を及ぼすことがあります。消耗品原因の故障において、リコー純正品以外のご使用のときは、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。
- 機械の中にゼムクリップ、ホッチキスの針、その他の小さな金属片を落とさないようにしてください。
- カバーが外れた状態で、長時間トナーカートリッジを直射日光の当たる場所に置かないでください。
- トナーカートリッジの感光体部分には触れないでください。



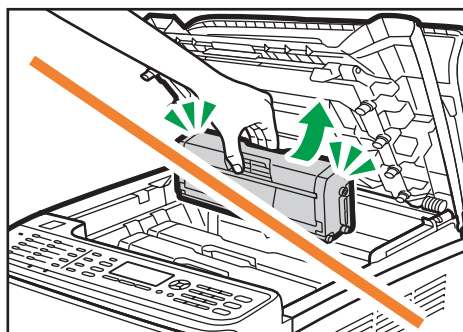
DAC045

- トナーカートリッジの側面にある ID チップには触れないでください。



DAC046

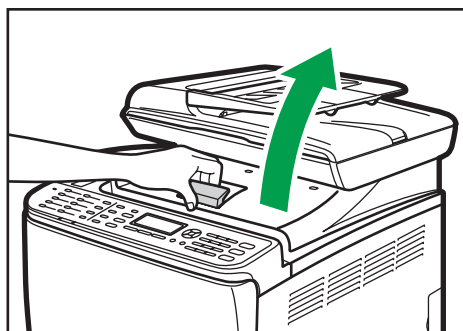
- トナーカートリッジを取り出すときは、上カバーの下側にあるレーザースキャナーユニットに触れないよう注意してください。



DAC044

- シアン、マゼンタ、イエローのトナーがなくなったとき、ブラックのトナーを使って白黒印刷ができます。プリンタードライバーで、カラーモードを白黒モードに変更して印刷してください。
- ブラックのトナーがなくなったら、ブラックのトナーを交換するまで、白黒でもカラーでも印刷できません。

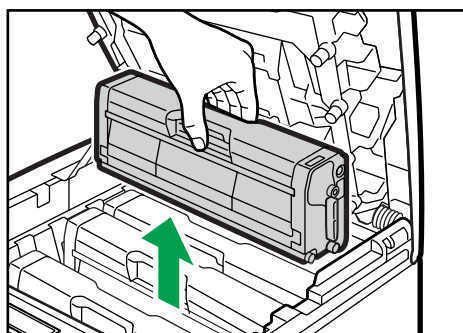
1. 上カバーの開閉レバーを引いて、カバーをゆっくりと開けます。



DAC063

2. トナーカートリッジを、中央の持ち手部分を持って、ゆっくりと垂直に引き上げます。

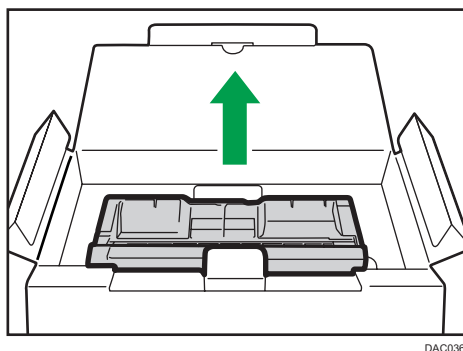
奥から、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y)、ブラック (K) の順にトナーカートリッジがセットされています。



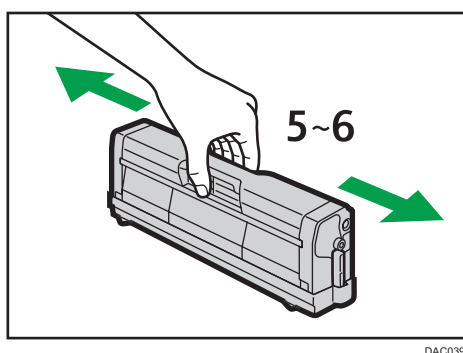
DAC040

- 取り出したトナーカートリッジは振らないでください。トナーが飛び散る可能性があります。
- 床等を汚さないよう、古いトナーカートリッジは紙の上等に置いてください。
- 各トナーカートリッジには各色のラベルが付いています。

3. 新しいトナーカートリッジを箱から取り出し、ポリ袋から取り出します。

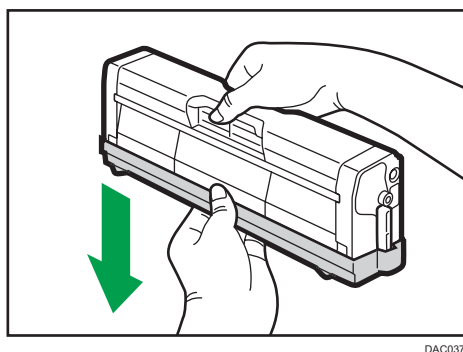


4. トナーカートリッジの取っ手を持ち、左右に5~6回振ります。

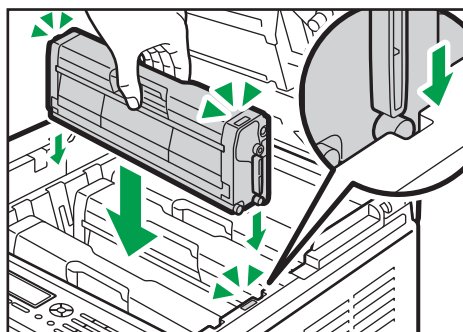


振ることでカートリッジ内部のトナーが均一になり、印刷品質が良くなります。

5. トナーカートリッジから保護カバーを取り外します。

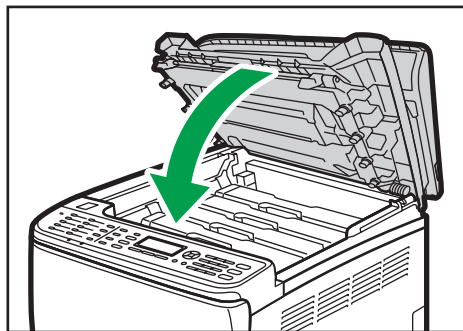


6. トナーの色と差し込む場所を確認し、トナーカートリッジをまっすぐゆっくりと差し込みます。



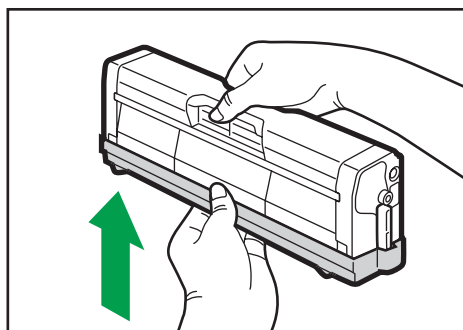
DAC043

7. 上カバーを、カバーの中央部分を両手で持ち、ゆっくりと閉じます。指をささないように気をつけてください。



DAC064

8. 古いトナーカートリッジに手順5で取り外した保護カバーを取り付けます。保護カバーは必ず取り付けてください。その後、トナーカートリッジをポリ袋に入れ、箱に戻します。



DAC038

↓ 補足

- リサイクルならびに環境保全のため、使用済みトナーカートリッジには必ず保護カバーを付けるようにしてください。保護カバーを忘れるとトナーカートリッジが再生できなくなります。

- 使用済みカートリッジ回収の仕組みに基づく回収を行っておりますので、回収にご協力ください。詳しくは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。

廃トナーボトルを交換する

⚠ 警告



- 搬送ユニットの取り外しは、電源プラグを抜いて 30 分以上たってから、行ってください。



- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。



- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。



- こぼれたトナー（使用済みトナーを含む）を掃除機で吸引しないでください。吸引されたトナーが掃除機内部の電気接点の火花などにより発火や爆発の原因になります。ただし、トナー対応の業務用掃除機は使用可能です。トナーをこぼしたときは、トナーを飛散させないように、水で湿らせた布などで拭きとってください。



- ポリ袋の WARNING 表示の意味は次のとおりです。
 - 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠ 注意



- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。



- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

操作部のメッセージ

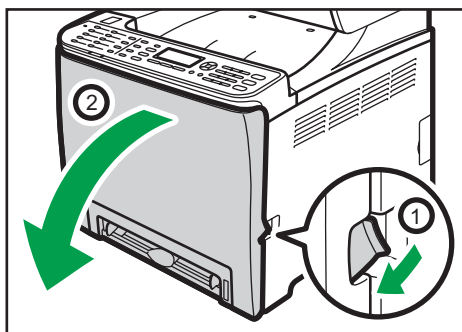
- 操作部に次のメッセージが表示されたときは、廃トナーボトルを交換してください。
 - 「交換してください：廃トナーボトル」
- また、次のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。新しい廃トナーボトルを用意してください。

「もうすぐ満杯：廃トナーボトル」

★重要

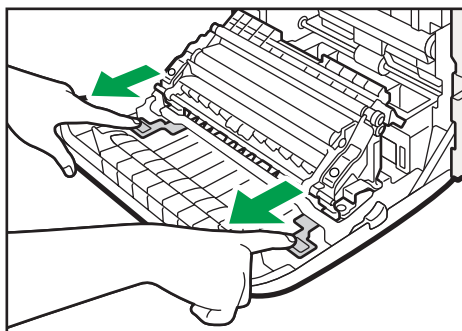
- 廃トナーの再利用はできません。
- 廃トナーボトルを取り出すときは、トナー粉が飛び散らないよう注意してください。
- 廃トナーボトルを取り出すときは、水平に保ったまま取り出してください。
- 廃トナーボトル交換後、電源を入れる前に、搬送ユニットがセットされているか確認してください。セットされていないときは、電源を入れる前に必ずセットしてください。
- 取り出した廃トナーボトルで床等を汚さないように、紙等を敷いて作業してください。

1. 前カバー開閉レバーを引いて、ゆっくりと前カバーを開けます。



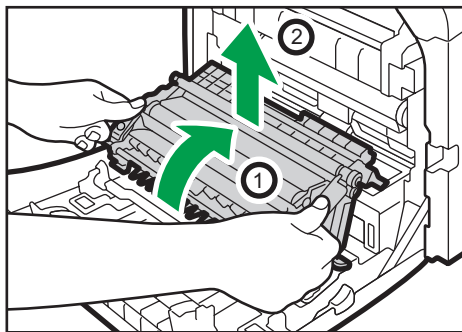
DAC061

2. 前カバーの両側にあるレバーを手前にずらします。



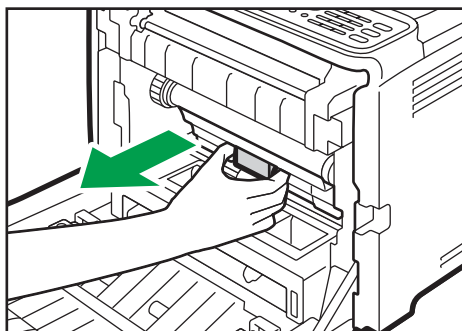
DAC089

3. 搬送ユニットの両側にあるつまみをつかみ、持ち上げます。



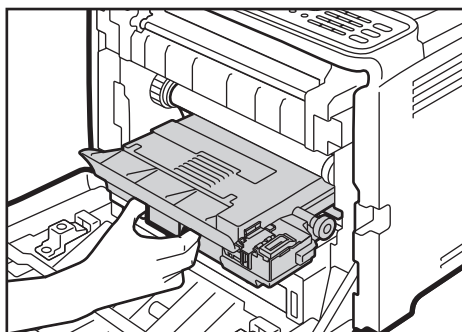
DAC088

4. 廃トナーボトル中央の取っ手を持ち、傾けないように注意して、ゆっくりと少し引き出します。

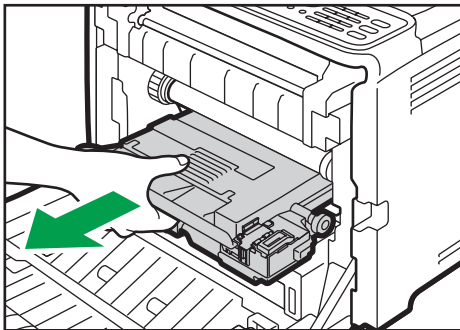


DAC076

5. 廃トナーボトルを半分ほど引き出し、ボトルをしっかりとつかんでまっすぐに引き抜きます。

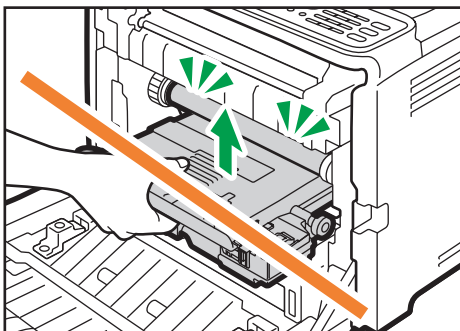


DAC077



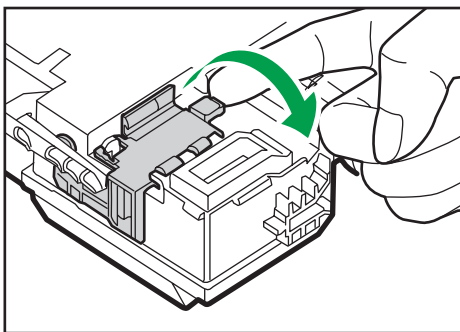
DAC078

廃トナーボトルを引き抜くときは持ち上げないようにしてください。ボトルが中間転写ユニットに当たると印刷品質低下の原因になることがあります。

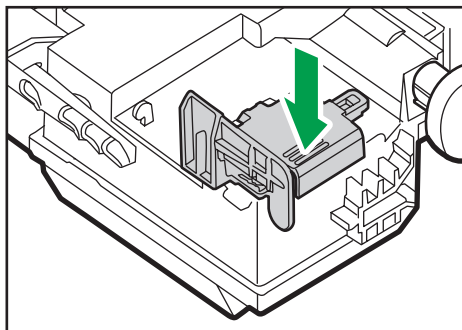


DAC081

6. ボトルキャップを閉めます。



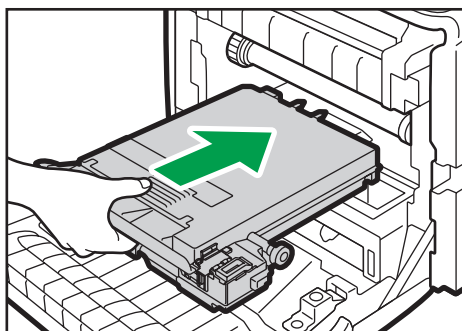
DAC083



DAC082

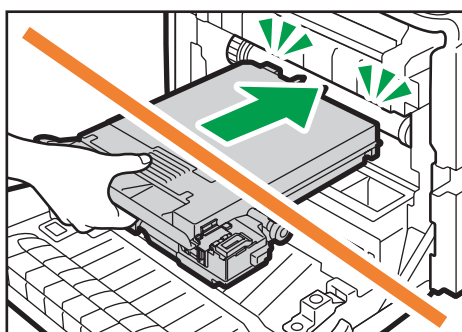
7. 新しい廃トナーボトルの中央を持って、本機に半分までゆっくりと差し込みます。

ボトルキャップは開けたままにしておきます。



DAC079

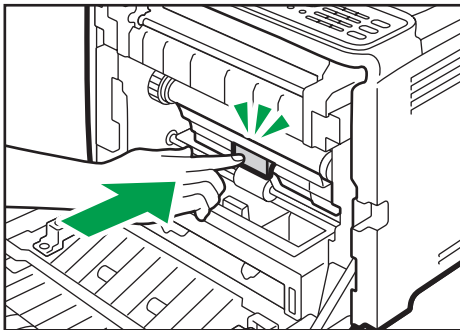
廃トナーボトルを差し込むときは持ち上げないようにしてください。ボトルが中間転写ユニットに当たると印刷品質低下の原因になることがあります。



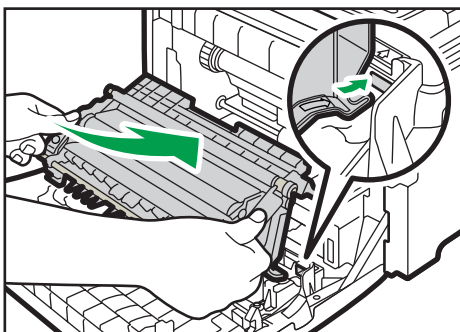
DAC080

8. 廃トナーボトルを押して、カチッと音がするまでゆっくりと最後まで押し込みます。

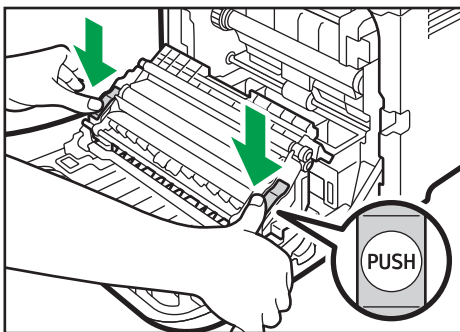
中央の部分を押して、最後まで押し込みます。



9. 搬送ユニットを前カバーの上に置き、レールに沿って本体内部へずらしします。



10. 搬送ユニットが動かなくなったら、「PUSH」マークをカチッと音がするまで押します。



11. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。



DAC062

前カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。

↓ 補足

- 使用済みの廃トナーボトルは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管した廃トナーボトルは、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、個人のお客様がご自身で処理されるときは、一般の廃棄物に該当しますので、お住まいの地域を直轄する自治体にご確認ください。
- 廃トナーボトルは消耗品です。常に予備のボトルを用意しておくことをお勧めします。

本機を清掃する

紙づまりしやすい、印刷面が汚れる、または操作部にエラーメッセージが表示されたときは、本機を清掃してください。

清掃するときの注意

⚠ 警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明の恐れがあります。

⚠ 注意



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。



- 機械内部の掃除をサービス実施店に相談してください。機械内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、機械内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。



- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

本機を良好な状態に保ち、きれいに印刷するために、定期的に清掃してください。

やわらかい布で乾拭きしてください。空拭きで汚れが取れないときは、やわらかい布を水でぬらし、固く絞ってから拭いてください。汚れが落ちないときは、中性洗剤を含ませた布で拭き取ったあと、水拭きをしてから、乾拭きをして水気を十分に取ってください。

★ 重要

- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、または殺虫剤を本機にかけないでください。変形や変色、ひび割れの原因になります。

- 本機内部にほこりや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。
- 機械の中にゼムクリップ、ホッチキスの針、その他の小さな金属片を落とさないようにしてください。

トナー濃度センサーを清掃する

操作部に次のメッセージが表示されたときは、トナー濃度センサーを清掃してください。
「濃度センサー クリーニングしてください」

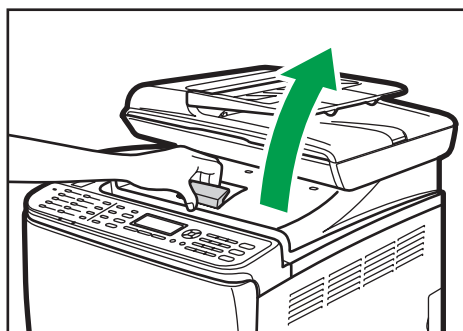
⚠ 注意



- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

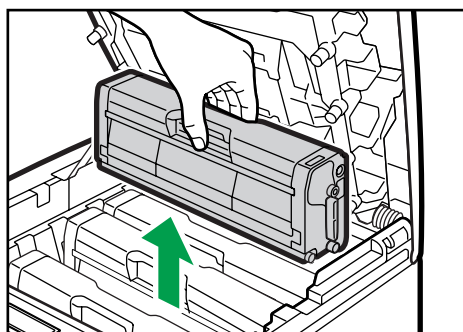
1. 上カバーの開閉レバーを引いて、カバーをゆっくりと開けます。

開けるときは、ADF が閉じた状態であることを確認してください。



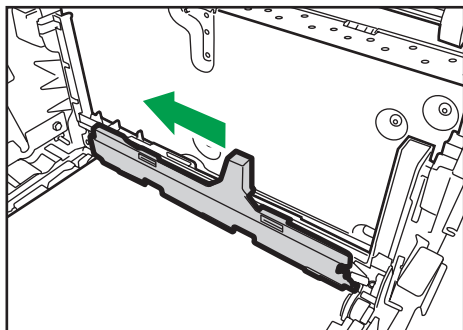
DAC063

2. 一番奥のトナーカートリッジ中央部をつかんで垂直に取り出します。



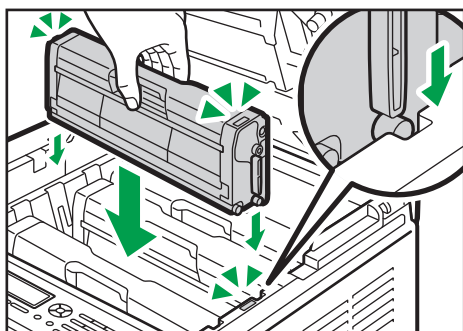
DAC040

3. トナー濃度センサーのレバーを左に一度だけスライドします。



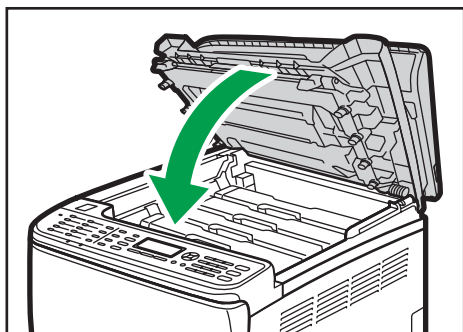
DAC093

4. 手順2で取り出した一番奥のカートリッジをゆっくりと垂直に押しこみます。



DAC043

5. 上カバーを、カバーの中央部分を両手で持ち、ゆっくりと閉じます。指をはさまないように気をつけてください。



DAC064

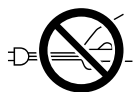
フリクションパッドと給紙コ口を清掃する

フリクションパッドや給紙コ口が汚れると、用紙が多重給紙されたり、紙づまりの原因になります。そのときは、フリクションパッドと給紙コ口を清掃します。

⚠ 注意



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線ははずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

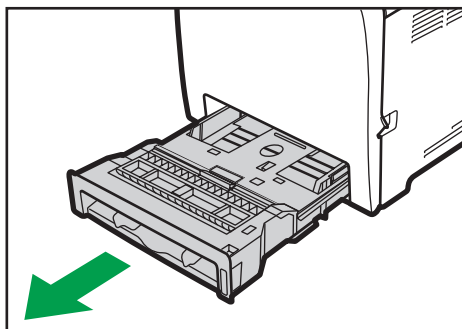


- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

★ 重要

- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

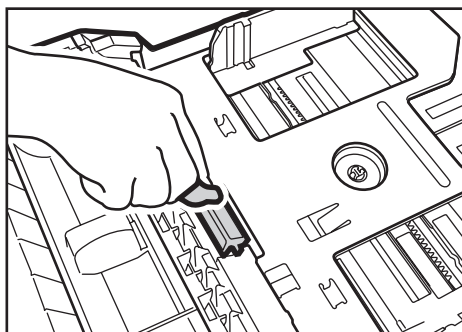
1. 電源を切ります。
2. 電源プラグをコンセントから抜きます。本体からすべてのケーブルを取り外します。
3. トレイ 1 を持ち上げて、手前に少し引き出します。その後両手を使ってトレイを完全に引き出します。



DAC070

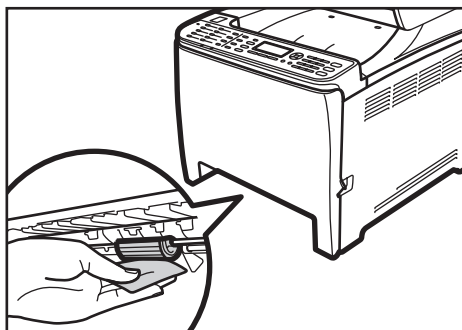
引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。トレイの中に用紙が入っているときは、取り出してください。

4. 水でぬらし固く絞った布で、フリクションパッドを拭きます。



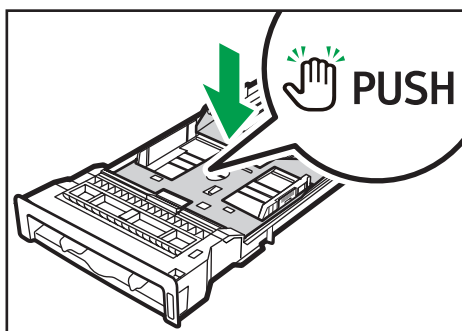
DAC057

5. ゴムの部分は、水でぬらしたやわらかい布で拭きます。その後乾拭きし、水気を十分に取ります。



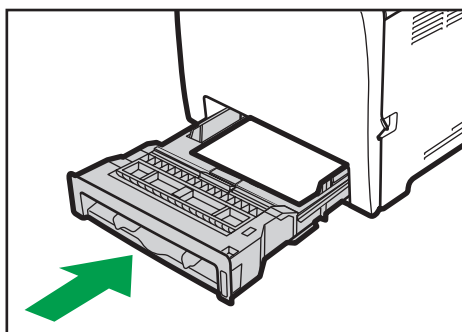
DAC068

6. 底板をカチッと音がするまで押し込みます。



DAC050

7. 用紙をセットして、給紙トレイを奥に突き当たるまで静かにセットします。



DAC069

8. 電源プラグをコンセントに差し込みます。インターフェースケーブルを接続します。
9. 電源を入れます。

↓ 補足

- フリクションパッドを清掃しても用紙が多重給紙されたり、紙づまりするときは、サービス実施店に連絡してください。

- 増設トレイ（トレイ 2）を使用しているときは、トレイ 1 と同様にフリクションパッドと給紙コロを清掃してください。

レジストローラー周辺と給紙トレイを清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときなど、多くの紙粉が出てレジストローラーの周辺が汚れることがあります。

紙粉によって、印刷結果に部分的な白ヌケが起きるときは、レジストローラー周辺の紙粉を清掃してください。

⚠ 注意



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線ははずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



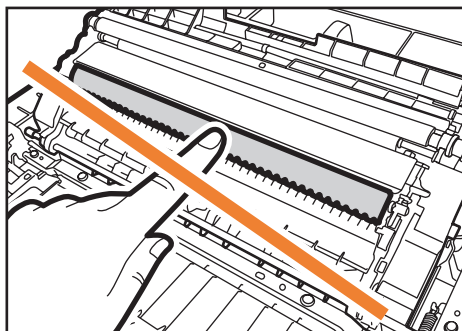
- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。



- レジストローラー周辺の清掃は、プリンターが電源が切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

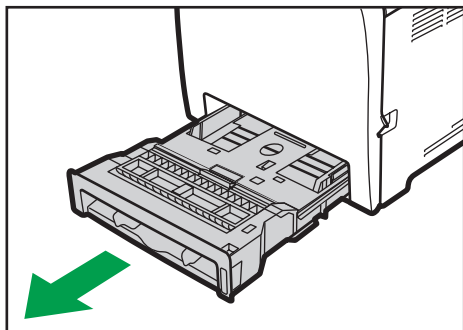
★ 重要

- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
- 転写ローラーには触らないでください。



1. 電源を切ります。
2. 電源プラグをコンセントから抜きます。本体からすべてのケーブルを取り外します。

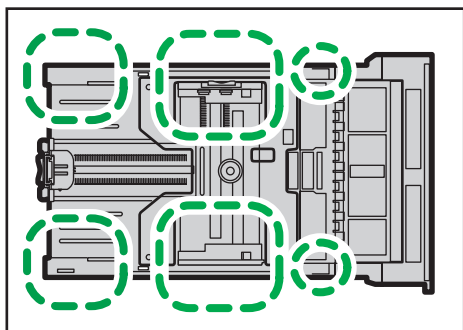
3. 給紙トレイをゆっくりと引き出し、途中から両手で持って引き抜きます。



DAC070

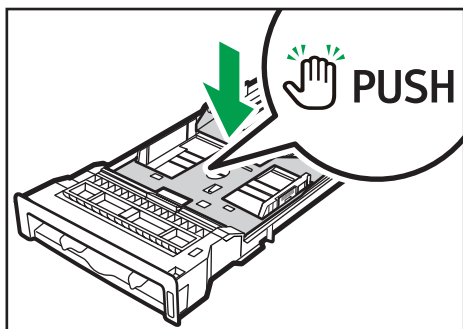
引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。また、トレイに用紙が入っているときは、用紙を取り出してください。

4. 給紙トレイ内部を布で拭きます。



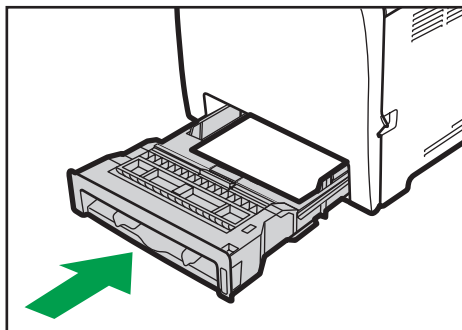
DAC060

5. 底板の「PUSH」部分を、ロックされる位置まで押し下げます。



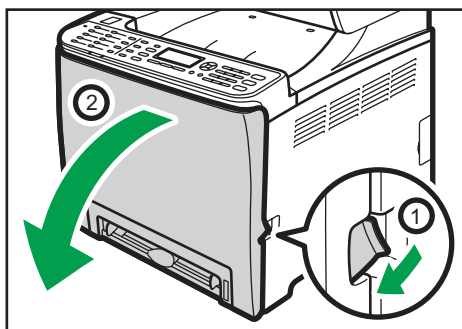
DAC050

6. 用紙をセットして、給紙トレイを奥に突き当たるまで静かにセットします。



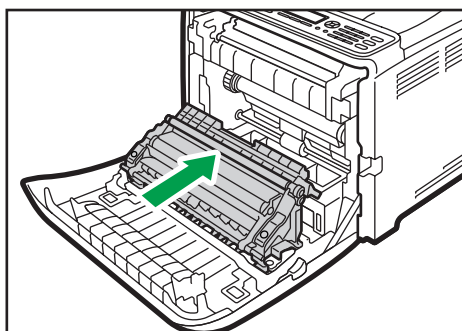
DAC069

7. 前カバー開閉レバーを引いて、ゆっくりと前カバーを開けます。



DAC061

レジストローラーは、下図の矢印の位置にあります。



DAC085

紙づまりを処理したあとに用紙がトナーで汚れるときは、レジストローラーを清掃してください。

8. 水でぬらし、固く絞った布でレジストローラーを左右に動かして回しながら拭きます。

9. 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。



DAC062

前カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。

10. 電源プラグをコンセントに差し込みます。インターフェースケーブルを接続します。

11. 電源を入れます。

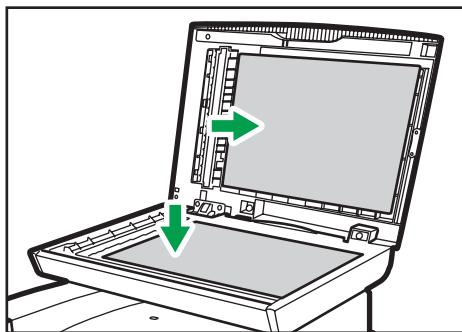
原稿ガラスを清掃する

原稿ガラスが汚れると、印刷面に黒すじ、斑点などが現れます。そのときは、原稿ガラスを清掃します。

1. ADF を上げます。

ADF を上げるときは、ADF 給紙トレイを持たないようにしてください。トレイの損傷の原因になります。

2. 矢印の箇所を水にぬらしたやわらかい布で拭き、その後乾拭きをして水気を十分に取ってください。



DAC004

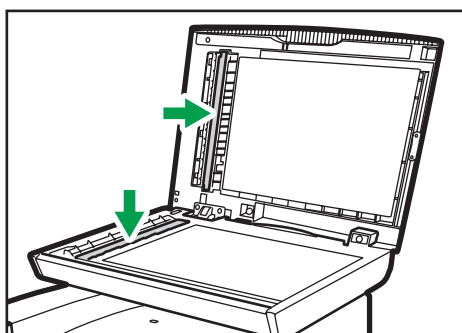
自動原稿送り装置（ADF）を清掃する

ADF が汚れると、印刷面に黒すじ、斑点などが現れます。そのときは、ADF を清掃します。

1. ADF を上げます。

ADF を上げるときは、ADF 給紙トレイを持たないようにしてください。トレイの損傷の原因になります。

2. 矢印の箇所を水にぬらしたやわらかい布で拭き、その後乾拭きをして水気を十分に取ってください。



DAC005

移動するとき

本機を近くへ移動するときや、長距離を移動させるときの注意事項について説明します。

⚠️ 注意



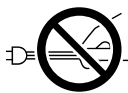
- 給紙テーブル（オプション）を接続したまま移動するときは、本体上部を無理に押さないでください。本体と給紙テーブルがはずれて、けがの原因になります。



- 本体の重さは、約 29 kgあります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線ははずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

本機は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。本機を日本国外に移動させたときは、保守サービスの責任は負いかねます。また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規則に違反して、本機および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。

★ 重要

- 移動の前にすべてのケーブルを取り外してください。
- 本機は精密機械です。移動するときは十分注意してください。
- 本機は水平に移動してください。本機を持って階段を上り下りするときは十分気をつけてください。
- 増設トレイ（トレイ 2）を使用しているときは、本機から取り出し、別々に移動してください。
- 移動時にカートリッジは取り出さないでください。
- 本機を持ち上げるときは、トレイ部周辺を持たないでください。

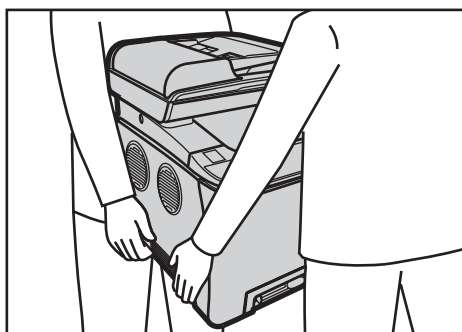
近くへ移動する

1. 次のことに注意してください。

- 電源が切られている。
- 電源コードがコンセントから引き抜かれている。
- その他すべてのケーブルが取り外されている。

2. トレイ 2 を設置しているときは、取り外してください。

3. 本機は、図のように 2 人で側面の中央下部のくぼみに手をかけ、ゆっくりと持ち上げて、移動したい場所まで水平に運んでください。



DAC020

4. トレイ 2 を元の位置に戻します。

↓ 補足

- 運搬中は本機を水平に保ってください。運搬中に傾けるとトナーが漏れ出す可能性があります。

長距離を移動する

本機を長距離移動させるときは梱包して輸送します。給紙トレイからすべての用紙を取り出してください。ただし、トナーカートリッジは取り出さないでください。輸送中に本機が傾かないよう注意してください。

1. 次のことに注意してください。

- 電源が切られている。
- 電源コードがコンセントから引き抜かれている。
- その他すべてのケーブルが取り外されている。
- すべての用紙が抜かれている

2. トレイ 2 を設置しているときは、取り外してください。

3. 輸送中に本機が破損ないように梱包します。

↓ 補足

- 輸送中に本機が水平に保たれていないと、トナーが漏れ出すことがあります。
- 本機の移動について詳しくは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店に連絡してください。

本機を長期間使用しないとき

本機を2週間以上にわたって使用しないときは、以下の手順に従ってください。

⚠ 警告



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意



- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

本機の使用を長期間休止する前に

本機の電源を遮断し、2週間以上にわたって使用を休止するときには、以下の手順に従ってください。

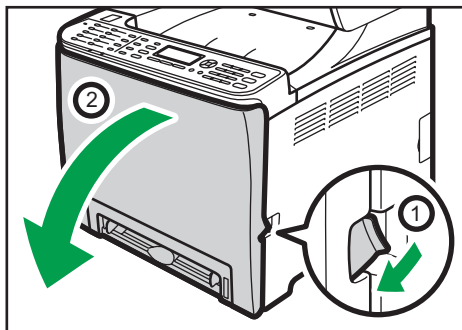
以下の手順に従わずに本機の使用を休止すると、使用再開時に異常音が発生することがあります。

★ 重要

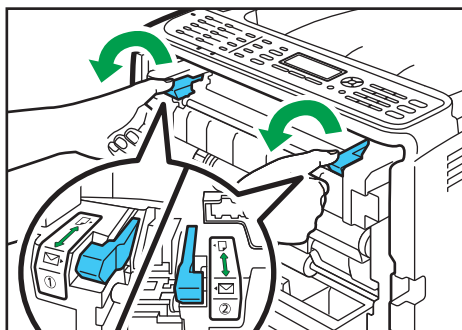
- 本機使用中は電源を切らないでください。

1. 本機の電源を切ります。
2. コンセントからプラグを引き抜きます。

3. 前カバー開閉レバーを引き、両手でゆっくりと前カバーを開けます。



4. 封筒レバーを左右両方とも親指で下げます。



5. 前カバーを両手でゆっくり閉めます。



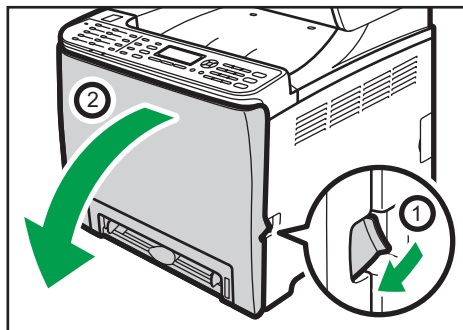
↓ 補足

- 本機の電源を入れた状態で使用を休止していたときは、この手順は必要ありません。

長期間使用を休止した後に本機の使用を再開するとき

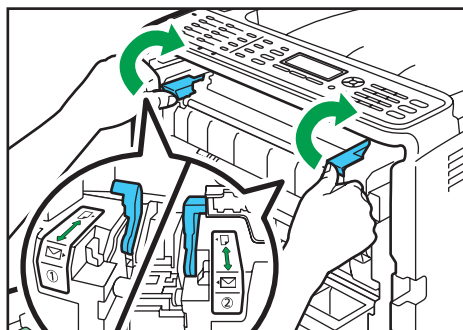
2週間以上にわたって使用を休止した後に本機の使用を再開するときは、以下の手順に従ってください。

1. 前カバー開閉レバーを引き、両手でゆっくりと前カバーを開けます。



DAC061

2. 封筒レバーを左右両方とも親指で上げます。



DAC071

両方の封筒レバーが普通紙マークの位置まできちんと上がっていることを確認してください。

封筒レバーが下がったまま、またはきちんと上がっていないまま印刷すると、トナーの定着不良により、印刷品質に影響が出ることがあります。

3. 前カバーを両手でゆっくり閉めます。



DAC062

4. 電源コードを接続します。
5. 電源を“I On”にします。

機器のご利用終了にともなう、機器に保存されたお客様の情報資産のお取り扱い

昨今、IT 技術の進展は著しく、データの安全性を高める技術とともに、保護・消去されたデータを解析・復元する技術も飛躍的な進化を遂げています。

このため、複合機・プリンター・ファクスなど弊社製品（以下機器）をお使いのお客様には、返却・廃棄・譲渡などで機器のご利用終了の際に、その機器内に残されたお客様の情報資産を解析され、漏洩する危険を未然に防止する必要があります。

未然に防止するためには、機器のご利用終了後に確実な消去処理を行うことが望ましいといえます。

機器に残存するおもな情報資産は以下になります。

- コピーやファクスの入出力動作のために一時的に作成される画像データ
- 任意に保存された蓄積文書
- アドレス帳
- 各種設定情報 他

※機種により、保持する情報資産は異なります。

上記のような情報資産は、所有者であるお客様の自己責任において処理をする必要があります。

弊社では、機器の情報安全性の強化を進めるとともに、お客様からご返却、お預かりした使用済み機器は、確実な情報消去を実施しています。

しかし、弊社ではない第三者にご返却、お預けされるときには、お客様自身により、情報資産の処理や確認が必要となりますのでご注意ください。

また、弊社では次の有償サービスを行っています。必要に応じてご利用いただけますようお願いいたします。

サービス・機能と概要

サービス名称	概要
OA 機器廃棄証明発行サービス	機器を物理的に破壊処理したことの証明書を発行します。
OA 機器 HDD 傷入れ証明発行サービス	回収した機器からハードディスクを取り出し、キズ入れを行います。キズ入れ時の写真が入った証明書を発行します。
オンサイトによる HDD 取り外し・キズ入れサービス	カスタマーエンジニアが訪問し、お客様の前で機器からハードディスクを取り外します。取り外したハードディスクはキズ入れ作業により物理的に読めないようにして、お客様に譲渡もしくは回収します。取り出したハードディスクをそのまま譲渡することも可能です。機器返却時にサービス実施店までご相談ください。 ※リース物件の場合はリース会社に所有権があることから、お客様がリース会社から事前に同意を得る必要があります。

※他社製品に対する上記サービスは実施していません。

※地域や機種により対応サービスが異なる場合があります。詳細はコールセンターもしくは販売担当者、サービス担当者にお問い合わせください。

さらに、一部の機種にはデータの上書き消去機能やハードディスクの暗号化機能が用意されています。(オプションの場合もあります。)

機能名称	概要
上書き消去機能	<p>一般的なデータファイルの削除やフォーマット処理とは異なり、ディスク上の実データ部分をダミーデータなどで上書きすることでデータ復旧をも困難にする処理になります。</p> <p>この機能を利用すればお客様自身でも、機器内の情報のほとんどを確実に消去できます。</p> <p>上書き消去機能にはメモリー全消去とメモリー自動消去設定の二つの機能があります。機器の使用終了時には機器内のお客様情報のほとんどを一括で上書き消去ができる、メモリー全消去が適しています。</p>
ハードディスクの暗号化機能	<p>ハードディスクに記録される情報を暗号化し、解析を困難にします。機器からハードディスクが取り外され、悪意ある解析などが行われたときに情報漏えいのリスクを軽減します。</p> <p>アドレス帳のほか、蓄積文書や一時データの読み書きも暗号化されます。</p>

使用済み製品の回収とリサイクルについて

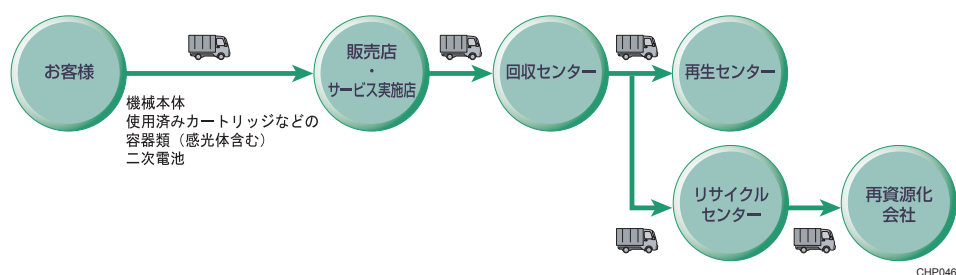
使用済み製品の回収とリサイクル

リコーは環境への負荷を低減するため、ご使用いただいた製品の回収・リサイクルを積極的に行っております。回収した製品の部品などは再使用または再資源化し、有効に活用しております。

本製品のご使用後の廃棄などのお取り扱いに関しては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。(回収費は有償となります。)

リコーの環境保全活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

使用済み製品の回収の流れ



使用済みカートリッジの回収

回収方法の詳細は、下記の弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.rieco.co.jp/ecology/recycle/toner/index.html>

回収方法がご不明のときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

二次電池の回収

二次電池を使用しているときは、二次電池は機械本体と一緒に回収しています。

回収をご利用されないとき

弊社の回収をご利用されずに個人のお客様がご自身で廃棄されるとき、製品は一般廃棄物に該当しますので、廃棄方法については、お住まいの地域を直轄する自治体にご確認ください。

消耗品一覧 (RICOH SP C251SF)

★重要

- 商品本来の性能を発揮させるために、リコー純正の消耗品をご使用ください。純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となる場合があります。(純正品以外の消耗品の使用がすべて不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分ご注意ください。)

トナーカートリッジ

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数 ^{*1}
IPSiO SP トナーカートリッジ ブラック C310H	308500	1 個	約 5,000 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ シアン C310H	308501	1 個	約 5,000 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ マゼンタ C310H	308502	1 個	約 5,000 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ イエロー C310H	308503	1 個	約 5,000 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ ブラック C310	308504	1 個	約 2,200 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ シアン C310	308505	1 個	約 2,200 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ マゼンタ C310	308506	1 個	約 2,200 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ イエロー C310	308507	1 個	約 2,200 ページ

*1 「印刷可能ページ数」は、各色 A4 5% チャート連続印刷をしたときの目安です。

↓補足

- 交換時期を過ぎてもトナーカートリッジが交換されないときは、印刷ができなくなります。トナーカートリッジは消耗品ですので、早めにご購入いただくか、買い置きされることをお勧めします。
- 実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、一度に印刷する枚数、環境条件によって異なります。

- トナーカートリッジは使用期間によっても劣化するため、上記目安より早く交換が必要になることがあります。
- トナーカートリッジ（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があったときは購入された販売店までご連絡ください。
- 初めて本機を使用するときは、同梱のトナーカートリッジを使ってください。
- 同梱のトナーカートリッジで、約 1,000 ページ印刷できます。
- 本機では定期的な清掃が行われ、品質保持のためにその過程でトナーが使用されま

廃トナーボトル

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数 ^{*1}
IPSiO SP 廃トナーボトル C220	515285	1 個	約 25,000 ページ

*1 「印刷可能ページ数」は、各 A4 5% チャート連続印刷をしたときの目安です。

↓ 補足

- 実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、一度に印刷する枚数、環境条件によって異なります。
- 交換時期を過ぎても廃トナーボトルが交換されないときは、印刷ができなくなります。廃トナーボトルは消耗品ですので、常に予備のボトルを購入しておかれることをお勧めします。

用紙

各種用紙の情報については、リコーホームページ（<http://www.ricoh.co.jp/office/supply/>）を確認するか、購入窓口にお問い合わせください。

関連商品一覧

商品名	商品コード
500 枚増設トレイ C221	515271
IPSiO ハンドセット C240	308832
IPSiO キャスターテーブル C240	308880
IPSiO サブライテーブル C240	308881

消耗品一覧 (RICOH SP C250SFL)

★重要

- 商品本来の性能を発揮させるために、リコー純正の消耗品をご使用ください。純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となる場合があります。(純正品以外の消耗品の使用がすべて不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分ご注意ください。)

トナーカートリッジ

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数 ^{*1}
RICOH SP トナーカートリッジ ブラック C200	600568	1 個	約 2,000 ページ
RICOH SP トナーカートリッジ シアン C200	600569	1 個	約 2,000 ページ
RICOH SP トナーカートリッジ マゼンタ C200	600570	1 個	約 2,000 ページ
RICOH SP トナーカートリッジ イエロー C200	600571	1 個	約 2,000 ページ

*1「印刷可能ページ数」は、各色 A4 5% チャート連続印刷をしたときの目安です。

↓補足

- 交換時期を過ぎてもトナーカートリッジが交換されないときは、印刷ができなくなります。トナーカートリッジは消耗品ですので、早めにご購入いただくか、買い置きされることをお勧めします。
- 実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、一度に印刷する枚数、環境条件によって異なります。
- トナーカートリッジは使用期間によっても劣化するため、上記目安より早く交換が必要になることがあります。
- トナーカートリッジ（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があったときは購入された販売店までご連絡ください。
- 初めて本機を使用するときは、同梱のトナーカートリッジを使ってください。
- 同梱のトナーカートリッジで、約 1,000 ページ印刷できます。
- 本機では定期的な清掃が行われ、品質保持のためにその過程でトナーが使用されます。

廃トナーボトル

商品名	商品コード	販売単位	印刷可能ページ数 ^{*1}
IPSiO SP 廃トナーボトル C220	515285	1 個	約 25,000 ページ

*1「印刷可能ページ数」は、各 A4 5% チャート連続印刷をしたときの目安です。

↓ 補足

- 実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、一度に印刷する枚数、環境条件によって異なります。
- 交換時期を過ぎても廃トナーボトルが交換されないときは、印刷ができなくなります。廃トナーボトルは消耗品ですので、常に予備のボトルを購入しておかれることをお勧めします。

用紙

各種用紙の情報については、リコーホームページ (<http://www.ricoh.co.jp/office/supply/>) を確認するか、購入窓口にお問い合わせください。

関連商品一覧

商品名	商品コード
500 枚増設トレイ C221	515271
IPSiO ハンドセット C240	308832
IPSiO キャスターテーブル C240	308880
IPSiO サブライテーブル C240	308881

お問い合わせ先

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

NetRICOH のホームページからもご購入できます。

<http://www.netricoh.com/>

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介します。

<http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html>

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター（ご購入後のお客様専用ダイヤル）」にお問い合わせください。

050-3786-8111

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0918 をご利用ください。

- 受付時間：平日（月～金）9時～12時、13時～17時（土日、祝祭日、弊社休業日を除く）
- 050 ビジネスダイヤルは、一部の IP 電話を除き、通話料はご利用者負担となります。
- お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html>

最新ドライバーおよびユーティリティ情報

最新版のドライバーおよびユーティリティをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- <http://www.ricoh.co.jp/download/index.html>

11. 付録

ネットワークに関する情報、本機の仕様などについて説明します。

IPv6 環境で使用できる機能およびネットワーク設定

IPv6 環境で使用できる本機の機能およびネットワーク設定は、IPv4 環境と異なります。お使いの機能が IPv6 環境でサポートされているかどうかご確認の上、必要なネットワーク設定を行ってください。

↓ 補足

- IPv6 の設定について詳しくは、P.213 「ネットワーク設定」または P.47 「ネットワークを設定する」を参照してください。

使用できる機能

FTP を経由した印刷

EPRT および EPSV コマンドを使用し、FTP を経由して印刷します。コマンドを実行するには、RFC2428 に準拠した FTP クライアント (IPv6 をサポートする OS、および FTP アプリケーション) が必要です。

プリンター

プリンタードライバを使用して、印刷します。

FTP 送信

操作部を使ってスキャンしたファイルを FTP サーバーに送信できます。

メール送信

操作部を使ってスキャンしたファイルをメールで送信できます。

フォルダー送信

操作部を使ってスキャンしたファイルを、ネットワーク上にあるパソコンの共有フォルダーに送信できます。

この機能は、Mac OS X では使用できません。

TWAIN スキャナー

パソコンでスキャンの指示を行い、ファイルを直接パソコンに取り込みます。TWAIN 対応のアプリケーションを使用する必要があります。

IPv6 でサポートしているマルチキャストグループの IP アドレスは、ff12::fb88:1 です。

PC ファクス

Windows のアプリケーションで作成した文書を、パソコンに接続された本機を経由して、紙に出力せずに直接相手のファクスへ送信できます。

インターネットファクス

インターネットファクスの送受信を行えます。

Bonjour

ネットワーク上の Bonjour プロトコル対応コンピュータと通信できます。IPv6 によってサポートされたマルチキャストグループの IP アドレスは、ff02::fb です。

Web Image Monitor

本機の状態を確認し、Web ブラウザーを使って設定を行うことができます。

設定リスト

本機の設定リストを印刷して、IP アドレスなどの設定内容を確認できます。

IPsec を使って通信する

本機には IPsec 機能が搭載されています。IPsec はネットワーク層のレベルで、セキュアなパケット単位の通信を行います。暗号化には送信者、受信者が同じ鍵を保有する共通鍵暗号方式を使用します。鍵設定を使用すると、IPsec の共有鍵を設定した有効期間で更新し、よりセキュリティー強度の高い通信を行うことができます。

★重要

- DHCP、DNS、WINS で取得する情報、およびパケットについては、IPsec の対象にならないものがあります。
- IPsec に対応している OS は Windows XP SP2、Windows Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2、Mac OS X 10.5 以降、RedHat Linux Enterprise WS 4.0、Solaris 10 です。ただし、OS によって対応していない設定項目があります。IPsec の設定を行うときは、必ず OS 側の IPsec 設定内容を確認し、同一の設定を行ってください。
- IPsec の設定により Web Image Monitor にアクセスできないときは、操作部の [管理者用設定] で IPsec を無効にしてから Web Image Monitor にアクセスしてください。

↓補足

- Web Image Monitor を使った IPsec の設定について詳しくは、P.217 「Web Image Monitor を使う」を参照してください。
- 操作部で IPsec を無効にする方法について詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。

通信データの暗号化と認証

IPsec には、データの機密性を確保する「暗号化」機能と、データ送信者が正しいこと、またデータが改ざんされていないことを証明する「認証」機能の 2 つの機能が存在します。本機の IPsec 機能は、2 つの機能を同時に有効にする ESP プロトコルと認証のみの機能を有効にする AH プロトコルの 2 つのセキュリティープロトコルに対応しています。

ESP プロトコル

データの暗号化と、ヘッダ以外のパケットの認証の両方に対応したセキュリティー通信を行います。

- 暗号化を行うためには送信側、受信側ともに同一の暗号化アルゴリズムと暗号鍵を設定する必要があります。自動鍵交換設定のとき、暗号化アルゴリズムと暗号鍵は自動的に設定されます。
- 認証を行うためには送信側、受信側ともに同一の認証アルゴリズムと認証鍵を設定する必要があります。自動鍵交換設定のとき、認証アルゴリズムと認証鍵は自動的に設定されます。

AH プロトコル

ヘッダを含むパケットの認証のみに対応したセキュリティー通信を行います。

- 認証を行うためには送信側、受信側ともに同一の認証アルゴリズムと認証鍵を設定する必要があります。自動鍵交換設定のとき、認証アルゴリズムと認証鍵は自動的に設定されます。

AH プロトコル + ESP プロトコル

データの暗号化と、ヘッダを含むパケットの認証の両方に対応したセキュリティー通信を行います。

- 暗号化を行うためには送信側、受信側ともに同一の暗号化アルゴリズムと暗号鍵を設定する必要があります。自動鍵交換設定のとき、暗号化アルゴリズムと暗号鍵は自動的に設定されます。
- 認証を行うためには送信側、受信側ともに同一の認証アルゴリズムと認証鍵を設定する必要があります。自動鍵交換設定のとき、認証アルゴリズムと認証鍵は自動的に設定されます。

↓ 補足

- お使いの OS によっては、「認証」は「整合性」という名称を使用していることがあります。

Security Association について

本機は鍵の設定方式として暗号化鍵交換を使用します。鍵設定によって、IPsec 通信に使用するアルゴリズムや鍵などの約束事を送信者、受信者双方に設定します。この約束事を SA (Security Association) と呼びます。送信者、受信者で SA 設定内容が一致していないと IPsec 通信を行うことができません。

SA の設定は自動的に行われます。最初に ISAKMP SA が自動設定 (フェーズ 1) され、続いて IPsec 通信のための IPsec SA が自動設定 (フェーズ 2) されます。また、より高いセキュリティーを確保した通信を行うために、設定の有効期間を定めることで SA の定期的な自動更新を可能にします。本機の鍵設定方式は IKEv1 のみ対応しています。

SA は複数設定することができます。

No.1~No.10 までの個別設定

IPsec で使用するアルゴリズムや鍵などの SA 設定 (IPsec ポリシー) を個別に 10 種類まで設定することができます。

IPsec ポリシーは No.1 から順に検索されます。

鍵設定のながれ

IPsec の鍵設定は下表の順に実施します。

本機	PC
1. Web Image Monitor で IPsec の詳細を設定	1. 本機の IPsec 設定と同一の条件を設定
2. IPsec を有効化	2. IPsec を有効化
3. IPsec 通信確立の確認	

★重要

- IPsec 設定後、正しく通信が確立されているかどうかの確認は Ping コマンドを使用して確認できます。また、鍵交換設定中は応答がないため、通信確立の確認に時間がかかることがあります。
- IPsec を有効にして本機と通信ができなくなったときには、IPsec を無効にして再度設定をやり直してください。

↓補足

- IPsec を無効にする方法について詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。

鍵設定の設定手順

★重要

- [IPsec 設定] は、管理者パスワードが設定されているときに表示されます。

Web Image Monitor を使用して設定します。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレスバーに"http:// (本機の IP アドレス、またはホスト名) /"と入力し、本機にアクセスします。
IPv4 アドレスを入力するとき、各セグメントの先頭につく「0」は入力しないでください。例えば「192.168.001.010」のときは、「192.168.1.10」と入力します。
「192.168.001.010」と入力すると、本機に接続できません。
3. [IPsec 設定] をクリックし、[IPsec ポリシーリスト] タブをクリックします。
4. リストから設定を変更する番号を選択し、[変更] をクリックします。
5. IPsec の詳細を設定します。
6. 管理者パスワードを入力し、[適用] をクリックします。
7. [IPsec グローバル設定] タブをクリックし、[IPsec 機能] で [有効] を選択します。
8. 必要に応じて、[IPsec デフォルトポリシー]、[ブロードキャストとマルチキャストに適用しない]、[全ての ICMP に適用しない] を設定します。

9. 管理者パスワードを入力し、[適用] をクリックします。

PC で IPsec の条件を設定する

機器で選択したセキュリティーレベルの IPsec SA 設定と同一の条件を PC 側で設定します。設定方法は OS によって異なります。ここでは IPv4 環境の Windows 7 を例に説明します。

1. [スタート] メニューから [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [管理ツール] をクリックします。
2. [ローカルセキュリティポリシー] をダブルクリックし、[IP セキュリティポリシー (ローカルコンピュータ)] をクリックします。
3. [操作] メニューから [IP セキュリティポリシーの作成] をクリックします。
[IP セキュリティポリシーウィザード] が表示されます。
4. [次へ] をクリックします。
5. 任意の IP セキュリティポリシー名を入力し、[次へ] をクリックします。
6. 「既定の応答規則をアクティブにする」のチェックを外し、[次へ] をクリックします。
7. 「プロパティを編集する」にチェックを入れ、[完了] をクリックします。
8. [全般] タブを選択し、[設定] をクリックします。
9. 「新しいキーを認証して生成する間隔」に本機で設定した IKE 有効期間を分単位で入力し、[メソッド] をクリックします。
10. 本機の IKE 設定で設定されている暗号化アルゴリズム (「暗号化」)、ハッシュアルゴリズム (「整合性」)、IKE Diffie-Hellman グループ (「Diffie-Hellman グループ」) の組み合わせが、「セキュリティメソッドの優先順位」に存在しているか確認します。
存在しないときは [追加] をクリックし作成します。
11. [OK] を 2 回クリックします。
12. [規則] タブを選択し、[追加] をクリックします。
[セキュリティの規則ウィザード] が表示されます。
13. [次へ] をクリックします。
14. 「この規則ではトンネルを指定しない」にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。
15. IPsec を適用するネットワークの種類を選択し、[次へ] をクリックします。
16. 「IP フィルター一覧」で [追加] をクリックします。

17. 「名前」に任意の IP フィルタ名を入力し、[追加] をクリックします。
[IP フィルタウィザード] が表示されます。
18. [次へ] をクリックします。
19. 「説明」に IP フィルタの名前または詳細な説明を入力し、[次へ] をクリックします。
このフィールドは空欄でも、[次へ] をクリックして次の手順へ進めます。
20. 「発信元アドレス」で「このコンピュータの IP アドレス」を選択し、[次へ] をクリックします。
21. 「宛先アドレス」で「特定の IP アドレスまたはサブネット」を選択し、機器の IP アドレスを入力して [次へ] をクリックします。
22. IPsec の対象とするプロトコルを選択し、[次へ] をクリックします。
23. [完了] をクリックします。
24. [OK] をクリックします。
25. 設定した IP フィルタを選択し、[次へ] をクリックします。
26. 「フィルター操作」の [追加...] をクリックします。
[フィルターウィザード] が表示されます。
27. [次へ] をクリックします。
28. 「名前」にフィルター操作の名前を入力し、[次へ] をクリックします。
29. 「セキュリティのネゴシエート」を選択し、[次へ] をクリックします。
30. セキュリティで保護されていないコンピューターとの通信を許可するか選択し、[次へ] をクリックします。
31. 「カスタム」を選択し、[設定] をクリックします。
32. 本機の [IPsec 設定] で [セキュリティープロトコル] を [ESP] に設定したときは、[データの整合性と暗号化 (ESP)] を選択し、次のように設定します。
[整合性アルゴリズム] の値を、本機で設定されている [ESP 認証アルゴリズム] と合わせます。
[暗号化アルゴリズム] の値を、本機で設定されている [ESP 暗号化アルゴリズム] と合わせます。
33. 本機の [IPsec 設定] で [セキュリティープロトコル] を [AH] に設定したときは、[暗号化をしないデータとアドレスの整合性 (AH)] を選択し、次のように設定します。
[整合性アルゴリズム] の値を、本機で設定されている [AH 認証アルゴリズム] と合わせます。

[データの整合性と暗号化 (ESP)] のチェックを外します。

- 34.** 本機の [IPsec 設定] で [セキュリティープロトコル] を [ESP&AH] に設定したときは、[暗号化をしないデータとアドレスの整合性 (AH)] を選択し、次のように設定します。

[暗号化をしないデータとアドレスの整合性 (AH)] の [整合性アルゴリズム] の値を、本機で設定されている [AH 認証アルゴリズム] と合わせます。

[データの整合性と暗号化 (ESP)] の [暗号化アルゴリズム] の値を、本機で設定されている [ESP 暗号化アルゴリズム] と合わせます。

- 35.** 「セッションのキーの設定」で「新しいキーの生成間隔」にチェックを入れ、本機で設定した有効期間（「秒」または「KB (キロバイト)」）を入力します。
- 36.** [OK] をクリックし、[次へ] をクリックします。
- 37.** [完了] をクリックします。

Windows Vista 以降で IPv6 を使用するときは、加えて手順 13 から ICMPv6 の除外設定を行ってください。

その際、手順 22 では対象とするプロトコルで [その他] のプロトコル番号 [58] を選択し、[セキュリティーのネゴシエート] を許可する設定にしてください。

- 38.** 新規作成したフィルター操作を選択し、[次へ] をクリックします。
- 39.** 認証方法を選択し、[次へ] をクリックします。
- 40.** [完了] をクリックし、[OK] を 2 回クリックします。
- 新しい IP セキュリティーポリシー (IPsec 設定) が設定されます。

- 41.** 設定したセキュリティーポリシー名を選択し、右クリックして [割り当て] をクリックします。

PC の IPsec 設定が有効になります。

↓ 補足

- PC の IPsec を無効にするときは、設定したセキュリティーポリシー名を選択し、右クリックして [割り当ての解除] をクリックします。

操作部で IPsec を有効/無効にする

★ 重要

- [IPsec] は、[管理者用設定をロック] でパスワードが設定されているときに表示されません。[管理者用設定をロック] について詳しくは、P.206 「管理者用設定」を参照してください。

1. [初期設定] キーを押します。
2. [▲] [▼] キーを押して [管理者用設定] を選択し、[OK] キーを押します。

3. 管理者用のパスワードを入力し、[OK] キーを押します。
4. [▲] [▼] キーを押して [IPSec] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] [▼] キーを押して [有効] または [無効] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [初期設定] キーを押して初期画面に戻ります。

本体仕様 (RICOH SP C251SF)

ここでは、本体仕様をまとめています。

↓ 補足

- ファクス機能の仕様について詳しくは、『使用説明書<ファクス機能編>』「ファクス機能仕様」を参照してください。

機能全般

レーザー規格	レーザークラス 1
現像方式	半導体レーザー+乾式 1 成分電子写真方式
CPU	Quatro5310-400MHz
メモリー	256 MB
最大読み取り用紙サイズ	210 × 294 mm
用紙サイズ	<ul style="list-style-type: none"> • 定型サイズ： A4☐、B5☐、A5☐、B6☐、A6☐、Legal☐、Letter☐、郵便はがき☐、往復はがき☐、7¹/₄ × 10¹/₂☐、8 × 13☐、8¹/₂ × 13☐、8¹/₄ × 13☐、4¹/₈ × 9¹/₂☐、5¹/₂ × 8¹/₂☐、C5 封筒、C6 封筒、DL 封筒、3⁷/₈ × 7¹/₂☐、16K☐ • 不定形サイズ： 幅 90~216 mm、長さ 148~356 mm • 両面对応サイズ： A4☐、B5☐、Legal☐、Letter☐、7¹/₄ × 10¹/₂☐、8 × 13☐、8¹/₂ × 13☐、8¹/₄ × 13☐、16K☐
用紙種類	薄紙、普通紙、中厚紙、厚紙 1、厚紙 2、再生紙、色紙、印刷済み紙、パンチ済み紙、レターヘッド付き用紙、ポンド紙、カードストック、ラベル紙、封筒
インターフェース	イーサネット (100BASE-TX/10BASE-T)、Wi-Fi、USB2.0、USB2.0 ホスト
対応 OS	DDST プリンタードライバー： <ul style="list-style-type: none"> • Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012、Mac OS X 10.5 以降 PC ファクスドライバー： <ul style="list-style-type: none"> • Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012 スキャナードライバー： <ul style="list-style-type: none"> • TWAIN：Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012、Mac OS X 10.5 以降 • WIA：Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012

騒音*1	待機時：30 dB (A) 以下 稼働時 (本機のみ)：52 dB (A) 以下
ウォームアップタイム	電源投入時/省エネモード時：30 秒以下*2 予熱モード時：10 秒以下 (常温 23 °C、定格電圧時)
給紙量	給紙トレイ (トレイ 1)：270 枚 (マイペーパー) 手差しトレイ：1 枚 (マイペーパー)
最大給紙量	810 枚 (増設トレイ装着時)
排紙量	150 枚 (マイペーパー)
電源	100V、13A 以下、50/60 Hz
消費電力	最大 1,300W 予熱モード時：80W 以下 省エネモード時：4.3W 以下
外形寸法 (幅×奥×高)	420 × 493 × 460 mm 以下*3
質量	29 kg 以下

*1 ISO7779 に基づく実測値であり、バスタンダ (近在者) 位置における音圧レベルです。

*2 画像調整により、1、2 分かかることがあります。

*3 増設トレイ (トレイ 2) が装着されているときは、高さが 125 mm 増加します。

↓ 補足

- 本製品は JIS C 6802 (IEC 60825-1) 「レーザー製品の安全基準」に基づき、「クラス 1 レーザ製品」に該当します。

プリンター機能仕様

ファーストプリント	モノクロ：14 秒以下*1 (A4☐：給紙トレイから給紙したとき) カラー：14 秒以下*1 (A4☐：給紙トレイから給紙したとき)
連続プリント速度	モノクロ <ul style="list-style-type: none"> • 片面印刷時：20 ページ/分 (A4☐) • 両面印刷時：12 ページ/分 (A4☐) カラー <ul style="list-style-type: none"> • 片面印刷時：20 ページ/分 (A4☐) • 両面印刷時：12 ページ/分 (A4☐)
解像度	9600 dpi 相当 × 600 dpi (画質優先) 2400 dpi 相当 × 600 dpi (標準) 600 × 600 dpi (速度優先)
出力形式	DDST、PictBridge
ネットワークプロトコル	TCP/IP、IPP、Bonjour

*1 本機がしばらく使われていない状態のとき、1 ページ目の印刷に多少時間がかかることがあります。

コピー機能仕様

ファーストコピータイム	20 秒以下 (待機状態からコピーしたとき)
連続複写速度	モノクロ <ul style="list-style-type: none"> 片面印刷時：20 ページ/分 (A4☐) 両面印刷時：12 ページ/分 (A4☐) カラー <ul style="list-style-type: none"> 片面印刷時：12 ページ/分 (A4☐) 両面印刷時：12 ページ/分 (A4☐)
読み取り方式	原稿固定走査方式及び原稿移動走査方式
複写原稿	シート、ブック原稿、立体物
複写倍率 (固定)	50%、71%、82%、93%、122%、141%、200%、400%
複写倍率 (ズーム)	25~400% (600 × 300 dpi、600 × 600 dpi)
最大解像度	<ul style="list-style-type: none"> 原稿ガラス 読み取り：600 × 600 dpi 印刷：600 × 600 dpi ADF 読み取り：300 × 600 dpi 印刷：600 × 600 dpi
階調	読み取り：256 階調 (1 ドット)
連続複写枚数	1~99 枚

スキャナー機能仕様

読み取り可能サイズ	<ul style="list-style-type: none"> 原稿ガラス 216 × 297 mm ADF 216 × 356 mm
操作部使用時の読取解像度 (メール送信、FTP 送信、フォルダー送信、USB メモリー送信)	<ul style="list-style-type: none"> 原稿ガラス 600 × 600 dpi ADF 600 × 600 dpi
TWAIN 使用時の読取解像度	<ul style="list-style-type: none"> 原稿ガラス 19200 × 19200 dpi ADF 600 × 600 dpi

WIA 使用時の読取解像度	<ul style="list-style-type: none"> • 原稿ガラス 600 × 600 dpi • ADF 600 × 600 dpi
階調	入力：カラー 16 bit 出力：カラー 8 bit
読み取り時間*1	モノクロ：5 秒以下 (A4☐/600 × 600dpi) カラー：10 秒以下 (A4☐/600 × 600dpi)
読み取り速度 (ADF)	モノクロ：20 枚/分 (600 × 300dpi) カラー：12 枚/分 (600 × 300dpi)
送信ファイル形式	TIFF、JPEG、PDF
アドレス帳	最大 100 件

*1 フラットベッド A4☐読み取り時間。転送時間は含みません。

本体仕様 (RICOH SP C250SFL)

ここでは、本体仕様をまとめています。

↓ 補足

- ファクス機能の仕様について詳しくは、『使用説明書<ファクス機能編>』「ファクス機能仕様」を参照してください。

機能全般

レーザー規格	レーザークラス 1
現像方式	半導体レーザー+乾式 1 成分電子写真方式
CPU	Quatro5310-400MHz
メモリー	256 MB
最大読み取り用紙サイズ	210 × 294 mm
用紙サイズ	給紙トレイ (トレイ 1) /手差しトレイ <ul style="list-style-type: none"> • 定型サイズ： A4☐、B5☐、A5☐、B6☐、A6☐、Legal☐、Letter☐、郵便はがき☐、往復はがき☐、7¹/₄ × 10¹/₂☐、8 × 13☐、8¹/₂ × 13☐、8¹/₄ × 13☐、4¹/₈ × 9¹/₂☐、5¹/₂ × 8¹/₂☐、C5 封筒、C6 封筒、DL 封筒、3⁷/₈ × 7¹/₂☐、16K☐ • 不定形サイズ： 幅 90~216 mm、長さ 148~356 mm • 両面对応サイズ： A4☐、B5☐、Legal☐、Letter☐、7¹/₄ × 10¹/₂☐、8 × 13☐、8¹/₂ × 13☐、8¹/₄ × 13☐、16K☐
用紙種類	薄紙、普通紙、中厚口、厚紙 1、厚紙 2、再生紙、色紙、印刷済み紙、パンチ済み紙、レターヘッド付き用紙、ポンド紙、カードストック、ラベル紙、封筒
インターフェース	イーサネット (100BASE-TX/10BASE-T)、Wi-Fi、USB2.0、USB2.0 ホスト

対応 OS	DDST プリンタードライバー： <ul style="list-style-type: none"> Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012、Mac OS X 10.5 以降 PC ファクスドライバー： <ul style="list-style-type: none"> Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012 スキャナードライバー： <ul style="list-style-type: none"> TWAIN：Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012、Mac OS X 10.5 以降 WIA：Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012
騒音*1	待機時：30 dB (A) 以下 稼働時（本機のみ）：52 dB (A) 以下
ウォームアップタイム	電源投入時/省エネモード時：30 秒以下*2 予熱モード時：10 秒以下 (常温 23℃、定格電圧時)
給紙量	給紙トレイ (トレイ 1)：270 枚 (マイペーパー) 手差しトレイ：1 枚 (マイペーパー)
最大給紙量	810 枚 (増設トレイ装着時)
排紙量	150 枚 (マイペーパー)
電源	100V、13A、50/60 Hz
消費電力	最大 1,300W 予熱モード時：80W 以下 省エネモード時：4.3W 以下
外形寸法 (幅×奥×高)	420 × 493 × 460 mm*3
質量	29 kg 以下

*1 ISO7779 に基づく実測値であり、バイスタンダ (近在者) 位置における音圧レベルです。

*2 画像調整により、1、2 分かかることがあります。

*3 増設トレイ (トレイ 2) が装着されているときは、高さが 125 mm 増加します。

↓ 補足

- 本製品は JIS C 6802 (IEC 60825-1) 「レーザー製品の安全基準」に基づき、「クラス 1 レーザ製品」に該当します。

プリンター機能仕様

ファーストプリント	モノクロ：14 秒以下*1 (A4□：給紙トレイから給紙したとき) カラー：14 秒以下*1 (A4□：給紙トレイから給紙したとき)
-----------	---

連続プリント速度	モノクロ <ul style="list-style-type: none"> 片面印刷時：20 ページ/分 (A4☐) 両面印刷時：12 ページ/分 (A4☐) カラー <ul style="list-style-type: none"> 片面印刷時：20 ページ/分 (A4☐) 両面印刷時：12 ページ/分 (A4☐)
解像度	9600 dpi 相当 × 600 dpi (画質優先) 2400 dpi 相当 × 600 dpi (標準) 600 × 600 dpi (速度優先)
出力形式	DDST、PictBridge
ネットワークプロトコル	TCP/IP、IPP、Bonjour

*1 本機がしばらく使われていない状態のとき、1 ページ目の印刷に多少時間がかかることがあります。

コピー機能仕様

ファーストコピータイム	20 秒以下 (待機状態からコピーしたとき)
連続複写速度	モノクロ <ul style="list-style-type: none"> 片面印刷時：20 ページ/分 (A4☐) 両面印刷時：12 ページ/分 (A4☐) カラー <ul style="list-style-type: none"> 片面印刷時：12 ページ/分 (A4☐) 両面印刷時：12 ページ/分 (A4☐)
読み取り方式	原稿固定走査方式及び原稿移動走査方式
複写原稿	シート、ブック原稿、立体物
複写倍率 (固定)	50%、71%、82%、93%、122%、141%、200%、400%
複写倍率 (ズーム)	25~400% (600 × 300 dpi、600 × 600 dpi)
最大解像度	<ul style="list-style-type: none"> 原稿ガラス 読み取り：600 × 600 dpi 印刷：600 × 600 dpi ADF 読み取り：300 × 600 dpi 印刷：600 × 600 dpi
階調	読み取り：256 階調 (1 ドット)
連続複写枚数	1~99 枚

スキャナー機能仕様

読み取り可能サイズ	<ul style="list-style-type: none"> • 原稿ガラス 216 × 297 mm • ADF 216 × 356 mm
操作部使用時の読取解像度 (メール送信、FTP 送信、フォルダー送信、USB メモリー送信)	<ul style="list-style-type: none"> • 原稿ガラス 600 × 600 dpi • ADF 600 × 600 dpi
TWAIN 使用時の読取解像度	<ul style="list-style-type: none"> • 原稿ガラス 19200 × 19200 dpi • ADF 600 × 600 dpi
WIA 使用時の読取解像度	<ul style="list-style-type: none"> • 原稿ガラス 600 × 600 dpi • ADF 600 × 600 dpi
階調	入力：カラー 16 bit 出力：カラー 8 bit
読み取り時間*1	モノクロ：5 秒以下 (A4□/600 × 600dpi) カラー：10 秒以下 (A4□/600 × 600dpi)
読み取り速度 (ADF)	モノクロ：20 枚/分 (600 × 300dpi) カラー：12 枚/分 (600 × 300dpi)
送信ファイル形式	TIFF、JPEG、PDF
アドレス帳	最大 100 件

*1 フラットベッド A4□読み取り時間。転送時間は含みません。

オプション仕様

ここでは、オプションの仕様をまとめています。

500 枚増設トレイ C221

項目	内容
用紙紙厚	60~105 g/m ²
用紙サイズ	A4□、Letter□
最大給紙量	540 枚（マイペーパー）
外形寸法（幅×奥×高）	400 × 450 × 127 mm
質量	4 kg 以下

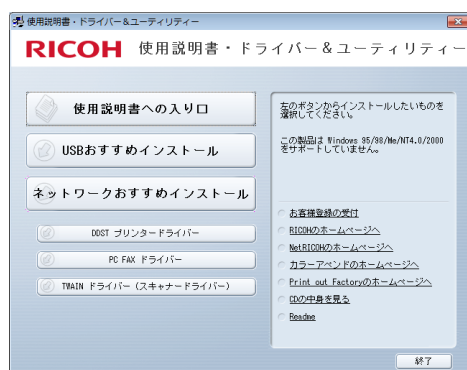
CD-ROM 収録ソフトウェアについて

ここでは、本機に付属している CD-ROM について説明します。

CD-ROM の内容を確認する

次の手順で、CD-ROM の内容を確認してください。

1. 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。



2. [CDの中身を見る] をクリックします。

エクスプローラが起動し、CD-ROM の内容を表示します。

収録されているドライバー

CD-ROM には、以下のドライバーが収録されています。

DDST プリンタードライバー

プリンターで印刷するために必要なソフトウェアです。

対象 OS : Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012、Mac OS X

PC ファクスドライバー

パソコンからファクスを送信するために必要なソフトウェアです。

対象 OS : Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012

TWAIN ドライバー

TWAIN を使ってスキャンするために必要なソフトウェアです。

対象 OS : Windows XP/Vista/7/8、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012、Mac OS X

ネットワークで運用するときの注意事項

DHCP を使用する

本機は DHCP 環境で使用できます。

- 動作対象の DHCP サーバーは、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012 です。
- DHCP リレーエージェントには対応していません。ネットワークに ISDN 回線を接続している環境で DHCP リレーエージェントを使用したとき、本機からパケットが送出されるたびに ISDN 回線に接続され、多大な通信料がかかることがあります。
- 複数の DHCP サーバーが存在するときは、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。

AutoNet 機能を使用する

DHCP サーバーから IPv4 アドレスが割り当てられなかったとき、本機は、臨時に 169.254.xxx.xxx で始まるネットワーク上で使用されていない IPv4 アドレスを自動選択して使用できます。

本機の IP アドレスに、AutoNet 機能で自動選択された IP アドレスを設定すると、本機の電源を切るたびに IP アドレスは変更されます。

ご使用のネットワーク環境に適した、IP アドレスを設定することをお勧めします。

↓ 補足

- AutoNet 機能で自動選択された IPv4 アドレスは、DHCP サーバーが IP アドレスの割り当てを再開すると、DHCP サーバーから割り当てられた IPv4 アドレスを優先的に使用します。このとき、本機が再起動するため、一時的に印刷できなくなります。
- 本機が使用している IPv4 アドレスはシステム設定リストで確認できます。
- AutoNet 機能で起動している機器以外とは通信できません。
- システム設定リストを印刷するには、P.35 「テスト印刷をする」を参照してください。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品

物質エミッションに関する基準について (RICOH SP C251SF)

物質エミッション

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No117 「複写機 Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。
(本製品推奨トナーを使用し、複写を行った場合について、RAL-UZ 171 付属書 S-M に基づき試験を実施しました。推奨トナーは消耗品ページに記載されています。)

物質エミッションに関する基準について (RICOH SP C250SFL)

物質エミッション

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No117 「複写機 Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。(本製品推奨トナーを使用し、複写を行った場合について、RAL-UZ 171 付属書 S-M に基づき試験を実施しました。推奨トナーは消耗品ページに記載されています。)

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

expat

本製品に搭載しているコントローラなどのソフトウェア（以下、ソフトウェア）には expat を下記の条件のもとで使用しています。

- expat を含むソフトウェアに関するサポートと保証等は株式会社リコーが行うものであり、expat の作者および著作権者には一切の責任および義務はありません。

Copyright © 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd. and Clark Cooper
Copyright © 2001, 2002 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS” , WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

↓ 補足

- expat に関する情報は次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。 <http://expat.sourceforge.net/>

Iperf

Copyright (c) The Board of Trustees of the University of Illinois

All Rights Reserved.

Iperf performance test

Mark Gates

Ajay Tirumala

Jim Ferguson

Jon Dugan

Feng Qin

Kevin Gibbs

John Estabrook

National Laboratory for Applied Network Research

National Center for Supercomputing Applications

University of Illinois at Urbana-Champaign

<http://www.ncsa.uiuc.edu>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software (lperf) and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the names of the University of Illinois, NCSA, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE CONTRIBUTORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

WPA Supplicant

Copyright (c) 2003-2011, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and /or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name (s) of the above-listed copyright holder (s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

商標

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Bonjour、Macintosh、Mac OS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

PictBridge は商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

Solaris は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

Internet Explorer 6 の正式名称は Microsoft® Internet Explorer® 6 です。

Windows オペレーションシステムの正式名称は以下のとおりです。

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® XP Professional Edition

Microsoft® Windows® XP Home Edition

Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Vista® Ultimate

Microsoft® Windows Vista® Business

Microsoft® Windows Vista® Home Premium

Microsoft® Windows Vista® Home Basic

Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 7 Starter

Microsoft® Windows® 7 Home Premium

Microsoft® Windows® 7 Professional

Microsoft® Windows® 7 Ultimate

Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows 8 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 8

Microsoft® Windows® 8 Pro

Microsoft® Windows® 8 Enterprise

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 Web Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 Datacenter Edition

- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter

Microsoft® Windows Server® 2008 for Itanium-based Systems

Microsoft® Windows® Web Server 2008

Microsoft® Windows® HPC Server 2008

- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 for Itanium-based Systems

Microsoft® Windows® Web Server R2 2008

- Windows Server 2012 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials

Microsoft® Windows Server® 2012 Standard

Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter

索引

記号・数字

500 枚増設トレイ 350

アルファベット

ADF 延長ガイド 17

ADF 給紙トレイ 17

ADF スライドボタン 19

ADF 排紙トレイ 17

AH プロトコル 335

AutoNet 352

CD-ROM 収録ソフトウェア 351

DHCP 352

DNS 設定 236

ESP プロトコル 335

expat 356

FTP 送信 164

ID カードコピー 151

ID カードコピーキー 23

IKE 設定 242

lperf 356

IPsec 338, 340

IPsec グローバル設定 242

IPsec 設定 242

IPsec 通信 335

IPsec ポリシー設定 242

IPv4 アドレス (DHCP) 49

IPv4 アドレス (手動) 47

IPv6 アドレス (DHCP) 51

IPv6 アドレス (手動) 50

IPv6 環境 333

IPv6 設定 50, 51, 235

IP アドレス 47

LED 44

mDNS 235

OK キー 25

PC ファクスドライバー 67

PictBridge 129, 130

PictBridge (終了操作) 131

PictBridge (トラブルシューティング) 131

PictBridge 用 USB ポート 17

Security Association 336

SMTP 設定 239

SNMP 設定 238

TCP/IP 情報 234

Trap 238

TWAIN スキャナー 174

TWAIN ドライバー 64, 67, 68

USB おすすめインストール 65

USB 接続 44

USB ポート 19, 44

USB ポート (PictBridge 用) 17

USB ポート (USB メモリー用) 17

USB メモリー送信 167

Web Image Monitor 157, 217, 219

WPA Supplicant 357

あ

厚紙 1 85

厚紙 2 85

あて先の削除 163

あて先の指定 166

あて先の修正 162

あて先の登録 157, 232

アドレス帳キー 23

アラームランプ 23

暗号化 335

イーサネット 42

イーサネットポート 19

移動 318, 319

いろいろな印刷 133

色紙 86

印刷出力機能 134

印刷の中止 122

印刷範囲 93

インストール 64

インターフェース切り替え時間 230

上カバー 17

薄紙 84

運用 289, 292

エラーメッセージ 280

お客様登録 15

おことわり 11

オプションの設定 117

オンフックキー 23

音量調節 226

か

カードストック	87
回収	326
解像度	173
カウンター	222
鍵設定	336, 337
拡大コピー	141
拡大/縮小キー	23, 141
各部の名称	17, 19, 21, 23
画質機能	133
画像欠け範囲	112
紙づまり	253, 254, 256, 258, 260
紙づまりを取り除く	253
画面	25
カラースタートキー	25
管理者パスワード	247
管理者メールアドレス	247
管理者用設定	206, 247
関連商品一覧	328, 330
機器カウンター	222
機器情報	224
機器の状態	221
基本的な使いかた	121, 138, 164, 167, 174
機密印刷	124, 125, 126, 127
機密文書	124, 125, 126, 127
キャンセルキー	25
給紙コ口	310
給紙トレイ	221, 313
強制印刷	122
クリア/ストップキー	25
ケーブルカバー	19
原稿	111
原稿ガラス	17, 113, 316
原稿ガラスカバー	17
原稿サイズ	111
原稿種類	153
原稿種類/解像度キー	23, 153, 173
原稿のセット	111, 113
コピーキー	23, 36, 137
コピー初期設定	191
コピーの中止	139
コピーモード	137
コピー用紙選択	228

困ったときには	264, 265, 268
困ったときには (USB 接続)	78
困ったときには (インストール)	77
困ったときには (コピー機能)	277
困ったときには (スキャナー機能)	279
困ったときには (ネットワーク接続)	78
困ったときには (プリンター機能)	270
コミュニティー	238

さ

再生紙	85
最大セット枚数	81, 111
システム	238
システム情報	221
システム初期設定	198, 226
システム設定リスト	211
自動原稿送り装置 (ADF)	113, 317
自動原稿送り装置 (ADF) カバー	17
自動メール通知	237
シフトキー	23
集約コピー	147
縮小コピー	141
仕様 (RICOH SP C250SFL)	346
仕様 (RICOH SP C251SF)	342
省エネモード	250
仕様 (オプション)	350
仕様 (コピー機能)	344, 348
使用上のお願い	289, 292
仕様 (スキャナー機能)	344, 349
状態タブ	221
使用できない原稿 (ADF)	111
使用できない用紙	92
商標	359
仕様 (プリンター機能)	343, 347
消耗品一覧 (RICOH SP C250SFL)	329
消耗品一覧 (RICOH SP C251SF)	327
使用を再開するとき	322
初期設定キー	23
ジョブのリセット	122
白黒印刷優先	231
白黒スタートキー	25
数値の入力	115
スキャナー宛先リスト	211
スキャナーキー	23, 36, 155

スキャナー送信結果レポート	211	ネットワーク情報	234
スキャナー送信設定	235	ネットワーク接続	42
スキャナーモード	155	ネットワーク設定	213, 234
スクロールキー	25	ネットワークで運用するときの注意	352
スピーカー音量	226	ネットワークプリンター	52
清掃	308	濃度	153, 172
接続	42	濃度キー	23, 153, 172
設定を初期化	247		
設定をバックアップ	248		
設定を復元	249		
選択キー	25		
操作部	23		
操作部でスキャンする	164		
操作部で設定する	189		
増設トレイ	350		
双方向通信	117		
外付け電話機接続端子	19		
ソフトウェアの著作権	356		

た

ダイレクト機能呼出し	40, 231	排紙トレイ	17
中厚口	84	廃トナーボトル	21, 301, 328, 330
長期間使用しないとき	321	背面カバー	19
手差しトレイ	17, 81, 102, 226	はがき	90
手差しトレイ設定選択	226	はがきのセット	106
テンキー	25	はじめに	10
電源コード	27	パソコンでスキャンする	174
電源スイッチ	19, 27	バックアップ設定	248
電源ソケット	19	番号入力	115
電源ランプ	23	搬送ユニット	21
電源を入れる	27	パンチ済み紙	86
電波障害	353	日付と時刻の設定	250
電話回線接続端子	19	ファクスキー	23, 36
トナー	221	ファクス受信/代行受信ランプ	23
トナーカートリッジ	21, 294, 327, 329	封筒	88
トナーセーブ	133, 222, 230	封筒のセット	104
トナー濃度センサー	309	フォルダー送信	164, 178
トレイ 1	17, 81, 97, 226	複製、印刷が禁止されているもの	10
トレイ 2	17, 81, 226	普通紙	84

な

認証	335	物質エミッション (RICOH SP C250SFL)	355
ネットワーク印刷設定	235	物質エミッション (RICOH SP C251SF)	354
ネットワークおすすめインストール	66	フリクションパッド	310
		プリンタードライバー	64, 67
		プリンターの印刷設定	119
		プリンターのプロパティ	119
		ページ数カウンター	222
		ポーズ/リダイヤルキー	23, 166
		保守	289, 292
		保守契約	290, 293
		本機のモード	36
		本体外部	17
		本体内部	21
		本体の設置	27
		ボンド紙	87

ま

前カバー.....	17
マルチアクセス.....	37
無線 LAN 設定.....	240
メール送信.....	164
メッセージ.....	280
メンテナンスレポート.....	211
文字の入力.....	115

や

ユーザーコード.....	34
ユーザー制限.....	31, 34, 233
優先機能.....	36
優先トレイ.....	229
用紙.....	81, 328, 330
用紙厚.....	81, 111
用紙エラー.....	121
用紙サイズ.....	81
用紙種類.....	81, 83
用紙ストッパー.....	19
用紙選択.....	228
用紙の設定 (用紙サイズ)	107, 108, 109, 117, 203, 226
用紙の設定 (用紙種類) ...	107, 108, 203, 226
用紙のセット.....	97, 102
用紙のセット (A4 よりも長い用紙)	100
用紙の保管.....	93
よくある質問.....	262
読み取りサイズ.....	171
読み取り設定.....	153, 171, 196

ら

ラベル紙.....	87
リサイクル.....	326
リスト.....	211, 246
リストア設定.....	249
リスト/レポート.....	212
リスト/レポート印刷.....	212, 246
リダイヤル.....	166
両面.....	222
両面コピー.....	143
レジストローラー.....	313
レターヘッド.....	86
レポート.....	211, 246

わ

ワンタッチキー.....	23, 166
ワンタッチキー宛先リスト.....	211

